はじめに

この冊子には、2023 年度の S セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－4 に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

S セメスター（S1・S2 ターム）科目紹介

この電子ブックには S セメスター（S1・S2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目		⑦					
目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
S	S セメスター	概ね 4～7 月
S1	S1 ターム	概ね 4～5 月
S2	S2 ターム	概ね 6～7 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。
英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までには UTAS に反映されます。）。

●「英語二列Ｓ」の履修には英語スピーキング能力の申請（クラス分け申請）が必要です。3 月末の初回クラス分け申請をしていない 2023 年度入学 1 年生（および申請に不備がありクラス分けできなかった 1 年生）は、各ターム開始前に、追加クラス分けに関する案内を前期課程 HP「お知らせ」に掲示するので、自分が履修するタームの前に必ず確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられています。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

<table>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列 S</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列 S</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列）

英語一列（教養英語）

≪英語一列①（教養英語）≫

目標・概要　英語一列は本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。クラスは学生の習熟度に合わせて 3 段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法
・英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・英語一列では習熟度に応じて 3 つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。
グループ 1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指すが、それをもとにした発展的な活動を含むこともある。
・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については ITC-LMS の各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。

成績評価方法
・平常点 5 割、定期試験（統一試験）5 割で評価が決定される。
・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり 50 点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。
・期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	多元化する世界を英語で読む
著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）
出版社	東京大学出版会
ISBN	978-4-13-082135-3

関連ホームページ

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列①	教養英語担当教員	各教室	S1	火 3	1 年文一二（13･24-25 ）文三（11･17 ）理一（1-4･9･18-19 ）理二三（7･13 ）
				火 4	1 年文一二（6･8･18 ）文三（5･7･12 ）理一（20･30-31･34-35 ）理二三（11･18･22 ）
				水 2	1 年文一二（5･15･19･26 ）文三（6･19 ）理一（7･12･23･28･36 ）理二三（6･23 ）
				水 3	1 年文一二（11･16･22 ）文三（10･14 ）理一（13･17･25･37･39 ）理二三（19-20 ）
			S2	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17 ）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）	
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
30379	S 1	火 3	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30380	S 1	火 3	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30381	S 1	火 3	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30382	S 1	火 3	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30383	S 1	火 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30384	S 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30385	S 1	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30386	S 1	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30387	S 1	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30389	S 1	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30390	S 1	火 3	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30391	S 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30393	S 1	火 3	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9)理一(16,27)理二三(17)
30487	S 1	火 4	WASH Ian David	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30488	S 1	火 4	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30489	S 1	火 4	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30490	S 1	火 4	ジェームズ　エリンガー	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30491	S 1	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30492	S 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30493	S 1	火 4	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30494	S 1	火 4	SENNA MANUEL	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30495	S 1	火 4	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30496	S 1	火 4	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30497	S 1	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30498	S 1	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30499	S 1	火 4	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30500	S 1	火 4	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30501	S 1	火 4	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
30604	S 1	水 2	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30605	S 1	水 2	WASH Ian David	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30606	S 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30607	S 1	水 2	マニナン　ジョン	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30608	S 1	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30609	S 1	水 2	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30610	S 1	水 2	DIETZ　Richard	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)

外国語（英語二列 S）

30611	S 1	水 2	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30614	S 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30615	S 1	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30616	S 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30617	S 1	水 2	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30618	S 1	水 2	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30619	S 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,20)理一(11,24)理二三(4,9)
30698	S 1	水 3	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30699	S 1	水 3	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30700	S 1	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30701	S 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30702	S 1	水 3	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30703	S 1	水 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30704	S 1	水 3	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30705	S 1	水 3	ジェームズ　エリンガー	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30707	S 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30708	S 1	水 3	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30709	S 1	水 3	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30710	S 1	水 3	マニナン　ジョン	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30711	S 1	水 3	船田　なつの	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30712	S 1	水 3	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
30713	S 1	水 3	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
40063	S 2	火 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40064	S 2	火 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40066	S 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40067	S 2	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40069	S 2	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40070	S 2	火 3	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40071	S 2	火 3	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40072	S 2	火 3	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40073	S 2	火 3	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40074	S 2	火 3	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40075	S 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40076	S 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40077	S 2	火 3	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(25)文三(11)理一(1-4,18)理二三(13)
40095	S 2	火 4	SENNA MANUEL	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40096	S 2	火 4	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40097	S 2	火 4	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40098	S 2	火 4	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40099	S 2	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40100	S 2	火 4	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40101	S 2	火 4	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40102	S 2	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)

外国語（英語二列 S）

40103	S 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40104	S 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40105	S 2	火 4	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40106	S 2	火 4	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40107	S 2	火 4	WASH Ian David	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40108	S 2	火 4	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40109	S 2	火 4	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(8)文三(5,7)理一(20,31,35)理二三(11)
40110	S 2	水 2	WASH Ian David	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40111	S 2	水 2	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40112	S 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40113	S 2	水 2	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40114	S 2	水 2	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40115	S 2	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40116	S 2	水 2	DIETZ　Richard	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40117	S 2	水 2	マニナン　ジョン	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40118	S 2	水 2	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40119	S 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40120	S 2	水 2	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40122	S 2	水 2	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40123	S 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40124	S 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)
40143	S 2	水 3	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40144	S 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40145	S 2	水 3	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40146	S 2	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40147	S 2	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40148	S 2	水 3	マニナン　ジョン	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40149	S 2	水 3	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40150	S 2	水 3	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40151	S 2	水 3	DIETZ　Richard	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40153	S 2	水 3	ジェームズ　エリンガー	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40154	S 2	水 3	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40155	S 2	水 3	船田　なつの	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40156	S 2	水 3	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40157	S 2	水 3	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
40158	S 2	水 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	S

授業の目標・概要　This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法　Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法　Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ　http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30042	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30043	月 2	WASH Ian David	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30044	月 2	船田　なつの	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30045	月 2	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30046	月 2	DIETZ　Richard	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30047	月 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30048	月 2	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30049	月 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30050	月 2	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30051	月 2	SENNA MANUEL	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30052	月 2	片山　晶子	1 年 文一二(6,14)文三(4,10,20)
30830	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30831	木 2	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30832	木 2	SENNA MANUEL	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30833	木 2	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30834	木 2	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30835	木 2	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30836	木 2	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30837	木 2	DIETZ　Richard	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30838	木 2	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
30900	木 3	SENNA MANUEL	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30901	木 3	ハンセン　キャサリン	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30902	木 3	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30904	木 3	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30905	木 3	DIETZ　Richard	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30906	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30907	木 3	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30908	木 3	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
30909	木 3	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(13,15,24)文三(13)
31011	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)

外国語（英語二列 W）ALESA

31012	金 1	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31013	金 1	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31014	金 1	WASH Ian David	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31015	金 1	ナオミ　バーマン	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31016	金 1	DIETZ　Richard	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31017	金 1	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31018	金 1	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(12,19)文三(8,12)
31105	金 3	WASH Ian David	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31106	金 3	DIETZ　Richard	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31107	金 3	DALZIEL Gregory	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31108	金 3	BUENO　Alex Falcon	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31109	金 3	D　SOUZA　ERIKA　MARIE　LOUISE	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31110	金 3	INSERRA　INCORONATA	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31112	金 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)
31113	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,16)文三(6,18)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	S

授業の目標・概要
This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法
Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法
Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ
http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30066	月 2	ジェームズ　エリンガー	1 年 理一(5,13,19)
30067	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(5,13,19)
30068	月 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(5,13,19)
30069	月 2	神島　智子	1 年 理一(5,13,19)
30070	月 2	マニナン　ジョン	1 年 理一(5,13,19)
30071	月 2	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 理一(5,13,19)
30072	月 2	QUAYLE　JOHN　MARTIN	1 年 理一(5,13,19)
30110	月 3	QUAYLE　JOHN　MARTIN	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30111	月 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30112	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30113	月 3	HALLMAN FRANCIS CANDLER	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30114	月 3	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30115	月 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30116	月 3	神島　智子	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30117	月 3	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30118	月 3	ジェームズ　エリンガー	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30119	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30121	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30122	月 3	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30123	月 3	SENNA MANUEL	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30124	月 3	WASH Ian David	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30125	月 3	船田　なつの	1 年 理一(9,14-15,25,28,30,34)
30199	月 4	QUAYLE　JOHN　MARTIN	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30200	月 4	マニナン　ジョン	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30201	月 4	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30202	月 4	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30203	月 4	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30204	月 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30205	月 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)
30206	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(7)理二三(1-3,10,15)

外国語（英語二列 W）ALESS

30281	火 1	SENNA MANUEL	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30282	火 1	ナオミ　バーマン	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30283	火 1	船田　なつの	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30284	火 1	ジェームズ　エリンガー	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30285	火 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30286	火 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30287	火 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 理一(10)理二三(12,19)
30559	水 1	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(6,22,32,38)
30560	水 1	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 理一(6,22,32,38)
30561	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(6,22,32,38)
30562	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(6,22,32,38)
30563	水 1	神島　智子	1 年 理一(6,22,32,38)
30564	水 1	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(6,22,32,38)
30565	水 1	ナオミ　バーマン	1 年 理一(6,22,32,38)
30566	水 1	ジェームズ　エリンガー	1 年 理一(6,22,32,38)
30567	水 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 理一(6,22,32,38)
30870	木 2	神島　智子	1 年 理一(26)
30871	木 2	マニナン　ジョン	1 年 理一(26)
30872	木 2	ジェームズ　エリンガー	1 年 理一(26)
31034	金 1	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 理二三(5-6,18)
31035	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(5-6,18)
31036	金 1	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(5-6,18)
31037	金 1	AKINDELE Tito	1 年 理二三(5-6,18)
31038	金 1	QUAYLE　JOHN　MARTIN	1 年 理二三(5-6,18)
31039	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 理二三(5-6,18)
31141	金 3	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 理二三(7,22)
31142	金 3	マニナン　ジョン	1 年 理二三(7,22)
31143	金 3	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 理二三(7,22)
31144	金 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理二三(7,22)
31145	金 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(7,22)
31184	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31185	金 4	WASH Ian David	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31186	金 4	GHAMPSON　ISAAC　TYRONE	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31187	金 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31188	金 4	テラシマ　アレクサンドラ	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31189	金 4	マニナン　ジョン	1 年 理一(37)理二三(16,24)
31190	金 4	MORENO PENARANDA RAQUEL	1 年 理一(37)理二三(16,24)

基礎科目（ドイツ語）

ドイツ語	開講区分	S

授業の目標・概要　一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。
なお、総合科目 L 系列のドイツ語科目も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　平常点および試験等によって行う。なお、1 年生 S セメスターの一列・二列には同一の成績がつく。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
出版社
ISBN
その他

関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30061	月 2	ドイツ語一列①	森 芳樹	1 年 文三(15)
30083	月 2	ドイツ語一列①	高橋 宗五	1 年 理一(32)
30144	月 3	ドイツ語一列①	森井 裕一	1 年 理一(29)
30422	火 3	ドイツ語一列①	針貝 真理子	1 年 文一二(21)
30429	火 3	ドイツ語一列①	三宅 晶子	1 年 文三(16)
30443	火 3	ドイツ語一列①	一條 麻美子	1 年 理一(31)
30515	火 4	ドイツ語一列①	石原 あえか	1 年 理二三(19)
30538	火 5	ドイツ語一列①	斉藤 渉	1 年 理二三(18)
30849	木 2	ドイツ語一列①	速水 淑子	1 年 文一二(20)
30851	木 2	ドイツ語一列①	田中 純	1 年 文一二(22)
30873	木 2	ドイツ語一列①	大石 紀一郎	1 年 理一(28)
30944	木 4	ドイツ語一列①	宮谷 尚実	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
31149	金 3	ドイツ語一列①	梶谷 真司	1 年 理二三(17)
31183	金 4	ドイツ語一列①	川喜田 敦子	1 年 理一(30)
30185	月 4	ドイツ語二列	田中 純	1 年 文一二(22)
30266	火 1	ドイツ語二列	ヘルマン ゴチェフスキ	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
30442	火 3	ドイツ語二列	大石 紀一郎	1 年 理一(28)
30486	火 4	ドイツ語二列	速水 淑子	1 年 文一二(20)
30637	水 2	ドイツ語二列	森 芳樹	1 年 文三(15)
30663	水 2	ドイツ語二列	有信 真美菜	1 年 理二三(17)
30727	水 3	ドイツ語二列	有信 真美菜	1 年 理一(30)
30850	木 2	ドイツ語二列	針貝 真理子	1 年 文一二(21)
30874	木 2	ドイツ語二列	一條 麻美子	1 年 理一(31)
30875	木 2	ドイツ語二列	高橋 宗五	1 年 理一(32)
30958	木 4	ドイツ語二列	三宅 晶子	1 年 文三(16)
31150	金 3	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1 年 理二三(18)
31151	金 3	ドイツ語二列	工藤 達也	1 年 理二三(19)
31182	金 4	ドイツ語二列	瀬尾 文子	1 年 理一(29)

基礎科目（フランス語）

フランス語	開講区分	S

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
理科生には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。

成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30059	月 2	フランス語一列①	片岡 大右	1 年 文一二(24)
30062	月 2	フランス語一列①	伊達 聖伸	1 年 文三(18)
30085	月 2	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理一(37)
30149	月 3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
30150	月 3	フランス語一列①	治山 純子	1 年 理一(39)
30186	月 4	フランス語一列①	治山 純子	1 年 文一二(23)
30195	月 4	フランス語一列①	星埜 守之	1 年 文三(17)
30196	月 4	フランス語一列①	郷原 佳以	1 年 文三(19)
30197	月 4	フランス語一列①	藤岡 俊博	1 年 文三(20)
30267	火 1	フランス語一列①	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
31831	火 1	フランス語一列①	森元 庸介	1 年 理一(33)
30448	火 3	フランス語一列①	松井 裕美	1 年 理二三(21)
30449	火 3	フランス語一列①	渡邊 淳也	1年 理二三(23)
30450	火 3	フランス語一列①	斎藤 かぐみ	1 年 理二三(24)
30503	火 4	フランス語一列①	原 和之	1 年 文一二(25)
30504	火 4	フランス語一列①	西川 純子	1 年 文一二(26)
30505	火 4	フランス語一列①	赤羽 悠	1 年 文一二(27)
30506	火 4	フランス語一列①	渡邊 淳也	1 年 文一二(28)
31832	火 4	フランス語一列①	森元 庸介	1 年 理二三(20)
30532	火 5	フランス語一列①	星埜 守之	1 年 理一(34)
30533	火 5	フランス語一列①	赤羽 悠	1 年 理一(35)
30534	火 5	フランス語一列①	桐谷 慧	1 年 理一(36)
30539	火 5	フランス語一列①	西川 純子	1 年 理二三(22)
31833	水 1	フランス語二列	赤羽 悠	1 年 理一(33)
31830	水 2	フランス語二列	赤羽 悠	1 年 理二三(20)
30655	水 2	フランス語二列	飛嶋 隆信	1 年 理一(37)
30656	水 2	フランス語二列	藤岡 俊博	1 年 理一(38)
30657	水 2	フランス語二列	今橋 映子	1 年 理一(39)
30750	水 4	フランス語二列	桑田 光平	1 年 文三(17)

基礎科目（フランス語）

30852	木 2	フランス語二列	桐谷 慧	1 年 文一二(23)
30855	木 2	フランス語二列	小西 英則	1 年 文三(18)
30856	木 2	フランス語二列	郷原 佳以	1 年 文三(19)
30857	木 2	フランス語二列	渡邊 淳也	1 年 文三(20)
30876	木 2	フランス語二列	井口 俊	1 年 理一(35)
30877	木 2	フランス語二列	坂本 さやか	1 年 理一(36)
30883	木 2	フランス語二列	関俣 賢一	1 年 理二三(22)
30917	木 3	フランス語二列	片岡 大右	1 年 文一二(25)
30918	木 3	フランス語二列	郷原 佳以	1 年 文一二(26)
30919	木 3	フランス語二列	増田 一夫	1 年 文一二(27)
30920	木 3	フランス語二列	関俣 賢一	1 年 文一二(28)
30945	木 4	フランス語二列	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
30951	木 4	フランス語二列	増田 一夫	1 年 文一二(24)
30970	木 4	フランス語二列	野崎 夏生	1 年 理二三(23)
31042	金 1	フランス語二列	小西 英則	1 年 理二三(21)
31139	金 3	フランス語二列	小西 英則	1 年 理一(34)
31152	金 3	フランス語二列	鈴木 順子	1 年 理二三(24)

基礎科目（中国語）

中国語	開講区分	S

授業の目標・概要　中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。（木５に開講）

成績評価方法　期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・小嶋美由紀・李佳樑 著
出版社　白帝社
ISBN
その他

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30080	月 2	中国語一列①	大橋 義武	1 年 理一(24)
30137	月 3	中国語一列①	賈 黎黎	1 年 理一(20)
30194	月 4	中国語一列①	瀬地山 角	1 年 文三(14)
30279	火 1	中国語一列①(TLP)	阿古 智子	1 年 理一(3)理二三(3)
30292	火 1	中国語一列①	山影 統	1 年 理一(26)
30510	火 4	中国語一列①	毛 興華	1 年 理一(27)
30629	水 2	中国語一列①(TLP)	吉川 雅之、伊藤 徳也	1 年 文一二(17)
30636	水 2	中国語一列①(TLP)	伊藤 徳也、吉川 雅之	1 年 文三(12)
30647	水 2	中国語一列①	小野 秀樹	1 年 理一(19)
30649	水 2	中国語一列①	波多野 真矢	1 年 理一(22)
30662	水 2	中国語一列①	張 政遠	1 年 理二三(16)
30714	水 3	中国語一列①	波多野 真矢	1 年 文一二(19)
30718	水 3	中国語一列①	韓 燕麗	1 年 文三(13)
30845	木 2	中国語一列①	久保 茉莉子	1 年 文一二(14)
30846	木 2	中国語一列①	松本 秀士	1 年 文一二(15)
30869	木 2	中国語一列①	下出 宣子	1 年 理一(25)
30910	木 3	中国語一列①	下出 宣子	1 年 文一二(16)
30931	木 3	中国語一列①	河野 直恵	1 年 理二三(15)
30946	木 4	中国語一列①	毛 興華	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30950	木 4	中国語一列①	河野 直恵	1 年 文一二(18)
30969	木 4	中国語一列①	渡辺 剛	1 年 理二三(13)
31019	金 1	中国語一列①	石井 剛	1 年 文一二(13)
31134	金 3	中国語一列①	前田 恭規	1 年 理一(23)
31148	金 3	中国語一列①	谷垣 真理子	1 年 理二三(14)
31169	金 4	中国語一列①	王 欽	1 年 文三(11)
31181	金 4	中国語一列①	前田 恭規	1 年 理一(21)
30142	月 3	中国語二列	大橋 義武	1 年 理一(26)

基礎科目（中国語）

30183	月 4	中国語二列	張 政遠	1年 文一二(15)
30184	月 4	中国語二列(TLP)	李 彦銘、白 春花	1年 文一二(17)
30192	月 4	中国語二列	中村 元哉	1年 文三(11)
30193	月 4	中国語二列(TLP)	白 春花、李 彦銘	1年 文三(12)
30268	火 1	中国語二列	賈 黎黎	1年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
30291	火 1	中国語二列	王 牧	1年 理一(23)
30437	火 3	中国語二列	山影 統	1年 理一(21)
30440	火 3	中国語二列	毛 興華	1年 理一(24)
30441	火 3	中国語二列	石井 剛	1年 理一(25)
30484	火 4	中国語二列	山影 統	1年 文一二(14)
30514	火 4	中国語二列	賈 黎黎	1年 理二三(13)
30571	水 1	中国語二列	青木 正子	1年 理一(27)
30661	水 2	中国語二列	青木 正子	1年 理二三(14)
30697	水 3	中国語二列	瀬地山 角	1年 文一二(13)
30725	水 3	中国語二列	毛 興華	1年 理一(20)
30733	水 3	中国語二列	王 英輝	1年 理二三(15)
30744	水 4	中国語二列	韓 燕麗	1年 文一二(18)
30911	木 3	中国語二列	松本 秀士	1年 文一二(19)
30922	木 3	中国語二列(TLP)	菊池 真純	1年 理一(3)理二三(3)
30932	木 3	中国語二列	久保 茉莉子	1年 理二三(16)
30956	木 4	中国語二列	松本 秀士	1年 文三(14)
31026	金 1	中国語二列	王 英輝	1年 文三(13)
31031	金 1	中国語二列	菊池 真純	1年 理一(19)
31133	金 3	中国語二列	賈 黎黎	1年 理一(22)
31167	金 4	中国語二列	毛 興華	1年 文一二(16)

基礎科目（ロシア語）

ロシア語	開講区分	S

授業の目標・概要　ロシア語文法の基礎の修得。
成績評価方法　定期試験と平常点。
S セメスターの期末テストは、「ロシア語一列」と「ロシア語二列」を 1 回に統一して行う。
適宜小テストを行うことがある。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ロシア語をはじめよう
著者（訳者）　西中村浩、朝妻恵理子
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55504-1
その他
関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30106	月 3	ロシア語一列①	畔柳 千明	1 年 理一(4)
30107	月 3	ロシア語一列①	宮川 絹代	1 年 理一(5)
30269	火 1	ロシア語一列①(TLP)	丸山 由紀子	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)
30394	火 3	ロシア語一列①	石井 優貴	1 年 文一二(4)
30424	火 3	ロシア語一列①	畔柳 千明	1 年 文三(4)
30511	火 4	ロシア語一列①	石井 優貴	1 年 理二三(4)
30672	水 3	ロシア語二列(TLP)	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)
30858	木 2	ロシア語二列	鳥山 祐介	1 年 理一(4)
30859	木 2	ロシア語二列	浜田 華練	1 年 理一(5)
30967	木 4	ロシア語二列	丸山 由紀子	1 年 理二三(4)
31104	金 3	ロシア語二列	渡邊 日日	1 年 文一二(4)
31125	金 3	ロシア語二列	宮川 絹代	1 年 文三(4)

基礎科目（スペイン語）

スペイン語	開講区分	S

授業の目標・概要

Sセメスターは週2回、Aセメスターは週1回の授業が必修です。共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習します。同時にスペイン語文化圏の豊かで多彩な文化と社会への関心を深めていきます。Sセメスターでは内容を一列（文法）と二列（講読）に分け、Aセメスターでは一列で文法・講読の両方を扱います。文系学生はこの他に外国人教員が担当するクラス指定の演習を履修します。理系学生にもこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）が開講されています。これらの演習科目では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行います。他にも初級作文と初級会話の科目を開講しているので、積極的に参加してください。
スペイン語を集中的に勉強したい学生のためには、インテンシブクラスを週2回開講します。これらを履修すれば、スペイン語の運用能力をいっそう高めることができます。

成績評価方法
各員より説明があります。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	Brújula－スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）	東京大学教養学部スペイン語部会
出版社	朝日出版社
ISBN	978-4-255-55111-1
その他	各人が大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入すること。

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30175	月 4	スペイン語一列①	川崎 義史	1年 文一二(9)
30181	月 4	スペイン語一列①	網野 徹哉	1年 文一二(11)
30190	月 4	スペイン語一列①	岡本 年正	1年 文三(8)
30953	月 4	スペイン語一列①	石橋 純	1年 文三(7)
30433	火 3	スペイン語一列①	相田 豊	1年 理一(10)
30435	火 3	スペイン語一列①	網野 徹哉	1年 理一(14)
30536	火 5	スペイン語一列①	受田 宏之	1年 理二三(7)
30570	水 1	スペイン語一列①	相田 豊	1年 理一(17)
30620	水 2	スペイン語一列①	倉田 量介	1年 文一二(12)
30634	水 2	スペイン語一列①	上 英明	1年 文三(9)
30645	水 2	スペイン語一列①	川上 英	1年 理一(13)
30646	水 2	スペイン語一列①	宮地 隆廣	1年 理一(18)
30660	水 2	スペイン語一列①	棚瀬 あずさ	1年 理二三(8)
30673	水 3	スペイン語一列①	上 英明	1年 文一二(7)
30675	水 3	スペイン語一列①	川上 英	1年 文一二(10)
30723	水 3	スペイン語一列①	川崎 義史	1年 理一(15)
30724	水 3	スペイン語一列①	倉田 量介	1年 理一(16)
30728	水 3	スペイン語一列①	久住 真由	1年 理二三(9)
30729	水 3	スペイン語一列①	石橋 純	1年 理二三(10)
30730	水 3	スペイン語一列①	棚瀬 あずさ	1年 理二三(11)
30731	水 3	スペイン語一列①	若林 大我	1年 理二三(12)
30753	水 4	スペイン語一列①	久住 真由	1年 理一(11)
30854	木 2	スペイン語一列①	若林 大我	1年 文三(10)
30133	木 3	スペイン語一列①	若林 大我	1年 理一(12)
30076	木 4	スペイン語一列①	若林 大我	1年 理一(9)
30948	木 4	スペイン語一列①	木﨑 孝嘉	1年 文一二(8)

基礎科目（スペイン語）

30054	月 2	スペイン語二列	松尾 俊輔	1 年 文一二(8)
30077	月 2	スペイン語二列	相田 豊	1 年 理一(9)
30078	月 2	スペイン語二列	岡本 年正	1 年 理一(16)
30134	月 3	スペイン語二列	岡本 年正	1 年 理一(12)
30136	月 3	スペイン語二列	三浦 麻衣子	1 年 理一(18)
30191	月 4	スペイン語二列	三浦 麻衣子	1 年 文三(9)
30208	月 4	スペイン語二列	棚瀬 あずさ	1 年 理一(14)
30271	火 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 文一二(12)
30289	火 1	スペイン語二列	石橋 純	1 年 理一(13)
30482	火 4	スペイン語二列	受田 宏之	1 年 文一二(9)
30513	火 4	スペイン語二列	遠藤 健太	1 年 理二三(9)
30537	火 5	スペイン語二列	宮地 隆廣	1 年 理二三(11)
30569	水 1	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 理一(10)
30659	水 2	スペイン語二列	丸山 共恵	1 年 理二三(7)
31166	水 2	スペイン語二列	栗林 ゆき絵	1 年 文一二(11)
30749	水 4	スペイン語二列	伊香 祝子	1 年 文三(8)
30862	木 2	スペイン語二列	水口 良樹	1 年 理一(11)
30864	木 2	スペイン語二列	倉田 量介	1 年 理一(15)
30866	木 2	スペイン語二列	愛場 百合子	1 年 理一(17)
30929	木 3	スペイン語二列	倉田 量介	1 年 理二三(8)
30930	木 3	スペイン語二列	木﨑 孝嘉	1 年 理二三(12)
30189	木 4	スペイン語二列	相田 豊	1 年 文三(7)
30949	木 4	スペイン語二列	松浦 芳枝	1 年 文一二(10)
31115	金 3	スペイン語二列	見田 悠子	1 年 文一二(7)
31147	金 3	スペイン語二列	有田 美保	1 年 理二三(10)
31168	金 4	スペイン語二列	有田 美保	1 年 文三(10)

基礎科目（韓国朝鮮語）

韓国朝鮮語	開講区分	S

授業の目標・概要
●1 年生初修クラス
文科生クラス、理科生クラスともに、一列・二列の授業では、共通教材『ことばの架け橋 精選版』を用いて授業を行います。はじめの数回の授業において文字と発音を完全に習得した後、引き続き、さまざまな文法事項と語彙を学んでいきます。
この授業では、一年間を通じて、基礎文法を完全に習得し、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また簡単な内容ならば、自分の考えや意見を表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか、韓国人教員が担当する「初級（演習）①」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。理科生には、文科生の「初級（演習）①」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加して下さい。

成績評価方法
定期テストと平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ことばの架け橋（精選版）
著者（訳者）　生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル
出版社　白帝社
ISBN　9.7848639841e+12
その他　【入力不可】

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30041	月 2	韓国朝鮮語一列①	岡村 佳奈	1 年 文一二(5)
30074	月 2	韓国朝鮮語一列①	李 英蘭	1 年 理一(6)
30425	火 3	韓国朝鮮語一列①	三ツ井 崇	1 年 文三(5)
30512	火 4	韓国朝鮮語一列①	河崎 啓剛	1 年 理二三(5)
30740	水 4	韓国朝鮮語二列	生越 直樹	1 年 文一二(5)
30748	水 4	韓国朝鮮語二列	三ツ井 崇	1 年 文三(5)
30926	木 3	韓国朝鮮語二列	河崎 啓剛	1 年 理二三(5)
31030	金 1	韓国朝鮮語二列	齊藤 良子	1 年 理一(6)

基礎科目（イタリア語）

イタリア語	開講区分	S

授業の目標・概要

●初修クラス
「一、二列」では、発音からはじまり、初級文法を、S セメスターから A セメスターの前半までの期間に習得することが目標です。A セメスター後半は、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、文法知識の整理にあてます。教科書は東京大学イタリア語教材編集委員会編の『イタリア語のスタート』（白水社）と、中級読解用テクスト『ピアッツァ』（東京大学出版会）を使用します。
あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための「演習」が文科生には必修科目として開講されています。理科生は総合科目 L の「イタリア語初級（演習）」として選択できます。積極的に履修・参加して、表現力を身につけてください。
S セメスターの基本的な学習項目は以下のようになります。
１）発音 ２）イタリア語の文の基本的な成り立ち ３）名詞の性と数 ４）主語人称代名詞と動詞 essere ５）形容詞 ６）指示代名詞と指示形容詞 ７）動詞 avere ８）規則動詞の現在活用形 ９）不規則動詞 １０）疑問詞 １１）前置詞と冠詞の結合形 １２）補助動詞 １３）近過去 １４）再帰動詞 １５）未来
●既修クラス
総合科目 L として開講されている中・上級の演習・会話・作文・表現練習・読解・インテンシヴの授業を組み合わせて受講することが可能です。イタリア語の習得を通して、音楽、芸術、映画、デザインなど、文化のさまざまな分野に関して、新しいテーマを素材に用い、現代社会のさまざまな側面についてもふれます。
●さらに選択可能な総合科目 L の科目として、初級・中級の会話・作文・表現練習も開講されているので、積極的に受講してください。（意欲的な履修者は、A セメスター以降、選択可能な総合科目 L の科目の中級イタリア語を受講することも可能です。）特に集中的に少人数のクラスでイタリア語を身につけ定着させたい履修者のためのインテンシブコースとして、文法事項の定着練習（１コマ）とネイティブによる表現力の演習（１コマ）を初級（１年生）・中級（２年生、ただし A セメスタには意欲的な１年生も受講可）ともに開講しています。ぜひ積極的に受講してください。
●S セメスターにはイタリア語初級（第３外国語）３コマが開講されていますが、そのうち１コマ（金５限）は秋始まりで文法をはじめたい履修者のためのもので、S セメスターはイタリア語初級文法後半になります。詳しくはシラバスを参照のこと。

成績評価方法　平常点と定期試験

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社
ISBN　ISBN978-4-560-01763-0
その他

関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30108	月 3	イタリア語一列①	小檜山 明恵	1 年 理一(7)
30109	月 3	イタリア語一列①	岡本 太郎	1 年 理一(8)
30212	月 4	イタリア語一列①	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
30396	火 3	イタリア語一列①	山﨑 彩	1 年 文一二(6)
30426	火 3	イタリア語一列①	村松 真理子	1 年 文三(6)
30643	水 2	イタリア語二列	岡本 太郎	1 年 理一(8)
30761	水 4	イタリア語二列	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
30839	木 2	イタリア語二列	山﨑 彩	1 年 文一二(6)
30853	木 2	イタリア語二列	村松 真理子	1 年 文三(6)
30959	木 4	イタリア語二列	小檜山 明恵	1 年 理一(7)

基礎科目（日本語）

日本語	開講区分	S

授業の目標・概要

[注意事項]
・基礎科目一列①、基礎科目二列を、一年次 S セメスターに履修すること。
・日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列、選択必修科目）の履修方法やカリキュラム等について、初回授業で説明があるので、必ず出席すること。
・基礎科目一列①、および、基礎科目二列のクラス指定に関して、教養学部 HP や UTAS 上の指示に留意し従うこと。
・基礎科目一列①、および、基礎科目二列の第 1 週初回授業に関して、教養学部 HP や UTAS 上の指示に留意し従うこと。
・様々なガイダンス・導入活動のため、基礎科目一列、および、基礎科目二列の初回授業に必ず出席してください。
・基礎科目の初回授業に必ず出席し日本語能力テストを受験すること。日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、授業開始時に日本語能力テストを受ける必要がある。
・総合科目 L 系列科目(S1, S2)の希望登録について、UTAS 上の指示にも留意してください。

● 基礎科目 日本語一列① 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」）

● 基礎科目 日本語二列 C 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」）
正確な精読、構文・語彙習得中心
構文・語彙増強、正確な精読や要約・ライティング等を行う。
● 基礎科目 日本語二列 P 1 年生 既修外国語（および「初修扱い既修外国語」）
アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。

○ 総合科目 L 系列 「日本語中級」『滑らかに話すための日本語発音』
○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『アカデミック・ディスカッション：学際的に考え議論するリベラル・アーツ』
○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その５・その６』

○ 総合科目 L 系列 「日本語上級」『 読解を通じ，日本の歴史を考える』

成績評価方法

「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照すること。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。

教科書

その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
31048	S	金 2	日本語一列①	本林 響子	1 年 文科 理科
31206	S	金 5	日本語一列①	本林 響子	1 年 文科 理科
30314	S 1	火 2	日本語二列C	奥川 育子	1 年 文科 理科
30813	S 1	木 1	日本語二列C	奥川 育子	1 年 文科 理科
40023	S 2	火 2	日本語二列P	奥川 育子	1 年 文科 理科
40042	S 2	木 1	日本語二列P	奥川 育子	1 年 文科 理科

情報

情報	開講区分	S

授業の目標・概要	現代社会においては，すべての人が多様な場と状況において，情報システムとかかわらざるをえない． その際に正しくかつ適切な対応をするためには，情報の技術面だけでなく，その人間的および社会的な側面の正しい理解が必要である． これは情報社会人の基本的素養であり，“知ることによって無知から自由になることができる”という意味であるリベラルアーツそのものと言うことができる． 本科目の目的は，このような素養を，講義と演習とを通じて身に付けることである． 具体的には ・情報の人間に関連する側面 表現，認知，伝達 ・情報の社会に関連する側面 情報システム，情報関連の法，技術と社会 ・情報の問題解決に関する側面 データと計算のモデル，計算の複雑さ のそれぞれを，独立にではなく，他の側面の理解が可能なレベルまで掘り下げて学ぶ． この科目の目的は，いわゆる「利用・活用」の方法を習うことではない． なお，高等学校の教科「情報」で学ぶ項目のうち，機器操作の方法，Web ブラウザ，電子メール，ディジタルの概念，著作権・知的財産権の基本，などは「既習」であることを前提とする．
成績評価方法	成績評価の方法は期末試験をベースとするが，レポートを加味するなど，教員によって異なる．なお，状況によって変更される可能性はある．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　情報 第２版（Introduction to the New Information World, 2nd Edition） 著者（訳者）　山口和紀[編] 出版社　東京大学出版会 ISBN　978-4-13-062457-2
関連ホームページ	https://sites.google.com/site/iebtokyouniv/home/edu/information

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30055	月 2	馬場 雪乃	1 年 文一二(9-11,15)
30075	月 2	高瀬 英希	1 年 理一(8,18,34)
30135	月 3	山口 泰	1 年 理一(13,33,35-36)
30139	月 3	辰己 丈夫	1 年 理一(21-22,24)
30182	月 4	福田 玄明	1 年 文一二(14,16,20)
30207	月 4	柴山 悦哉	1 年 理一(9,17)理二三(16,19)
30270	火 1	村上 祐子	1 年 文一二(7)文三(6,8,17)
30278	火 1	蓮池 隆	1 年 文三(18-20)
30420	火 3	蜂須賀 知理	1 年 文一二(18,26,28)文三(15)
30485	火 4	蜂須賀 知理	1 年 文一二(17)文三(4,9-10)
30531	火 5	松島 慎	1 年 理一(25-27)
30535	火 5	鵜川 始陽	1 年 理二三(4-5,13,15)
30568	水 1	石黒 祥生	1 年 理一(7,15,30)
30633	水 2	雨宮 智浩	1 年 文三(1-3,11,14,16)
30642	水 2	石黒 祥生	1 年 理一(5,16,29)
30726	水 3	金子 知適	1 年 理一(23,31)理二三(1-3,14)
30745	水 4	柳本 潤、高木 周	1 年 文一二(19,21-22)文三(12)
30747	水 4	植田 一博	1 年 文一二(23-25)
30844	木 2	松田 源立	1 年 文一二(8,12-13)
30879	木 2	羽山 博	1 年 理一(37)理二三(11,18)
30923	木 3	飯尾 淳	1 年 理一(6,14,19)
30927	木 3	石井 健太郎	1 年 理二三(6-7,21)

30960	木 4	成末 義哲	1 年 理一(10-12)
30968	木 4	石井 健太郎	1 年 理二三(10,12,24)
31027	金 1	道畑 正岐	1 年 理一(1-4,38-39)
31040	金 1	秋光 淳生	1 年 理二三(9,17,22)
31124	金 3	川崎 真弘	1 年 文一二(27)文三(7,13)
31137	金 3	蔡 東生	1 年 理一(28)理二三(8,23)
31158	金 4	川崎 真弘	1 年 文一二(1-6)文三(5)
31179	金 4	蔡 東生	1 年 理一(20,32)理二三(20)

情報α	開講区分	S

授業の目標・概要

＊＊トピックについて＊＊
深層学習（ディープラーニング）は、近年発展著しい AI（人工知能）技術の中核を為す技術である。この技術は高い性能と汎用性を持つことから、自動運転や新薬創造などの社会の多くの領域に応用され、それぞれの分野で革新的な成果を出すことが期待されている。
また、この深層学習のメカニズムを理解するために、数学をベースにした理論も急速に発展している。AI 技術を効率的に制御・理解するためには、これらの理論の発展が必要不可欠である。

＊＊講義の目標＊＊
この講義の目的は、以下の三つである。
1. 基礎的な情報の技術・社会的側面について学ぶ。
2. データ解析の基礎を理解し、その一ツールとしての深層学習の使い方をプログラミング演習を通して学ぶ。
3. 深層学習の理論を、数学演習を通して学ぶ。

＊＊講義の概要＊＊
最初の数回で、基礎科目「情報」に該当する内容を速習する。加えて、各回の講義の中で随時「情報」の内容をカバーする。
その後、機械学習の問題設定の基礎を学び、python を用いた演習で深層学習の実装を行う。後半では、数学的な理論を学び演習を通して定着を図る。
前半での演習では python を使うスキルが必要だが、知識は授業中に身につける前提で、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。

＊＊システム＊＊
受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時（4 月 5 日（水）6 限、Zoom 開催）にプログラミング・数学などに関する基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、一週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を正門横掲示板もしくはオンライン上に発表する。

成績評価方法　学期中と期末に課すレポートおよび出席状況をもとに評価する。
教科書　教科書は使用しない。/　Will not use textbook
関連ホームページ　http://kis.c.u-tokyo.ac.jp/ADRK.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30804	水 6	今泉 允聡	1 年 文科 理科
31010	木 6	今泉 允聡	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 I

身体運動・健康科学実習I	開講区分	S

授業の目標・概要

週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画

注：以下は新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある
第 1 回 ガイダンス・講義（オンライン）
第 2 回 体力テスト
第 3 回 大教室での出席カード作成・種目選択
第 4 回から 選択した種目での対面実技授業
ただし 4 回目以降に 2 度、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。場所はコミュニケーションプラザ北館 3 階の身体運動実習室を予定している。
この他天候等により体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9 号館前の掲示板や ITC-LMS のお知らせをよく確認すること。

授業の方法

注：以下は新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある
第 3 回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等）、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ開設）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。
種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。
学期中に 1 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を、通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習ではもちろんのこと、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくること。
講義、体力テスト、共通基礎実習、実技の内容と関連したレポートを学期末に作成し、提出する。

成績評価方法

注：以下は新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある
出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。
体力テスト：例年は 4 月と 12 月に行い、評価に含める。
レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。
その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　身体運動・健康科学ベーシック
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東大出版会
ISBN

履修上の注意

種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。
対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。
更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。
体育館は土足、飲食禁止である。

学習上のアドバイス

盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。
障害保険に加入することが望ましい。
後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。

関連ホームページ

https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30040	月 2	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(4,23)文三(16-17)理一(7,10-11,17,20,22,38)
30427	火 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文三(7,18)理一(23,29-30,32,34-37,39)
30483	火 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1年 文一二(13)文三(8,14,19-20)理一(24-25)理二三(7,10,17,21)
30674	水 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1年 文一二(6,8,14,27)文三(9)理一(9,12,19,27,28)理二三(5-6,8)
30743	水 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(16,26)理一(13-15)理二三(1-3,9,11-12,14-15)
30829	木 2	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1年 文一二(1-3,5,24-25)文三(1-5,11)理一(1-3,21)理二三(4,16)
30899	木 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1 年 文一二(9)文三(6)理一(4-5,16,18)理二三(13,18,22-24)
31116	金 3	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1年 文一二(11,15,18-20,28)文三(10,12)理一(6,8,26)理二三(20)
31159	金 4	身体運動・健康科学実習I	実技担当	1年 文一二(7,10,12,17,21-22)文三(13,15)理一(31,33)理二三(19)

身体運動・健康科学実習II

身体運動・健康科学実習II	開講区分	S

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 同曜限で開講されている総合科目 D「スポーツ・身体運動実習」の種目選択を実施する場所に集合し（場所は 9 号館前掲示板または ITC-LMS を参照、オンラインとなる可能性もある）、この授業用に開講されている 1 種目に登録手続きを行い、担当教員からガイダンス・講義を受ける。 第 2 回以降 この曜限で開講されている種目での実技授業 ＊学期中に 2 度 身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。
授業の方法	注：以下は新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある 基本的には自分の身体を動かして実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 学期中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を、通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習ではもちろんのこと、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくること。 講義、共通基礎実習、実技の内容と関連したレポートを学期末に作成し、提出する。
成績評価方法	注：以下は新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある 出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　　東大出版会 ISBN
履修上の注意	原則として、次に該当する者だけがこの授業を履修できる。 ・1A セメスターの「身体運動・健康科学実習 II」を履修しなかった（クラス指定された「身体運動・健康科学実習 II」の登録を削除した）者 ・1A セメスターの「身体運動・健康科学実習 II」が不合格であった者 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30158	月 3	身体運動・健康科学実習II(2S)	実技担当	2 年 文科 理科
30315	火 2	身体運動・健康科学実習II(2S)	実技担当	2 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	S

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 ガイダンス・講義（オンライン） 第 2 回 体力テスト 第 3 回 講義、種目選択（対面） 第 4 回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある） （注意事項） ・第 2 回授業の体力テストでは、実施可能な種目だけに参加し、残りは見学としてよい。 ・第 3 回目までの授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習 II の曜限で受講すること。使用する URL や教室は ITC-LMS や 9 号館前の掲示板に掲示する。 ・第 3 回目の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限（月 1、月 5、火 1、水 1 のいずれか）は必ずしもその日に決定しなくてよいが、判断に困る場合は教員によく相談すること。 ・第 4 回以降は月 1、月 5、火 1、水 1 のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある。その場合はメールまたは ITC-LMS を使って連絡する。
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　　東大出版会 ISBN
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30227	月 5	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
30572	水 1	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科
30009	月 1	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
30293	火 1	身体運動・健康科学実習I（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
30228	月 5	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	2 年 文科 理科
30573	水 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	2 年 文科 理科
30010	月 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
30294	火 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科

初年次ゼミナール文科の履修について

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

> 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
>
> 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 週の合同授業で学ぶ。

クラスごとに指定されたグループ（各 2 曜限）に開講されている授業のうち、1 授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。教務課前期課程のホームページに掲載される「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第 8 希望まで登録すること。初年次ゼミナール文科の抽選結果は、抽選で履修が決まる総合科目（英語中級等）の抽選結果より優先される。同じ曜限に他の授業と重複して当選した場合は、初年次ゼミナール文科以外の科目の履修は取り消されるので注意すること。

文科の 2 年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者は、科目登録方法が通常の他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく「【重要】履修登録について」を注意して読んでおくこと。

＊教務課前期課程ホームページ： http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html

授業日程上の第 1 週（4 月 5 日-11 日）は、同一の曜限に開講されるすべての初年次ゼミナール文科の授業合同で、ガイダンス（オンライン）を実施する。割り当てられている **2 曜限とも出席**すること。**ガイダンスの ZoomURL は、**ITC-LMS にログインした後、時間割の下に表示される「集中コース等」の中にある**「初年次ゼミナール文科（総合）」コース（下図参照）に掲載**する。各教員のシラバスや ITC-LMS コースには合同ガイダンスの URL は掲載されないので注意すること。



（参考）ITC-LMS のログイン後画面上の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースの表示位置

＊ITC-LMS の「初年次ゼミナール文科（総合）」のコースは 4 月 3 日頃からアクセス可能となる予定である。

第 2 週（4 月 13 日-19 日）は、オンライン（オンデマンド形式）でアカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。詳細は ITC-LMS の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースに 4 月 12 日までに掲載される。必ず ITC-LMS の同コースの掲載情報を確認しておくこと。授業で使用する共通教材（下記参照）および検索実習テキストも同コースに掲載されるので、受講前に自分の端末にダウンロードして参照できるようにしておくこと。なお、第 2 週の合同授業では課題の提出にもとづいて出欠席が記録される。

第 3 週（4 月 20 日-26 日）からは、各授業担当教員が指導する少人数授業が行われる。UTAS にて抽選結果を確認し、当選した**授業のシラバスを、PDF 版だけでなくオンライン版でも必ず確認**すること。また別途情報が掲載されているかもしれないので、①ITC-LMS の履修する授業のコースと、②ITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コース、また、③教務課前期課程のホームページをよく確認しておくこと。第 3 週以降の少人数授業は基本的に対面となるが、特例としてオンラインで実施される場合がある。各授業のシラバスで授業形態についての特記がないかどうか確認しておくこと。

この授業の共通教材として『読む、書く、考える：東京大学　初年次ゼミナール文科　共通テキスト』の電子版が全員に配布される。4 月 12 日までに ITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コースにアップロードされるので、手元にダウンロードし、積極的に利用してほしい。

この授業に関する授業外サポートとして、「**ラーニングコモンズ**」をオンラインで開く。ラーニングコモンズでは、各授業のティーチング・アシスタント（TA）とは別に、大学院生がラーニングコモンズ TA として待機し、履修生の学習相談や質問に応じる。どの初年次ゼミナール文科の授業を履修している学生でも、予約不要で利用できる場である。開室時間や URL、利用方法等については、ITC-LMS の「初年次ゼミナール文科（総合）」コースで通知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1 年文一・二（4,6-7,28）， 文三（4,16,18）
グループ 2	火 1・木 2	1 年文一・二（10,19,26-27）， 文三（7,9,13）
グループ 3	火 3・木 3	1 年文一・二（8,12,14,17）， 文三（10,12,14）
グループ 4	火 4・金 1	1 年文一・二（1-3,5,11,15-16,22）， 文三（1-3,11,15）
グループ 5	水 2・金 3	1 年文一・二（13,21,24-25）， 文三（5,8,20）
グループ 6	水 3・金 4	1 年文一・二（9,18,20,23）， 文三（6,17,19）

クラス編成によって、上記グループが変更される場合がある、教務課前期課程のホームページに変更のお知らせが出ていないかどうか、学期開始前に必ず確認しておくこと。

グループ１　１年 文一二(4,6-7,28)文三(4,16,18)

31731	月 4	大江健三郎『万延元年のフットボール』を読む	村上 克尚	国文・漢文学

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
このゼミナールでは、大江健三郎の長編小説『万延元年のフットボール』(1967 年）を輪読します。『万延元年のフットボール』は、蜜三郎と鷹四という兄弟を主人公とし、谷間の村における百年の時空の重なり合いを描いた、大江の中期の代表作と名高い作品です。本授業ではあえてこの代表作から出発して、大江文学に接近することを試みます。皆さんとの議論を通じて、本作が今も持つアクチュアリティを明らかにしていきたいと思います。
【学術分野】国文・漢文学
【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　大江健三郎、『万延元年のフットボール』、日本文学
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　万延元年のフットボール
著者（訳者）　大江健三郎
出版社　講談社文芸文庫
ISBN　978-4061960145
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31732	月 4	基礎心理学の基礎知識	本吉 勇	心理・教育学

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
代表的な教科書を足がかりに，人間の心や精神を科学的に研究するための基本的な方法を学ぶ．さらに，知覚，認知，記憶，思考，感情など主要な心の機能に関する認知心理学の実験や理論の文献を実際に読み解くことによって，用語や考え方を理解するための初歩的なスキルと批判精神を身につける．

【学術分野】心理・教育学

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　心理学、人間科学、認知科学、脳科学
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　マイヤーズ心理学
著者（訳者）　デーヴィッドマイヤーズ
出版社　西村書店
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31733	月 4	政治哲学を通じて価値規範を取り扱う論理を学ぶ	井上 彰	社会・社会思想史

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 政治哲学においては、自由・正義・デモクラシー（民主主義）といった価値規範をめぐって、様々な論争が展開されてきた。本演習では、そうした政治哲学で検討されてきた価値規範を中心に、（広い意味での）政治社会のあるべき姿についての根本的理解を深め、アカデミックな作法・技法、すなわち、批判的読解や自ら論証的議論を展開するための方法について学習する。 【学術分野】社会・社会思想史 【授業形態】文献批評型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	政治哲学、批判的読解、価値規範、論証
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31734	月 4	国際関係の事象を理論的・実証的に 考えてみる	吉本 郁	国際関係

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国際社会には、貿易・金融・環境・公衆衛生など、国境を越えた協力を必要とする様々な分野において、多くはフォーマルな国際機構の形態を伴う「国際制度」が存在する。国際関係論（国際政治学）では、このような国際制度への過度な期待や失望からは一旦距離をとって、国際的な協力を難しくする根本的な問題は何か、現実に存在する制度はそれらの問題に対しどのような解決法を提示しているか（あるいはなぜ失敗しているのか）を理論的に考察する。 本ゼミナールでは、初めに実際の研究者によって書かれたアカデミックな論文を読み、国際関係論のディシプリンに則った問いの立て方・理論構築と実証の在り方を理解し、その上で自分自身の研究を行い、論文を書いてもらう。 本ゼミナールの目的は、各自の関心に沿った学術文献を探し、読んで理解するとともに、自分なりの問いを立て、それに答えるためのリサーチ能力も養うことである。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	国際関係論、国際政治経済、国際機構、国際協力、国際制度
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31735	月 4	参与観察調査入門 ──見知らぬサークルを調査する	相田 豊	スペイン語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
文化人類学で用いられる基本的な調査方法のひとつに参与観察法というものがある。参与観察法とは、実際に人々が生活する現場に行き、そこにいる人々と一緒に生活したり、同じことをすることを通じて、その人たちが考えていることや感じていることについて知ろうとするものである。この参与観察法は、もともとは遠い異文化世界の人々のことを理解するために生み出されたものだが、現在では身近な社会集団の調査や、医療やアートの現場、企業や官公庁のマーケティングなど、様々な分野に応用・活用されている。
本授業では、大学内外のサークルで実際に各自が参与観察調査をすることを通じて、この方法の習得を目指す。改めて考えてみると、サークル活動や部活動というものは、一般に参加が強制されているものではなく、またそれに参加したからといってすぐさま経済的な利益が出るようなものではない。むしろ、サークル活動のせいで、単位を落としたり、お金をたくさん使ったり、活動の方針を巡って人間関係の葛藤を経験したりと、かえって生活上の「不利益」を被っているようにすら見える場面もある。しかし、それではなぜ人々は、それでもサークル活動や部活動をするのだろうか。本授業では、参加者各自に「普通に生活していたら自分は参加しない」と思われるような「見知らぬ」サークルを選んでもらい、そこで参与観察調査を実践してもらうことによって、上記のような問いに取り組んでもらう。こうした中で、私たちにとって「共に集い、同じことをする」ことの意味について問い直す中で、私たちが日常的に行っている集合的な文化活動に対して学術的に接近する方法論を涵養していくことを目指す。

【学術分野】文化人類学

【授業形態】フィールド型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　参与観察、文化人類学、サークル、文化、実践論

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31736	月 4	ディレンマとつきあう日本外交	中村 長史	教養教育高度化機構

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 武力のせいで平和がこわれることもある一方で、武力によって平和がつくられることもある。このすっきりとは割り切れないディレンマこそ、戦争と平和の学問として出発した国際政治学が抱え続けてきた最も大きな難問の一つといってよいだろう。そして、このようなディレンマは、国際政治の至るところにみつけることができる。 この授業では、国際政治学の一分野である「日本外交論」に焦点を当て、そこにみられるディレンマの分析を通して、国際政治の構造自体を理解することを目指す。具体的には、安全保障のディレンマと歴史認識、同盟のディレンマと日米同盟、人間の安全保障などを扱う。 履修者が学期末に到達することを期待される目標は、以下の 6 点である。 ①日本外交に関する専門的な文献の意義や問題点を指摘することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ②日本外交に関する資料や文献を自ら適切に収集することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ③懐疑的な読者の存在を常に意識して、予想される反論にあらかじめ応答することができる（簡易ディベートで訓練⇒小論文に活かす） ④日本外交のあらゆる政策に存在するディレンマについて、何が問題かを事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑤日本外交のあらゆる政策に存在するディレンマについて、それが生じる原因を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑥日本外交のあらゆる政策に存在するディレンマについて、それを管理したり解決したりする方法を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	日本外交、国際政治、ディレンマ、輪読、簡易ディベート、実証
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31765	水 4	言語とフィクションの哲学	斉藤 渉	ドイツ語

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「言語とフィクションの哲学」をテーマとします。このテーマを通じて、哲学的な思考方法と身近な事象との接点を考えることが目標となります。 現代の哲学においては、言語を考察・分析手段の中心とする方法が広く用いられています。言語（文や語ないし概念）についての論理的な分析を通じて、私たちが日々おこなっている思考の前提やプロセスを明確にし、そこから問題を取り出しながら、推論・検討を進めていくという方法です（歴史的経緯から「分析哲学」とか「英米系哲学」などと呼ばれることもあります）。 この方法は、哲学のさまざまな問題に応用されているものですが、この授業では、みなさんにとってもなじみのあるフィクション（映画、ドラマ、アニメ、演劇、小説、etc.）への応用をとりあげます。フィクションの考察に、言語が深く関わることは説明を要さないでしょう。 （1）具体的にどんな形でどういうことが分析・検討されるのか、基礎的な文献を受講者全員で読みながら学び、議論します。 （2）言語とフィクションに関する以下のトピックについてさらに詳しく検討します： ・フィクションは非フィクションとどのように区別されるか ・虚構の存在（キャラクター）とはどのような存在か ・フィクションへの「共感」はどのように考えられるか ・フィクションに関する「真理」はあるのか （3）これらの問題を踏まえて、受講者自身の関心にそった小論文を執筆してもらいます。 【学術分野】哲学・科学史 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 なお、この授業では、多くの英語文献を読むことが必要になります。どのような学問分野でも、英語の文献を読むことは避けて通れません。英語力そのものを評価対象にするものではありませんが、かなりの分量を読むことになるので、そのことを前提に受講を検討してください。
授業のキーワード	哲学、言語、言語哲学、英語、フィクション
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31766	水 4	地図から社会を考える	田中 雅大	人文地理学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 情報通信技術（ICT）と地理情報技術（GPS など）の発達・普及に伴い、多種多様なものを「地図で見せる」ことが容易になった。こうした地図による「可視化」は、複雑な物事をわかりやすくして伝えるという意義を有しているが、様々な社会的・倫理的問題を抱えている。 この授業では、地理学・地図学・地理情報科学の立場から、世の中に存在する様々な地図（新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイト、屋外看板などで目にする地図）について批判的に思考し、地図による可視化の社会性（より広く言えば、地図と社会の関係）を考える。具体的には、担当教員による地図批評に関する講義、受講生による研究テーマの設定、先行研究のレビュー、地図批評の実践（必要に応じてフィールドワーク）、それらの結果に関する報告・議論（ディスカッション）を行う。最終的にそれらを踏まえて小論文を作成してもらう。 【学術分野】人文地理学 【授業形態】ディシプリン型・フィールド型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	地図学、地理情報科学、地図批評、可視化
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31767	水 4	軍事研究をしよう！ ──歴史学のなかの軍事史研究	杉山 清彦	歴史学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 人類の来し方とこれからを考えるとき、決して無視することのできないウエイトを占めるものの一つが戦争である。にもかかわらず、戦争・軍事についての研究は、どの学問分野においても立ちおくれており、歴史学も例外ではなかった。そのようななか、近年ようやく歴史学の関心・手法から戦争や軍事を研究する「新しい軍事史」という潮流が、ヨーロッパ史を中心に西洋史・東洋史・日本史の各分野に広がりつつある。 このゼミナールでは、戦史学・戦術研究や政治学・国際関係論からではなく、文献史料に基づく歴史学の一分野としての軍事史を取り上げ、研究文献を講読・検討してその関心・動向・手法について学ぶ。それを通して、アカデミックルールと歴史学の手法を学ぶとともに軍事史ひいては歴史学について理解を深め、人類の過去と現在、そして未来を根拠をもって考える足場とすることをめざす。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	歴史学、新しい軍事史、戦争、軍隊、史料、先行研究
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31770	水 4	指標から社会を見る	岡田 晃枝	教養教育高度化機構

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 国民がどれくらい幸せなのかを示す幸福度、国内社会がどのくらい民主的なのかを示す民主化度、国民がどのくらい自分の将来を自由に選択できる社会かを示す人間開発指数等、社会の質的側面を表す指標に注目する。それらの指標がどのような要素から構成されているかを知り、同程度の国家間の制度や社会状況を比較するなど、学術的な議論ができるようになることを目指す。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型、フィールド型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	質的データ、量的データ、民主化度、幸福度、人間開発指数、政治的自由
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ２　１年 文一二(10,19,26-27)文三(7,9,13)

31737	火 1	スピノザ『エチカ』研究	國分 功一郎	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
17 世紀の哲学者スピノザの主著『エチカ』を、いくつかのテーマを通じて読んでいく。『エチカ』は難解な哲学書として知られている。実際、何の準備もなく冒頭から読み始めるならば、最後まで読み通すのはなかなか難しいであろう。そこでこのゼミではテーマごとに対応する箇所を取り上げた独自の読解プログラムを作り、それに基づいて『エチカ』の全体像に近づくことを試みる。身体、精神、意志、意識、善悪、原因、目的、徳などのテーマが取り上げられる予定である。最終的には、アントニオ・R・ダマシオによる脳神経科学へのスピノザ哲学の応用にまで話を進めたい。現代の哲学としてスピノザ哲学を経験することがこのゼミの最終的な目標である。
【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　【入力可】、スピノザ、倫理学、哲学、17 世紀

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　『エチカ』上下巻
著者（訳者）　スピノザ
出版社　岩波書店（岩波文庫）
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31738	火 1	ライフヒストリーから学ぶ植民地朝鮮	外村 大	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
1910～1945 年、日本の植民地支配下にあった朝鮮社会、そこで暮らした朝鮮人および日本人、地域外に移動した朝鮮人の歴史について学ぶ。その際、個人の伝記や回想、聞取りからの証言など、ライフヒストリーの史料を用いる。それをもとに、植民地支配が人びとにどのような影響を与えたのか、そこでの社会活動、人びとの生活、意識がどのようなものであったかを把握し、議論していく。
その際、関連するほかの史料を参照して、書かれていることの正確性や書かれていない事実、そのことの意味などについても把握してく。そうした作業を通じて、歴史学の初歩的な手法を習得する。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　朝鮮、韓国、植民地支配、民族、帝国主義

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31739	火 1	日常生活の「当たり前」を再考する	関谷 雄一	文化人類学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 フィールドで要領よく情報収集をし、オリジナリティーにとんだ「発見」を導き出すためには、一定のアカデミックスキルに従って「問い」を組み立て、論理的に「答え」てゆく必要がある。 この授業では、文化人類学というディシプリンにおいて育まれてきた「問い」の立て方を学びながら、自らの生活時間・空間をフィールドに見立て、情報収集を行い、オリジナルで、かつアカデミックに意味のある「問い」を立て、それに対する「答え」を導き出す作業を行ってゆく。 この授業で枢要な部分をなすフィールドワークは、日常生活の中で出会う場、空間、時間を援用しながら行ってみる。毎日乗る通学電車、好きな授業、部活動やサークル、アルバイト先、隣近所、SNS、行きつけのカフェ等が具体的には思い当たる。 こうした身近な生活時間・空間が、ちょっとしたアカデミックスキルや文化人類学的な視座を通して見つめなおすことにより、大きく「化ける」発見こそ、この授業を通して獲得してほしい事柄である。いまのところ、授業時間を使って皆でフィールドに出かけたり、特別な場を設けてフィールドワークをする予定はない。 自らの生活に埋め込まれている思わぬ「発見」は、地道なアカデミックスキルの獲得作業と先行研究分析により、かなり大きな確率で導かれることを理解してもらう。加えて、フィールドワークが、単なる量的な情報収集などではなく、人々との信頼関係や自らのフィールドへの持続的な働きかけにより、質的に大きく変わってゆくダイナミックな作業であることも理解してもらえるよう、個々の学生の継続的かつ積極的な参加を促したい。 【学術分野】文化人類学 【授業形態】ディシプリン型 ＆ フィールド型
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	文化人類学、フィールドワーク、相対化、学際的視点、フィールドノート、エスノグラフィー
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31741	火 1	ディレンマとつきあう平和構築	中村 長史	教養教育高度化機構

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 武力のせいで平和がこわれることもある一方で、武力によって平和がつくられることもある。このすっきりとは割り切れないディレンマこそ、戦争と平和の学問として出発した国際政治学が抱え続けてきた最も大きな難問の一つといってよいだろう。そして、このようなディレンマは、国際政治の至るところにみつけることができる。 この授業では、国際政治学の一分野である広義の「平和構築論」に焦点を当て、そこにみられるディレンマの分析を通して、国際政治の構造自体を理解することを目指す。具体的には、平和な状態の回復を目指す政策（人道的介入、対テロ武力行使、人道支援、仲介など）、維持を目指す政策（平和維持活動など）、定着を目指す政策（狭義の平和構築活動＝国家建設、国際刑事裁判、和解など）を扱う。 履修者が学期末に到達することを期待される目標は、以下の6点である。 ①平和構築に関する専門的な文献の意義や問題点を指摘することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ②平和構築に関する資料や文献を自ら適切に収集することができる（課題文献の輪読で訓練⇒小論文に活かす） ③懐疑的な読者の存在を常に意識して、予想される反論にあらかじめ応答することができる（簡易ディベートで訓練⇒小論文に活かす） ④平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、何が問題かを事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑤平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それが生じる原因を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 ⑥平和構築のあらゆる段階に存在するディレンマについて、それを管理したり解決したりする方法を事例を挙げて説明することができる（すべての回で訓練⇒小論文に活かす）。 【学術分野】国際関係 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	平和構築、国際政治、ディレンマ、輪読、簡易ディベート、実証
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31800	火 1	日本のアジア外交とその歴史を考える ー外交文書・外交関連記録を読み解くー	川島 真	国際関係

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
この授業では、「外交史」の方法でものを考える体験を通じて、メディアの報道ではなく、当事者である外交当局の残した／作成した文書を読み解き、それを吟味しながら、それに基づいて先行研究を踏まえながら、自分なりの考えをまとめていくことを目指す。対象は主に戦後日本のアジア外交に限定し、ネット上（アジア歴史資料センター）でみられるものや、外務省外交史料館で公開されている記録など、日本の外交文書・外交関連記録をもとに考えていくことを想定している。日本外交やその歴史、外交史研究、国際関係史、歴史学、歴史認識問題、日中関係、日台関係などに関心のある方にお勧め。
【学術分野】国際関係・歴史学
【授業形態】ディシプリン型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　外交史研究、国際関係史、日本のアジア外交、日中関係史、日台関係史、歴史認識問題
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31757	木 2	近代日本政治史・外交史研究入門	酒井 哲哉	国際関係

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
近代日本の政治史・外交史を社会科学的手法で読み解くための入門授業。基本文献の読み方、報告や討論の仕方、自由方向のテーマ設定、小論文の作成方法について学習する。自由報告の内容は各自の選択にゆだねるが、担当者の専門領域に近い国際関係・政治学・歴史学・近現代日本研究などが、とりあえずは念頭に置かれている。
【学術分野】国際関係
【授業形態】ディシプリン型、フィールド型、文献批評型

成績評価方法　出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する
授業のキーワード　近代日本、政治史、外交史、国際関係論、政治学、歴史学
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31771	木 2	リオタール『ポスト・モダンの条件』を読む	星野 太	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
この授業では、リオタールの『ポスト・モダンの条件』（小林康夫訳、水声社、1986 年）をテクストとして、哲学・思想の文献の読み方を学ぶ。本ゼミナールでは哲学書を一種の「山」に見立て、その「山登り」のための道具やノウハウを能うかぎり伝えることを試みたい。そのため、授業の序盤にあたる第 3 回から第 5 回にかけては、教員および TA がこの「山」に接近するための具体的な方策をなるべく丁寧に示したいと思う。
第 6 回目からは、各章ごとに担当者を決めて『ポスト・モダンの条件』を精読する。参加者には割り当てられた課題の遂行と、授業中の発表・討議への積極的な参加が求められる。以上を通じて学術的な調査方法の基礎を身につけることが、本授業の最大の目的である。

【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　哲学、思想、学問論、ポストモダン、エピステモロジー、リオタール

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	ポスト・モダンの条件：知・社会・言語ゲーム
著者（訳者）	ジャン＝フランソワ・リオタール（小林康夫訳）
出版社	水声社（書肆風の薔薇）
ISBN	978-4-7952-7177-7
その他	新本・古本どちらでも構わないので、必ず入手しておくこと

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31772	木 2	掌篇小説を読む	出口 智之	国文・漢文学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
短篇小説のうち、特に短い掌篇と呼ばれる作品を取上げ、小説テクスト分析の基本的な考え方および文学研究の基礎を実践的に学ぶ。扱う作品については、学生から希望があればそれを生かしつつ、教員からも候補を提示し、最終的には授業の中で決定する。現時点では芥川龍之介「蜜柑」、内田百閒「道連」、江國香織「デューク」、開高健「玉、砕ける」、梶井基次郎「路上」、川端康成「白馬」（『掌の小説』より）、北杜夫「羽蟻のいる丘」、小泉八雲「雪おんな」、国木田独歩「疲労」、志賀直哉「真鶴」、太宰治「満願」、中島敦「名人伝」、星新一「ボッコちゃん」、夢野久作「瓶詰の地獄」などを予定している。著名作からマイナーな作品まで様々な作品の読解を通して、これまでの国語とは異なる、創造的な読解の面白さを体感してほしい。
小説をアカデミックに読むとはどういうことか、中高の国語教育とはどう違うか、文学研究にはどのような楽しさがあり、それは教養としてどのような意味を持つのかなど、柔軟な発想力の涵養と研究方法の習得が本授業の第一目標である。

【学術分野】国文・漢文学
【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　短篇、掌編、明治文学、大正文学、昭和文学、戦後文学

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

書名	
著者（訳者）	
出版社	
ISBN	
その他	

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31773	木 2	21 世紀に考えるアジア太平洋戦争	岡田 泰平	歴史学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 本授業では、あらためてナショナリズムが強まっており、広く注目を集める戦争が展開されている 2020 年代から、大量死と大量破壊をもたらした 20 世紀中葉の戦争を見つめ直します。大きい政治史ではなく、むしろ下からの歴史や社会史や記憶の政治に注目します。そうすることにより、合理性や予測可能性ではなく、痛覚を学びます。また、記憶がどのように作用するのかについての学習の機会にもなります。総じて、今を生きるなかで個々人が何をなし得るのかを考えてもらえればと思います。期末課題は、講義題目に関わるものであれば、どのようなテーマでも構いません。およそ二つの大きな方向性があります。文献から期末課題を書くのでも良いですし、インタビュー調査も含めて親族について調べるのでも構いません。 【学術分野】歴史学 【授業形態】文献批評型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	アジア太平洋戦争、20 世紀の戦争と 21 世紀の戦争、総力戦、占領下の社会、平時と戦時、記憶の政治
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31775	木 2	計量分析の基礎と応用 Basic econometrics and its application	岡地 迪尚	経済・統計

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 経済事象を分析する際においては、複数の事象が単なる相関関係にあるのか、それとも因果関係にあるのか、ということを見出すのは最も重要な分析の一つである。この授業では、実際に学生がエクセルを用いて分析をしながら、我々が経済分析する際にどういう誤りを引き起こす可能性があり、それをどう克服していくべきかを小論文の執筆を通じて学んでいく。 【学術分野】経済・統計 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	経済、計量分析、因果と相関
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ３　１年 文一二(8,12,14,17)文三(10,12,14)

31742	火 3	上田秋成『雨月物語』を読む	高山 大毅	国文・漢文学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
『雨月物語』という作品の名称はどこかで聞いたことがあるのではないでしょうか。『雨月物語』は、江戸時代中期の学者である上田秋成の書いた、いわば「怪談小説集」です。広い意味での「古文」に含まれる文章で書かれていますが、高校の古典の知識があれば、注を頼りにして読むことは難しくありません（受験勉強で鍛えられた皆さんにとっては、むしろ「易しい」と感じられるでしょうし、現代語訳もあります)。九篇の物語のうちには、恋の妄念の話もあれば、友情や政治にまつわる話もあり、誰でも一篇は「面白い」と思える物語があるのではないかと思います。このように『雨月物語』は現代の読者にも「読み物」としてとっつきやすい一方で、作品自体は、日本・中国の様々な典籍の知識が融合することで展開した江戸時代の学問・文学の世界に深く根差しています。『雨月物語』は、間口が広く、かつ奥行きが深い傑作であるといえるでしょう。
授業では、『雨月物語』各編の解釈について報告してもらい、それを土台にして、どのような「読み」が可能で、そして妥当なのかについて議論していきます。小論文執筆の過程で、重厚な『雨月物語』研究の蓄積の一端に触れることになるでしょうが、先ずは古典作品を楽しく熟読玩味することに重きを置いています。報告と議論を通じて、「読む」という一見単純な営為の複雑さに自覚的になってもらうことを目標としています。
【学術分野】国文・漢文学

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　日本文学、江戸文学、国学、上田秋成

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　雨月物語
著者（訳者）　上田秋成（作)・長島弘明（校注）
出版社　岩波書店
ISBN　978-4003022030
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31743	火 3	哲学の古典を読む	山本 芳久	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む)、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
哲学の古典を原典に即しながら丁寧に読み解いていく力を身につけていくことを目標とします。具体的には、西洋を代表する哲学書の一つであるトマス・アクィナス(1225-1274)の『神学大全』を、日本語訳で講読します。テーマは「感情について」です。一人では読み解きにくい哲学書を読み解くための技法を、みなさんが毎日抱く具体的な「感情」という身近なテーマに即しながら説明していきます。
【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　哲学、倫理学、キリスト教、感情

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『世界は善に満ちている: トマス・アクィナス哲学講義』
著者（訳者）　山本芳久
出版社　新潮社
ISBN　978-4106038617
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31744	火 3	歴史研究と史資料 ――西洋史で学ぶアカデミック・スキル	後藤 はる美	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
この授業は、西洋史を専門領域とする担当教員のもと、同分野の素材を用いながら、大学生に必要なアカデミック・スキルを習得することを目標とする。歴史学は、過去の人々が残したさまざまな形態の記録（一次史料）を手がかりに、人々の営みを再構成し、批判的に理解しようとする学問である。いかにして学術的に意味のある問いを立て、その問いに史料にもとづき答えるかの最初歩を、近年の入門書の購読と、比較的扱いやすい一次史料を実際に読む課題をつうじて学ぶ。購読の素材は西洋近世～近代史を中心に、歴史分野の多くに共通するテーマのものから選定する。一連の活動をつうじて、文献の探索、レジュメの作成、口頭報告、小論文の作成といった大学生に不可欠なアカデミック・スキルを身に着けることをめざす。なお、受講人数によって一部の活動はグループワークが主体となるため、受講生がお互いに協力し、学び合おうとする姿勢が不可欠である。

【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型・文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　歴史学、ヨーロッパ、西洋史、学術論文、史料
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31745	火 3	「農と食」の未来を考える	中西 徹	経済・統計

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
「グロバール化」が進む中，地球規模での不平等や環境問題が深刻化しつつある。この授業では，この問題を「農と食」の観点から多面的に検討したい。
【学術分野】経済・統計，国際関係論，地域研究ほか
【授業形態】ディシプリン型

成績評価方法　出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　グローバル化、不平等、フードチェーン、慣行農業、有機農業、非感染性疾患
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31746	火 3	社会科学における仮説の設定とその検証	木宮 正史	法・政治

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 週の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】大学に入って社会科学を専攻するということがどういうことであるのか、そうした理解の手がかりをつかむことを目標とする。政治学という特定のディシプリンに限定するということではなく、広く社会科学全般の方法論に基づいて政治という現象を理解することを目的とする。そのうえで、以下の点について、各自が、授業における指導や学生相互の評価などを通して、自分の能力を切磋琢磨することを目標とする。 ① 課題の発見能力：自分のオリジナルな課題設定が求められる。「驚き」（自分の持っていた常識では測りきれない現実に直面する）とそれに対する社会科学的な認識（なぜ、そうした「驚くべき」現象が起こったのか。また、なぜ、従来の「常識」では、そうした新しい現象がおこることを予測し、理解することができなかったのか。） ② 仮説の提示能力：問題意識をいかに具体的な仮説に転換することができるか。問題意識を「仮説」という形で設定し直し、それを実証していくという作業に取り組む。仮説というのは、最も簡単な形では、2 つの変数（事象）を見つけて、その 2 つの変数が、どのような条件のもとで、どのような関係（因果関係や相関関係など）にあるのかを提示することである ③ 調査・資料収集能力：いかに「汗を流して」自分の考え方を確かなものにする地道な作業を根気よく行えるか。⑴先行研究にあたる。（作成した文献リストを活用し、重要なものを中心にして当該問題に関して、どのような議論が展開されているのか、どのような争点が存在するのかを中心に整理する。）⑵具体的な資料・データを集めて、それを検討する。仮説を実証するためには、どのような資料やデータが必要なのか。そして、そうした資料やデータはどこから入手するのか。また、そうした資料をどのように解釈するのか。 ④ 発表：いかに相手（特に自分とは意見を異にする人）を納得させられるか。レジュメの書き方や提示資料の選択を工夫することによって、いかに聴衆を飽きさせずに、興味関心を共有できるような発表を行うか。 ⑤ 論文の作成：自分の意見や構想を一方的に発表して、それで自己満足に浸るだけではだめである。自分の意見がなぜ正しいのか、もしくは説得力を持つのかを、具体的な証拠を提示することによって示す。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン・フィールド融合型
成績評価方法	出席、報告および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する
授業のキーワード	社会科学、ポストコロナの社会、仮説、実証もしくは反証、事例比較、相互評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31747	火 3	「研究計画申請書」を書く	和田 毅	社会・社会思想史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
この授業では、「研究計画申請書」というものを作成する作業を通じて、「問い」のたてかた、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、学術論文引用のルール、論述の組み立て方などを学ぶ。「研究計画申請書」とは、その名前からも推測できるように、各学生が何をどのように研究したいのかを記したものである。これから大学で学術生活を始める新入生にとって最適の課題であると思われる。
また、単なる計画書ではなく、その「申請書」である点が重要である。学生が「こういう研究をしたい」というアイデアを誰かに申請するというのである。自分の考えを他人に売り込むのだと考えればわかりやすい。他人に認めてもらうためには、独りよがりの計画書ではなく、学術ルールにのっとった形式で自分の考えをアピールし、「面白い」と思わせる必要がある。この意味では、高度な授業になると言えるかもしれない。将来、卒業論文を書く際に、大学院に進んで本格的な学究生活を送りたいと考えるようになった際に、また、社会に出て否応なく発表・プレゼンテーションをこなす必要が生じた際に、この授業で習得したスキルが役に立てば理想である。
他人に売り込むと述べたが、「他人」とは、奨学金を提供する団体であるかもしれないし、留学生を募集する組織かもしれない。また、将来卒論を指導する教官、大学院での面接試験官、海外の大学の入学審査機関などかもしれない。申請先はどこであれ、受講生たちの将来に役に立つような授業にしたい。
【学術分野】社会学・社会科学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　研究計画申請書、社会学、問い、理論、研究方法、意義
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31776	木 3	関東大震災 100 年 ー災害地理学の多様性と可能性を考える	小田 隆史	人文地理学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
地理学は、自然環境と人間社会との相互の関係性を古くから問うてきた学問であり、自然災害の発生機序や復興過程の理解、次なる災害への備えにも役立つ知見を蓄積してきた。また、地理情報システム（GIS）などの技術的発展により、地理空間情報の防災への活用も進んでいる。2022 年度からは高等学校「地理総合」が必履修化され、防災と GIS はそのカリキュラムの柱を成す。
関東大震災から 100 年目にあたる今年度の本授業では、特に、大都市の災害を扱った地理学及び関連分野からその研究の系譜や手法を学ぶ。それを通じて地理学、なかでも担当教員の専門である人文地理学が、災害からの復興や防災力向上に果たしうる役割について考える。具体的には、教員による導入講義の後、研究テーマの設定、先行研究のレビュー、演習や必要に応じてフィールドワーク、得られた知見の共有と討議を行う。最終的にそれらを踏まえて、各自が小論文を作成する。
【学術分野】人文地理学
【授業形態】ディシプリン型／フィールド型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　災害、復興、地理情報システム、リスク・コミュニケーション、関東大震災、東日本大震災
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31777	木 3	方法としての聞き書き —個人の経験を歴史として書く—	塚原 伸治	歴史学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、それぞれの受講者の祖父母など、身近な人を対象とした聞き書きをおこない記述するというもっともシンプルな形の歴史研究を体験する。 担当者が専門とする民俗学は、「あるく・みる・きく」、すなわち、自らの身体と五感を使ってさまざまな土地に暮らす人びとの生活を理解しようとする方法を、学問の中に位置づけようとしてきた。本ゼミナールでは特に「きく」を中心にすえて、個人の経験を具体的に記述するとともに、歴史的・社会的なひろがりにおいてとらえることを目指す。 最終レポートに向けては、以下の 4 つを求めたい。①その人の具体的な経験にこだわり、詳細に記述すること。②それをより一般的・普遍的な文脈にそって解釈するために、個人の経験の外側との関係を意識すること。③一般的・普遍的な文脈にそって解釈するのにあたって、先行研究との対話をすること。④読者を想定し、読ませるストーリーと文体で書くこと。 【学術分野】民俗学／歴史学／文化人類学 【授業形態】フィールド型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	聞き書き、歴史、民俗学、ライフヒストリー
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31779	木 3	最適な「学び」を考える	中澤 明子	所属なし

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
「学び」は、日常生活や学校において誰もが経験する。それゆえ誰もが「学び」に関する自分なりの考えや方略を持っている。一方、「学び」を対象とした研究では、そうした経験的な知ではなく、実験や調査で得たデータに基づいて知見が生み出されている。
「学び」を対象とする研究分野の一つに教育工学がある。教育工学では、最適な「学び」を目指して、人間の「学び」に関する問題に対する解決方法を考え、実行・評価が行われる。そして得られた知見を教育実践に活用し、最適な「学び」の実現を目指す。
この授業では、最適な「学び」の実践に資する「問い」を先行研究を踏まえて設定し、「問い」に答えるための研究計画を立て、研究を実施してデータを取得・分析し、学術論文の形式に則って小論文として執筆することを目的とする。「学び」は、誰もが経験しているがゆえ、「問い」に繋がる「問いのきっかけ」を誰もが持っている。自らの関心、「問いのきっかけ」を、先行研究調査や他者との議論を踏まえて学術的な「問い」に発展させ、「問い」への回答を自分たちなりに導き出すことを目指す。
以上を踏まえ、この授業では下記の授業目標を設定する。
・「学び」に関する学術論文の形式を述べられる
・自らの「問い」の形成に必要な文献を収集できる
・先行研究の問題点や課題を指摘できる
・「学び」に関する自らの「問い」を設定できる
・「問い」に答えるための研究計画を立てられる
・研究計画に沿ってデータを取得し分析できる
・分析結果を適切に解釈して、「問い」に対する結論を述べられる
・「問い」や研究計画、結果・考察を学術論文の形式に従って小論文として執筆できる
・他者の「問い」や研究計画、小論文の改善点を指摘できる
【学術分野】心理・教育学
【授業形態】ディシプリン型 フィールド型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　学習、教育工学、教育実践、データ分析

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31780	木 3	「科学」と「非科学」の境界を旅する	細川 瑠璃	ロシア語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
この授業では、古今東西の宇宙論を題材とし、「科学」とされるものと「非科学」とされるものの境界を、批判精神に基づき・かつその豊かさを味わいつつ旅する手法を学ぶ。
具体的には、ケプラーの法則で知られる天文学者ヨハネス・ケプラーの著書『宇宙の神秘』の日本語訳を全員で読み解くことを主軸とする。授業では毎回担当者を割り当て、章ごとに内容をまとめ、関連する思想や文献についても報告してもらう。
なお、受講するにあたって理系の知識の有無は問わないが、分野にとらわれない好奇心を携えてきてほしい。
【学術分野】哲学・科学史
【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　ケプラー、宇宙、天文学、科学史、思想史、キリスト教

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ４　１年 文一二(1-3,5,11,15-16,22)文三(1-3,11,15)

31740	火 4	民主主義と権威主義の境界を探る --- 政治学からのアプローチ	伊藤 武	法・政治

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 本ゼミナールでは、民主主義と権威主義の境界はどのように変わりつつあるのかを考え、その問題を材料に政治学など社会科学的研究・論文執筆の力を身につけることを目的としています。 現代の民主主義国では、新型コロナ感染や経済危機など困難な課題に対応するために、指導者への権力を強め、自由や権利にも一定の制約をかけるべきかが課題になっています。さらには、国民の意見を気にせず果断な決定を行える独裁の方が好ましいのではという問題提起もなされています。 これらの疑問や課題に答えるには、民主主義はいかにあるべきかという規範的議論が大事ですが、民主主義がどのようない問題に直面し、対応しているのかを解明する実証的な考察が不可欠です。本ゼミナールは、主に政治学のアプローチから、現代世界で変わりつつある民主主義と権威主義の境界をめぐる問題を考えていきます。現代の民主主義国における選挙、ジェンダーや民族の格差、戦時体制など歴史的な先例との比較、心理学や経済学・社会学など隣接分野など多様な関心を持つ方を歓迎します。 ゼミでは、民主主義の変化をめぐる議論だけでなく、研究スキルの習得も重視します。このような問題を考えるときに不可欠な文献収集と講読、有意義な研究課題の発見と仮説設定の仕方、効果的なプレゼンの方法、説得力のある論文作成法などを学びます。皆さんと面談や添削など丁寧にフィードバックを行いながら、どの分野に進んでも必要な研究能力を身に着けていきます。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型 文献批評型
成績評価方法	事前課題、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断します。 ・事前課題（コメント等）の提出：20% ・研究発表（構想や論文概要など）：30% ・授業への寄与（討論への参加等）：20% ・最終レポート：30%
授業のキーワード	【入力可】、民主主義、権威主義、ポピュリズム、テクノクラシー、比較政治
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他　　教材の論文などは、できる限り PDF で配布します。
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31748	火 4	もう使わない高校の国語の教科書を、もう一度だけ見直してみるところから始めよう	谷口 洋	国文・漢文学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 入学おめでとう。新たな学びに胸ふくらませているときに、もうおさらばしたはずの国語の教科書（それも現国や古文ではなく漢文！）だなんて、なんと無粋なと思うだろうが、それは話のきっかけにすぎず、別に漢文の授業をするわけではないから安心してほしい。 高校には国語という教科があり、大学には文学部というところがある。両者はなんとなく似ているようであり、文学部（あるいは教養学部の関連領域）には、高校で国語が好きだったという理由で進学する人も多いようだ。結構である。ただ、大学まで来て高校と同じことをするのも芸のない話だし、一方で進学してから「思ってたのと違う」というようなことは、できれば避けたい。 教科書には、特に古典の場合は丁寧に注がついていて、漢文では返り点や送り仮名によって読み方が指示されている。しかしもとの古典にそんなものはないのであって、後期課程に進学すれば、白文をすらすらと読む先輩が神に見えたりするが、神ならぬ人の作った言語であって、読解の技は別の機会に伝授しよう。 どの教科でもそうだが、教科書はオリジナルの資料ではなく、編者が自らの見識によって、学習者のために作り直したものなのである。従って、同じ作品でも教科書によって異なる場合は時にある。それはどれかが正しく他は間違いというような単純なものではなく、学界においても見解が分かれているところなのである。 そうとわかれば、教科書とはもうおさらばして、それぞれの説を主張する論文を読んでみよう。どの説が正しいかを決めるのは、直接の目標ではない。論文と感想文はどう違うのか、文学を研究するとはどういうことなのかといったことを考えるのが、第一の目標である。そして、そこから得たものをふまえて自ら資料を集めて考え—それは既に研究に一歩足を踏み入れたことになる—文章にまとめることが、第二の目標になる。さらに、それを受講者相互で批評することを行いたい。教員に教えられるのでなく、自ら学ぶこと、相互に学び合うことを、態度として身につけてほしいと願うからで、それが第三の、究極の目標である。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】ディシプリン型と文献批評型の折衷。学生各自のテーマの立て方によって、一つのテキストにがっつり取り組むことも、ひろく文学、言語、国語教育などの諸問題に重点を置いて考えることも可能である。
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	文学、言語、国語、漢文、教育
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31750	火 4	「他者」について考える	津田 浩司	文化人類学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 「他者」とは何か、「他者」とは誰か。この問いには答えがない。いつ何時でも文脈次第で、様々な差異や弁別基準を根拠にいかなる線引きも可能だからである。時には、親密であったはずの家族や親友も「他者」となり得るし、己の身体も過去の自分でさえも「他者」となる。 このように考えると、「他者」について考えるということは、「異文化コミュニケーション」などといった際にイメージされるような表面的なスキルの問題では決してないことが分かる。また、ある集団、ないしある属性や特徴を持つグループについて辞書的に調べ説明できることと、その対象を理解したこととは、決してイコールでもない。むしろ前者は「他者」を固定化･隔絶化することである。 それゆえ、「他者」について考えるというテーマ自体、矛盾に満ちている。いったん何らかの差異･属性でもってある対象を恣意的に「他者化」しておきながら、それについて思考・理解（自己化）しようというのだから。しかし、この矛盾を意識しながら、既成概念を崩しては別の線引きをし、それをまた別の文脈に置いては否定する、といったたゆまぬ往還を繰り返しつつもがくことは、決して非生産的な営みではない。 この授業では、（1）身の回りの「他者」をめぐってどのような文献でどのようなことが語られているかを整理することを通じて、また必要に応じて（2）履修者自らが「他者」のいる場に赴き見聞きすることを通じて、各自その「他者」をめぐって考えに考え抜いたプロセスを披露し、履修者全員で討議する。 なお、文献を渉猟しその中で溺れ思考することも、フィールドワークのひとつのあり方であることを踏まえ、履修者には必ずしも実地での調査を強いるものではない。 【学術分野】文化人類学 【授業形態】フィールド型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	他者（化）、自己、差異、フィールドワーク
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31751	火 4	現代史とは何か？	中野 耕太郎	歴史学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代史とはどのような学問だろうか？それは古代史や近世史とはどこが違うのだろうか？また、それはいつから始まるのだろうか？こうした問いを糸口に、具体的にはアメリカ合衆国史を題材として、現在の私たちと過去の人々の営みをつなぐ現代史の研究手法を学ぶ。まず、今日のアメリカを考える際に特に重要な問題は何かを討論し、そこで浮かび上がった諸問題を過去に遡って調べていく。その際、先人たちはその問題をどう考えてきたか（先行研究）を整理し、また主要な史料（第一次文献）を実際に読んでみる。そうすることで、独自の主張を説得的に作り上げていくのが目標である。 【学術分野】歴史学 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	【入力可】、現代史、アメリカ史、戦争、ジェンダー
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31752	火 4		河合 玲一郎	経済・統計

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 経済、経営、金融、保険といった社会科学分野において、非確定的な現象を整合的に理解するため、たびたび確率統計モデルが用いられる。この授業では、講義・輪読・演習問題を通して確率統計の基礎事項を学び、数値実験・プレゼンテーションを通して特定の結論を導く技能を身に着けることを目指す。 【学術分野】経済・統計 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。 高校で微分積分を履修していることを前提として授業を実施する。 成績評価の際に微分積分未履修者への配慮は行わない。 微分積分未履修でこの授業を抽選登録する場合は、少人数授業開始までに自主的に既修者のレベルまで勉強しておくこと。 This course proceeds on the basis of basic calculus. Strictly no special consideration will be given to those
授業のキーワード	確率モデル、統計科学、数値実験、個人発表
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31781	金 1	「個」をめぐる思想に挑む	細川 瑠璃	ロシア語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
この授業では、20 世紀初頭のロシアの思想を題材とし、「個」とは何か、人間とは何か、存在とは何か、といった根本的な問いに挑む。
ロシアというと、帝政時代に長らく皇帝が絶大な権力を誇り、その後もソヴィエト時代から現在に至るまで権力者による独裁的な体制が続き、個々人の権利や、「個」という概念の重視からは程遠い国家・社会であるというイメージを持っている人が大半だろう。しかし実際には、そのような社会であるからこそ、それに抵抗するような思想も数多く生まれてきた。とりわけ、哲学や神学の領域から、「個」としての存在そのものを問い直し、提起する動きが盛んになったのが 19 世紀末から 20 世紀初頭である。興味深いことに、それらの議論は、文学や数学、芸術論の中で展開されることも多かった。そこには、検閲を避けるという現実的な理由も十分にあったのだが、現在の我々からすると、それらの議論は時に予想もしなかったような切り口やアプローチの仕方を教えてくれる。
授業では、20 世紀初頭のロシアの文献をトピックごとに読み解いていく（トピックについては授業計画欄を参照のこと）。毎回担当者を割り当て、担当者による問題提起を中心としながら、全員でその意義や問題点を議論する。なお、文献は日本語訳を使用するため、ロシア語の知識は不要である。

【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】ディシプリン型・文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　個、全体主義、社会思想、ロシア思想、思想史、科学史
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31782	金 1	政治における因果推論	鹿毛 利枝子	法・政治

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
政治学における因果推論の考え方と、その実践的な適用の仕方を学ぶ。

【学術分野】法・政治
【授業形態】ディシプリン型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　【入力可】、政治学、因果関係
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　原因を推論する
著者（訳者）　久米郁男
出版社　有斐閣
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31783	金 1	歌とは何か――『古事記』を通して考える	徳盛 誠	所属なし

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
歌は私たちのごく身近に溢れている。私たち自身でもしばしば溢れさせている。何のために歌はあるのか。私たちにとってそれはどのような意味を持っているのか――。この問題を考える方法はさまざまにあるだろう。本ゼミナールでは、八世紀に成立した『古事記』を読むことを通じてこの問題に迫りたい。歴史書のはずの『古事記』にも歌が溢れている。さまざまなかたちの歌がさまざまな場面で歌われている。歌とそれを生み出した場面との関係、歌のしくみなどを読み、考えることを基にして、その他の詩や歌、歌謡曲なども必要に応じて参照しながら、歌とは何なのかを参加者全員で考えたい。
この活動を通じて「共通目標」にかかげたアカデミックスキルの習得も可能になると考える。

【学術分野】歴史学 国文・漢文学 文化人類学 心理・教育学

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　【入力可】、歌、詩歌、歌謡曲、古事記

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　古事記
著者（訳者）　倉野憲司（校注）
出版社　岩波書店
ISBN
その他　岩波文庫

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31784	金 1	国際政治と国内政治の連関	九島 佳織	国際関係

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
現代社会において、内戦やクーデタ、民主主義の後退、ポピュリズムの台頭といった様々な問題が発生している。このような国内の事象は、国際政治の影響を受けていることが少なくない。同様に、国家間紛争や国際制度にも国内政治の変化が影響を及ぼすことがある。この授業ではこういった国際政治と国内政治の連関に注目しながら、政治現象について理論的に考察する。
文献講読については、国内の学術雑誌に掲載された日本語論文の中から、国際政治と国内政治を関連付けて論じているものを輪読する。アカデミックな論文の講読を通じて、これらの事象に関わる事例を知るだけでなく、学術論文における「問い」の立て方や「理論」の組み立て方、実証のあり方といったリサーチデザインについて理解する。その上で、グループリサーチでは自分たちでリサーチデザインを立て、授業での報告を経て最終的に小論文としてまとめてもらう。小論文は、基本的にグループリサーチをもとに個人で作成することになる。この授業では基礎的なアカデミックスキルを身につけると共に、論理的に思考する能力を養うことを目標とする。
【学術分野】 国際関係
【授業形態】 ディシプリン型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　国際関係論、国際政治、比較政治、国内政治

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31785	金 1	紛争と介入をめぐる諸問題	岡田 晃枝	教養教育高度化機構

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 現代の国際社会が直面するさまざまな問題のうち、紛争と介入をめぐる諸議論をとり上げ、文献を読み、批判的に検討しながら、学術的な論文の書き方と議論のあり方を学ぶ。主観的・直感的に「正邪」を議論するのではなく、事実関係を整理し、既存の議論をふまえた上で、「自分の」議論を説得的に展開できるようになることがこの授業の目標である。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	紛争、軍事介入、人道的介入、和解、保護する責任、平和構築
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ５　１年 文一二(13,21,24-25)文三(5,8,20)

31749	水 2	動物のコミュニケーションと社会の観察入門	香田 啓貴	心理・教育学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
実験心理学は行動を客観的に測定することで、心の働きをしる学問である。ヒトが対象ならば、心の状態を言葉によって回答を得て記録することも可能だが、言葉を話さぬ動物の心を探るには、動物に語らせてやらねばならない。どうしたら良いだろうか。文献購読と駒場キャンパスにいる動物たちのデータ収集を実施体験して、客観的に動物のコミュニケーションを記録し、動物行動から様々な問題を調べる研究活動に触れてみる。心理学でありながら、動物行動学であったり、生態学、あるいは情報科学の手法も行き来するような課題に触れてみる。
【学術分野】心理・教育学

【授業形態】フィールド型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　動物行動観察、行動記録、行動分析、行動比較
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31755	水 2	古典をいかに読むのか ―井筒俊彦の読み方を手がかりに	三村 太郎	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
大学での学習では、文献を批判的に読み解いたうえで問いを立てることがたえず求められる。とはいえ、文献の批判的な読解はみなさんにとってなじみのないものかもしれない。そこで本授業では、様々な文明圏において残されてきた古典を精密に読み解いてきた先人たちの読み方を学ぶことで、文献の批判的な読解の手がかりを得ることを目指す。具体的には、稀代の古典の読み手である井筒俊彦がイスラーム神学の根幹にかかわる「信」とは何かを明らかにしようと神学者たちの議論を精密に読み解いた『イスラーム神学における信の構造』を読みたい。

【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　井筒俊彦、イスラーム、古典読解
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31756	水 2		高見 典和	経済・統計

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
マーティン・ウルフやダイアン・コイルのような著名な経済ジャーナリストの英文記事を読解し，議論します。英文読解の技術および内容の解説をおこない，現在の世界の政治経済をどのようにとらえるべきかを考えます。

【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学

【授業形態】文献批評型

成績評価方法
出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード
【入力可】

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31758	水 2	嵇康『声無哀楽論』から考える音楽思想	田中 有紀	東洋文化研究所

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
この授業では、中国の三国時代の魏の思想家である嵇康『声無哀楽論』を読んだ上で、中国の音楽に関する様々なテーマを哲学として捉えなおし、音楽とは何かを考えていく。伝統的な儒学の音楽論では、音楽は人間のあり方に大きな影響を及ぼし、人間のあり方もまた音楽に大きな影響を及ぼすと考えられていた。良い音楽は良い人間・良い社会を作り、良い人間の演奏する音楽や良い社会で受け入れられている音楽は良い音楽であるとみなされていたのである。それに対し、竹林の七賢である嵇康は、このような相関を認めず、『声無哀楽論』を書き、音楽には単純か複雑か、調和しているかそうでないかの違いしかなく、人間はそれに反応しているだけだとし、音楽そのものは人間の感情を表現できないと考えた。この授業では『声無哀楽論』を輪読し、中国の音楽思想の基礎知識を得た上で、自身の経験や様々な音楽・音楽思想と比較しながら小論文を作成する。
【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】文献批評型

成績評価方法
出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード
中国音楽、嵇康、声無哀楽論、音楽美学、中国哲学

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31759	水 2	「世界観」を問い直す	細川 瑠璃	ロシア語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
この授業では、普段何気なく使っている「世界観」という言葉および概念を再検討し、「世界観」というものがどのようにして生み出されるのか、「世界」と「世界観」はどのような関係にあるのか、言説や表現によって「世界観」が生み出されて「しまう」ことの責任をどのように引き受けていくべきなのか、…といった問いに挑んでみたい。
授業では、こうした問いに向き合うための比較的わかりやすい例として、美術における「世界観」の表出の最たるものとしての遠近法を扱い、遠近法について論じた二つの文献（日本語訳）を講読する（授業計画欄参照のこと）。毎回担当者を割り当て、章ごとに内容を報告してもらう。講読する二つの文献は美術を主題としてはいるが、その射程には哲学・神学から数学や科学まで含まれている。学問分野の枠組みにとらわれることなく、受講者それぞれの多様な関心や視点に基づいて豊かな議論を行っていきたい。

【学術分野】哲学・科学史

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　遠近法、美術、非ユークリッド幾何学、ロシア思想、20 世紀の思想、科学史
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31786	金 3	ネルーの自叙伝からみるインドと世界	井坂 理穂	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
この授業では、ガーンディーとともにインド独立運動を率い、独立後には初代首相の座に就いたジャワーハルラール・ネルー（1889-1964）の自叙伝を読む。文献の内容について考察するとともに、同時代やその後のインドおよび世界の政治・経済・社会にかかわるさまざまな問いをたて、それらの問いに対する答えを出すためにどのような調査をすればよいのかを検討する。
【学術分野】歴史学

【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　歴史学、インド、アジア、植民地支配、史料、世界史
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31787	金 3	文化記号論入門	廣野 喜幸	哲学・科学史

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 パース（Charles Sanders Peirce 1839-1914）とソシュール（Ferdinand de Saussure 1857-1913）によって構想を示された一般記号学/一般記号論なる学問は、その後、発展し、バルト（Roland Barthes 1915-1980）たちによって、ファッションなどの文化現象を、「記号とそれが指し示すもの」という枠組みのもとで解釈する文化記号論を生みだした。石田英敬(2020)『記号論講義――日常生活批判のためのレッスン』 (ちくま学芸文庫）を導きの糸として、文化記号論の発想法を身につけた後に、身の回りの文化現象を文化記号論で解釈できるようにしていく。 【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学 【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	記号論、ソシュール、パース
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31788	金 3	無味乾燥な暗記を辞め、興味深い仮説を立ててしゃきっと検証しよう	鍾 非	経済・統計

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
学者にはひらめきあり。ぼく、日頃、ひらめいたアイデア（基礎）を披露しておく。「日本で豆腐販売量（1 人当たり）が一番多い都道府県はどこ？」という純粋な「物知りクイズ」（or 蘊蓄）には、私は欠伸を連発しがちだ。正直、私の蘊蓄（≈常識+非常識）量は「物知りおばあちゃん」を遥かに下回っている。でも、「日本で大豆の栽培面積が大きくて水も綺麗な都道府県はどこ？」という少し意地悪なクイズも聞かれると、（正答が分からなくても）別人のように興味津々である。大豆と水（因）が、豆腐（果）を決める重要な要素であり、二つのクイズを結びつける因果関係（関連性）を考えると興味深いだからだ。したがって、私は、物知りおばあちゃんのように蘊蓄を傾けるのではなく、（単独だと）得てして無味乾燥な蘊蓄の背後に潜んでいる因果関係を究明する（上述の例では、「日本で大豆の栽培面積が大きく水が綺麗な都道府県における豆腐販売量（1 人当たり）も多い」という仮説を立てて検証する）ことこそ、物事を的確に理解・判断する際の決め手だと固く信じている。物知りおばあちゃんが知っているか否かは知らないものの、因果関係（の強さ）を語る数学の入門（統計学）は、普通の（「加減乗除」ができ、必要最低限の思考力がある）子供でも取っ付き易い。老婆心だが、「共分散を始めとする因果関係の強さ」「相関係数の絶対値の大きさ」「最小二乗法」の求め方すらちんぷんかんぷんだと、将来、論文は書けそうもなく、せいぜい「豆腐販売量が日本一の都道府県名をわけもわからず暗記できるだろう。しかし、（物知りおばあちゃんのように）加齢とともに必ずや落ちる記憶力をずっと自慢しても、仕方あるまい(AI を除く)。そこで、言わずと知れた、表計算ソフトの「横綱」・Excel で「関数」という機能（統計を含む）に着目し、データを示す散布図の作成を皮切りに、回帰線の切片と傾き（最小二乗法）の求め方を明示（備考：ソフトの杓子定規な操作より、IQ 指数に直結する計算方法を遥かに重視）。ソフト≠学問。その意味で、表計算ソフトの「大関」・ロータス 123 も当然 OK。上述を踏まえて言えば、ソフトはつまらぬ蘊蓄（でも有用）だ。数の間の因果関係をとことん（＝凡人が想像も付かぬほど徹底的に）解明する数学こそ、究極の学問）。「政治」「社会」「経済」「法律」「哲学」（社会科学）の全貌やその一部を浮き彫りにするための「プロの料理人」（or サッカー選手）としての技の基本（サッカーで言えば、lifting。）を、しっかり身に付けさせたい。講義の醍醐味を表せるクイズを思い付き（＝稲妻のように閃いて）で出題しよう（偏差値 19）：「よちよち歩きの一歳児」とかけて、「はじめ」ととく。その心は？答え：第一歩。

【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学

【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　基礎の基礎の基礎

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31789	金 3	アメリカ合衆国を対象とする社会科学分析	平松 彩子	法・政治

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
アメリカ合衆国では、日本に暮らす私たちの目から見ればなぜ？と首を傾げたくなる政治や社会の諸現象が起きている。最近の例で言えば、裁判所の判決により一部の州で人工妊娠中絶が違法化されたことや、大学の学費の公的ローンを中低所得者層に対して一定額取り消そうと政権が試みたこと、また刑務所の収監率が世界一高いことなどを、ニュースの報道で耳にしたことがあるかもしれない。こういった事象は、なぜ、どのような原因により起きているのだろうか、またいかなる効果や帰結を社会にもたらしているだろうか？本授業ではアメリカの政治と社会に関する事象について、なぜ起きるのか、あるいは他の国や地域で起きている似た事象と比べてどのような差異や共通点があるのかを、社会科学的に説明し分析することを試みる。また文献の講読、ゼミ内での口頭報告や討論、小論文の執筆を通じて、大学で必要とされる学問上の色々なマナーを身につける。
【学術分野】法・政治
【授業形態】ディシプリン型

成績評価方法
出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
履修者は報告を二度担当する。一回目は課題文献についてのグループ報告、二回目は各自の小論文についての単独中間報告。
小論文課題に関する詳細な指示は授業内で与える。

授業のキーワード
社会科学分析、アメリカ合衆国の社会と政治、因果推論、事例研究

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　原因を推論する -- 政治分析方法論のすゝめ
著者（訳者）　久米郁夫
出版社　有斐閣
ISBN　978-4641149076
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31790	金 3	東アジアにおける読書と読書論	陳 捷	文学部

授業の目標・概要
【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
皆さんは今までの人生のなかで、かなりの時間を読書に使ってきたわけですが、近代以前の社会において、読書とはどのようなものだったのでしょうか。この授業では、東アジアにおける書籍史の知識を紹介しながら、近代以前の教養や、読書についての言説を解読し、現代の東西の研究者による、これらの問題に関する研究論著を参考にしつつ、各自の調査とグループ学習によってそれらの内容を分析し、研究発表や小論文の書き方を勉強します。授業を通して、基本文献の読解や先行研究の探し方、さらには研究テーマの見つけ方を学び、先行研究を踏まえた上での、文献資料に基づく実証的な研究方法を体験していただく。東アジアの歴史や文化などに関心のある人はもちろんのこと、広く読書論に関心のある皆さんの受講も歓迎したい。
【学術分野】歴史学・思想史・書籍史・漢文学
【授業形態】ディシプリン型・文献批評型

成績評価方法
出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード
【入力可】、東アジア、教養、教育、読書論、書籍史

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ６　１年 文一二(9,18,20,23)文三(6,17,19)

時間割コード	曜限	講義題目	担当教員	所属
31754	水 3	認知科学としての言語学 ／Linguistics as Cognitive Science	大関 洋平	英語

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 本演習では、認知科学としての言語学を学際的な観点から学びます。具体的には、認知科学としての言語学の成立背景を確認した後で、言語学および心理学・脳科学・人類学・生物学・人工知能など隣接分野において繰り広げられている論争を検討します。また、言語学を閉じた学問分野としてでは無く、隣接分野と共に認知科学を構成する一分野として捉える姿勢を養う方針とします。 【学術分野】言語学・認知科学 【授業形態】ディシプリン型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	言語学、心理学、脳科学、人類学、生物学、人工知能
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31760	水 3	中国古典詩（漢詩）を読み解く	田口 一郎	国文・漢文学

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 陶淵明・李白・杜甫などの詩人・作品について，感想文や引用の羅列でない，学術的な（小）論文を書くことを目標とします。資料の検索方法や適切な引用方法，工具書の使用方法，論理的な読解方法など，古典文学研究に必要なスキルを学んでいきます。中国語を履修（予定）していなくてもかまいません。 【学術分野】国文・漢文学 【授業形態】文献批評型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	漢詩、漢文、漢文学、古典、翻訳
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31761	水 3	北一輝『国体論及び純正社会主義』（1906 年）を読んで理解し議論し書く。	岡本 拓司	哲学・科学史

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
人文社会系の学問では、まとまった分量の文章を読んで理解することがあらゆる研究の基礎となる。研究の過程では、平易とは言えない文章に出会うこともある。文章そのものが難解である場合もあり、時代背景や社会状況を理解しなければ、作成者の意図が把握できない場合もある。この演習では、人文社会（および自然科学）の広い領域にわたって議論を展開している北一輝『国体論及び純正社旗主義』を題材にし、全体を通して読むことによって、歴史的文献を理解するとはどのようなことであるのか修得し、さらにそれをもとに自身の主張を組み立てていく方法について学ぶことを目的とする。

【学術分野】法・政治 経済・統計 社会・社会思想史 国際関係 歴史学 国文・漢文学 文化人類学 哲学・科学史 心理・教育学 人文地理学

【授業形態】ディシプリン型 フィールド型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　大日本帝国憲法、天皇制、進化論、恋愛

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　北一輝思想集成（2005 年）
著者（訳者）　北一輝
出版社　書肆心水
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31763	水 3	展覧会の未来を考える	永井 久美子	国文・漢文学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
2020 年以降、コロナ禍で一時休館を余儀なくされた美術館の多くが、バーチャルツアーの公開やギャラリートークの配信などを実施した。これらの取り組みはオフライン展示の代替措置としての意味が大きかったが、デジタルツールやインターネットを活用した新たな展示の可能性を提示するものでもあった。展覧会のあり方について、現状と課題、今後のあるべき形などを、関心のある例を各自自由に選択し、議論してもらう。
主な分析対象は一人一件を原則とするが、問題を論じるうえで必要な場合は、複数の展示の比較対照を行ってもよい。いわゆるファインアートを取り扱う美術館のほか、博物館、文学館、歴史館など、多様な展示内容から関心のあるテーマを選んでほしい。
授業形態は、人文学全般に通じる小論文の書き方を学ぶディシプリン型であると同時に、特に展示解説の内容を論じる場合には文献批評型でもあり、現実もしくはサイバー空間の展示会場を訪れるフィールド型でもある。課題を互いに発表することを通して、プレゼンテーションおよび小論文の完成度を高めてゆく。
【学術分野】国文・漢文学（ただし、広く展示に関わる内容を対象とする）
【授業形態】ディシプリン型・フィールド型・文献批評型の複合形態

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　美術館、展覧会、オンライン展示

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31764	水 3	寛容の意義と可能性	両角 吉晃	法・政治

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
探求するに値する「問い」を自ら見つける能力を身につけるため、①まずは、すでに問われている重要な「問い」としてどのようなものがあり、また、それに対していかなる「答え」が出されているのか（あるいは、出されていないのか）、を文献の講読を通じて検討し、②その作業を踏まえ、自らの「問い」を立て、それについて探求する小論文の執筆を行う。
具体的な素材としては「寛容」の問題を取り上げる。この問題は、ヨーロッパ近代（とそれに先行する時代）において特に宗教との関係で議論された（代表的な例として、ロックの寛容論が挙げられる）。それ以後も、現在に至るまで、寛容はどのような場面でなぜ必要となるのか、また、それはどのようにして実践されうるのか、が問われ続けている。このような寛容の概念は、その出自からして、近代、そして近代と不可分の関係にある現代的民主主義や人権概念とも密接な関係を持つと思われる（ただし、これ自体が興味深い現象であるが、法学上の専門用語として「寛容」そのものが出てくることは希である。たとえば、日本国憲法の中にこの言葉は出てこない）。今日、国籍、人種、エスニシティ、ジェンダーといったような要素との関係で寛容という概念が持つ重要性はむしろ大きくなっていると言える。この寛容の概念について関連文献の講読を通して検討を行い、それが今日の世界においていかなる意味を持っているのか、といった問題について考察する。
授業では教科書欄に掲げた文献を講読する。この著作はアメリカの政治理論家であるマイケル・ウォルツァーによって書かれたもので、現代アメリカの状況に照らして寛容のあるべき姿を探ることを目的としたものであるが、その中で展開されている議論は世界の状況を視野に入れており、本授業の検討課題を考えるに当たって参照するに値する文献である。
【学術分野】法・政治
【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、授業における発表および討論への参加・貢献度に基づいて算定される平常点ならびに小論文による。
授業のキーワード　寛容、宗教、法、政治、多文化主義
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『寛容について 新装版』
著者（訳者）　マイケル・ウォルツァー（大川正彦訳）
出版社　みすず書房（2020 年。旧版は 2003 年刊。原著は 1997 年刊)
ISBN　462208919X
その他　授業最初の段階ではこちらで用意して配布するので購入の必要はない。
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31778	金 4		福岡 安都子	法・政治

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
これから法学を学んでいきたいと思っている初学者たちが、議論しながら、比較的少数の基本判例をじっくりと読み解いていくためのゼミです。判例によっては、最終結論としての最高裁判決だけでなく、第 1 審判決なども取り上げていきますので、せっかちな人、広く浅く手早く結論を得たい人などには、向かないかもしれません。しかし、「事実は小説よりも奇なり」と言います。それぞれ個性的な事案を前に、担当裁判官がどのように考え、どのように法を解釈し当てはめたかを、判決のテクストを通じて追体験することは、スリリングとも言える楽しみがあります。また、複雑な文章の背後に基本となる考え方が掴めたときは、熟読した者のみが体験できる醍醐味があります。取り上げる判例は、主に憲法の分野から選ぶ予定です。

【学術分野】法・政治

【授業形態】文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード　判例読解、法学の基礎、憲法の基礎
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31791	金 4	ウィリアム・ホガースと 18 世紀イギリス社会 － 展覧会と同期した調査と実習	大石 和欣	英語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
このゼミは、本年 5 月 13 日（土）から 6 月 25 日（日）にかけて駒場博物館にて開催される展覧会「近代ロンドンの繁栄と混沌（カオス）―東京大学経済学部図書館蔵ウィリアム・ホガース版画（大河内コレクション）のすべて」と並行して開講されるものです。ホガース（1697 年－1764 年）はイギリス 18 世紀前半に活躍した版画家・画家です。近代化を遂げていくイギリスを象徴する都市ロンドンの繁栄と同時に、その背後にある犯罪や貧困など負の側面にも目を向け、諷刺的な視線を織りまぜながら社会を活き活きと描きだしていきました。東京大学経済学部には、東京大学第 18 代総長大河内一男および名誉教授大河内暁男が蒐集したホガースの版画コレクションが所蔵されています。今回駒場博物館ではその作品を一挙に展示する展覧会を開催することになりました。本ゼミでは展示されたホガース作品を実際に目で確かめながら、その意義と魅力をイギリス 18 世紀の社会と歴史の中に位置づけながら検証していきます。
18 世紀のイギリスは、17 世紀末の金融革命を経ると同時に、「財政軍事国家」と言われる積極的な財政政策と軍備増強、対外戦争、その結果としての植民地拡張と海外貿易の推進によって、前例のない経済の活性化を経験することになりました。富の蓄積と環流によって消費文化が花開く一方で、風俗紊乱と貧富の格差拡大といった問題が社会の中で意識されていきます。1666 年の大火後のロンドンでは再建と整備が進められ、スクエアを中心にした幾何学的で啓蒙的な都市空間が構築されていきますが、その一方でシティの通りでは雑踏がひしめき、犯罪や買春が横行し、裏通りや郊外には法権力に対する抵抗勢力がはびこることになります。名誉革命後に議会政治が確立されたとみなされがちですが、選挙では賄賂などの腐敗が跋扈し、貴族をヒエラルキーの上層に位置づけた階級が民主主義や自由の理念を有名無実なものと化してしまう状況が生まれていました。
そうした相矛盾する、あるいは混沌とした社会の実態を、ホガースの版画は繊細かつ鋭利に写し取っています。寓話的でありながら現実主義的なまなざしを備え、諷刺的でありながら写実的な描写を保ったその絵は、鑑賞するものに細部まで含めた解釈を要求し、社会が抱え込んだ矛盾や軋轢、亀裂や不協和音に対して問いかけてきます。
授業では、展覧会前のインストレーション準備作業を補助したり、展示中の作品に対してコメントや疑問を付すなどの作業を通して、展覧会に関与することで博物館・美術館運営の一端を学びながら、学際的なアプローチから歴史、社会、美術、文学などについてアクティヴに研究し、調査することの初歩を修得していきます。歴史学や美術史、経済史や社会法制史、文化史や文学など興味や関心は多様で構いません。それぞれの立場からホガースの版画から読み取れるものを解き明かしていくことを目的とします。
履修者はそれぞれ課題とする作品を 2、3 選択してもらい、それらについて 1 学期間を通してそれぞれの立場から意味を解きほぐしてもらいます。それらを小論文にまとめると同時に、展覧会作品についての解説としてもまとめてもらいます。後者は後日インターネットで解説として掲載することも計画中です。
【学術分野】法・政治史、経済史、経済思想史、社会・社会思想史、イギリス史、都市史、イギリス地域文化研究
【授業形態】インターディシプリン型、博物館でのフィールドワークと文献批評を含む

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　イギリス史、美術史、文化史、地域文化研究

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31792	金 4	E・H・カー『歴史とは何か』を読む	藤崎 衛	仏語・伊語

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。

【この授業の目標・概要】
歴史と歴史学を理解するための重要なテーマが配置された E・H・カー『歴史とは何か』は、最良の歴史学の入門書とされ、また名著として長く読み継がれてきた。本書を読解し、追加調査を行うことにより、文献の批判的な読解、学術的な「問い」の発見方法、「問い」への答えに迫るためのアプローチ、建設的な討論、研究成果の提示方法を学び、実践する。

【学術分野】歴史学

【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　歴史、歴史学、社会と個人、因果関係

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　歴史とは何か
著者（訳者）　E. H. カー
出版社　岩波書店
ISBN　9.784e+12
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31793	金 4	近世日本と東アジア－－前近代の国際関係	渡辺 美季	歴史学

授業の目標・概要

【共通目標】
大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。
【この授業の目標・概要】
史料および関連する文献（先行研究）の分析に基づいて立論するという歴史学の手法を、初歩的なレベルで身に付ける。具体的には、重要史料の抜粋に解説を付した『世界史史料集』（岩波書店）に収録された、近世日本と東アジアの国際関係に関わる史料の中から、各自が興味・関心を持つものを選び、それに関する先行研究を読みつつ興味・関心を発展させ、報告および小論文の形でまとめ、発信する手法を学ぶ。
【学術分野】歴史学
【授業形態】ディシプリン型 文献批評型

成績評価方法　出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。

授業のキーワード　歴史学、史料、国際関係、日本、東アジア、近世

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31795	金 4	SDGs について考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構

授業の目標・概要	【共通目標】 大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。 「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第 2 回の合同授業で学ぶ。 【この授業の目標・概要】 この授業では、国際社会が直面している地球規模問題群のうち、国連の「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に指定されたものについて、現状やこれまで（SDGs 制定以前含む）の国際的取組、その思想的背景など多角的に検討し、各自がこれらの問題に対するさまざまなアクターの取組について「問題」を設定して「検証」を行い、それを論文にまとめる。国際関係論や国際機構論、開発に関する学術論文だけでなく、国際機関の文書や報告書など、さまざまな種類の資料の探し方や使い方についても学ぶことになる。 【学術分野】法・政治 【授業形態】ディシプリン型、フィールド型
成績評価方法	出席、発表および議論への貢献等の平常点と小論文とで判断する。
授業のキーワード	SDGs、MDGs、開発援助、国際機関、NGO
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

初年次ゼミナール理科の履修について

初年次ゼミナール理科はクラス指定の必修科目である。下記、クラスごとに指定されたグループ（各 2 曜限）に開講されている授業のうち、1 授業を希望選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。入学手続き時に配布されたプリント「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。

第 1 回授業時には合同のガイダンスを行う。リアルタイム・オンラインで実施し、授業 URL は ITC-LMS の「集中コース等」＞「初年次ゼミナール理科（総合）」に掲載する。各授業の開講される曜限で授業担当教員が授業紹介を行う。指定されたグループに割り当てられた 2 曜限のうち、履修を検討している授業の曜限のガイダンスに出席すること。

第 2 回授業時には、サイエンティフィック・スキルに関する導入の共通講義を学習する。対面で実施するので、教室や資料などの情報は ITC-LMS の「集中コース等」＞「初年次ゼミナール理科（総合）」を参照すること。

第 3 回からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。原則対面で実施するので、UTAS にて決定された履修授業と教室を確認すること。各回の開講情報は、UTAS および ITC-LMS に掲載される。

この授業の教科書として『科学の技法―東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト―』がある。必要に応じて購入し、プレゼンテーション準備やレポート・論文執筆の際に参照すること。

初年次ゼミナール理科のウェブサイト FYS portal（http://fye.c.u-tokyo.ac.jp/）にてオンライン教材や教務情報、機材使用法等の情報を提供するので活用してほしい。また、ITC-LMS の初年次ゼミナール理科共通エリアで教材やお知らせを掲載することもある。

この授業に関する授業外サポートとして、オンライン（Zoom）でラーニングコモンズを開室し、TA による学習相談を行う。開室時間等は、ITC-LMS の「初年次ゼミナール理科」の総合コース上で告知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ 1	月 4・水 4	1 年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)
グループ 2	火 1・木 2	1 年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)
グループ 3	火 3・木 3	1 年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)
グループ 4	火 4・金 1	1 年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)
グループ 5	水 2・金 3	1 年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)
グループ 6	水 3・金 4	1 年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

クラス編成によっては、グループが変更される場合がある。教務課前期課程のホームページに変更のお知らせが出ていないかどうか、学期開始前に必ず確認しておくこと。

グループ１　１年 理一(1-6,10,16,18-19)理二三(4,7)

31555	月 4	社会のためのロボティクス	山下 淳	工学部

授業の目標・概要
（授業の紹介資料）
http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2023/society/guidance.pdf

（授業の概要）
医療・福祉・生産から極限環境調査や災害対応まで、さまざまな現場でロボット技術（Robot Technology）が活用されています。
本授業では、ロボットについて初めて学ぶ学生のために、世界の第一線で活躍中のロボット研究のトップランナーたちが、社会とロボットの関わり、社会のための最先端ロボット技術について解説します。また、文献調査、グループ討論、プレゼンテーション実習などを行い、社会のためのロボット技術に関する理解を深め、ロボットの役割について考えます。ロボット実習では、実際のロボット技術に触れ、最新のロボットについて学習します。更に、これらの体験を通じて学習した内容に関してプレゼンテーションやグループ討論を行い、科学技術に関するコミュニケーション能力の向上を図ります。
ロボティクスは、精密工学、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学、人工知能などの幅広い内容を含む総合的な学問です。
授業を通じてロボットに関する基礎知識を身に付け、ロボット研究の奥深さや面白さを感じとって下さい。また、社会とロボットの関わりについて、考えてみて下さい。
本授業はきっかけを与える入口です。自分から積極的に情報収集をすることにより、ロボットに対する理解と興味が更に深まることでしょう。

（授業の目的）
・社会のためのロボット技術に関する理解を深め、最先端ロボット技術に関する知識を身につけます。
・ロボット実習の結果を解析し、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に考察する力を身につけます。
・自分の考えを他人に分かりやすく伝える科学技術プレゼンテーション能力と、他人とディスカッションを行うコミュニケーション能力の基礎を身につけます。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　問題発見・解決・実験データ解析型、工学・情報科学／ロボティクス、ロボット技術、ロボットと社会・人間、ロボットと医療・福祉、ロボットとサービス
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31556	月 4	原子力エネルギーと社会/ Nuclear Energy and Society	斉藤 拓巳	工学部

授業の目標・概要　原子力エネルギーの原理を理解し、それらの社会受容性を討論する。特に、他のエネルギー源との比較、地球環境の影響、廃棄物処分の問題を調査、議論し、社会受容性を考える。そして，複雑な問題の中から課題を抽出し、その解決方法の発見を試みる。最後は討論内容をプレゼンテーションし、発表技術も向上させる。
成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。
授業のキーワード　問題発見・解決型、工学/システム創成、原子力エネルギー、社会受容性、地球環境、廃棄物処分
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31557	月 4	惑星の進化とダイナミクスを身近な岩石から展望する／Rocks nearby toward understanding evolution and dynamics of terrestrial planets	小宮 剛	教養学部 （宇宙地球部会）

授業の目標・概要　身近な岩石に目を向け、それを自ら調べ、理解することで惑星地球の進化とダイナミクスについての理解を深めるとともに、科学に必要な要素を実践的に学ぶ
成績評価方法　出席、発表の内容および質疑応答の積極的な参加に基づき総合的に評価。
授業のキーワード　岩石学、惑星進化とダイナミクス、研究とプレゼンテーション
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31558	月 4	農業・水産業へのエネルギー投入の実態を知る	吉田 修一郎	農学部
授業の目標・概要	人類の食料の源である農畜産業や水産業は、「自然の恵み」として見られることが多いが、実際には多くの資材や工業製品の投入に依存している。この講義では、「工業化」された現代の農業や水産業が、直接・間接的に排出する温室効果ガスを、必要なデータを自ら収集して算定することにより、産業の低炭素化という挑戦の難しさや、その実現のためのヒントを考える機会にする。			
成績評価方法	実習への参加状況と発表内容や発表要旨から総合的に評価			
授業のキーワード	ライフサイクルアセスメント、気候変動緩和策、農業、水産業			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31559	月 4	植物研究入門 -生態系からゲノム編集まで-	大黒 俊哉	農学部
授業の目標・概要	植物は二酸化炭素と水、太陽エネルギーを使って光合成を行い、人類をはじめ他の生物の生存に必要不可欠な有機物と酸素を作り出します。国際連合が定めた 17 の持続可能な開発目標 (SDGs：Sustainable Development Goals)のうち、特に「2. 飢餓をゼロに」「15. 陸の豊かさを守ろう」を達成するためにはより一層植物の食物、生態系を支える生産者としての役割が重要となってきます。また、私たちを取り巻くさまざまな植物＝「みどり」は私たちの暮らしにゆとりやうるおいを与え、安全で快適な生活に不可欠な役割を担っていることから、「11. 住み続けられるまちづくりを」「3. すべての人に健康と福祉を」などの目標とも深く関わっています。農学や生態学の専門家が担当する本初年次ゼミでは、「作物の栽培化からゲノム編集作物誕生までの歴史」や「まちのみどりから乾燥地の緑化まで、暮らしと生存を支える植物の多様な機能」について、関連する論文に基づいてグループディスカッションやフィールド調査を行います。そして人類の生存、そして持続的な文明を築く上でどのように植物と向き合い利用していくか、その道筋を考察します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、農学、生態学、植物、科学プレゼンテーション、ディスカッション、フィールド調査			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31560	月 4	身近な物理でサイエンス	松本 悠	教養学部 （EX 部門）
授業の目標・概要	簡単な測定や実験データ整理・解析、ものづくり等を実際に経験してもらい、試行錯誤や実験の難しさと計画性の重要性などを学んでもらいます。限られた材料・工具・時間の中で、自由な発想をもって、問題発見と解決方法・実験方法などを自分たちで考案してもらいます。小グループに分かれ、議論による協調学習を通して、コミュニケーション能力を伸ばしてもらいます。 ・何かを研究する時に、何が分かっていて何が分かっていないのか、何が問題でどうやったら解決できるのか、自分の頭で考えることができるようになる ・実験データの簡単な解析方法と、そこから導かれる結論を論理的かつ客観的に論じる力を身につける ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、サイエンスコミュニケーション能力の基礎を身につける ※授業オンライン化に伴い、実験を個々人が自宅でできるよう見直し中です。 ※授業の目的や授業の大まかな流れは変えないつもりですが、具体的な作業や課題は変わると思って下さい。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 （この講義での個別の評価基準） より良いデータ取得を目指して、独自性のある、コストパフォーマンスの良い、実験機の開発・改良ができたか			
授業のキーワード	問題発見・解決型、データ解析型、物理、小実験、サイエンスコミュニケーション			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31561	月 4	分子間の相互作用と物性・機能	佃 達哉	理学部

授業の目標・概要
（本ゼミの概要と目的）
我々の身の回りには様々な「分子」が溢れており、様々な興味深い物性を示す。分子の集団が示す物性を決定づけているのは、分子の個性とそれらの間に働く相互作用である。分子の構造（形と電荷分布）に応じて、様々な相互作用（ファンデルワールス力、水素結合、静電相互作用など）が知られている。本ゼミでは、分子の構造とそれらの間の相互作用の関係を理解し、どのようにして物性や機能が発現するのかを学ぶ。

（本ゼミの目標）
1．分子の構造（形と電荷分布）を決定する化学結合の基礎について理解する。
2．分子間の相互作用の種類と物性・機能との関係について学ぶ。
3．プレゼンテーションの基本的なスキルを学ぶ。
4．少人数でのディスカッションに慣れる。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
授業のタイプ（「問題発見・解決型」）、学術分野（化学/物理）、授業のキーワード1 分子構造、授業のキーワード2 分子間相互作用

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31642	月 4	数学・物理をプログラミングで考える	山崎 俊彦	工学部

授業の目標・概要
今年の講義資料および昨年までの講義の様子は以下の URL を参照
http://www.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tau/lecture/programming_math_physics/

コンピュータ（プログラミング）を使って，数学や物理の問題，実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます．そうすることを通してプログラミング，数学，物理を学ぶとともに，それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します．

実際の問題をいくつか，例・テンプレートとして提示し，グループに別れて解法や，問題の発展形や一般化などについて議論します．それと並行して，プログラミングの基本について，演習します．最後に，お互いが解いた問題について発表しあう，発表会を行います．途中でも，グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため，適宜ミニ発表会を行います．

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
演習型：プログラミング学習および自由課題、工学/電子情報、プログラミング、Python、微分方程式、シミュレーション

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31652	月 4	病理学入門 -病気を目で見てみよう-	牛久 綾	医学部

授業の目標・概要
病理学とは病気になった細胞・組織・臓器にどのような形態学的変化が生じるかを観察することにより、病気の原因とメカニズムを明らかにする学問であり、あらゆる医学の基礎となる。本ゼミナールではバーチャルスライド（組織プレパラートをデジタル画像として保存したもの）を用いて、病気がどのように見えるかを自分の目で見て体験し、その変化の背景にある病気のメカニズムについて、これまでわかっていること、いまだ解明されていないことを探索する。この過程を通じて、医学研究の考え方や方法論を理解することを目標とする。

成績評価方法
出席およびゼミナールにおけるプレゼンテーション、ディスカッションへの参加を総合的に評価する。

授業のキーワード
病理学、病因論、形態観察、発がん、遺伝子

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第1回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31562	水 4	未来のエネルギーを考える	大宮司 啓文	工学部

授業の目標・概要
エネルギー問題の解決には，技術的な側面だけではなく，環境への配慮，経済性，地域特性といった多方面からの検討が必要です．本ゼミナールでは，現実の社会問題にはこういった複雑な背景があることを理解しながら，エネルギー問題の解決策や未来予測を行うことを通じて，問題解決能力の向上を図ることを目的とします．
まず，日本と世界のエネルギー事情を概観した後，(1)ガスタービン，エンジンなどのエネルギー変換の基盤技術，(2)カーボンニュートラルの考え方や日本の CO2 排出量削減に必要な水素燃料，(3) 自動車をめぐるエネルギー技術、の 3 つのテーマについて学習し，関連の学内研究施設の見学を行います．これら基本的な仕組みや原理に関する学習の後，グループに別れ，研究段階の技術から実用化された技術までの調査を行い，調査結果のプレゼンテーションを行います．現状のエネルギーに関する状況を把握した上で今後の課題を抽出し，将来展望を参加者全員で議論します．

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
問題発見・解決型、機械工学、エネルギー変換/エネルギーシステム、地球温暖化、電気自動車/ハイブリッド自動車、カーボンニュートラル

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31563	水 4	量子計算入門ゼミ	加藤 康之	工学部

授業の目標・概要
本授業では，量子力学概観からはじめ，近年発展著しい量子技術の中でも一際注目を集める量子コンピュータの入門的内容の習得を目指す．PC を用いた演習も行い，受講者の理解を確かめながら進める．必要な数学（複素数，行列など）についても説明と演習を行う．また，授業の後半では，受講者を 4—5 名のグループに分け，各グループで関連するテーマを設定し，その背景，意義，目的をグループワークにより学習する．受講者間の討議や文献検索を通して内容を理解し，背景，意義，目的，解説，展望をまとめ，プレゼンテーションによって他の受講者に分かりやすく伝えるコミュニケーションについても学ぶ．

成績評価方法
出席，演習の理解度，発表など総合して行う．

授業のキーワード
物理学／物性物理学、量子コンピュータ、問題発見・解決型、グループワーク、サイエンスコミュニケーション

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31564	水 4	数値計算法とその数理	田中 健一郎	工学部

授業の目標・概要
（授業の概要）
皆さんがこれまで行ってきた数学的計算、例えば方程式の求解や微分・積分などの計算は、手計算で結果を導くものがほとんどであったと思います。しかし、物理現象のシミュレーション、天気予報、航空機の設計などの現実的な場面で必要になる計算は、大規模かつ複雑で、手計算で実行するのは極めて困難です。このような場合に使われるのが、計算機を使った数値計算です。本授業では、基本的な数値計算の方法と性質について、基本的な専門書を皆で講読し、計算機を用いて易しい数値計算ができるようになることを目指します。その上で、数値計算に関する課題をグループで設定し、その課題の解決に取り組んでもらうことを予定しています。

（授業の目標）
・専門書を講読して理解した内容を、分かりやすく他人に伝える能力の基礎を身につける。
・自分の考えを分かりやすく他人に伝え、情報を共有し、新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につける。
・学んだ知識を基に、その知識を応用して取り組めそうな課題を設定し、それを解決する方法を考える能力を身につける。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
専門書読解・問題発見・解決型、数理／数理、数値計算、シミュレーション

教科書
授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31565	水 4	化学のブレークスルーに学ぶ（2）	上野 博史	工学部

授業の目標・概要　本講義では、工学部応用化学科で現在展開されている物理化学・分析化学・計算化学の世界最先端トピックを取り上げ、ブレークスルーを生み出すきっかけとなった発見や成果をもたらした研究を通じて化学研究の魅力に触れると共にベーシックなサイエンティフィックスキルの習得を目指す。主に、ナノ分光、バイオ分析、蛋白質機能、などを題材として、最先端研究を牽引する研究者による話題提供や文献読解により研究背景や基本原理、実際の研究とその舞台裏、応用展開や新しい概念の創出に至るまでを順を追って学び、グループディスカッションや演習などにより理解を深める。
成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　応用化学、物理化学、分析化学、計算化学、ナノ構造化学
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31566	水 4	エネルギーと環境：持続可能性のための工学	小林 肇	工学部

授業の目標・概要　（授業の概要）
地球温暖化の進行を緩和しつつ、社会を維持するために十分なエネルギーの供給を続ける事は、一つの領域の技術や対策だけでは成し遂げることは出来ません。新たな技術オプションを創出して行くと共に、多様な技術群を結びつけ総体として最適に機能させるシステム思考的アプローチが必要となります。本ゼミでは、エネルギーと環境に関わる現行から最先端の多様な技術の小実験を行い、それら技術の基礎学理を学習するとともに、実験・データ解析・考察手法を習得します。さらに、そこで学習した知見と最新の技術動向を基に未来の新技術システムを自分たちでデザインし、持続可能性へ寄与する新たな方法論を提案・議論します。
小実験では、具体的には火力発電、太陽光発電、風力発電、燃料電池、水素エネルギー、ヒートポンプ、二酸化炭素地中貯留、温度差発電、バイオエネルギー変換に関するそれぞれ基礎的な実験を行います。単に技術の原理を学習するだけでは無く、当該技術の現状を学んだり、課題を考察したりします。
また、エネルギー・環境に関わる最新の動向を調査・学習し、課題を正しく把握する事を通した上で、それらを解決する為の未来の技術システムをデザインします。システムとは、一つの技術をより良く機能させる方法論、または複数の技術を組み合わせたもの、あるいはある技術を中心としたビジネスモデルも含みます。このデザインを小グループで独自に考案する事で、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につけます。

（授業の目的）
・エネルギー・環境に関わる多様な技術を深く掘り下げて研究する事により、工学的な方法論や考え方を学ぶ。
・エネルギー・環境に関わる最新の動向、課題を正しく把握する事を通し、これからの学習・研究の基盤知識とすると共に、グローバルな問題に対するシステム思考的アプローチを身につける。
・実際に動作する装置を組み立て、実験する事により、問題解決能力を養う。
・小グループで独自に調査、立案、検証、議論し、創造する楽しさを体験する。
成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード　問題発見・解決・データ解析型、工学、エネルギー、環境、データ測定と解析、小実験
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31567	水 4	生体系シミュレーション ／Simulations of Biological Systems	寺田 透	農学部

授業の目標・概要　分子、細胞、個体レベルの生命現象を数理モデルで表し、シミュレーションを行います。
成績評価方法　出席と授業への参加態度、発表内容、レポートにより総合的に評価します。
授業のキーワード　生命現象、数理モデル、微分方程式、シミュレーション、Python、プログラミング
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31568	水 4	画像処理システムを考える	山川 雄司	生産技術研究所
授業の目標・概要		初歩的なプログラミングを学ぶとともに，実際に画像処理システムを開発します．そのシステムについてプレゼンおよびレポートにまとめ，関連する知識とともにプレゼン能力を習得する．		
成績評価方法		プレゼンテーションとレポートによる評価		
授業のキーワード		画像処理、システム、プログラミング		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31569	水 4	恐竜学	平沢 達矢	理学部
授業の目標・概要		自然科学のフロンティアで未知の物事を相手にしていくためには、それについての体系的な知識を身につけ適切な研究手法を考え出すことができる知的基盤が必要となる。ここでの体系的な知識とは、既存の分野の範囲内にとどまらず、むしろ分野横断的に俯瞰して構築すべきものである。 本ゼミでは、高校までの教育では扱われない「恐竜」を題材に、体系的な知識を構築し研究アイデアを立案する経験を積む。中生代に繁栄しながら絶滅してしまった動物についての謎を解明していくには、現生動物を使った実験的検証（解剖学や、細胞・遺伝子レベルの発生学等)、骨格についての工学的アプローチ、生理機能等についての理論モデルをはじめとしたさまざまな分野、手法を駆使して証拠を得ていく必要がある。その中で、いかに適切な「問い」を見つけ、それを解決するためのアプローチを着想するかが科学者としての腕の見せどころである。 本ゼミにおいて、恐竜は上記の知的基盤を身につけるための題材に過ぎないので、脊椎動物進化に興味がある学生だけでなく、特に恐竜そのものに興味がなくとも多角的な視点や手法を組み合わせて自然科学のフロンティアに挑んでいきたい学生を歓迎します。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		論文読解型、フィールドワーク型、(学術分野）生物学、地学、(小分類）進化学、形態学、古生物学、脊椎動物、化石、観察		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

グループ２　１年 理一(9,12,14,20,39)理二三(6,8,15,20)

31570	火 1	体験で学ぶ電磁気学	関野 正樹	工学部

授業の目標・概要

【授業の概要】
磁気浮上は，将来の高速鉄道への応用に関して注目を集めています．磁気による安定な浮上を実現する代表的な方法として，電磁力と制御技術の使用，超電導，反磁性効果などが知られています．電磁場を直接的に利用した現象である磁気浮上を通じて，目に見えない電磁場を体験的に理解することができます．本ゼミナールでは，科学おもちゃや，カエルを磁気浮上させた実験，超電導体など，様々な磁気浮上現象を題材として，磁気浮上の原理や，安定な浮上を実現する条件を考察します．磁場分布の測定も行い，電磁場を可視化することによって，理解を深めます．小グループに分かれて，グループ毎に題材を選んで理論的検討や実験を行い，その結果を発表します．電磁気学は，理科系の広い分野と関係しており，本ゼミナールで身につけた電磁気学の理解や，現象をモデル化する技法は，様々な場面で役に立つことが期待されます．

【授業の形態】
本授業は「体験」を目的とすることから、対面で実施します.

【授業の目標】
・自らの力で課題を定義し，それを解決するプロセスを体験する．
・物理学の理論を，実際の問題の解決に活用するための応用力を養う．
・現象の本質を抽出して単純なモデルで表現し，その振る舞いを考察する技法を身につける．
・自分の考えをまとめて分かりやすくプレゼンテーションする能力を身につける．

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　問題発見・解決型、工学／電気電子工学、電磁気学，磁気浮上，小実験
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　基本からわかる電磁気学講義ノート
著者（訳者）　市川紀充(著)，岩崎久雄(著)，澤野憲太郎(著)，野村新一(著)，松瀬貢規(監修)
出版社　オーム社
ISBN　978-4274215100
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31571	火 1	ナノバイオ・ディープテック	坂田 利弥	工学部

授業の目標・概要

＜授業の概要＞
これまで材料科学分野で未解決の課題や将来こんな材料があればといった課題設定に対して調査し議論することで教科書に載っていない問題や社会的意義についてまとめプレゼンテーションを行う。教員から設定された以下の 3 つのサブテーマに対し、その背景から問題の抽出や発展させるための研究方法などグループに分かれ調査・討議し、最終プレゼンテーションをグループごとに行う。

＜サブテーマ＞

サブテーマ 1「生物に学ぶ機能性高分子材料」
・人類は古くから自然や生物にヒントを得て材料を開発してきました。近年の分子生物学やナノテクノロジーの進展は生物の分子レベル・ナノレベルでの理解を大きく深めたため、生物模倣技術も新展開を迎えています。本サブテーマでは生物に学ぶ機能性高分子材料の開発例を調査した後、どのような未来材料が考えられるかを議論します。

サブテーマ 2「ナノメートル構造を作る・見る」伊藤
・現代社会では、ナノメートル構造を持ったデバイスが広く用いられています。我々の生活は、原子・分子スケールでの材料設計、材料プロセス開発および材料評価といった、材料科学に支えられていると言っても過言ではありません。ここでは、その様なナノメートル構造を作り、見る手法から数例を取り上げ、その原理と仕組みを学びたいと思います。

サブテーマ 3「ものづくりから考える健康診断」
・糖尿病患者が合併症を引き起こさないためには日頃の血糖値を自己管理する必要があります。また、アレルギーの発症は乳幼児で最も高く、その検査には多くの血液を採取する必要があります。このような自身の健康状態を診断するために様々なテクノロジーを駆使したバイオセンサが使われ、金属、半導体、高分子といった特徴ある機能を持った材料が使われています。本サブテーマでは、ものづくりの視点に立って健康診断の現状と課題について議論したい。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：ナノバイオ・材料工学、バイオマテリアル、ナノテクノロジー、バイオセンサ、ナノバイオ融合
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31572	火 1	ゲルと生命：医療 x 物理 x 化学	酒井 崇匡	工学部

授業の目標・概要	授業の概要： 高分子ゲルは、高分子の網目と溶媒が相溶した状態で共存している物質である。大量の溶媒を含みながらも、固体として振る舞うために、たとえば水を固化したゲルはコンタクトレンズに、電解液を固化したゲルはリチウムイオン電池に用いられている。このように、溶媒の特徴を残したまま、固体化できる点が最大のメリットであり、さまざまな用途に用いられている。その中でも、水を多く含むハイドロゲルは、人体と類似した組成（ヒトの軟部組織の 70%は水である）を有している点で、興味深い材料である。この類似性から、ゲルを理解することは、物質としての生命体が従うべき物理法則を理解することにもつながる。また、ハイドロゲルは、生体に優しいバイオマテリアルとしても注目を集めている。本講義では、ゲルという材料を題材として、その化学的な性質、物理的な性質、そして医療への応用について、化学・物理学・材料科学・医学に精通したエキスパートと共に学ぶ。 授業の目標： ・解決すべき問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。 ・グループによる課題設定、進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答といった共同作業のスキル、またグループワークにおける主体的な関わり方を身に付ける。 ・自然科学の研究技法を通じた論理的思考法・批判的思考法、建設的な議論の組み立て方を身に付ける
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	ゲル、医療用材料、医工連携、アントレプレナー
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31573	火 1	システムダイナミクス入門	古田 一雄	工学部

授業の目標・概要	システムダイナミクスは、多数の変数とその相互作用の数理的因果関係をグラフィカルな表現を用いてモデル化し、コンピュータシミュレーションによってシステムの動的挙動を解明する手法である。この手法は 1970 年代に人類の未来を予測したローマクラブレポート「成長の限界」で有名になり、以来、生態系や経済社会系などの複雑システムの解析手法として用いられている。本ゼミでは、主に力学系、生態系、経済社会現象などを題材に、システムダイナミクスによるシステムモデリングの基礎を修得するとともに、加えて各自が興味を持つ対象のモデリングを通じて応用力とシステム思考力を養う。
成績評価方法	出席、発表、発表会での質疑への参加、レポートに基づいて行う
授業のキーワード	システムダイナミクス、シミュレーション、システムモデリング、一般システム理論、未来予測
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31574	火 1	身体づくりの科学	佐々木 一茂	教養学部 （スポーツ・身体運動部会）

授業の目標・概要	身体づくりは「体力、体形、体組成などを変化させることを目的とした行為全般」と定義できる。こうした行為は、程度の差こそあれ誰もが日頃から自然に行っており、それゆえ世の中には「身体づくりにまつわる情報」が溢れている。しかし、これらの情報はどこまで信じてよいのか、どの点で間違っているのか、自らの健康づくりにどのように生かせばよいのか、などについて客観的かつ論理的に判断することは専門家でも容易ではない。 この授業では、身体づくりにまつわる様々な情報の中から興味ある説を一つ選び、その根拠となる文献等を読み込み、その説の妥当性や問題点について考察し、その成果を他者に分かりやすく伝えるという一連の過程を通じて、受講者が下記のサイエンティフィック・スキルの基礎さらにはヘルスリテラシー（必要な健康情報を入手し、活用する能力）を身につけることを目標とする。 1）文献検索法 2）論文読解力 3）分析的・批判的思考法 4）プレゼンテーション力
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。
授業のキーワード	論文読解型、スポーツ・身体運動科学、運動・トレーニング、ダイエット、ヘルスリテラシー、グループワーク
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31575	火 1	ビッグデータを扱うソフトウェア技術 「データベース」を実践する	合田 和生	生産技術研究所

授業の目標・概要	本授業では、「データベース」なるソフトウェアが如何にビッグデータを管理し処理しているのかを学ぶ。また、最新鋭のパブリッククラウド等を利用して実際に「データベース」を操作しその挙動を分析する。これらを通じて、ソフトウェアならびにコンピュータシステムを発展させる実験的アプローチを習得する。とりわけ、ビッグデータの大規模性を克服するためのアルゴリズム、データ構造、性能管理、実験管理等のスキルの習得を目指す。 本授業は対面を基本とし、駒場リサーチキャンパス生産技術研究所 As 棟 As301,302 室に於いて実施する予定である。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。
授業のキーワード	実験型、情報学／計算機システム、データベース、システムソフトウェア、データベース、ビッグデータ、クラウドコンピューティング
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31576	火 1	生命現象のモデリング / Mathematical modelling of biological phenomena	種子田 春彦、 米倉 崇晃	理学部

授業の目標・概要	本講義は、生命現象の数理的解析を通して、履修する学生の興味本位でテーマを設定し、主体的に解析を進めて解を得るプロセスを学ぶことを目的としている。一口に生命現象といっても、対象とする生物種やスケール（分子から細胞、組織、個体、集団など）、方法論（分子生物学、形態学、進化学、生理学、生態学など）など多様であり、多くの謎を含んでいる。こうした多様な生命現象から興味のあるものを選び、自分たちで解ける問題を設定して解析を行う。時間に余裕があれば、文献調査や簡単な観察・実験から、導き出された予測の意味づけを行う。一連の作業では、学生の興味や主体性を最大限に尊重する。 The aim of this course is to learn the process of obtaining solutions by “searching the knowledge gaps”, “setting problems” and find their own solutions through the mathematical analysis of life phenomena. Life phenomena cover a wide range of species, scales (from molecules cells, tissues, to individuals, populations, etc.) and methodologies (molecular biology, morphology, evolutional biology, physiology, ecology, etc.) and contain many unsolved problems. Students will choose the life phenomenon that they are interested in, make a question they can solve by themselves and analyze them. If time allows, students can give interpretations of the predictions by literature surveys and simple observations and experiments.
成績評価方法	３回の発表内容や課題に取り組む姿勢を評価して成績をつける。 Grades are given based on the three presentations and the attitude towards the works.
授業のキーワード	プログラミング、数理モデル、生命現象、computer programming、mathematical model、biological phenomena
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31577	火 1	薬学を支える有機化学の貢献と役割	川島 茂裕	薬学部

授業の目標・概要	大学での研究、世界へ向けた成果の発信の流れを学ぶとともに、天然物合成、触媒化学、生物有機化学など、薬学における有機化学の主な内容に関する講義をアクティブラーニング形式で行う。これを通じて、最先端の研究に触れるとともに、文献調査力、理解力、討論力、発信力を強化し、研究者への第一歩を踏み出すことを目標とする。
成績評価方法	出席で評価する
授業のキーワード	問題発見型、薬学、有機化学、天然物、触媒
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31578	木 2	(WEB シラバス参照)	小渕 祐介	工学部

31579	木 2	ペットボトルと紙ではじめるエアロスペース エンジニアリング入門	中谷 辰爾	工学部

授業の目標・概要	飛行機や宇宙機において，重力に反して高速で飛行するためには，機体重量や強度，推進性能などが厳しく要求され，システムの成立には．限界近くまで極限まで無駄を無くすのに加え，様々な制約条件に対して最適化される必要があります．航空宇宙工学プロジェクトにおいて，対象とするシステムにおいては多くの物理や工学が融合し，力学，流体力学，制御工学，推進工学，材料力学，構造力学などを含む総合工学のアプローチが必要となります．そのため，プロジェクトにおいては，それら全体を俯瞰することに加え，様々な要素の役割が重要であり，各機能を統合しシステムを構築していきます．プロジェクト（グループ）内のマネジメント，要求の調整，各要素のインターフェース調整およびディスカッションが必須です．本講義義においては，航空宇宙工学につながるトイプロブレムとして，ペットボトルを用いた水ロケットやペーパーブリッジといった軽量構造体に関する二テーマに関して，様々な制約条件下においてミッション（課題）を設定し，計画策定，スケジューリング，基本設計，詳細設計，試験（実践・計測），結果検証，改善案の考察を行います．グループワークとして課題に取り組み，役割分担，課題解決にあたり背景にある物理や現象の調査，課題抽出，コンセプトの策定，設計および製作方針に関してディスカッションを行い，各段階において計画や経過についてプレゼンテーションを行い，課題等に対して議論し，解決し，実践いたします．その結果を評価し，発表し改善していくことを目指します． テーマ①:水ロケットプロジェクト テーマ②:ペーパーブリッジプロジェクト
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	ものづくり、工学/航空宇宙工学、最適化、グループワーク、推進、構造
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　／Title 科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　／Publisher 東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31580	木 2	やってみよう！化学システム工学で挑む、 先端医療	太田 誠一	工学部

授業の目標・概要	「ナノテクノロジー」を用いた病気の診断・治療は、次世代の医療技術として注目されています。髪の毛の太さの 10 万分の 1 のサイズで精密に設計されたナノ粒子が、生体という複雑なシステムの中で巧妙に働き、新たな診断・治療を可能とします。本ゼミでは、まずこのような医療の最先端技術について紹介します。また、背景にある化学に関する知識を、演習課題などを通して学びます。これらを土台とし、後半のグループワークでは高効率な診断・治療を実現するために必要なナノ粒子及びその投与システム全体の設計を、数理モデルなどを活用しながら提案してもらいます。 本ゼミの狙いは、化学や関連分野の基礎知識をネットワーク化・システム化し、実際の課題解決に活用できるツールとして身に着けることです。教員やディーチングアシスタントの大学院生と密にやり取りするゼミを目指します。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	「問題発見・解決型」、化学システム工学、医療、ナノテクノロジー、バイオエンジニアリング、システム設計
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31581	木 2	農業と非農業部門との関連を探る-産業連関分析入門-	齋藤 勝宏	農学部

授業の目標・概要	私たちが日々消費する農産物は農業部門で作られますが、肥料や農薬やエネルギー、さらにはその他の生産資材など、あらゆる産業で生産されたものが原材料として生産工程で投入されています。食料品以外もさまざまな産業部門で作られる原材料が中間投入財として使われています。このように、農業は他の諸産業とモノやサービスの取引を媒介にして相互に連関しています。 このゼミでは、産業間の財やサービスの経済取引をまとめた産業連関表をつかって、農業と農業以外の産業部門の関連について分析します。農業生産の場は地域ですので、人口減少や地方創生が地域経済に及ぼす経済効果の分析もこのゼミの守備範囲に入ります。 産業連関分析の中でも基本的なモデルを取り上げ応用例を数多く紹介する予定ですが、グループ学習を通して産業連関分析の手法を身につけていただくことを目的としますが、研究の面白さを感じとること、基本的なプレゼンの方法について身につけることも目標に含めています。
成績評価方法	平常点（出席）、分析内容、プレゼンに基づき総合的に判断する。
授業のキーワード	産業連関分析、全国産業連関表、地域(間)産業連関表、国際間産業連関表、均衡産出モデル 均衡価格モデル、所得連関効果
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31582	木 2	森林が吸収した CO2 を温室効果ガスクレジットとして活用することを考える	廣嶋 卓也	農学部

授業の目標・概要	近年、国際協定に基づく温室効果ガスの排出削減目標の達成、カーボンオフセット、企業の CSR 活動などの用途に活用される、温室効果ガスクレジットが注目を集めている。このゼミナールでは、森林が吸収した CO2 を温室効果ガスクレジットとして発行し様々な用途に活用する仕組みを学んだ上で、それらの得失や将来性を考察することを目的とする。授業 1〜2 回ごとに設定する複数のテーマについて、グループに分かれて、論文、ウェブ上の情報、統計データなどの情報をとりまとめ、プレゼンテーションを行い、全員で意見交換する。
成績評価方法	授業への出席状況、授業中の態度、プレゼンの内容と技術、最終レポートの内容を総合的に勘案して合否を判断する。
授業のキーワード	地球温暖化、森林バイオマス、森林管理、温室効果ガスクレジット
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31583	木 2	ホルモンからヒトの行動を考える	坪井 貴司	教養学部 (生物部会)

授業の目標・概要	（授業の概要） わたしたちの複雑な生命活動は、多種多様なホルモンが、環境変化に応じて、適切に血液中へ分泌されることによって調節されています。この多種多様なホルモンは、ごく微量で驚くべき作用をします。例えば、「恋」や「食欲」、そして「睡眠」もこのホルモンによって調節されます。 本ゼミナールでは、ホルモンの生理作用やその生理作用を利用した先端医療への応用の可能性、そして生命倫理に関する課題について、各グループ内で討議を行い、その中で、仮説を設定し、そして結論を導き出し、その内容をゼミナール時間中にプレゼンテーションします。これらを通して、仮説から結論に至るまでの科学的な思考における基礎的な能力の習得を目指します。 （授業の目標） ・研究課題における目的や問題点を認識し、その解決のための手段を考えるという活動を行います。 ・仮説をたて、結論に至るまでに必要な科学的プロセスを考え、行動します。 ・自分の考えを、分かりやすく他人に伝え、情報を共有することで新たなアイデアや知見を得るための、コミュニケーション能力の基礎を身につけます。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物／生理学・神経科学、ホルモン、神経、内分泌、グループワーク
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　知識ゼロからの東大講義 そうだったのか！ヒトの生物学 著者（訳者）　坪井貴司 出版社　丸善出版 ISBN　9.78462e+12 その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31584	木 2	ヒッグス粒子の見つけ方	奥村 恭幸	素粒子物理国際研究センター

授業の目標・概要

ヒッグス粒子という言葉を聞いたことがありますか？

物理学で運動方程式をたてるときにかならず「質量」を用います。実は、現代素粒子物理学だと実は質量を持っていることは禁じ手で、自然界のルールを満たしながら質量を持たせるためには工夫が必要で、「自発的対称性の破れ」というアイデアを活用した全く新しい自然観の導入に至っています。そして、この自然観の中心的な役割を果たすのがヒッグス場であり、その存在の証拠がヒッグス粒子なのです。

その自然観の確立の裏には、「強い力」、「弱い力」の発見、その特徴の理解により明らかになってきた不可思議な特徴、謎を体系的に説明をするための多くの物理学者の取り組み、理論のブレークスルー、実験技術革新による実験データによる確たる実証の積み重ねがあります。

教科書である「弱い力、強い力」はこれらを体系的にかつ明確なイメージをもって伝える読み物です。
教科書を各自通読してもらい、内容を補完するための考察を行い、参加学生による発表、議論により現代物理学における真空のイメージの共有や、ヒッグス粒子を発見するための実験コンセプトの理解を目指します。

この目標に向けた、通読（簡単な講義）、疑問点（モヤモヤ）の文字化、理解したことのプレゼンテーションによる共有、少人数での議論、持ち帰り調べ学習により授業が進行する予定です。一見抽象的な素粒子物理学のイメージを掴むという課題を通じ、疑問を明確にする能力、他の人の考えを聞いて消化・考察する能力、自分の考えを発信する能力、議論をする能力を磨き、研究の基礎力の獲得を目指します。

成績評価方法　出席と授業参加。
授業のキーワード　ヒッグス粒子、素粒子実験、自発的対称性の破れ、CERN、加速器実験、素粒子物理学
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　強い力と弱い力
著者（訳者）　大栗博司
出版社　幻冬舎
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31585	木 2	解析学の基礎	阿部 紀行	理学部

授業の目標・概要

高校における微分や積分の単元では，まず極限の概念を学びます．その際の極限の定義は，「限りなく近づく時」といったやや曖昧なものです．ニュートンやライプニッツが微積分学を創始した際も極限の扱いはそのようなものでしたが，その曖昧さ故に間違った結論を導いてしまうこともありました．19 世紀に入るとこれらを克服するためにより厳密に極限や実数の概念を定義する試みがなされ，長い議論の末に最終的に「ε-δ（イプシロン-デルタ）論法」という形で極限の定義がなされました．19 世紀中頃に生み出された ε-δ 論法は，その後の数学の発展において他の概念に上書きされるものもなく生き残ってきたタフな概念で，今なお微積分学（解析学）の基礎として大学で学びます．

この ε-δ 論法はすでに述べたとおり現代の解析学には必須な概念です．しかし，一方で特に学び立ての初学者に対しては悪名高い概念でもあります．その理由として，定義が込み入っていて一見してわかりにくいからであると思われます．本講義の目標は，グループワークを通してこの ε-δ 論法を深く学び，理解することです．また，ε-δ 論法だけでなく，「デデキントの切断」，および発展的な内容として「p 進数」を扱います．デデキントの切断は，ε-δ と同じく解析学を厳密に再構築する努力の上で生まれた概念であり，実数の厳密な定義を与えるものです．p 進数は整数論的な問題に端を発して考えられた，実数とは異なる別の「数」の概念です．

本講義では，まず全体を小さなグループに分け，上で述べた三つのテーマの一つを深く掘り下げていき，最終的に班で一つの短い「講義」を作ることを行います．このような体験を通じて，テーマへの理解を深めるほか，文献・資料の収集法，グループによる共同学習の手法などについても習得することも目標とします．

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　原理解明・伝達型、数学／解析学、実数、デデキントの切断、イプシロン-デルタ論法、p 進数
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31650	木 2	先端的な蛍光イメージング技術を用いた生命科学研究	浅沼 大祐	医学部

授業の目標・概要	蛍光イメージングは、緑色蛍光タンパク質（GFP；2008 年ノーベル化学賞）や超解像イメージング技術（2014 年ノーベル化学賞）をはじめとした技術の進歩と共に、細胞内外の生体分子の分布や挙動を高精細に計測することを可能とし、多様な生命現象のメカニズムの解明に貢献してきた。本講義では、近年発展がめざましい生体分子の可視化技術と応用研究についてその実際を内容として取り扱い、受講学生の自発的な知識の習得や発信などへの展開を図ることを目標とする。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の所定の方法によって評価する。
授業のキーワード	論文読解型・問題解決型、グループワーク
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ３　１年 理一(7-8,11,13,15,17)理二三(9-10,14,19)

31586	火 3	知能ロボット入門	中嶋 浩平	工学部
授業の目標・概要	ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。 授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける		
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31587	火 3	「でたらめ」の科学	合田 隆	工学部
授業の目標・概要	皆さんはサイコロの目の期待値が 3.5 であることを知っているでしょう。これは「1 から 6 までの出る目の確率が全て 1/6 である」ことから従います。もし、このことを知らなくても、実際にサイコロを何度も投げて、出た目の平均値を計算すれば、この期待値 3.5 を近似的に推定することができます。このように「でたらめ」な試行を繰り返すことによって、何かしらの値や法則を見積もる方法のことをモンテカルロ法と呼び、様々な科学技術分野で用いられています。 本ゼミナールでは、このモンテカルロ法をアルゴリズムとしてデジタル計算機上で実行するために必要な科学（数学・統計学）とその応用について扱います。具体的には、 ・「でたらめ」をどう生み出すか、 ・「でたらめ」であることをどう評価するか、 ・「でたらめ」より良い方法はあるのか、 といった点について、プログラミングによる演習・グループワークを通じて理解を深めてもらうことを目標とします。		
成績評価方法	グループワークへの取り組みによって評価します。			
授業のキーワード	でらため、乱数、確率・統計、モンテカルロ法、超一様性			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31588	火 3	非凡なタンパク質を探索しよう！	若杉 桂輔	教養学部 （化学部会）

授業の目標・概要

（授業の概要）
全ての生き物において、タンパク質は、DNA 遺伝情報をもとに合成され、生命活動を維持するのに必須の生体分子である。タンパク質は、食事としても体に取り入れる必要がある栄養素でもあり、また、医薬分野や産業的にも利用されている。本ゼミナールでは、この身近な分子「タンパク質」をターゲットに、自ら問題を発見し、科学的な問いとして設定し、問題を解決するプロセスを通じて、主体性を育成する。

（授業の目標）
・未知なる問いへの探求姿勢、問題発見・解決する能力、論理的思考力を身に付ける。
・グループでの協同学習により、分析的、批判的思考、建設的議論、コミュニケーション能力を鍛えることを目指す。
・文献検索、研究倫理の理解、論文読解能力、プレゼンテーション能力、レポート・論文執筆能力などのサイエンティフィック・スキルを身に付ける。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　問題発見・解決型、化学・生物学、タンパク質、分子、生命科学、グループワーク
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31589	火 3	山村の振興や森林資源管理を考える	柴崎 茂光	農学部

授業の目標・概要

日本国土の約３分の２は森林で占められている。
森林管理の担い手として農山村に暮らす人々の役割は大きい。
ただし、木材価格の低迷などの影響により、山村の過疎化が進んできた。

こうした中で、森林資源の有効活用が求められているが、
その前提条件として、森林の材積、成長量、炭素固定量などを適切に
把握することが必要である。

また都市生活者は、農山村から木材を調達するだけにとどまらず、
治水機能、森林レクリエーション機能などの恩恵も享受してきた。
山村と都市の交流をさらに進めるなど、都市と山村との関係の
再構築が改めて問われている。

この授業では、山村の生活や森林管理に焦点を当てることを通じて、
身近な視点から森林資源・森林環境問題に接近してゆく。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　都市農山村交流、I ターン（U ターン）、過疎高齢化、森林調査、森林経営、森林計画
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵著
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31590	火 3	アリの巣で体験する自己組織化現象	土畑 重人	教養学部 （生物部会）

授業の目標・概要
授業の目的：
・英語原著論文の基本的な構成を知り、そこから有益な情報を抽出するための基本的技術を習得する。
・実習を通して、コミュニケーションツールとしての発表スライドの構成方法を習得する。
・アリの観察を契機に、身近な生物多様性の重要性への意識を涵養する。

授業の概要：
アリは群れで生活する「社会性昆虫」の一種である。群れとしての行動によって、アリは一個体では実現しえないような大規模な構造（巣や行列など）を実現することができる。構造が生成するメカニズムは、生物学における「自己組織化」現象の典型例として研究が進められてきた。
本授業においては、アリの社会が示す興味深い群れ現象を報告した英語原著論文を読解するところから始め、野外で採取した実際のアリを用いて群れ現象を測定することを試みる。グループワークの成果のプレゼンテーションを行うことで、効果的なスライド構成方法についても学ぶ。視点の異なる他受講生との活発な議論を希望する。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。受講生の主体的な参画を望みます。

授業のキーワード
授業のタイプ「問題発見・解決型」、進化生物学・生態学・野外生物学、動物行動学・システム生物学、社会性昆虫（アリ）

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31591	火 3	鳥や魚はどうして群れるのか？	古川 亮	生産技術研究所

授業の目標・概要
鳥、魚、さらにはバクテリアといった生物(アクティブマター)はしばしば巨大な群れを作って運動することが知られています。このような現象を理解するために、多くの研究が行われてきましたが、その機構については現在も十分なコンセンサスが得られていません。この授業では、自発的な運動を行っている構成要素(モデル生物)が集まった場合に、どのような振る舞いをするか？それはどのような意味があるのか？実際の現象を説明しうるか？といったテーマについて、皆さんがモデルを立案し、議論し、考察・解析を深めてゆきます。教員はなるべく後方支援、あるいは監督者という立場に徹したいと思いますので、参加者の皆さんの能動的な参加を期待します。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
アクティブマターの物理、集団運動・群れ、相互作用、数理モデル

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31592	火 3	先端研究の現場を「体験」する	近藤 武夫	先端科学技術研究 センター

授業の目標・概要
この授業では、先端科学技術研究センター（先端研）が位置する駒場リサーチキャンパスを舞台に、世界と競い合う最高水準の先端科学技術を体験してもらいます。最先端研究が、キャンパスの殻の中に閉じこもる旧来型の研究ではなく、学術の進展や社会の変化に機動的に挑戦して人間と社会に向かっていることを、この授業で実感できるはずです。先端研の根幹の研究領域（環境・エネルギー、情報、材料、生物医科学、バリアフリー、社会科学）の中から、今年の講義では、基礎的な概論とともに３つの話題を紹介します。基礎から最新のトピックまでざっくりと体験できるはずです。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
自閉スペクトラム症、当事者研究、共同創造、物性物理学、第一原理計算、磁性・超伝導体、太陽電池、薄膜成長、分光

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス
第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31593	火 3	知能ソフトウェア工学への導入 (Introduction to Basics of Intelligent Software Engineering)	馬 雷	理学部

授業の目標・概要	This is an introductory lecture on intelligent software engineering and the basics of scientific research methodology in this area. Nowadays, software has become the foundation of our society, acting as the key pillars that support the research and industrial domains. In this lecture, we will, from the lens of diverse software sectors, introduce the basic ways of conducting scientific research and learning cutting-edge knowledge and concepts in this speedy era. The topics we will cover in this lecture are extensive and broad, including quite a few key software areas, e.g., AI, machine learning, software engineering, etc.
成績評価方法	Evaluation is based on (1) Assigned tasks during the Lecture (30%), (2) Student Presentation (30%), (3) Final Report (40%)
授業のキーワード	Society 5.0、ソフトウェア工学、人工知能、機械学習工学、サイバーフィジカルシステム、メタバース/Web3
教科書	その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他　Will introduce the reference materials during lecture
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31651	火 3	小児外科学入門	藤代 準	医学部

授業の目標・概要	・小児外科学を題材として、主体的な調査、論理的なプレゼンテーション、建設的なディスカッションなどの高等教育での学びに必要な素養を身に着ける ・小児外科・小児医療などについての知識・理解を深める
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する。
授業のキーワード	問題発見・解決型、医学、小児医療・小児外科学
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31594	木 3	核分裂を使って新しい価値を創れるか？	村上 健太	工学部

授業の目標・概要	グループに分かれて、核分裂反応（つまり、原子炉等）を利用した新しいシステムを提案してもらうことをプロジェクトのゴールとしながら、巨大で複雑なシステムを対象とした研究を行うために必要な素養を身に着けることを目指します。 核分裂技術は、これまでもっぱら発電を目的として応用されてきましたが、最近ではほかの様々なアプローチ（動力としての利用、熱源としての利用、放射線を使った物質の改質、など）への産業界の関心も高まってきています。また、原子力はさまざまな学術領域を集めた「総合工学」としての特徴を持ちます。 原子力を例題とすることで、様々な分野に応用可能な基盤的なスキルを身につけましょう。例えば、 東大には論文検索用のツールが完備されています。しかし、論文化されていない技術情報（例えば、原子力システムの具体的な設計、原子力に関連した国内外の法令、原子力に対する人々の意見、等）は、どのように集めたら良いのでしょうか？ 研究不正と認定される行為をしないのは当然として、自分たちの研究成果が社会に与える影響も真摯に考える必要があります。研究活動に関係した倫理上の問題に、どのように取り組めば良いでしょうか？ 多くの研究は「グループ」で実施されます。一人で集中した方が効率的ではないですか？ グループワークから創発を得るには、どのようなやり方をすれば良いでしょうか？
成績評価方法	数回のレポートで評価します。
授業のキーワード	原子力、核分裂、システム、総合工学
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31595	木 3	疾患克服を目指した医科学研究の実際 -疾患の分子病態から予防、診断、治療法を考える-	小沢 学	医科学研究所

授業の目標・概要	がん・免疫疾患・感染症・神経疾患などの疾病を克服し、健康で長生きできる社会を実現するためには、疾病の原因となる感染源や遺伝子変異を同定するとともに、動物モデルなどを駆使しながらその異常と病態発症・進展における分子メカニズムを解明することが極めて重要です。そして、得られたデータを新しい予防・診断・治療法の開発へと発展させていく必要があります。私達の医科学研究所では、最先端のゲノム編集技術を用いた動物モデル開発や膨大な患者サンプル等を使用した実験的基礎医学研究から、基礎実験データを臨床に活かすためのトランスレーショナルリサーチ、さらには AI やスパコンを駆使した高度な数学的手法によるデータ解析、そして様々な疾患を予防するためのワクチン開発など、基礎から応用までを包括的に統合する体制で医科学研究を推進しています。 本ゼミナールでは、グループ学習を通して、まず（1）スマートウォッチを利用した研究について学ぶ、（2）組織の再生メカニズムの理解と生体外での組織構築の試み、さらに、（3）幹細胞は生命の謎を解く鍵：組織幹細胞の発生、再生、老化とその制御、の 3 題の研究テーマを皆さんと考察していきます。その過程で、医科学研究の持つ自然科学的な側面にとどまらず、社会的な側面からも医科学研究の現状について議論を深めていく予定です。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 各講義と、最終週に発表の機会があります。発表の内容を重点的に評価します。
授業のキーワード	再生、分化可塑性、組織幹細胞、老化、ウェアラブルデバイス、モバイルヘルス
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31596	木 3	地球の声を聴いてみよう	西田 究	地震研究所

授業の目標・概要	今から約 100 年前 Alfred Wegener は、世界地図の上で大西洋を挟んだアフリカ・南アメリカ大陸両海岸線の類似した形を見て、大陸移動のアイデアを思いつきました。このアイデアは、当初大陸を移動させる駆動力について明確な説明ができず、地球科学界では忘れ去られてしまいます。しかし 1950 年代以降、地球科学上の新しい証拠によって再評価され、プレートテクトニクス理論の確立へとつながりました。その間にも地形や地震・火山の分布の特徴や規則性から、地球のダイナミクスや歴史について様々な発見がされています。近年では、地震計や地殻変動の記録を調べることによって、地球の表面だけでなく内部についても色々な事が明らかとなってきました。 現在、私たちは Wegener の時代とは比較にならない膨大な地球情報を手にしています。地球については理解尽くされてしまったのでしょうか？そんなことはありません。地球に関する理解が進む一方、新たな問題が明らかとなってきました。例えば、海溝型地震・津波が超巨大になる要素は何か、地球磁場ななぜ逆転するのか、生物大量絶滅はなぜ起きたのか、などの根源的な問題はまだ理解されていません. 我々が手にする情報の量は膨大なだけに、例えば地震計の記録一つとっても、まだ誰にも注目されていない現象も多く残されています。本ゼミナールでは、最新のデジタル地球データを駆使して、その特徴が語る地球の歴史や未来の姿を描き出します。新しい規則性の発見や、斬新な仮説がこのゼミナールから生まれることを期待します。 （目標） ○ 「どのようになっているか」を知るため，情報を収集・分析するスキルを身につける. ○ 「なぜそのようになっているか」という問題意識を持ち，解決に向けて取り組む姿勢を身につける. ○ グループで問題設定，情報共有，議論を行い，考えをまとめるグループワークを経験する.
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、地球惑星科学/地球惑星科学、デジタル地球データ、プレートテクトニクス、地震・火山、地球・惑星の進化
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31597	木 3	宇宙の未解決問題を考える。 Unsolved problems in Astronomy: Dark matter	柏川 伸成	理学部

授業の目標・概要	宇宙の未解決問題の 1 例として今年度はダークマターについて考える。これまでの研究の歴史を振り返りながら、どうしてこの概念が現代天文学で必要とされているのかを知る。ダークマターに深く関与する観測事実について理解し、現代科学においてダークマターはどのような意味を持つか、またその正体を暴くにはどうすればよいかを考察する。最終的には各自自らの未解決問題にどのように取り組むべきか解説・提案してもらう。 Reading through a historical review of dark matter, we will consider dark matter. We will learn why this concept is needed in modern astronomy. We will understand the observational facts deeply related to dark matter, and consider what dark matter means in modern science and how we can uncover its true nature. Finally, each student will be asked to explain and propose how to tackle their own unsolved problems.
成績評価方法	出席とレポート。欠席は 3 回まで。欠席することがあらかじめ分かっている場合には、メールで連絡すること（メールアドレスは下記参照）。
授業のキーワード	ダークマター dark matter
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 The dark matter problem : A historical perspective 著者（訳者） Robert H. Sanders 出版社 Cambridge University Press ISBN 9.78114e+12 その他 教科書を購入しなくてもプリントで配布します。
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31598	木 3	分子を創り出す化学	大栗 博毅、谷藤 涼	理学部

授業の目標・概要	化学は分子の科学であり、有機化学は生命の化学として発展を遂げてきました。炭素とその他の元素が様々な様式で結びついた多種多様な分子を対象として、分子の構造、振舞い、生体における役割等が明らかにされてきました。化学は、自然界に存在する有機化合物の探究にとどまらず、医薬品・新材料・新デバイス・新プロセスなどを開発し、我々の生活に変革をもたらしてきました。「想い描いた分子を自由に創り出し、原子・分子レベルで機能を自在に制御できる」のが化学の強みです。複雑で多様な分子とその集合体が織りなす機能美に魅了されながら、様々な課題の克服や社会の永続的発展に貢献できます。 本ゼミナールでは、生体機能性分子の基礎を概観し、分子の構造・設計・反応・合成・機能等について学びます。関連文献を読んでグループ討論やプレゼンテーションを実施します。後半では、本郷キャンパスの研究室見学や簡単な有機化学実験を計画しています。一連の取り組みを通じて、グループでのコミュニケーションから主体的に学び、チームで切磋琢磨しながら研究活動を進めていくためのスキル形成をサポートします。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	授業のタイプ：問題発見・解決型、学術分野：化学・薬学・ケミカルバイオロジ、分子の構造、分子の反応、分子の合成、分子の機能
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31599	木 3	脳の暗号解読方法	大泉 匡史	教養学部 (物理部会)

授業の目標・概要	脳は神経細胞集団が電気的な信号をやりとりすることによって、高度な情報処理を行うシステムである。従って、神経細胞集団の電気的な活動の中には、様々な情報(視覚・聴覚・思考・感情・意図, etc.)が「暗号化」されていると考えることができる。脳の暗号を正確に読み取る方法(「デコーディング」と呼ばれる)を確立させることは、脳という情報処理システムを理解する上での一つの究極の目標と言える。この講義では、近年、急速に質・量ともに大幅に向上している脳計測データを実際に解析し、脳計測データから脳活動が暗号化している情報を、統計や機械学習の手法を使って読み取る方法論を学ぶ。 脳計測データは公開されているデータから自分が興味のあるデータを選ぶ。講義では、はじめにデータを選ぶために必要な、神経科学分野の論文の読解方法を学ぶ。次に、そのデータを解析するのに必要な、初歩的なプログラミング技術、統計、機械学習の基礎を学ぶ。はじめは既に報告されている解析結果の再現を行い、可能であれば自分なりに簡単なテーマを設定して、脳活動データの解析を行い、解析結果を報告することが最終的な目標となる。 講義の目標は以下である。 １．脳科学分野の論文を読み解く技術を学ぶ。 ２．公開されているデータを探索し、活用する技術を身につける。 ３．データ解析のための基礎的なプログラミング技術を学ぶ。 ４．脳情報のデコーディングに必要な基礎的な統計、機械学習の方法を学ぶ。 ５．自分なりの簡単なテーマを設定して、脳活動データの解析を行う。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	授業のタイプ（実験データ解析型)、脳科学、脳情報デコーディング、プログラミング、統計、機械学習
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31600	木 3	薬学を支える生物学の役割と貢献	中嶋 悠一朗	薬学部

授業の目標・概要	（授業の背景） 薬学部では、生命現象の理解を究めつつ、創薬を視野に入れた基礎研究を行っています。生命現象を深く理解するためには、生物を構成する最小単位である細胞について詳しく理解する必要があります。細胞のことを詳しく知る方法として、正常な細胞と異常な細胞を比較して、その違いがどこから生じているのかを調べることは、とても有効な手段です。数多ある病気の原因は様々ですが、究極的には特定の細胞の機能異常が病気を引き起こしているとみなすことができます。逆に言えば、病気の原因を探ることで、正常な細胞の本来あるべき姿を理解する上で手がかりにもなることを意味します。 （授業の目標） 本ゼミナールでは、創薬の対象となりうる各種の病気やその発症原因について学習しながら、正常な細胞の姿の一端を学ぶことを目的とします。さらに、疾患を治療するためには、どのような戦略を取り、どのような創薬ストラテジーがあるのかということをグループで考え、プレゼンテーションも行います。一連の作業を通じて文献やデータベースの探索方法、論文読解、グループディスカッションの仕方、わかりやすいスライドの作成・発表方法などの習得も目指します。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	論文読解型・問題解決型、生物学／薬学、細胞生物学、分子生物学、創薬、グループワーク
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31601	木 3	分子の形を知り、物質をデザインする	宮島 謙	教養学部 （EX 部門）

授業の目標・概要	水分子が、１個の酸素原子と２個の水素原子からなり、折れ曲がった二等辺三角形のかたちをとることはよく知られています。このように非常に小さな分子の構造はどのようにして決定されたのでしょうか。本初年次ゼミでは，この疑問から出発し，分子の形がどうすればわかるのかを調べ、なぜわかるのかを考えてもらいます。具体的にどのような測定データにもとづき分子の構造が決まるのかを、様々な文献やデータベースにもとづいて調べます。そのあと、それぞれ１個の元素を選び、その元素のもつ特徴を明らかにしながら、どういう物質を構成しうるのかを考えます。授業の進行は，４，５人のグループで行い，グループ毎にテーマを設定してもらいます。グループ中で様々なアイデアを出してもらい，また議論してもらい，最終的にグループ毎にまとめた結果を発表してもらいます。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価する
授業のキーワード	問題発見・解決型、化学／分子科学、原子・分子、構造、分光学、スペクトル
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

グループ４　１年 理一(23,26,28-29,33,36-37)理二三(12,16,24)

31602	火 4	知能ロボット入門	鳴海 拓志	工学部

授業の目標・概要	ロボットは、人間・機械・情報を結ぶ知的なシステムです。ロボットは、コンピュータ単体とは違って、自ら移動したり、ものを動かしたりすることができます。生物の仕組み、特に脳神経系の働きは、知的なロボットを作るヒントになります。一方、人間以上の速度やパワー、インターネット上の知識の利用など、生物を超え得る潜在力を持っています。 この講義では、知能ロボットを構成する基本要素や知的な振る舞いの作り方を考え、学びます。ツールとしてロボットキットを用いますが、講義の主眼はマニュアル通りロボットを組み立てることではなく、知能ロボットの可能性について実践を通じて深く考えることです。最新のロボット研究の成果にも触れてもらい、知能とはなにか、現代社会で必要とされるロボット・システムとは何かを議論してもらいます。また、工学的な思考方法に親しみ、作ったものの狙いや価値をわかりやすく伝える技術を磨くことも期待しています。 授業の目標： ・ ロボットや知能といった未定義で学際的なことがらに対して、グループ討論や能動的な調査に基づいて客観的に論じることができるようになる ・ 工学の観点から問題を発見し、実際の製作を通じてそれを解決するプロセスを身につける ・ 自分の考えを整理し、適切に他人と分担して、複雑なシステムであっても、順序立てて簡潔に説明できる能力を身につける
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、工学／知能機械・ロボティクス、グループワーク、ものづくり、知的情報処理
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31603	火 4	リハビリテーションを考える	四津 有人	工学部

授業の目標・概要	障害を持った当事者、その支援者などをお招きして、どのようなニーズがあり、どのような支援ができるかを考える、アクティブラーニングを行います。 対面，オンラインの併用です．オンライン時の zoom のアドレスは ITC-LMS に記載.
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 出席とレポートなど.
授業のキーワード	問題発見・解決型、医歯薬・理工・社会、授業のキーワード１、授業のキーワード２、授業のキーワード３、授業のキーワード４
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31604	火 4	熱帯感染症を考える	渡邊 洋一	医学部

授業の目標・概要	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、ここ数年の世界を一変させたが、これまでに例を見ないスピードでワクチン･治療薬の開発が進んでいる。一方､熱帯地域を中心に流行する｢顧みられない熱帯病｣(neglected tropical diseases: NTDs)は、高所得国を中心に問題となっているガンや生活習慣病の対策に比べ、対策が著しく遅れている。しかし、地球温暖化による気温の上昇は、NTDs の流行地域を拡大させる可能性をはらんでおり、高所得国での NTDs の流行も懸念される。そこで、本ゼミナールでは、感染症とそれに対するヒトの応答の基礎を学んだあと、NTDs の実態を知り、その対抗策を考えていく。
成績評価方法	出席と講義への参加程度
授業のキーワード	顧みられない熱帯病、感染症、細菌、、ウイルス、寄生虫、免疫応答、ワクチン、、治療薬、感染対策
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31605	火 4	生物の生き様を支える多様な生体分子	奥田 傑	農学部

授業の目標・概要	動物、植物、微生物などの生物種に関わらず、あらゆる生物において、核酸、タンパク質、脂質といった多様な生体分子の機能が組み合わさることで、その特徴が形作られる。つまり、生体分子の機能を解明することで、生命の仕組みを明らかにし、さらにはその機能を利用した技術革新を生み出すことも可能である。本ゼミナールでは、参加する学生が複数人でグループを作り、様々な生体分子が持つ機能や、その機能を利用したテクノロジーに関する興味深いトピックについて調査し、プレゼンテーションを行う。教員や TA と一緒に学術論文に触れ、その内容や構成について理解する。また、その学術的背景を含めた内容について、他者にわかりやすいプレゼンテーションを作成するという作業を通じ、科学と社会をつなぐサイエンスコミュニケーションについての理解を深める。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、生命科学、生体分子、タンパク質、生物活性物質、バイオテクノロジー
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31606	火 4	レーザーと光科学への導入	松永 隆佑	物性研究所

授業の目標・概要	私たちが物事を理解するためには「光」が重要です。光で視覚的に情報を認識するのはもちろんのこと、科学の発展の歴史の中でも、光の性質を利用した実験が大きく関わっており、光をきっかけに人類はこの世界に対する理解を大きく進展させてきました。 現代社会においても光とその関連技術は欠かせません。太陽光、蛍光灯、LED などいろんな光源が存在しますが、その中でも特に「レーザー」の光は非常に特殊です。1950 年代にレーザーが発明されたことで、人類は極めて制御性の高い光を手にしました。それをきっかけにして光を利用した科学がさらに飛躍的に発展しています。物理学、化学、工学、生物学、医学といったあらゆる分野にレーザーは関わっています。 この初年次ゼミでは、レーザーが持つ特徴の一つである「一瞬のごく僅かな時間だけ光を放つことができる」という性質に注目し、その歴史、原理、実用例を含めて、光科学への理解を深めることを目指します。 ミリ秒、マイクロ秒、ナノ秒、ピコ秒、フェムト秒、アト秒といった非常に短い時間スケールでは一体何が起こっているのか、それを調べるため、あるいは活用するために、レーザーがどう威力を発揮しているのかを学びます。 学術文献を調査し、その文献を理解するために必要な物理学を自ら学び、その内容を話し合って議論することを通じて、ひとりひとりが光科学への理解を深めることを目指します。それを通じて科学へのさらなる探求心を持っていただくことを期待しています。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	物理、レーザー、光科学、超高速現象
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31607	火 4	科学技術と社会について考える / Science and society	福本 江利子	教養学部 （情報図形部会）

授業の目標・概要	近年の新型コロナウィルスの世界的流行では、みなさんも科学技術と社会との界面にあるさまざまな問題や変容を身近に感じる機会があったのではないでしょうか。この初年次ゼミナールでは、科学技術社会論（STS: Science, Technology, & Society）という分野の視点を手がかりとして、科学技術と社会について考えます。科学技術社会論は、人文学・社会科学系のさまざまな分野のアプローチを用いて科学技術についての研究や実践にとりくむ分野です。担当教員は、科学技術社会論、科学技術政策、行政学などを専門としています。 この授業では、科学技術と社会に関する現実の課題として、とくに新型コロナウィルスの世界的流行を題材にします。みなさんが疑問に思っていることをもとにテーマとグループを設定し、グループごとに協働して調査や議論、発表を行うとともに、最終課題として関連テーマについて個人でレポートを執筆します。楽しみながら学べるようなゼミにしたいと思っています。 授業の主な目標： ・課題に関連する文献・資料を自ら収集そして読解し、プレゼンテーションやレポートの形にまとめることができるようになる ・問いを立て、それに対してのアプローチを自身で考えたり他者と議論したりして取り組むことができるようになる ・自らの見解を提示するとともに、多様な見解や価値観を受け入れて双方向的なコミュニケーションをとり、グループでの共同作業や議論、関係構築ができるようになる その他： このゼミナールで扱う内容を理解するために、以下の短い文章が参考になります。 受講希望者は事前に目を通してみてください。 藤垣裕子「新型コロナウィルス感染症が提起する「科学技術と社会」の課題」『教養学部報』622 号―2020.11.04 https://www.c.u-tokyo.ac.jp/info/about/booklet-gazette/bulletin/622/open/622-04-2.html
成績評価方法	初年度ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、科学技術社会論、科学技術、社会、事例、新型コロナウィルス
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法 : 東京大学「初年次ゼミナール理科」 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門, 増田建, 坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31608	火 4	解析学の基礎	下村 明洋	理学部

授業の目標・概要	大学での標準的な数理科学の立場から観ると，高等学校までの数学に於いて極限と連続性や微分積分の取り扱いはやや直観に頼ったものであり，大学での学問としての数理科学ではこの分野は厳密な理論が展開される．「数理科学の立場から厳密に記述された微分積分学（解析学の初歩）の文献の実数，極限，連続性等に関する部分」を受講生が輪講する事により，この分野に関する理解を深める事を目標とする．この科目は，受講生による発表形式で行うので，受講生が能動的に学習し発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする．この分野の能動的な学習を通して，数理科学的な思考力を養う事も目標である．
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します.
授業のキーワード	文献輪講型、数理科学/解析学、実数、極限、連続性、イプシロン・デルタ論法
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　微分積分学 I 著者（訳者）　宮島静雄 出版社　共立出版 ISBN　978-4-320-01713-9 その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31609	火 4	宇宙を固体惑星の表層地形と振動から理解する	諸田 智克、河合 研志	理学部

授業の目標・概要	地球惑星科学における基礎知識と論理的思考力、数量的スキルの涵養を目指す。そのために実際の観測データや理論モデルを用いた解析研究を体験し、その結果にもとづいた科学的議論を行う。前半は地球内部構造推定のための地震波波形解析を体験し、後半は月惑星探査データの解析、将来探査計画の立案を行う。 (1)固体地球科学 観測された地震波を解析することによって推定された地球内部の構造は、地球型惑星の進化の理解に貢献してきた。弾性体の運動方程式に基づき、地球内部を伝搬する弾性波(理論地震波形)をシミュレーションすることは観測地震波の解析に欠かせない。本ゼミでは、理論地震波形を計算し、フーリエ変換や周波数フィルタ等の波形解析の方法を適用して、地震波形データ解析の体験をする。また、波長に応じて、地下の構造に対する地震波の感度がどのように変わるかを可視化して議論することで、最先端の研究の雰囲気を味わっていただく。 (2)月惑星探査 月や惑星を研究する上で、最も有効な手段は月惑星探査によるその場観測やサンプルリターンであり、実際に日本の「かぐや」「あかつき」「はやぶさ２」などの月惑星探査によって多くの科学成果が創出されてきた。一方で、太陽系形成と進化に関わる未解決問題は依然残されている。本ゼミでは、当該分野の論文を講読し、太陽系科学、惑星科学における現状理解と未解決問題を把握するとともに、実際の月惑星探査データの解析を体験する。また問題を解決するために必要となる将来の惑星探査計画を検討する。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	講義・輪読・理論実習・解析実習、地球内部構造・地球型惑星の進化、弾性体・有限波長・理論地震波形・周波数解、太陽系探査・月惑星探査・小天体探査
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31610	金 1	公共交通と自然災害 ～鉄道ネットワークを例に～	渡邉 健治	工学部

授業の目標・概要	近年、大地震や集中豪雨等の自然災害により公共交通機関がその機能を短期的・中長期的に失うケースが多発している。例えば、令和元年台風 19 号襲来時には、千曲川の氾濫により長野新幹線車両センターが水没し、多くの新幹線車両が使用不能となった。 今後 30 年以内に 70%の確率で襲来する首都圏直下地震や近年頻発している豪雨災害に対して、本授業では公共交通、その中でも鉄道によって支えられている旅客・物流ネットワークの頑強性・冗長性・脆弱性を調査し、今後の施策の方向性・あるべき姿を議論する。 授業ではまず過去の自然災害（大地震、豪雨災害）を取り上げ、特に鉄道インフラの被害や復旧プロセスを調査し、当該災害が投げかけた課題、その後の対策状況をグループワークにより調査する。 次に、今後予想される災害に対して鉄道インフラ個別の対策（耐震対策、補強箇所の選定等）や、鉄道ネットワーク全体（他交通機関含む）の冗長性を高める対策について議論する。 これらの調査・議論を通じて、首都圏における公共交通の自然災害に対する備え、頑強性（脆弱性）を議論する。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、土木工学、社会基盤学、自然災害、公共交通、鉄道ネットワーク、冗長性
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31611	金 1	建築デザインの見方	安原 幹	工学部
授業の目標・概要		建築の設計とは、単にかたちをデザインすることではありません。社会の諸制度、都市空間の仕組み、構造・環境技術などとの関わり合いの中から、社会の新しい要求に対応し、時には社会の変化自体を促進していくような新しい空間を構想・提案していくことが求められています。この授業では、そうした多岐に渡るテーマと建築デザインの関わり合いを紹介し、受講者との議論を通じて、現代社会における建築デザインの役割に関して理解を深めることを目的とします。 下記のようなテーマを扱います。 ・光と空間 ・家族と住まい ・街をつくる建築 ・地域社会と建築 ※テーマと関連して随時、街歩きや建築の見学を行います。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		建築設計、建築デザイン、空間、都市、住宅、地域社会		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31612	金 1	駒場キャンパスやその周辺のまちを歩き、 その空間について考える	中島 直人	工学部
授業の目標・概要		本授業はフィールド体験型ゼミナールとして、都市空間の魅力と課題、それらの要因となる要素を理解・分析し、そのことを他者に伝わるように表現する力を養うことを目的としています。授業では、駒場キャンパスやその周辺のまちを歩いたり観察したりして、魅力や課題の発見と提案を行います。建築、土木、都市計画、環境の分野に関心がある方、グループワークが好きな方、いろいろな側面から空間を見てみたい方におすすめです。		
成績評価方法		授業における積極性・貢献度、個人課題・グループ作業の成果物		
授業のキーワード		キャンパス、都市、資料収集・分析、現地踏査、発表、グループ作業		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31613	金 1	物理のための数学ゼミ	遠藤 護	工学部
授業の目標・概要		物理学では、様々な現象の中に法則性を見いだして、それを数学的に記述します。また、その数学から予想される現象は、実験的に確かめられます。こうした過程の中で、それまで思いもしなかった応用が見つかることがあります。例えば、量子力学の応用としての量子コンピュータなどです。 この授業では、基礎となる数学を学び、物理の記述にどう生かされるのかを調べ、受講者同士の議論を通して理解を深めます。文献の検索、発表資料の作成、科学的な内容でのコミュニケーションの経験を積みます。最終的には、4 名程度のグループに分かれて、興味のあるテーマを自ら設定し、他の受講者の前で発表してもらいます。物理に関連していれば基本的にどんなテーマでもよいので、面白い発表を期待しています。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		問題発見・解決型、数学／物理学／量子力学、相互学習、サイエンスコミュニケーション、グループワーク		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31614	金 1	環境に優しい化学のものづくりを考えよう	秋月 信	工学部

授業の目標・概要

（授業の概要）
化学は我々の生活を豊かにする様々な物質をつくることに貢献しています。その過程においては、地球規模の環境問題や公害問題など様々な環境問題を引き起こし、また現在でもそれらの要因となっている例も少なくありません。一方で、環境に優しい化学のものづくりを目指したグリーンケミストリーやサステナブルエンジニアリングといった考え方が生まれ、近年の環境問題への関心の高まりからそれらの重要性はさらに高まっています。
このゼミナールでは、環境に優しいものづくりを目指す化学の考え方を学び、それを活用して、課題の発見と解決策の提案ができるようになることを目標とします。
まず前半で、ある化学製品の合成プロセスを例として取り上げ、それが環境に優しいかどうかをどのように考え、評価し、改善策を提案するかについての基礎的な考え方を、議論や演習を通じて身につけます。
後半では、グループごとにテーマを設定し、対象とするものづくりの評価と改善策の提案に取り組んでもらいます。テーマについてもグループで議論して設定してもらいます。身近な化学製品に注目するのも良いですし、化学のものづくりを幅広に捉えた対象（例えばエネルギーや料理など）に設定するのでも構いません。

（授業の目標）
・環境に優しいものづくりを目指す化学の考え方に触れ、課題の発見と解決策の提案ができるようになる
・自身の考えを他人に伝え、また他人の考えを理解し、それらを課題解決等に役立てるコミュニケーションの基礎を身につける

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　問題発見・解決型、工学／化学システム工学、環境学、化学製品、グループワーク
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31615	金 1	化学で脳の謎を解く	平林 祐介	工学部

授業の目標・概要

概要：「生命」は化学物質の変換を巧みに行い自律的に活動する複雑なシステムです。また「分子」はそれら化学物質の基本的な構成単位であり、その機能の発現において中心的な役割を担っています。生命や分子を「化学」の視点から眺め理解することは、我々自身やまわりの現象を深く知る上で欠かすことができません。
私たちは「化学」の力を使い、「分子」をデザインすることで自らの創造力を具現化することができます。これによって天然に存在する分子を模倣したり、自然界には存在しない人工的な分子や素材を創り出したりすることで、これまでにない全く新しい機能を持たせることも可能になります。これらのアプローチは生命現象の理解や病気の治療法の考案など、人類社会が抱える数多くの問題を解決する糸口を提供します。
本ゼミナールでは生命体が我々の脳に高度な機能を与えるためにとったストラテジーの解明や、脳の機能が異常を示した際（＝病気）の解決策について、化学や分子の視点から文献調査やディスカッションを通じて主体的に考えることを主眼にしています。最終的にオリジナリティの高い提案を行うことを目標に進めていきます。

授業の目標：
•解決すべき 問題に対して自ら課題を設定し、解決法を提案する主体性を育成する。
•グループによる課題設定。進捗状況の共有、プレゼンテーションの実施、質疑応答など共同作業におけるスキル、グループワークにおける主体的な関わり方を身につける。
•自然科学における論理的思考法、批判的思考法、建設的な議論などの組み立て方について学ぶ。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　問題発見・解決型、化学/生命科学、脳神経、タンパク質工学
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31616	金 1	ストレチングの科学	久保 啓太郎	教養学部 （スポーツ・身体運動部会）
授業の目標・概要	最近、「ストレッチングはパフォーマンスを下げるので、ウオーミングアップとして行わない方が良い」と言われたりします。まずそれが真実なのか？またウオーミングアップとして適切なストレッチング法は無いのか？さらに、ストレッチングは障害を予防したり、リラックス効果が得られると一般的に考えられているが、果たして本当なのか？本講義ではストレチングにまつわるこれらの話題について、文献検索および実験を通して明らかにすることを目指します。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法により評価します。			
授業のキーワード	スポーツ科学、論文読解型＆データ解析型			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31617	金 1	薬学を支える基盤技術の役割と貢献	大戸 梅治	薬学部
授業の目標・概要	新薬を開発するためには、少なくとも十数年に及ぶ研究期間と莫大な研究開発費を要します。創薬研究のプロセスは、探索研究、開発研究、臨床研究に大きく分類され、それぞれの研究段階において多くの研究分野が創薬を支えています。本授業においては、薬物が投与された後の体内での薬物の挙動を明らかにする薬物動態、薬のターゲットであるタンパク質の立体構造を明らかにする X 線結晶構造解析や核磁気共鳴法を取り上げ、これらの技術が創薬においてどのような役割を果たしているのかを論文読解やグループワークを通して理解します。授業で取り上げる技術をはじめとする様々な創薬基盤技術の今後の可能性をグループで調査・議論し、プレゼンテーションを行います。			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	情報収集・問題解決型、物理系薬学、薬物動態、X 線結晶構造解析、核磁気共鳴法			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

グループ５　１年 理一(21,25,27,30-32)理二三(1-3,5,11,13,21)

31618	水 2	工学×デザイン～ワークショップで学ぶ 理系のためのデザイン	村上 存	工学部

授業の目標・概要	■ 授業の目標 ・異なるテーマのワークショップを通して、ものづくりにおけるデザイン（設計）を体験します。 ・グループワークによる問題設定、分析、アイデア発想、プレゼンテーションのプロセスを身につけます。 ・デザインに必要な基礎的な工学的知識を身につけます。 ■ 授業の概要 良いデザイン（設計）とは何でしょうか。それは、単に見た目が美しいだけでなく、安全で、使いやすく、使うと嬉しくなるような人にとって思いやりのある設計を指すかもしれません。あるいは、シンプルな構造で優れた性能を発揮する巧妙な設計を意味することもあるかもしれません。この様に、ものづくりにおける「デザイン」の意味は多様です。本ゼミでは、グループワークによるワークショップを通して、ものづくりにおける多様なデザインの観点と、それに必要な方法を理解します。 前半では、身の回りから、危険、非効率、分かりにくい、使いにくいなどの「困った」デザインを調査・発掘し、問題の本質を議論します。そして、それらを「よい」デザインに変えるアイデアを提案、プレゼンテーションします。 後半では、軽くて安全な構造物をデザインすることを目的に、パスタで橋を作るパスタブリッジコンテストを通じて、機能を達成するための工学デザインを体験します。最終回は、グループごとに発表会を行い、それぞれのデザインについて議論します。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、機械工学／設計、デザイン、力学、理論＋実践、発想・創造
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31619	水 2	ペットボトルと紙ではじめるエアロスペース エンジニアリング入門	水口 周	工学部

授業の目標・概要	飛行機や宇宙機が重力に反して高速で飛行するためには，機体重量や強度，推進性能などが厳しく要求されます．よって，限界近くまで無駄を無くすのに加え，様々な制約条件に対して最適化を行う必要があります．すなわち航空宇宙構造物には多くの物理や工学が融合し，その開発には流体力学，制御工学，推進工学，材料力学，構造力学などを含む総合工学によるアプローチが必要となります．そのため，開発プロジェクトの成功には，それら全体を俯瞰することに加え，様々な要素の役割を考えることも重要であり，最適化された各機能を統合した全体システムを構築する必要があります．このためには，プロジェクト（グループ）内のマネジメント，仕様要求や各要素インターフェースの調整が必須です． 本講義においては，航空宇宙工学につながるトイプロブレムとして，ペットボトルを用いた水ロケットとペーパーブリッジの２テーマに取り組みます．様々な制約条件下においてミッション（課題）を設定し，計画策定，スケジューリング，基本設計，詳細設計，試験（実践・計測），結果検証，改善案の考察を行います．グループワークとして課題に取り組み，役割分担，課題解決に向けた背景にある物理現象の調査，課題抽出，コンセプトの策定，設計および製作方針に関してディスカッションを行います．各段階で計画や経過についてグループ毎のプレゼンテーションを行い，全体で議論し，よりよいデザインへと改善していくことを目指します． テーマ①:ペーパープリッジプロジェクト テーマ②:水ロケットプロジェクト
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	ものづくり、工学/航空宇宙工学、最適化、グループワーク、推進、構造
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31620	水 2	数学・物理をプログラミングで考える	田浦 健次朗	工学部

授業の目標・概要	より詳しくは以下の URL を参照 http://pmp.eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/ コンピュータ（プログラミング）を使って，数学や物理の問題，実世界の問題を数学や物理の言葉で定式化した問題を解く方法を学びます．そうすることを通してプログラミング，数学，物理を学ぶとともに，それらの分野に対する勉強の動機・意欲が高まることを期待します． 実際の問題をいくつか，例・テンプレートとして提示し，グループに別れて解法や，問題の発展形や一般化などについて議論します．それと並行して，プログラミングの基本について，演習します．最後に，お互いが解いた問題について発表しあう，発表会を行います．途中でも，グループの間でのアイデア交換や進捗状況の共有のため，適宜ミニ発表会を行います．KOMCEE でグループごとに机を分け，ノート PC を用いてプログラミングや文献調査を行います．
成績評価方法	出欠，授業への参加意欲など
授業のキーワード	プログラミング、Python、シミュレーション (計算科学)、機械学習 (データ科学)、微分方程式、行列
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31621	水 2	モーションコントロール入門- --ロボットや車両を上手に動かす科学	古関 隆章	工学部

授業の目標・概要	すでに高校の物理で習ってきたように、目の前のものから、天体に至るまで世にあるものは力学に関する物理法則にしたがって動いている。ニュートンにより提唱 された力学の法則は数学的表現では、時間に関する二階の微分方程式の形をとり、ものをうまく動かすために、その微分方程式に基づく「動的な性質」を理解し 取り扱うことが重要になる。ものの「動的な性質」に着目して対象をモデル化し、状態を計測し、リアルタイムに情報を処理して、入力をうまく決め、「思った ように物を動かす」一連の手法を制御という。ここでは、倒立振子という、そのままでは倒れてしまうものを例題に、上手にものを動かすモーションコントロー ル＝運動制御について、グループでの議論、数値計算、実験を通じて学び、数式に基づいて論理的に考えることの大切さを体験することを目的とする。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	授業のタイプ 実験データ解析型、学術分野 工学/ 電気電子工学、ロボット、車両、動的システム、運動制御
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31622	水 2	AI 支援による材料開発の最前線	南部 将一	工学部

授業の目標・概要	皆さんの身の回りにあるモノ。これらモノを作るうえで欠かせないのが材料です。モノづくりでは，原子や元素から物質を創り，物質を材料や部品に加工し，製品を組立てます。材料とは材料科学・材料工学の知に基づき，物質に機能という新たな付加価値を与えたものです。自然界に存在している原料から使える材料に生まれ変わらせ，さらに加工する，そのような工程を担っているのが材料関連の産業であり，自動車や電化製品などの皆さんのもとに届く製造業において欠かすことのできないパートです。従来材料開発は 10 年以上の長期間が必要でしたが，近年の急速な科学技術の発達に追随するためには，材料開発の加速化が必要不可欠です。 本講義は，そのような材料開発研究における最先端について学びたいと思います。材料開発の加速化，最適化を可能にするアプローチとして，近年は AI を活用した研究が多くなされています。そのような情報工学的なアプローチをこれまで培われてきた材料科学・工学と融合させることで，構造材料，電子デバイス材料，医療用材料などの材料開発において何ができるのか，解説文などを題材にしながら，グループディスカッションを通じて考えていきたいと思います。 【 題材の例 】 1) 構造材料のマテリアルズインテグレーションシステム：近年，マテリアルズゲノムイニシアチブに端を発し，従来の実験，理論に基づいた材料開発ではなく，さらに計算，データを融合させた材料開発が全世界で開始され，日本でも進められています。特に日本が得意とする構造材料開発におけるシステムがマテリアルズインテグレーションシステムとよばれています。今まで１０年，２０年かかった材料開発を，AI などを活用することによって数年で実現する，そのようなシステムについて調査します。 2) 電流のオン/オフを変えられる材料とその仕組み：情報機器の頭脳となる集積回路では微細加工されたトランジスタが何億個も並び，それぞれの材料中の電流がオン・オフと切り替わって動作します。どのようにこのスイッチを実現するのか，最先端電子デバイスの材料と構造を調査します。また，デバイスの品質は作製プロセスにも大きく依存しており併せて調査します。 3) ソフトマターの医用応用：高分子やゲルなどの柔らかい材料はソフトマターと呼ばれ、その柔らかさや高い変形性、生体組織との組成類似性から、医用材料として注目を集めています。医用応用を行う上で、どのような材料設計が重要になるのか、最先端の医用材料について調査します。 【 授業の目標 】 学術論文の構成を知り，学術研究を行ううえでの基礎を身につけます。調査・研究とグループ討議や研究発表を通じ，学術的なコミュニケーション能力を身につけます。材料科学や情報科学を題材にしながら基礎研究と最先端技術との関連についての実例を学び，科学技術が社会にどのように関わり，貢献することができるのかを議論し，理解を深めます。
成績評価方法	出席，最終レポート
授業のキーワード	「論文読解型」、材料工学、情報工学、構造材料、電子デバイス材料、電子材料合成プロセス、高分子、ソフトマター、バイオマテリアル
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31623	水 2	化学のブレークスルーに学ぶ(1)	細野 暢彦	工学部

授業の目標・概要	化学のブレークスルーに学ぶ(1)では、工学部応用化学科で現在精力的に研究が行われている無機化学・有機化学系の世界最先端のトピックをとりあげ、その研究がもたらした各分野のブレークスルーを学びます。本講義では、無機化学・有機化学をベースにした物質・材料開発について、基本原理から実際の研究の様子や舞台裏、応用展開に至るまでを論文輪読、文献調査およびそれらに携わった研究者達の話の中でより身近に感じ、学ぶことができます。触媒、分子変換、エネルギー資源、分子認識、高分子材料といった幅広いトピックを題材にして、これらの研究がどのように生まれ、どのようなブレークスルーがあったか、また、これらの研究やその応用展開が現在どのように社会の役に立っているのかを、ゼミナール形式の授業で学習します。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	ゼミナール、応用化学、触媒化学、有機化学、錯体化学、高分子化学
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法:東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31624	水 2	「食の問題」を科学者目線で考えよう	藤井 壮太	農学部
授業の目標・概要	都市生活者にとって、農産活動を身近な存在として意識することは少なく、食料（食品）を消費する者としての立場で極めて間接的に農業と接しています。現在の我が国の食料消費においては、肥満や廃棄ロスなど過度な食の摂取にまつわる問題と、拒食や「こども食堂」など食の摂取不足にまつわる問題とが併存しています。世界的にも飢餓と飽食が発生しており、食料供給体制のアンバランスを招いている状態となっています。他方、農産活動のための様々な技術的革新は、こうした食料問題や資源環境問題を考える上で重要であり、私たちの日常生活にも少なからぬ影響を及ぼしています。この授業では比較的身近な情報を用いて、自分たちの日常生活で発生している様々な視点から「食の問題」に目を向け、その解決に向けた方向性や具体的対策を自主的に学ぶことを目指しています。		
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード	食料生産、人口増大、飢餓・飽食、気候変動		
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31625	水 2	感染症と病原体から考える きれい？汚い？・安全？危険？	三浦 こずえ	農学部
授業の目標・概要	コロナ禍で感染症に関する情報や知識が以前より身近なものになったと思います。公衆衛生学とは、公衆（すべての人々）の生を衛（まもる）、つまり、みんなが健康に生活するにはどうしたら良いかを考え、実践していく学問です。この授業では、身近なものを対象に公衆衛生上、きれいなのか汚いのか、安全なのか危険なのかについて、みんなで考えていきたいと思います。		
成績評価方法	出席と積極的なグループワーク参加		
授業のキーワード	ウイルス、細菌、寄生虫、感染症、公衆衛生学		
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31626	水 2	物理学の独創的な研究とは （ノーベル物理学賞の受賞業績を例に考える）	酒井 広文	理学部
授業の目標・概要	将来、主として理学部物理学科や工学部応用物理学科等の物理学関連分野の学部学科に進学し、さらに大学院へ進学して研究者を目指す学生を対象に、物理学の独創的な研究とは何かをノーベル物理学賞の受賞業績を例に考えることを目標とする。参加者としては、広く物理に興味をもつ学生も歓迎する。高等学校までの学習や大学学部での学習は、現在までに数多くの優れた先人たちが長年にわたり築き上げてきた学問体系を学ぶことが中心である。その過程では、答えが分かっている問題を短時間で正確に解くことが求められているであろう。しかしながら、将来研究者となって優れた業績を残すためには独創的な研究をすること、即ち、未開拓な研究分野の筋のよい課題を自ら設定することが求められる。これを直ぐに実現することは現実には困難であるので、本初年次ゼミナールが、将来に備えたマインドセットの切り替えをするきっかけとなればよいと考えている。		
成績評価方法	授業への出席と活動状況に基づいて総合的に判断する。		
授業のキーワード	物理学、独創的な研究、セレンディピティ、原子分子光物理学		
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31627	金 3	ブレイン・マシン・インターフェース	宮嵜 哲郎	工学部

授業の目標・概要　授業の目標・概要：
脳活動に伴って生じる微弱な電流を計測する原理を理解し、脳波信号の計測・解読と，解読データを用いたロボットの制御を体験することを目的とする。
成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、脳波信号の計測と制御、脳波計、α波、脳情報デコーディング、ロボット
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31628	金 3	細胞をデザインする	河野 風雲	教養学部（化学部会）

授業の目標・概要　（授業の概要）
細胞を「デザイン」し、「薬」として使う細胞医療は、アンメットメディカルニーズ（これまで治療が困難であった疾患領域に対する医療ニーズ）を満たすことができる無限の可能性を秘めています。本ゼミナールでは、様々な細胞成分の機能やサイフサイエンスリサーチツールについての理解を深め、現在の細胞医療における細胞デザインの課題や細胞医療を産業として社会実装するための課題を自ら発見し、科学的な問いとして設定し、問題を解決するプロセスを通じて、主体性を育成する。

（授業の目標）
・未知なる問いへの探求姿勢、問題発見・解決する能力、論理的思考力を身に付ける。
・グループでの協同学習により、分析的、批判的思考、建設的議論、コミュニケーション能力を鍛えることを目指す。
・文献検索、研究倫理の理解、論文読解能力、プレゼンテーション能力、レポート・論文執筆能力などのサイエンティフィック・スキルを身に付ける。
成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　問題発見・解決型、グループワーク、生命科学、細胞デザイン、細胞医療、創薬
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31629	金 3	計算機の中での分子設計	横川 大輔	教養学部（化学部会）

授業の目標・概要　本事業では、計算機を使って量子化学計算を行ってもらう。課題を少人数のグループで解いてもらい、得られた結果をスライドにまとめてもらい、授業の最後に発表してもらう予定である。本授業を通し、研究の進め方の初歩について学んでもらう。
成績評価方法　授業の出席、授業の最終日に行う発表などにより総合的に判断する。
授業のキーワード　量子化学、計算機、化学反応
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31630	金 3	駒場キャンパスを探索し、身近な植物を愛で、 植物免疫応答を調べ、植物と共生する微生物を知る	晝間 敬	教養学部 （生物部会）

授業の目標・概要　授業の目的：

・駒場キャンパスを探索する
・駒場キャンパスの植物を知る
・植物も洗練された免疫応答を有することを知る
・実際に免疫応答の検出実験を行いその結果の考察をし発表する
・植物と共生する微生物を単離して観察するとともに、その潜在的な役割を考察し発表する

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　授業のタイプ（「問題発見・解決型」など）、駒場キャンパス、植物種の同定、植物免疫、植物共生微生物、植物の環境適応
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31631	金 3	滞りなく流れる社会システムをデザインする	本間 裕大	生産技術研究所

授業の目標・概要　私たちが住み暮らす社会では、人、モノ、資産、情報などが縦横無尽に飛び交っています。これらは社会における血流とも言え、滞りなく循環していることが望まれます。一方で、近年、情報化やグローバル化による急速な変化に、社会システムの変化が追い付かず、様々な箇所に"血栓"が出来てしまっているように感じる局面も増えてきました。社会システムの再デザインが求められているように思われます。

そこで本講義では、皆さんに滞りなく循環する社会システムをデザインしてもらいます。具体的は、社会現象を記述するための様々な数理モデル（※）の入門的内容を学びつつ、社会システムの課題発見から解決策の提案までを，演習形式で共に考えていく予定です。

人はそれぞれ立場が違えば目的も価値観も違うため、社会システムに絶対的な最適解はありません。演習は 4〜5 人ごとのグループワークを想定しています。様々なディスカッション通じ、社会のバランスを取る勘所と難しさを感じ取ってください。

※ 数理最適化、確率過程、システムダイナミクス、グラフ理論、空間解析、多目的意思決定など

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　社会システム、数理モデリング、数理最適化、空間解析
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31632	金 3	海を知ろう	塩崎 拓平	大気海洋研究所

授業の目標・概要　本授業は、大気海洋研究所所属の教員 2 名のリードのもと、「海」について様々な側面から掘り下げて考える機会を提供します。「能動的」な学びの過程を通じて皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します。海に関する予備知識は必要ありません。むしろ、海について学んだことのない方の履修を歓迎します。
本授業で主に行うのは、調べる、まとめる、発表する、議論する、といった作業です。教員の発表を学生が聞く時間は必要最小限にし、学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります。
大気海洋研究所の宮川 知己准教授が副担当教員となります。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　議論・調査・発表、海洋・物理・地学・化学・生物
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31633	金 3	数理計算とモデリング	石原 秀至	教養学部 (物理部会)
授業の目標・概要		(目標) 物理現象や生物現象などの自然現象を対象に、主に微分方程式と確率を道具立てとしたモデリングを行い、実際に数値計算を行う。そのために Python による数値計算の基礎を学ぶ。自然現象に対し、できるだけ簡単で、でも本質をついたモデリングを行う（体験する）ことを目指す。題材は、感染症や生態系のモデル、ランダムウォークや相転移、ゲーム理論、渋滞やパターン形成など。 (概要) Python を用いて、微分方程式の数値解放と疑似乱数について、実際に手を動かして学ぶ。その後、何かしら自然現象を取り上げ、そのモデリングを行うことを通して、現象の背後にあるメカニズムをどう理解するかを考察する体験をする。		
成績評価方法		初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。		
授業のキーワード		現象シミュレーション型、物理/数値計算、微分方程式、疑似乱数		
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31653	金 3	脳外科医とみる脳の神秘	田中 將太	医学部
授業の目標・概要		脳神経外科学・神経科学・腫瘍学における研究を計画・遂行するにあたり、脳神経外科医が経る学術的プロセスを疑似体験し、科学を実践する上でのスキルを養うとともに、脳神経外科が扱う幅広い神経疾患の初歩を学ぶ。		
成績評価方法		授業参加		
授業のキーワード		脳神経外科学、神経科学、腫瘍学、ゲノム解析		
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他		
ガイダンス		第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

グループ６　１年 理一(22,24,34-35,38)理二三(17-18,22-23)

31634	水 3	都市の持続可能な未来を考える	橋本 崇史	工学部
授業の目標・概要	持続可能な開発目標（SDGs）は「誰一人取り残さない（leave no one behind）」と謳っており、国際連合に加盟するすべての国にとっての 2030 年までの共通の目標として日本でも海外の国々でも具体的な取り組みが活発になっている。また、新型コロナウイルス感染症の流行や、気候変動対策としてカーボンニュートラルを目指す世界的な動きの加速、AI や IoT 技術の急速な発展と日常への浸透など、都市、そして都市に住む人々の生活は大きな変化の中にある。 このゼミナールでは、地球規模および地域規模で起きている社会変化を見据えながら、SDGs の考え方や持続可能な都市環境について、実在の都市を対象とした問題解決型学習（Project Based Learning）を通して学んでいく。グループに分かれて、それぞれが国内外 の都市、自治体を選び、その都市、自治体の将来目標と具体的な対策を通じて、持続可能な都市環境を提案する。 実在の都市を対象に、現状の分析、課題の抽出、将来目標の設定、具体的な都市環境の在り方について議論することで、都市とは何か、環境とは何か、持続可能性とは何かを考えていく。 グループワークに先立ち 、具体的な事例を交えながら都市や環境、持続可能性を評価していくための理論や考え方、科学的手法、またその応用について学んでいく。		
成績評価方法	グループワーク、ディスカッションへの貢献度、積極性、および発表への貢献度、質疑への参加姿勢によって評価する。		
授業のキーワード	持続可能な開発目標（SDGs)、都市の未来、持続可能な都市環境、脱炭素社会、DX、問題解決型学習		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他		
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。		

31635	水 3	「機械を作るデジタル・マニュファクチャリング」	杉田 直彦	工学部
授業の目標・概要	・対面です．KOMCEE（予定） です． ・自分の PC を持ってきてもらう必要があります． ・ものづくりで必須となる，ツールである Fusion360 を体験します． ・解析，CAD を通してイメージしたものを図面にし，3D プリンタを用いて形にします			
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。			
授業のキーワード	ものづくり型、機械工学、生産工学、3D プリンタ、Fusion360、Matlab			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他			
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31636	水 3	電子回路で学ぶモデリング手法	三田 吉郎	工学部

授業の目標・概要

本ゼミでは、凡そ理科を志す者にとって必須のスキルとなる「未知の現象を正確に観察、定量化し、モデルを立てて振舞いを理解する」作業を、具体的な電子回路を例にとってわかりやすく学習し、身に付けることを目的とする。

本講義では、学生の理解の進捗を注意深く観察し、講義・演習の長短を含め柔軟に対応する。
対面を基本としつつ、突発的な事情に対応できるよう配慮した講義設計とする。

学習する回路の例:

(0)実験設備製作体験
(1)線型な回路、非線形な回路(スケールの議論)
(2)振動する現象 I(定常状態)
(3)振動する現象 II(過渡的応答)
(4)能動素子の考え方
(5)増幅回路
(6)発振回路
(7)変調復調回路(AM 送受信機)
(8)その他の素子(MEMS 等)

身に付けらるスキルの例:
(あ)現象を数式で表現して理解する手法
(い)スケール(ログ、リニア)を変えた特性の評価
(う)周波数領域での事象の理解
(え)時間領域での事象の理解と周波数との関連性
(お)線形化による見通しのよい特性理解
(か)電気系で使用する様々な器具に触れる(テスタ、オシロスコープなど)

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　講義と演習、工学／実験による現象理解、電子回路、線形回路、非線形回路、線形化
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31637	水 3	マテリアルズ・インフォマティクスによる 2050 年の鉄鋼材料開発	白岩 隆行	工学部

授業の目標・概要

授業のキーワード「鉄」は 3000 年に渡り、私たちの生活と社会を支えてきました。自動車、鉄道、建物など身の回りの多くの製品には鋼材が使われています。世界最長の吊り橋の明石海峡大橋、東京スカイツリーなどのランドマークも鋼材により作られています。これから先も、鋼材が私たちの社会の基盤材料であることは間違いないです。本授業では、機械学習を用いたマテリアルズ・インフォマティクス（MI）による鉄鋼材料開発の体験と、マテリアルフロー分析を用いた 2050 年までの世界の鉄鋼需要の予測を実施します。
マテリアルフロー分析では、日本および世界の過去（1950-2015 年）の様々なデータ（人口、経済発展（GDP/人）、粗鋼生産量、鋼材の用途別消費量、製品の寿命など）を解析し、鋼材消費量がどのような因子と相関があるかデータ解析を行います。そして、相関解析から得た知見を基に、2050 年までの世界の鉄鋼需要の予測を行います。
また近年、機械学習を用いて材料開発を加速する技術として、マテリアルズ・インフォマティクス（MI）が注目されています。授業の後半では、材料データについて機械学習することで材料特性（疲労強度など）の予測を行います。機械学習による鉄鋼材料開発を体験することで、MI の利点や限界を学習することを目標とします。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード　データ解析、マテリアル工学・産業エコロジー、将来需要推計、環境制約、マテリアルズ・インフォマティクス、機械学習
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他
ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31638	水 3	農林水産資源の持続的利用を考える	高須賀 明典	農学部

授業の目標・概要	農林水産資源の過去・現在を俯瞰し、その性質を理解した上で持続可能性を議論することにより、未来の持続的利用を考える。題材とする資源は農林水産資源の中から大きく 2 つのトピックを想定しており、1 トピックは水産資源学分野、もう 1 トピックは応用昆虫学分野にまつわる題材とする。基本的には、履修者を 5 班程度に分けて、トピックの中で各回小テーマを設定し、グループワークによって、情報収集を行った上で、議論をまとめる。教員は題材の背景の導入、情報収集補助、まとめの枠組みの指導等を行う。小テーマごとの発表とトピックごとのまとめ発表を行う。以上より、農林水産資源の持続的利用を考える過程を介して、グループワークによる共同での情報収集スキル、議論のまとめ方、自身の考えを表明するプレゼンテーション力等の向上を図る。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法に従って評価する。
授業のキーワード	問題解決型、持続的利用、水産資源学、応用昆虫学、気候変動、資源リサイクル
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31639	水 3	バイオミメティック・エンジニアリング	杉原 加織	生産技術研究所

授業の目標・概要	生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの新奇な企画提案を行う。 そのために， （1）生物の優れた機能を解明した研究，またはバイオミメティック・バイオインスパイアドというキーワードに基づいて行われたモノづくり研究の過去の例を学ぶ（文献検索と読解，発表を通じた情報共有）。 （2）小グループに分かれて，（1）で得られた情報などを参考に議論し，柔軟な発想で，生物の優れた仕組みに着想を得たモノづくりの企画を考える（課題解決のためのグループワーク）。 これらを通じて， ・コミュニケーション能力を伸ばす。 ・プロジェクトを推進する時に，何が分かっていて，何が分かっていないのか，何が問題で，どうやったら解決できるのか，自分の頭で考える能力を身につける。 ・試行錯誤やプロジェクト推進の難しさと，計画性の重要性などを学ぶ。 ・自分の考えを，分かりやすく他人に伝え，情報を共有することで，新たなアイディアや知見を得るためのコミュニケーション能力の基礎を身につける。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	プロジェクト提案／企画提案、バイオインスパイアド、バイオミメティック
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31640	水 3	生命を分子・情報から読み解く	飯野 雄一	理学部

授業の目標・概要	<オンラインでの実施> 2008 年のノーベル化学賞の対象となったのは下村脩博士らによる緑色蛍光蛋白質（GFP）の発見とその応用であった。緑色蛍光蛋白質は生物学や医学の研究を塗り替え、いろいろな生命現象を目の当たりに見ることができるようになった。本ゼミナールでは緑色蛍光蛋白質がどう見つかりどう使われているか、実際の観察を交えながら学習し、今後どういう可能性があるかについて各グループで調べながら考察する。さらに、生命現象を支える分子についての理解をふまえ、ゲノミクス、バイオインフォマティクス、システム生物学などそれらの全体像を捉える生物情報科学分野の近年の進展とその社会との接点（合成生物学、個人ゲノム解析、遺伝子検査など）に関して考察する。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物学／分子生物学、生物学／生物情報科学、生命現象のしくみ、蛍光蛋白質(GFP)、授業のキーワード 3、授業のキーワード 4
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31641	水 3	相対論について考える	酒井 邦嘉	教養学部 (物理部会)

授業の目標・概要
（授業の目標）
・サイエンスにおける問題発見と解決方法の基礎を学び、結論だけでなく科学者の思考過程そのものを理解できるようになる。
・「科学発表の３原則」である、「正しく、分かりやすく、短く」を心がけて実践に生かせるようになる。
・自ら問題に取り組みながら科学研究に必要な「論理的な思考力」を磨くことで、学問の進め方の基礎を身につける。

（授業の概要）
物理学の発展の歴史に相対論を位置付け、アインシュタインの仕事を通して発見の軌跡を自分たちで追体験します。また、科学研究の成果をいかに正確に、そして分かりやすく伝えるかを重視して、議論や発表の基本を学びます。小グループ分けによる協調学習を通して、論理的な思考力を深めることを目指します。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
問題発見・解決型、物理学／物理一般、アインシュタイン、相対論、科学の基礎

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『高校数学でわかるアインシュタイン』
著者（訳者）　酒井邦嘉著
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31554	金 4	自然災害の予測：台風・高潮について考える	下園 武範	工学部

授業の目標・概要
【概要】
近年，強大な台風の来襲が相次ぎ，日本各地に大きな被害をもたらしている．今後も気候変動に伴う台風災害の増大が懸念されており、被害を軽減するためには複雑な自然現象を理解・予測することが重要となる．この授業では，台風および高潮を対象として，講義，文献調査、ディスカッションを通じて，台風・高潮の基本的なメカニズム，現象予測・防災の現状について学んでもらう．また，簡易的な予測モデルによる台風および高潮シミュレーションを通じて，自然現象の複雑さや予測・防災対策の難しい側面について理解を深めてもらう．

【目標】
・台風，高潮の基本的なメカニズムを理解する．
・自然現象の予測・防災に関する基本知識を習得する．
・グループワークを通じて協働して課題に取り組む能力を身につける．
・分析結果を整理，正しく解釈して他者に分かりやすく伝える．

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
現象シミュレーション，問題発見・解決型、土木工学・地球物理学／海岸工学・気象学、台風、高潮、予測、防災

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31643	金 4	生きることを支える健康総合科学研究入門	西 大輔、佐々木 那津	医学部

授業の目標・概要
（１）自分たちで設定した健康に関する問題の解決のために、研究計画を立案し、調査を行い、考察する過程を実際に行うことができる。
（２）新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験した大学生や若者のメンタルヘルスについて、科学的な見地から考察し、公衆衛生的な視点から健康および今後の社会の在り方について議論することができる。

成績評価方法
初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード
問題発見・解決型、調査・研究、社会医学、健康総合科学、看護科学、公衆衛生

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：アクティブラーニングで学ぶ初年次ゼミナール理科
著者（訳者）　／Author(Translator)東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス
第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31644	金 4	「研究者」と「化学・生命科学の境界領域研究」	吉本 敬太郎	教養学部 （化学部会）

授業の目標・概要

【はじめに】

皆さんの「化学」のイメージは、周期表や反応式、化合物名や成経路の暗記、さらにモル収支の計算など、覚えることばかりで計算が面倒、泥臭い実験、汚い白衣のイメージ、、、 なんて方が多いでしょうか。一方、「生命科学」のイメージは、オートファジー、iPS 細胞、難病治療薬、遺伝子編集などのトピックスが最近メディアでも華々しく報道され、非常に輝いて見えるのかもしれません。しかし、「化学」と「生命科学」はとても深くて密接な関係にあります。化学の発展無しには生命科学の発展はありえません。

本授業は、「生命科学」の研究分野において「化学」が極めて重要な要素・学問であることを学び、皆さんに「今まで知らなかった"生命化学"」に出会ってもらうことを大きな目的としています。さらに、研究者という職業について深く知ること、また昨今話題となっている研究者のモラルについても考えたいと思います。研究者を公平に評価する"物差し"を皆さんとディスカッションしながら考えていきたいと思っています。

研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考えるなかで、アイディアの出し方、グループディスカッションの経験を積んでいただくことを大きな目的としています。

【授業の概要】
以下の２テーマについて、グループワークを行います。
１） 研究者を評価する物差しや化学と生命の融合領域について考える
２）「分子認識化学」「材料化学」「生命科学」をキーワードとする境界領域研究について考える
グループディスカッション後、プレゼンテーション・討論することを最終的な目標として設定しています。事前準備（議論、提案、プレゼンなどの訓練）は、基本的には本講義内で行いますが、自宅に持ち帰って作業しても構いません。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード　化学（材料化学・バイオマテリアル)、生命科学、メカノバイオロジー、幹細胞、学者・研究者、グループディスカッション

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31645	金 4	木材利用の新しい可能性 －セルロースから木造建築まで－	稲山 正弘、齋藤 継之	農学部

授業の目標・概要　http://bit.ly/2S7zYO1
（授業の概要と目的）
木材は我々の身近にある材料であり、古くから様々に活用されてきた。現在、地球温暖化防止の観点からも木材の利活用が注目されており、木造建築や紙パルプだけでなく、セルロースやリグニンの利用といった新たな分野にも注目が集まっている。本授業では、木材を更に有効利用していく方策を皆さんとともに考え、最終的にプレゼン資料にまとめ、発表してもらいます。

（授業の目標）
グループワークを通して、木材の利活用に関する課題を設定し、各自で調査・分析する。その結果を互いに情報共有しながら討論し、最終的に課題解決策にまとめてプレゼンをする。

成績評価方法　初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。

授業のキーワード　授業のタイプ：「問題発見・解決型」、学術分野：林学／林産学、木材・木質材料、木造建築、セルロース、紙パルプ

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト
著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編
出版社　東京大学出版会
ISBN
その他

ガイダンス　第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31646	金 4	私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する	片岡 直行、村田 幸久	農学部

授業の目標・概要	生体内で起こるほとんどすべての生命現象はタンパク質を必要としています。タンパク質はアミノ酸が連結した高分子ですが、その配列によって機能が異なります。例えば、代謝（化学反応）にかかわるタンパク質（酵素）、物質輸送にかかわるタンパク質、貯蔵にかかわるタンパク質、運動に必要なタンパク質、生体構造を維持するタンパク質、情報を伝えるタンパク質など多様なものが存在します。我々は、これらのタンパク質を取り出し、食べることによって栄養素として、あるいはいろいろな産業応用をして、実生活に役立てています。そこで本講義では、私たちの身近にある事柄から興味深いタンパク質を選び、その性質を調べて利用法などを考えると同時に、その重要性を体験してもらいます。この経験をもとに、他の人たちに、そのタンパク質の重要性を納得してもらえるようなツールを作ることを目標とします。 【授業の目標】 ・グループワークを通じて、集団での問題設定、情報共有、討論、役割分担などコミニュケーションスキルを身につけます。 ・自分たちの知りたい科学情報を検索する手法を習得します。
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。 （この講義での個別評価基準） 自分で考え、自分で課題を見つけ出す
授業のキーワード	問題発見・解決型、生物／タンパク質、グループワーク、ツール作成
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31647	金 4	地球史から気候変動を考えよう	黒田 潤一郎	大気海洋研究所

授業の目標・概要	現在，地球の気候は 1960 年代から 2020 年の間に 1.25℃の気温上昇という著しい温暖化を記録しており，2100 年には 2℃に達する可能性すらあります．また，温暖化だけでなく，海洋の酸性化，海面水位上昇，海洋貧酸素化といった海洋の変化も顕在化しつつあります．このような気候変動は，地球の歴史の中で起こった変動に比べてどの程度「異常」なのでしょう．このゼミナールは，大気海洋研究所所属の教員 2 名のリードのもと，現在の気候変動を知り，様々な側面から掘り下げて考えるとともに，その地球史の中での位置づけを考える機会を提供します．「能動的」な学びの過程を通じて，皆さんに「研究」の初歩を体験してもらうことを目指します．気候や海に関する予備知識は必要ありません．地学について学んだことのない方の履修も歓迎します． 本授業で主に行うのは，調べる，まとめる，発表する，議論する，といった作業です．この中でも，特に「議論」に重点を置きます．教員の講義を学生が聞く時間は必要最小限にし，学生が主体的に参加し進めてゆく授業となります．授業時間の多くを，グループディスカッションやプレゼンテーションの作成，それを用いた発表や討論などに費やします．上記の要素の中の「調べる」については、宿題として行うこともあります． このゼミナールは，大気海洋研究所に所属する，フィールドに出て調査を行う研究者（黒田潤一郎准教授）と，気候モデルを使って気候変動メカニズムを調査する研究者（阿部彩子教授）が担当します．
成績評価方法	初年次ゼミナール理科の評価方法によって評価します。
授業のキーワード	地球と生命の歴史、気候変動、海洋、物理・地学・化学・生物、議論・調査・発表
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名　科学の技法：東京大学「初年次ゼミナール理科」テキスト 著者（訳者）　東京大学教養教育高度化機構初年次教育部門・増田建・坂口菊恵編 出版社　東京大学出版会 ISBN その他
ガイダンス	第 1 回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。

31648	金 4	初年次ゼミナール理科	樋口 秀男	理学部
授業の目標・概要	生物には，さまざまな動きある．個体であれば四肢の動き，個体内には心臓や消化器の動きがみられ，細胞は分裂や泳ぎなどを行う．植物や神経細胞内では，輸送運動が盛んにおこなわれている．分子に着目すると，DNAの複製やタンパク質の合成も動くタンパク質分子によって行われている．タンパク質が働くとき，アミノ酸や電子の動きが起こる． このように「動く」ことは生物に共通にみられる現象であり，生物の特徴でもある．さらに「動き」は，生物として興味がもたれるだけでなく，力学・分子運動・化学反応・原子結合・運動理論と密接に関係することから，生物学・物理学・化学・数理の垣根を取り外した科学としてとらえる必要がある．そこで授業の目的は，生物の動きに興味を持ち，動きの仕組みを理解し，「動く」ことの意味を科学の立場で考えることである． 授業では，学生各自が興味をもつ「動き」を紹介し，その動きの仕組みを議論と発表を通して理解する．最後に，班に分かれて動きの仕組みの共通性や生物らしい動きの特徴の議論・発表を行う．		
成績評価方法	発表・議論・提出物などから総合的に評価します。			
授業のキーワード	授業のタイプ「問題発見・解決型」、学術分野 生物科学，物理学，化学、授業のキーワード１ 生物の運動、授業のキーワード２ タンパク質、授業のキーワード３ 細胞、授業のキーワード４ 分子モーター			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

31649	金 4	Arts and Sciences	池上 高志	教養学部 (物理部会)
授業の目標・概要	複雑系の科学とアート表現			
成績評価方法	レポート			
授業のキーワード	複雑系、人工生命、メディア・アート			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他			
ガイダンス	第１回授業日に行う。ガイダンス教室については掲示板等で告知する。			

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30540	S	法I	竹下 啓介	法・政治	火 5	1 年 文二 2 年 文二
講義題目	法学入門 ― 自分で考える法学入門					
授業の目標概要	この授業では、教科書に掲げられた法律学に関する問題を素材として、法律学を学ぶために必要となる基礎的な知識・思考方法を修得することを目指します。また、学んだ知識・思考方法に基づいて、実際の問題について自分で考え、一定の結論を出すことができるようになることも、目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30574	S	法I	弥永 真生	法・政治	水 1	1 年 文三 2 年 文三
講義題目	社会における法の役割					
授業の目標概要	主として社会・ビジネスにおいて、法がどのような役割を果たしているのかについて、ニュース記事などを題材にして、解説を加える。そのプロセスにおいて、法律学〔主として、私人間の関係を規律する私法〕の基本的知識を併せて理解していただくことを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30575	S	法I	小粥 太郎	法・政治	水 1	1 年 文一 2 年 文一
講義題目	法学入門					
授業の目標概要	法学部における学びの入門。法学部で行われる実定法（憲法、民法、刑法、行政法、民事訴訟法、刑事訴訟法等）の授業ではどのようなことを学ぶのかについて、おおまかな話をします。法学部に進学する予定の学生にとっては法学部での学びの導入に、後期課程の進路未定の学生にとっては進路選択の参考になることを企図しています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30159	S	政治I	平松 彩子	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目	理論と比較の政治学					
授業の目標概要	政治学、特にその内でも比較政治学の分野で重ねられてきた議論の概略について学ぶ。比較政治学は、主に第二次世界大戦後のアメリカ合衆国において、西欧先進国や日本のみならず途上国までを含む広い地域にわたる、アメリカにとっての「外国」の国内政治を比較分析する学問として始まった。この授業ではそこで展開された理論を複数取り上げ、理解を深める。その内容は、世界各地で起きた（あるいはいま現在進行形で起きている）社会や政治の事象を理解し考察する上で、こんにちでも有用であることが多い。しかし同時に、アメリカ固有の歴史的あるいは地理的経験を分析者の側が共有していなければ、時にその理論の妥当性について疑問を抱く場合もあるかもしれない。その際には、なぜその理論がアメリカの文脈において妥当だと考えられたのか、またその理論が抱える可能性と限界がどこにあるのかについても、批判的考察ができるようになることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30160	S	政治I	上神 貴佳	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目	政治学の基礎概念					
授業の目標概要	本講義は政治学における基礎的な概念を紹介し、受講生が政治現象を理解するための一助となることを目標とする。とくに、現代の政治を構成する中心的な原理としてのデモクラシーについて考察する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30161	S	経済I	岡地 迪尚	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	経済学基礎|Introductory Economics					
授業の目標概要	ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎的な部分を学習する。|We study the basic parts of microeconomics and macroeconomics.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30541	S	経済I	中西 徹	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	経済I：発展途上国における経済と社会					
授業の目標概要	発展途上国の社会経済を対象として経済学の分析が有する意義と限界について検討します。 開発政策の原理とその歴史，および貧困層の経済行動を検討することによって，発展途上国の社会変動についての理解を深めると同時に，これを補完ないしは代替する地域研究の役割について理解することを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30542	S	社会I	和田 毅	社会・社会思想史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	社会学入門					
授業の目標概要	我々はどのように社会を観察し分析したらよいのか？この授業では、社会学の基本的な理論と方法を学ぶ。具体的には、20 世紀初頭から今日に至るまでの間に、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカで起きた主要な出来事について学び、それらを解釈していく作業を通じて、社会学的なものの見方を身に付けていく。主な教材として、英語のビデオを用いる。|授業の目標は、授業を履修した学生が、（1）日常生活の中で新聞、テレビ、インターネットを介した情報に触れる際に、その情報の内容をより深く理解できるようになること、（2）近代・現代世界史についての一般教養を身に付けること、（3）社会学、政治学、経済学などの社会科学に興味を持てるようになること、そして、（4）今後の大学における学びの過程で、より高度なレベルの社会学の授業を履修し、専門性の高い訓練を受けることを可能にすることである。|					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31254	S	社会I	市野川 容孝	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	社会学入門					
授業の目標概要	社会（科）学が誕生した経緯を歴史的にふりかえりつつ、社会学の基礎概念・基礎理論を学習する。|					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30543	S	数学I	平地 健吾	数学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	数学I					
授業の目標概要	文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30576	S	数学I	林 修平	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	数学I					
授業の目標概要	文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30577	S	数学I	木田 良才	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	数学I					
授業の目標概要	文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30544	S	数学II	ケリー シェーン	数学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学II 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30578	S	数学II	古田 幹雄	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学II 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．					

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30162	S	哲学I	齋藤 幸平	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の重要トピックについて 哲学とは何を探究する学問でしょうか？ 哲学者はどのように社会の訳に立つのでしょうか？ 医学や法学と比較すると哲学の研究対象は曖昧で、哲学を勉強する意味も不明瞭に感じられることでしょう。そして、哲学はギリシャ時代からずっと同じような問いを思考し続けており、自然科学と比較して、進歩のない学問のように思われるかもしれません。そこで、この授業では、哲学の根本問題のいくつかを、現代の諸事象（ＡＩ、フェイクニュース、環境問題）に結びつけながら、哲学とは何か、哲学の根本問題の重要性を考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30579	S	哲学I	鈴木 貴之	哲学・科学史	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の根本問題から哲学とは何かを考える 哲学の根本問題の多くは、古代ギリシア時代から論じ続けられているものです。しかし、哲学という学問には、その時代から大きな進歩がないようにも見えます。このことは、哲学の問いは無意味な問いであることや、それらは別の方法で探究した方がよいことを示唆しているのでしょうか。そうではないかもしれません。哲学の根本問題は、われわれが当然成り立つと考えている一連の事柄がじつは整合的でないということや、一見説明できてあたりまえの事柄にじつはきちんとした説明を与えることができないことを明らかにするものだからです。哲学の根本問題は、われわれの常識的なものの見方には重大な問題が潜んでいることを示しているのかもしれません。 この授業では、哲学の根本問題のいくつかを題材として、哲学とはどのような学問なのか、哲学の問題は他の学問が扱う問題とどのように異なるのか、哲学の問題に正解はあるのか、といったことについて考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30545	S	倫理I	杉本 俊介	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		倫理学入門 この授業は倫理学の基礎を学びます。まず尊厳死と安楽死、死刑制度、戦争と平和といった具体例を通して倫理・道徳とは何かについて考えるところから始めます。次に、倫理学の三つの理論、すなわち功利主義、義務論、徳倫理学を学びます。さらに、「そもそも倫理なんて必要なのか」、「価値観なんて人それぞれだから倫理に答えなんて出ない」、そういった否定的な意見を、倫理の外部から検討します。最後に、応用編として情報倫理（ビックデータ時代のプライバシー）、宇宙倫理（火星のテラフォーミングの課題）を学びます。 到達目標として次の三点を挙げます。 （1）倫理・道徳を通して、価値観の異なる他者と寄り添うことができる能力を身につける。 （2）現代社会が直面する倫理的課題を探求し、自らができる社会貢献への可能性を考える。 （3）倫理学の歴史を通して、市民としての良識を学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30163	S	歴史I	大塚 修	歴史学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		イランの歴史と文化 この授業では、中東イスラーム地域の中でも、イランを中心とする地域の歴史と文化を扱います。イランは 1979 年のイスラーム革命以降、イスラーム的価値観に基づく国家づくりを掲げ、国際社会から孤立してきました。特に 2018 年にアメリカが核合意を離脱して以降、アメリカとの対立はいっそう深まっています。しかし、中東イスラーム地域におけるイランの重要性については、いまだに十分な知識が提供されているとは言えない状況にあります。イスラーム文化は非アラブ圏においても、各地域で独自の発展を遂げてきました。特に、イラン文化の影響は中央アジア、インド、トルコなど広範囲に及び、イスラーム教という宗教やその文化を考える上で看過できない重要な位置をしめています。そこで、この授業では、前イスラーム時代の在来文化と融合しながら発展してきたイランを中心とする地域のイスラーム教の在り方を歴史学的手法から再考し、一般的な中東イスラーム地域認識を相対化することを目指します。それと同時に、現代のイランや国民国家に関する諸問題について考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30164	S	歴史I	黛 秋津	歴史学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	黒海地域史の試み					
授業の目標概要	「黒海」は、日本から遠く離れ、またその周辺に位置する国々も日本とのつながりが深いとは言えないため、総じて我々にとってなじみのない海と思われる。しかし冷戦終結後、この海の周辺で数々の紛争が生じたこともあり、この海の周辺を一つのまとまりととらえて研究しようとする、いわゆる「黒海地域研究」が注目され、歴史学においても黒海地域史の研究が現われ始めた。本講義では、従来、境界領域と見なされていたこの地域の歴史を概観し、新たな地域史像を提示する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30546	S	歴史I	渡辺 美季	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	東アジア世界のなかの琉球					
授業の目標概要	琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジア世界の歴史的展開と密接に連動しつつ、その一王国として存続してきた。王国の対外関係の主軸となったのは 14 世紀後半に開始された中国（明・清）との君臣関係（冊封・朝貢関係）である。いっぽうで 1609 年、琉球は薩摩の大名・島津氏の軍事侵攻に敗れ、以後は徳川幕府の支配をも受けるようになった。すなわち 1609 年（薩摩の侵攻）から 1879 年（王国の消滅）までの 270 年間、琉球は中国・日本に二重に臣従する「王国」であった。 現代とは異なる、このような国際関係および王国の形態は、いかにして形成・維持されたのだろうか。本講義では、東アジア世界がどのような歴史的展開を共有し、その中で琉球がいかなる役割を果たしたのかという観点から、琉球王国の歴史を時間軸に沿ってひも解いていく。これにより現在の諸地域や国家を相対化する視点を養い、また長いタイム・スパンで事象を捉える姿勢を身に付けることを目指したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30580	S	歴史II	桜井 英治	歴史学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	戦国時代史					
授業の目標概要	応仁・文明の乱後、室町幕府が全国政権としての実体を失うと、各地に戦国大名が出現し、自立的な分国支配を展開する。さまざまな出自を有する彼らの権威・権力をささえていたものとは何か。戦国大名の権威の源泉と権力の構造、近世権力との連続性・断絶性の問題等を検討しながら、日本史における 16 世紀の意義について理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30581	S	ことばと文学I	宇佐美 洋	日本語	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	言語の「ルール」について再考する					
授業の目標概要	私たちは日常の言語生活の中で，言語に関わる様々な「ルール」を意識しながら日本語を使っています。しかし日本語のルールとは，明示的に意識されているものだけではありません。私たちが無意識のうちに従ってしまっている「暗黙的ルール」もありますし，また，特定のコミュニティの中だけで通用するルールや，特定の個人にしか通用しないルールのようなものも存在します。さらに「ルール」とは，どこかから与えられるもの，とも限りません。例えば文章を評価するためのガイドラインを決める，ということは，自分の責任で「ルールを作る」ということになります。 この授業では， (1)既存のルールの妥当性を再確認する (2)日本語に関わる「気づかれにくいルール」を自力で見つけ出す (3)日本語使用について，自分の持っているルールと，他の人が持っているルールの相違点を明らかにする (4)自分たちの責任でことばについてのルールを作ってみる などの作業を通じ，「言語規範」というものの持つ意味のとらえ直しを行うとともに，言語について研究をするために必要な基本的態度の育成を行 います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30582	S	ことばと文学I	大関 洋平	英語	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		言語の情報科学 言語は、人間や機械により処理される一種の「情報」と考えることが出来る。本授業は、言語の情報処理である自然言語処理からアプローチする新しい言語学入門である。特に、音韻、形態、統語、意味、神経を対象として、人間の言語（言語学）と機械の言語（自然言語処理）の観点から概観する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30547	S	ことばと文学II	品田 悦一	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		国民歌集の来し方・行く末 ——『万葉集』と近代日本—— 近代日本の社会で『万葉集』がナショナル・アイデンティティーを支える有力な文化装置の一つとされてきた経緯について、具体的に掘り下げる。「日本人の心のふるさと」というコンセプトが実はきわめて作為的なものであり、近代国民国家の要請に沿って慌ただしく立ち上げられたこと、その後の百余年を通じ紆余曲折を経て定着してきたものであること、そしてとうに制度疲労に陥っていることを、はっきり認識することができたとき、当初の目標に到達したことになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30165	S	ことばと文学III	村上 克尚	国文・漢文学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		文学からことばを考える この授業では、文学を読むための方法として創出された様々な文学理論を学ぶことを通じて、ことばと文学の関係についての理解を深めることを目的とします。具体的な進め方としては、それぞれの文学理論の紹介の後、日本の近現代文学の短編作品を例として取り上げて、それぞれの理論の有効性を検証します。私たちが普段何気なく使っていることばが持つ多様な側面に、文学の読解を通じて、皆さんに自覚的になっていただければと願っています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30166	S	心理I	四本 裕子	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 ヒトや動物の心や行動を対象とする心理学は、その科学的測定の特殊さゆえ、誤った理解や理論が社会に広がることも多い。心理学は、人間の心と行動の理解を目指す歴史ある学問であるが、心理学における研究手法は、科学技術の発達とともに常に変容しつづけている。本講義では、これまでの心理学実験の例やそこから導きだされた理論を学ぶことにより、心理学の基礎を学術的に理解することを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30548	S	心理I	岡ノ谷 一夫	心理・教育学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心と行動の文理融合科学としての心理学 本講義では心理学の成り立ちと人の心の基本的な仕組み及び働きを学ぶ。動物の行動を説明するのに心に言及することは擬人的とされ、科学的な態度ではない、とされてきた。自分以外の他者（ヒト、動物、機械）の心的状態は体験不能であり推測するしかないのだから、それはやむを得ないともいえる。しかし、人間を対象とした研究は、他者に心があることを前提としているのに、擬人的であるという批判はされない。この非対称性はなぜ起こるのだろうか。この非対称性を解消するためには、動物や機械にも心がある可能性を受け入れるか、自分以外の人間も含め、心があることを前提としない学問体系を作る必要がある。心理学という学問領域は、この２つの態度を右往左往してきた。そしてそれは今も変わらない。情報科学と生物科学の進捗により、心と行動の科学は今大きな改変を必要としている。このような状況で、心理学として何を学んでゆくべきなのか、共に考えよう。				

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ

基礎実験Ⅲ・基礎実験Ⅳ	開講区分	S

授業の目標・概要
自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。
1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。
2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明を目的とする科学実験に必要な観察力・姿勢を養い、自ら実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。

授業の方法
月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと。

成績評価方法
成績は、出席、予習、実験ノート、後片付け、提出物（物理学実験は実験ノート、化学実験は実験報告書）で評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　基礎実験（物理学）は『基礎物理学実験』（学術図書出版社）、基礎実験（化学）は『基礎化学実験』（東京化学同人）
その他　教科書は駒場生協で入手可能である。

履修上の注意
◆初回授業日に行う基礎実験 III のガイダンスには必ず出席すること。
◆基礎実験 III・IV（化学）については、受講形式をオンラインから対面に変更することはできない。
【基礎実験 IV の履修について】
◆S2 に開講される基礎実験 IV は、履修者数の状況によっては開講曜日の変更が行われる。その際には再度希望日の選択が可能である。
◆履修登録方法などの詳細は、基礎実験 III のガイダンスで周知する。

関連ホームページ
◆基礎実験（物理学）：http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/kisobutsurigakujikken/
◆基礎実験（化学）：http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30104	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30438	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30719	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(6,12,20-22,31,34)
30924	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31135	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(物理学)	2 年 理一(26-28,30,32,35,37-38)
40273	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40275	S 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40278	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40281	S 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
40284	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(物理学)	2 年 理一
30105	S 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
30439	S 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(23-25,29,33,36,39)
30720	S 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(6,12,20-22,31,34)
30925	S 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(8,10-11,15-17,19)
31136	S 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅲ(化学)	2 年 理一(26-28,30,32,35,37-38)
40274	S 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40279	S 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一
40285	S 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅳ(化学)	2 年 理一

基礎生命科学実験・生命科学実験

基礎生命科学実験・生命科学実験	開講区分	S

授業の目標・概要

生命科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。
1）基礎講義の内容を，実験によってよりよく理解できるようにする。
2）自然科学諸分野の基礎的な実験方法を実施，理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明に必要な観察力やその表現力を養い，みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。

授業の方法

【実施形式】
基本的な感染対策を行った上で「対面」で開講する予定である。大学の方針に従い、変更になれば別途連絡する。
また、本実験は１０５分授業で実施する。よって3限の開始時刻が１３時となるので注意すること。
やむを得ず欠席する場合は、実験の事前準備の都合上、本実験のウェブサイト（http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/）を通じて当日午前 11 時までの申請を目安とし、それに間に合わなかった場合も可能な限り速やかに連絡すること。別課題に振り替える場合がある。詳細については後述の実験補遺を確認すること。
【場所】
21KOMCEE EAST 3 階 生命科学実験室 1、3 または 4
【実施時期】
各自振り分けられた曜日に実施する。休講等あるので、本実験のウェブサイト（http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/）の実験日程表をよく確認すること。
【各種講習】
本実験では、遺伝子組み換え生物の使用と動物実験が予定されている。それに際して，ITC-LMS を通じた講習の受講とテストの合格を必須とする。4 月 5 日に ITC-LMS を通じて公開する予定である。
【実験開始と終了】
13:00 に授業を開始し、16:40 までにレポート提出を行う。〆切の指示が別途ある実験についてそれに従うこと。実験終了後は適切に後片付けをしてから、すみやかに退室すること。
【用意するもの】
・教科書「基礎生命科学実験 第 3 版（東京大学出版会）」（付属の動画は教科書の目次に記載された方法で閲覧できる。）
・実験補遺（本実験のウェブサイトからダウンロードすること）
・定規（筆箱に入る程度のサイズで良い）
・鉛筆またはシャープペン（ボールペンは不可）、消しゴム
・生物実験用紙（A5 版ケント紙，生協で購入可、実験 17 以外のレポート提出に使う）
・保護メガネと白衣（着用を義務づける種目がある）

成績評価方法

成績は、出席、レポート、後片付けその他で評価する。出席だけでは単位は認められない。遅刻や後片付けの不備は減点対象となる。
提出されたレポートで剽窃等を認めた場合は、定期試験での不正と同様の厳正な対応を行う。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	基礎生命科学実験 第 3 版
著者（訳者）	東京大学教養学部・基礎生命科学実験編集委員会 編
出版社	東京大学出版会
ISBN	978-4-13-062227-1
その他	

履修上の注意

・遺伝子組み換え生物の取り扱いや動物実験に関するオンライン講習とテストに合格しておくこと。未受講や不合格の場合はレポートを受け付けないので留意すること。
・レポートは実習日 16:40 までに提出する。遅れての提出は認めない。〆切の指示が別途ある実験についてそれに従う。
・授業開始直後から実験内容、注意点などの説明を行うため、遅刻すると全体の進行に支障が出ることに留意すること。授業開始 30 分以降の遅刻は欠席扱いとする。
・本実験のウェブサイトからダウンロードする「実験補遺」には、各種注意事項や実験手順の補足に加え，レポートに関する内容も記載されているため参照できるようにしておくこと。
・大学の指針に従い、感染状況に応じて授業計画が変更になる可能性があるため留意すること。
【文科生向け】
・Ｓ１「基礎生命科学実験」の履修を希望する文科生は、4 月 3 日までに ITC-LMS に各自登録し、さらに本実験のウェブサイトに提示した専用の Google フォームで受講希望曜日等を連絡した上で、初回授業に必ず出席すること。これに加え必ず履修認定カード電子版で履修手続きをすること（これを忘れると単位取得ができない）。
【S２「生命科学実験」履修希望者向け】
・Ｓ２「生命科学実験」履修希望者は、S1「基礎生命科学実験」を履修していることを必須とする。火・水・木から希望受講曜日を選択すること。2 回目の訂正期間に履修を変更する者は、S2 ターム開始前までに本実験ウェブサイトの問合せ先に必ず連絡すること。

関連ホームページ

http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cbioexp/
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
30152	S 1	月 3, 月 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(1-5,9,11)
30447	S 1	火 3, 火 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(10,16,21,24)
30732	S 1	水 3, 水 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(14-15,17,22)
30928	S 1	木 3, 木 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(6,8,18-20)
31146	S 1	金 3, 金 4	基礎生命科学実験	2 年 理二三(7,12-13,23)
31319	S 1	集中 6	基礎生命科学実験 α	2 年 理科
40277	S 2	火 3, 火 4	生命科学実験	2 年 理科
40280	S 2	水 3, 水 4	生命科学実験	2 年 理科
40283	S 2	木 3, 木 4	生命科学実験	2 年 理科
40062	S 2	集中	生命科学実験 α	2 年 理科

数理科学基礎

数理科学基礎	開講区分	S 1

授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなり，それぞれ通しの授業として開講される．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	主として S1 ターム末に行われる定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者(訳者) 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30003	月 2, 水 1	岩木 耕平、小林 正典	1 年 理二三(1-7)
30004	月 2, 水 1	田中 公、植野 義明	1 年 理二三(8-10)
30005	月 2, 水 1	坂井 秀隆、清田 正夫	1 年 理二三(11-13)
30006	月 2, 水 1	高田 了、村上 順	1 年 理二三(14-16)
30007	月 2, 水 1	関口 英子、畑 宏明	1 年 理二三(17-20)
30008	月 2, 水 1	吉野 太郎、加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
30138	月 4, 木 3	北山 貴裕、桐木 紳	1 年 理一(20-23)
30141	月 4, 木 3	足助 太郎、梶原 健	1 年 理一(24-27)
30143	月 4, 木 3	辻 雄、山﨑 満	1 年 理一(28-31)
30147	月 4, 木 3	木田 良才、相馬 輝彦	1 年 理一(32-35)
30148	月 4, 木 3	三竹 大寿、下川 航也	1 年 理一(36-39)
30280	火 4, 金 1	志甫 淳、斉藤 義久	1 年 理一(7-9,13)
30288	火 4, 金 1	関口 英子、大場 清	1 年 理一(10-12)
30290	火 4, 金 1	葉廣 和夫、長井 秀友	1 年 理一(14-16)
30312	火 4, 木 2	松井 千尋、松田 茂樹	1 年 理一(6,18-19)
30430	火 4, 金 3	白石 潤一、戸瀬 信之	1 年 理一(1-5,17)

微分積分学①

微分積分学①	開講区分	S 2

授業の目標・概要	代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．‖微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームの「微分積分学①」で項目 1,2 を扱い，A セメスターの「微分積分学②」で項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある． ‖1. 一変数関数の微分（微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開)|2. 多変数関数の微分（偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律)|3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用)|4. 一変数関数の積分（区分求積法，微分積分学の基本定理)|5. 多変数関数の積分（多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式)|6. 無限級数と広義積分（関数列の収束，広義積分)‖実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．|
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
40001	月 2	岩木 耕平	1 年 理二三(1-7)
40002	月 2	田中 公	1 年 理二三(8-10)
40003	月 2	坂井 秀隆	1 年 理二三(11-13)
40004	月 2	高田 了	1 年 理二三(14-16)
40005	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(17-20)
40006	月 2	吉野 太郎	1 年 理二三(21-24)
40013	月 4	桐木 紳	1 年 理一(20-23)
40014	月 4	足助 太郎	1 年 理一(24-27)
40015	月 4	辻 雄	1 年 理一(28-31)
40016	月 4	木田 良才	1 年 理一(32-35)
40017	月 4	三竹 大寿	1 年 理一(36-39)
40024	火 4	白石 潤一	1 年 理一(1-5,17)
40025	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(6,18-19)
40026	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(7-9,13)
40027	火 4	大場 清	1 年 理一(10-12)
40028	火 4	長井 秀友	1 年 理一(14-16)

線型代数学①

線型代数学①	開講区分	S 2

授業の目標・概要	線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった． 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだ線型代数に関する知識を前提とする． S2 タームの「線型代数学①」で以下の項目 1, 2 を扱い，A セメスターの「線形代数学②」で項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある． 1. ベクトル空間，線型写像 2. 生成系，一次独立性，基底 3. 内積 4. 行列式 5. 固有値，固有ベクトル 6. 対称行列の対角化と二次形式
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
40034	水 1	小林 正典	1 年 理二三(1-7)
40035	水 1	植野 義明	1 年 理二三(8-10)
40036	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(11-13)
40037	水 1	村上 順	1 年 理二三(14-16)
40038	水 1	関口 英子	1 年 理二三(17-20)
40039	水 1	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
40043	木 2	松井 千尋	1 年 理一(6,18-19)
40044	木 3	北山 貴裕	1 年 理一(20-23)
40045	木 3	梶原 健	1 年 理一(24-27)
40046	木 3	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
40047	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(32-35)
40048	木 3	下川 航也	1 年 理一(36-39)
40055	金 1	志甫 淳	1 年 理一(7-9,13)
40056	金 1	関口 英子	1 年 理一(10-12)
40057	金 1	葉廣 和夫	1 年 理一(14-16)
40059	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(1-5,17)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある. S1 タームの「数理科学基礎演習」は「数理科学基礎」の講義と, S2 タームの「数学基礎理論演習」は「微分積分学①」・「線型代数学①」の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う. 講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある. S1 タームの「数理科学基礎演習」の成績評価は、「数理科学基礎」の成績に演習の平常点などを加味して行う. S2 タームの「数学基礎理論演習」の成績評価は、「微分積分学①」「線型代数学①」の成績 に演習の平常点などを加味して行う.
成績評価方法	「数理科学基礎」および「微分積分学①」・「線型代数学①」の成績に演習の平常点などを加味して行う.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
30151	S 1	月 3	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
30153	S 1	月 3	数理科学基礎演習	田中 公、權業 善範	1 年 理二三(8-10)
30154	S 1	月 3	数理科学基礎演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
30155	S 1	月 3	数理科学基礎演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(14-16)
30156	S 1	月 3	数理科学基礎演習	畑 宏明、関口 英子	1 年 理二三(17-20)
30157	S 1	月 3	数理科学基礎演習	吉野 太郎、加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
30522	S 1	火 5	数理科学基礎演習	白石 潤一、伊山 修	1 年 理一(1-5,17)
30523	S 1	火 5	数理科学基礎演習	中村 勇哉	1 年 理一(6,18-19)
30524	S 1	火 5	数理科学基礎演習	斉藤 義久、志甫 淳	1 年 理一(7-9,13)
30525	S 1	火 5	数理科学基礎演習	清野 和彦	1 年 理一(10-12)
30526	S 1	火 5	数理科学基礎演習	牛腸 徹	1 年 理一(14-16)
30962	S 1	木 4	数理科学基礎演習	鮑 園園、北山 貴裕	1 年 理一(20-23)
30963	S 1	木 4	数理科学基礎演習	足助 太郎、梶原 健	1 年 理一(24-27)
30964	S 1	木 4	数理科学基礎演習	辻 雄、山﨑 満	1 年 理一(28-31)
30965	S 1	木 4	数理科学基礎演習	木田 良才、間瀬 崇史	1 年 理一(32-35)
30966	S 1	木 4	数理科学基礎演習	森 迪也	1 年 理一(36-39)
40007	S 2	月 3	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
40008	S 2	月 3	数学基礎理論演習	田中 公、權業 善範	1 年 理二三(8-10)
40009	S 2	月 3	数学基礎理論演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
40010	S 2	月 3	数学基礎理論演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(14-16)
40011	S 2	月 3	数学基礎理論演習	畑 宏明、関口 英子	1 年 理二三(17-20)
40012	S 2	月 3	数学基礎理論演習	吉野 太郎、加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
40029	S 2	火 5	数学基礎理論演習	白石 潤一、伊山 修	1 年 理一(1-5,17)
40030	S 2	火 5	数学基礎理論演習	中村 勇哉	1 年 理一(6,18-19)
40031	S 2	火 5	数学基礎理論演習	斉藤 義久、志甫 淳	1 年 理一(7-9,13)
40032	S 2	火 5	数学基礎理論演習	清野 和彦	1 年 理一(10-12)
40033	S 2	火 5	数学基礎理論演習	牛腸 徹	1 年 理一(14-16)

数理科学基礎演習・数学基礎理論演習

40049	S 2	木 4	数学基礎理論演習	鮑 園園、北山 貴裕	1 年 理一(20-23)
40050	S 2	木 4	数学基礎理論演習	足助 太郎、梶原 健	1 年 理一(24-27)
40051	S 2	木 4	数学基礎理論演習	辻 雄、山﨑 満	1 年 理一(28-31)
40052	S 2	木 4	数学基礎理論演習	木田 良才、間瀬 崇史	1 年 理一(32-35)
40053	S 2	木 4	数学基礎理論演習	森 迪也	1 年 理一(36-39)

力学A

力学A	開講区分	S

授業の目標・概要

古典力学の基本法則とその具体的応用を微積分や解析幾何等の数学的手法を用いて考察し、物理学における論理的・体系的理解への基礎を学ぶ。高校での物理学を履修したという前提に立って講義する。具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1. 序論：物理学の世界
2. 運動の記述
  ・デカルト座標
  ・ベクトルとその演算（内積、外積など）
  ・極座標（2 次元、＊3 次元）
  ・次元と単位系
3. 運動の法則
  ・ニュートンの三法則
  ・質量と力
  ・簡単な運動の例（自由落下など）
  ・力積と運動量
  ・仕事とエネルギー（線積分）
  ・保存力とポテンシャル（グラディエント）
4. 運動の解析
  ・落体の運動（速度に依存する抵抗がある場合を含む）
  ・慣性質量と重力質量
  ・単振り子・調和振動
  ・減衰振動
  ＊強制振動（共鳴）
  ・力のモーメント
  ・中心力と角運動量
  ・万有引力とケプラーの法則
5. 運動の相対性と慣性力
  ・慣性系とガリレイ変換
  ・並進加速度系と慣性力
  ・回転系（遠心力とコリオリ力）
6. 多粒子系
  ・内力と外力
  ・重心運動と相対運動
  ＊対称性と保存則
  ・二体系（換算質量、衝突など）

＊7. 剛体の運動
  ＊剛体の自由度と運動方程式
  ＊慣性能率
  ＊対称性と保存則
  ＊剛体の平面運動

＊8.力学の原理
  ＊仮想仕事、ダランベールの原理
  ＊ハミルトンの原理（最小作用）
  ＊対称性と保存則
  ＊ラグランジュの運動方程式

成績評価方法　定期試験

教科書　その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30754	水 4	大井 万紀人	1 年 理一(20-22)
30756	水 4	鈴木 康夫	1 年 理一(23-25)
30757	水 4	常次 宏一	1 年 理一(26-28)
30758	水 4	高橋 宏知	1 年 理一(29-32)
30759	水 4	髙木 隆司	1 年 理一(33-35)
30760	水 4	素川 靖司	1 年 理一(36-39)
30762	水 4	下村 裕	1 年 理二三(16-18)
30763	水 4	簑口 友紀	1 年 理二三(19,23-24)
30764	水 4	堀田 知佐	1 年 理二三(20-22)

31172	金 4	齋藤 晴雄	1 年 理一(1-4)理二三(1-6)
31174	金 4	白石 直人	1 年 理一(5-7)
31175	金 4	溝口 俊弥	1 年 理一(8-10)
31176	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(11-13)
31177	金 4	髙木 隆司	1 年 理一(14-16)
31178	金 4	野海 俊文	1 年 理一(17-19)
31191	金 4	塩見 雄毅	1 年 理二三(7-9)
31192	金 4	藤井 宏次	1 年 理二三(10-12)
31193	金 4	酒井 一博	1 年 理二三(13-15)

力学B

力学B	開講区分	S

授業の目標・概要

入試で物理学を選択しなかった学生のうち希望する者を対象とする。
高度な問題や詳細には深入りをせず、例題や宿題を多用することにより、
物理学がどのような局面で役に立つのかを学ぶ。
具体的な項目は以下の通りだが、実際の内容や順序は教員に
よって多少の違いがあり、特に＊印のついた
項目は省略される場合がある。

1. 序論：物理学の世界
2. 運動の記述
  ・デカルト座標
  ・ベクトルとその演算（内積、外積など）
  ・極座標（2 次元、＊3 次元）
  ・速度と加速度
  ・次元と単位系
3. 運動の法則
  ・ニュートンの三法則
  ・質量と力
  ・簡単な運動の例（自由落下など）
  ・力積と運動量
  ・仕事とエネルギー（線積分）
  ・保存力とポテンシャル（グラディエント）
4. 運動の解析
  ・落体の運動（＊速度に依存する抵抗がある場合を含む）
  ＊慣性質量と重力質量
  ・単振り子・調和振動
  ＊減衰振動
  ＊強制振動（共鳴）
  ・力のモーメント
  ・中心力と角運動量
  ・万有引力とケプラーの法則
5. 運動の相対性と慣性力
  ・慣性系とガリレイ変換
  ・並進加速度系と慣性力
  ・回転系（遠心力と＊コリオリ力）
6. 多粒子系
  ・内力と外力
  ・重心運動と相対運動
  ＊対称性と保存則
  ・二体系（衝突、＊換算質量など）

＊7.剛体の運動
  ＊剛体の自由度と運動方程式
  ＊慣性能率
  ＊剛体の平面運動

成績評価方法
主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書
その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30755	水 4	新井 宗仁	1 年 理一(20-39)理二三(16-24)
31173	金 4	加藤 雄介	1 年 理一(1-19)理二三(1-15)

熱力学

熱力学	開講区分	S

授業の目標・概要

熱力学は，膨大な数の原子・分子等のミクロ（微視的）な粒子の集団から成るマクロ（巨視的）な物質の状態を、温度、圧力，体積などのマクロな物理量を用いて記述し，いくつかの基本原理をもとに，マクロな観点から物質の状態がいかに変化するかを考察する学問体系である。熱力学は，力学，電磁気学とともに古典物理学の基礎を構成している。ここで学ぶ内部エネルギー，エントロピーなどの概念は理科生にとって必須の基礎概念である。
以下に標準的な講義内容を示すが，担当教員によって項目の順序や内容は若干異なる。講義では、高校までに習った初等数学以外に、偏微分等の数学的手法を用いることがあるが、その場合は、そのつど必要に応じて講義で解説される。
0.序論
熱力学とは何か？ミクロな系とマクロな系，力学や電磁気学との対比
1.熱平衡状態
温度，圧力，状態量，示強変数と示量変数，状態方程式
2.熱力学第一法則
熱量と仕事，熱の仕事当量，内部エネルギー，定積熱容量（定積比熱）と定圧熱容量（定圧比熱）
3.熱力学第二法則
第二法則の諸表現（Thomson の原理，Clausius の原理），可逆循環過程 ，Carnot サイクル，不可逆過程，準静的過程，熱機関の効率，熱力学的絶対温度，Clausius の不等式，エントロピー
4.自由エネルギー
Helmholz の自由エネルギー，Gibbs の自由エネルギー，Maxwell の関係式
その他、オプションとして取り上げられるトピックス
混合のエントロピー，エンタルピー，Joule-Thomson 過程，Legendre 変換，熱力学第三法則，相平衡，相律，Clapeyron-Clausius の式，Le Chatelier の原理，化学ポテンシャル，Gibbs-Duhem の関係式，Maxwell の等面積則

成績評価方法

主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書

その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30063	月 2	藤山 茂樹	1 年 理一(1-2,12,14-15)
30064	月 2	桂 法称	1 年 理一(3,31,33,39)
30081	月 2	桃井 勉	1 年 理一(26-28)
30641	水 2	池上 高志	1 年 理一(4,6,9)
30648	水 2	水野 英如	1 年 理一(20,34-35)
30721	水 3	前田 京剛	1 年 理一(7,11,32)
30861	木 2	風間 洋一	1 年 理一(8,10,13)
30865	木 2	下村 裕	1 年 理一(16,22-23)
30868	木 2	森松 治	1 年 理一(24,29,38)
31029	金 1	尾関 之康	1 年 理一(5,17-18)
31032	金 1	菊川 芳夫	1 年 理一(21,25,30)
31131	金 3	福島 孝治	1 年 理一(19,36-37)

化学熱力学

化学熱力学	開講区分	S

授業の目標・概要

熱力学では、多数の原子分子の集団から成る物質の状態を圧力、体積、温度などの巨視的な量を用いて指定し、いくつかの基本原理をもとに、巨視的な観点から物質がいかに変化するかを考察していく。これらは、化学平衡や化学反応を理解する上での基礎的な概念を与える。本講義では、化学への応用をめざして熱力学を学ぶ。以下に標準的な講義項目を示すが、教員によって実際の順序や内容は若干異なる。

１．序論 熱平衡状態、温度と熱、状態量（示強性、示量性)、状態方程式（理想気体、ファン・デル・ワールス気体）

２．熱力学第一法則 熱と仕事、内部エネルギー、準静的過程、定積過程と定圧過程、エンタルピー、熱容量（比熱)、ヘスの法則

３．熱力学第二法則 熱機関とカルノーサイクル、第二法則の諸表現（トムソンの原理、クラウジウスの原理)、不可逆過程、クラウジウスの不等式、エントロピー

４．自由エネルギー ヘルムホルツエネルギー、ギブスエネルギー、マックスウェルの関係式、ギブスエネルギーの圧力・温度依存性

５．化学ポテンシャルと化学平衡 相平衡と相律、クラペイロン・クラウジウスの式、化学ポテンシャル、化学平衡、質量作用の法則、ル・シャトリエの原理

成績評価方法

担当教員の UTAS シラバスを参照の事。

教科書

その他。／Other

書名

著者（訳者）

出版社

ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30445	火 3	藤田 雅弘	1 年 理一 理二三(4,16,18,20,22)
30446	火 3	細野 暢彦	1 年 理一 理二三(6,8,11,15)
30880	木 2	小倉 賢	1 年 理一 理二三(1-3,5,7,9,17)
30881	木 2	長谷川 宗良	1 年 理一 理二三(10,21,23-24)
30882	木 2	野本 貴大	1 年 理一 理二三(12-14,19)

物性化学

物性化学	開講区分	S 1

授業の目標・概要

物質の多様な構造、性質および反応を理解するための、基礎的な化学の概念、理論を具体的な化合物を例にして学ぶ。以下の項目とその関連事項を内容とするが、教員により順序や重点の置き方に少し違いがある場合もある。

1．多原子分子の構造
ルイス構造と分子構造、共有結合の方向性、混成軌道
2．パイ結合の化合物
共役二重結合、共鳴、ベンゼン、芳香族化合物
3．パイ電子と分子軌道
パイ電子近似、LCAOMO、変分法、HOMO と LUMO
4．配位結合の化合物
Lewis 酸・塩基、金属錯体と配位結合、遷移金属錯体と d 軌道、結晶場 分裂
5．分子間相互作用と凝集系、生体高分子化学
van der Waals 力、水素結合
6．結晶の構造と結合
最密充填、単純格子、イオン半径と結晶構造、金属と半導体
7．イオン結晶
格子エネルギー、Madelung 定数、Born-Haber サイクル

成績評価方法　担当教員の UTAS シラバスを参照の事

教科書　その他。／Other

書名
著者(訳者)
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30065	月 2, 木 2	平岡 秀一	2 年 理一(4,33)理二三(16,24)
30079	月 2, 木 2	北條 博彦	2 年 理一(18,25-26)理二三(19)
30082	月 2, 木 2	西川 昌輝	2 年 理一(27-28,35,39)
30084	月 2, 木 2	横田 泰之	2 年 理一(32)理二三(10-12)
30086	月 2, 木 2	豊田 太郎	2 年 理二三(13-15,17)
30140	月 3, 木 3	豊田 太郎	2 年 理一(22-24)
30145	月 3, 木 3	竹中 康将	2 年 理一(29,38)理二三(21,23)
30146	月 3, 木 3	吉本 敬太郎	2 年 理一(30,36-37)理二三(7)
30431	火 3, 金 3	寺尾 潤	2 年 理一(1-3,5,11)理二三(22)
30432	火 3, 金 3	堀内 新之介	2 年 理一(8)理二三(6,9,20)
30434	火 3, 金 3	桐谷 乃輔	2 年 理一(12-14)理二三(4)
30436	火 3, 金 3	中島 正和	2 年 理一(15,17,20)理二三(5)
30507	火 4, 金 4	溝口 照康	2 年 理一(6-7,9-10)
30508	火 4, 金 4	片山 正士	2 年 理一(16,31,34)理二三(18)
30509	火 4, 金 4	山野井 慶徳	2 年 理一(19,21)理二三(1-3,8)

生命科学

生命科学	開講区分	S 1

授業の目標・概要

本講義は理科１類の学生に特化し，生命現象の中でも数式で表しやすい内容を計算演習とコンピュータの活用により学ぶ。数理ダイナミクスの観点から生命現象の謎に迫るおもしろさを実感してもらうことを期待する。具体的には、以下のような内容を予定している。

１． 生命科学の基礎
２． 生体物質：細胞を作り上げる物質群
３． 細胞の構造と増殖
４． 生命の駆動力：代謝と自由エネルギー
５． 遺伝情報
６． 生命のシステム的理解
７． 生命のダイナミクスとパターン形成
８． マクロなダイナミクス
９． 生命科学の数理的展開

成績評価方法

定期試験で評価する。毎回行う練習問題を成績評価に含める場合もあるが、詳細は授業で周知する。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名　演習で学ぶ生命科学 第２版
著者（訳者）　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　羊土社
ISBN　978-4-7581-2075-3

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30198	月 4	佐藤 健	2 年 理一(6,11,16)
30209	月 4	矢島 潤一郎	2 年 理一(17,24,32)
30210	月 4	杉山 宗隆	2 年 理一(22-23)
30638	水 2	長尾 翌手可	2 年 理一(3,28-29,39)
30639	水 2	寺田 透	2 年 理一(2,15,27,33)
31798	水 2	片島 拓弥	2 年 理一(1,26,30,35)
30860	木 2	伯野 史彦、後藤 康之	2 年 理一(5,8,34)
30863	木 2	飯野 雄一	2 年 理一(12-14)
30867	木 2	名黒 功	2 年 理一(20-21)
30878	木 2	山口 哲志	2 年 理一(36-38)
31129	金 3	古園 さおり、山口 哲生	2 年 理一(4,7,10)
31130	金 3	舘野 正樹	2 年 理一(9,18,31)
31132	金 3	福山 征光	2 年 理一(19,25)

生命科学 I

生命科学I	開講区分	S

授業の目標・概要　生命科学の基本概念と遺伝・膜構造・代謝を中心とした生命現象のしくみについて、分子から細胞までの構成原理を概観する。
１．生物の多様性と斉一性
２．タンパク質の構造と機能
３．遺伝子と遺伝情報
４．細胞の構造
５．代謝と光合成

成績評価方法　定期試験で評価する。毎回行う練習問題を成績評価に含める場合もあるが、詳細は授業で周知する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　理系総合のための生命科学 第 5 版
著者（訳者）　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　（株）羊土社
ISBN　ISBN 9784758121026

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30211	月 4	北西 卓磨	1 年 理二三(5,17-18,21-22)
30213	月 4	加納 純子	1 年 理二三(9,13-14,24)
31391	月 4	北西 卓磨	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
31392	月 4	加納 純子	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
31033	金 1	渡邊 雄一郎	1 年 理二三(1-3,7-8,20,23)
31041	金 1	石浦 章一	1 年 理二三(10-11,15,19)
31393	金 1	渡邊 雄一郎	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
31394	金 1	石浦 章一	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
31140	金 3	美川 務	1 年 理二三(4,6,12,16)
31395	金 3	美川 務	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31670	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	石川 健治	法学部	月 5	2 年 文科 理科
講義題目	(WEB シラバス参照)					
授業の目標概要	(WEB シラバス参照)					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31669	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎	法学部	水 4	2 年 文科 理科
講義題目	御成敗式目を読む					
授業の目標概要	貞永元年（西暦 1232 年）に鎌倉幕府が制定した『御成敗式目』は、日本中世の「武家法」を代表する「法典」として、高校教科書や通俗的な概説書の類でもおなじみであろう。本ゼミナールでは、この「御成敗式目」およびそれに付随して伝承された「北条泰時書状」を、原文（に近づくことを意図して校訂されたテキスト）によって精読し、読解のために必要な情報をいかにして得るか、読解した史料からいかにして問題点を析出するか、析出された問題点を他の史料や文献といかに併せ考えるか、を例示的に学ぶ。履修希望者が 10 名を超えた場合、小テストを課して選考することがあるので、初回授業に必ず参加すること。受講許可は第 2 回目までに ITC-LMS にて告知する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31672	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	橋爪 隆	法学部	水 5	2 年 文科 理科
講義題目	刑法総論の基礎					
授業の目標概要	刑法とはいかなる行為が犯罪と評価されるかを定める法律です。そのうち刑法総論は因果関係の判断、故意の内容、共犯の成否、刑罰の意義など全ての犯罪に共通する問題を取り扱う分野であり、法学部講義科目の「刑法第 1 部」の内容に対応します。この演習では「刑法第 1 部」の授業の進行に対応するかたちで、刑法総論の重要論点を深掘りし、また、重要な判例の内容について検討を加えることで、刑法総論の理解を深めることを目的とします。その他、受講者の関心の高い刑事法のトピックについて、自由に議論する機会も設ける予定です。‖履修者の選抜等は実施しない予定ですが、万が一、履修希望者が 30 名を上回った場合には、前期課程の成績等を考慮して、選抜を行う可能性があります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31671	S	社会科学ゼミナール（法・政治）	白石 忠志	法学部	金 2	2 年 文科 理科
講義題目	法学教科書読解講座					
授業の目標概要	「憲法」「民法第 1 部」「刑法第 1 部」の教科書を読み解くゼミです。 法学は、社会にとって必須のツールであり学び甲斐のある学問ですが、普通の人にとってわかりにくい特有の言い回しをした文章などがよく出てきます。そこで、法学部の持ち出し専門科目である「憲法」「民法第 1 部」「刑法第 1 部」の履修を始めた学生を主な対象とし、これらの 3 科目で教科書として指定されている教科書を用いて、教員と学生が一緒に読み解きます。 教員は、競争法（独禁法の国際的通称）が専門であり、憲法・民法・刑法は専門ではありません。しかし、法学の文献・条文・判例などが文章として伝わりやすくなるにはどのようにすればよいか、という点に関心を持っています。そのような意味で、このゼミは教員の学問的関心に合致しています。専門でないので、憲法・民法・刑法の内容にはあまり立ち入らず、文章の読み解きに主眼を置きます。 教科書の重要な箇所や重要な条文・判例などを毎回選んで読み解きます。判例の調べ方なども自然に身に付くと思われます。「教科書のここがわかりにくい」という質問・情報が学生から寄せられれば、そこを重点的に読むということも考えられます。 余裕があれば、競争法の話題も織り交ぜます。 第 1 回については、ITC-LMS の「オンライン授業情報」に書き込みます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30215	S	社会科学ゼミナール（経済・統計）	佐藤 俊樹	経済・統計	月 4	2 年 文科 理科

講義題目　ルーマンのマスメディア論を読む(3)

授業の目標概要

教員の所属部会の関係で「経済学・統計学」になっていますが、授業の内容は社会学のマスメディア論とシステム論です。具体的には、ニクラス・ルーマンの『マスメディアのリアリティ』（林香里訳、木鐸社）を読んでいきますが、担当教員の専門と関心から、厳密なテキスト読解ではなく、経験的な社会の探究に役立つ分析用具として読んでいきます。今年度は第 5 章から読んでいく予定です。第 1 章～第 4 章で何が書いてあるのかは、授業の最初に教員の方から解説しますが、授業に参加希望の人はあらかじめ読んでおいてください。佐藤俊樹『メディアと社会の連環』（東京大学出版会、2023 年 2 月刊行予定）序論第 2 節なども参考になります。

ドイツ語の予備知識は特に必要ありません。むしろルーマンの徹底的に考え抜かれた論理と文章につきあいながら、その内容を理解していくことをめざしています。ですので、実際には、一行一行解説しながらゆっくり読み進めていきます。必要な予備知識はその都度解説するので、ルーマンの他の著作を知っておく必要もありません。
そのかわり、参加者それぞれの水準でかまわないので、既存の知識を習うというよりも、自分自身で考えていくことをを身につけるようにしていってください。一見全く意味不明で、「無駄に難解」ともされるルーマンの文章が、実際にはきわめて精緻で、論理的で、そして、マスメディアや現代社会に対する具体的かつ鋭い洞察に富んでいる。そういう読み方ができることを体験してもらえばよい、と思っています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31807	S	社会科学ゼミナール（経済・統計）	鎌田 雄一郎	大学院経済学研究科	水 3	2 年 文科 理科

講義題目　Advanced Game Theory for Komaba Students

授業の目標概要

社会における人間行動を、数式で記述する。それが、「ゲーム理論」。
「私は、あなたが彼が行動 A をとるだろうと考えていると考えたから、行動 B をとることにする。」「我が社は相手企業 J の過去の決定 C から、今後の J の戦略が S であろうと推測する。よって我が社は戦略 T をとろう」などという複雑な思考過程を、数式で記述し、分析する。
このゲーム理論の中で特に興味深いトピックや最新研究に関して、講義を行い、さらに学生間でディスカッションをする。
受講にあたって、ゲーム理論や（ゲーム理論がしばしば応用される）経済学の前提知識は一切必要ないが、数学が多用されるので、その点留意しておくこと。

以下のうちどれかが当てはまる学生には、この講義は最適であろう：
１．論理的思考が好き and/or 得意。
２．数学が好き and/or 得意。
３．理屈っぽく、細かい。
４．理系。「経済学なんてデマカセだ！エセ科学だ！」と思っている。
５．「社会における人間行動を、数式で記述する」なんて到底無理だろう、と思った。
６．現実の社会問題を統一的に理解するための視点が欲しい。
７．最先端の研究に触れたい。研究とはどんなものか、覗いてみたい。
８．トップ研究者の授業を受けたい。
９．テレビなどに登場する「エコノミスト」のいい加減な発言に辟易している。
１０．せっかく大学に入ったのだから、新しいこと、難しいことに、チャレンジしたい。

担当教員（鎌田）は現在カリフォルニア大学バークレー校の准教授で、ゲーム理論研究者。東京大学大学院経済学研究科の初代グローバルフェローを兼任。
授業は基本的にオンラインで、カリフォルニアからお届けする。鎌田が夏に日本に一時帰国して、かつ対面授業がその時に可能な場合は、対面授業を行う可能性もある。授業は毎回 105 分間。
履修希望者が多い場合は、選抜を行う可能性がある。選抜がある場合は、初回授業後、第二回授業までに行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31797	S	社会科学ゼミナール（経済・統計）	竹野 太三	経済・統計	金 5	2 年 文科 理科

講義題目
社会科学ゼミナール・アドバンスト文科
応用ミクロ経済学

授業の目標概要
概要：
2023 年度から，社会科学ゼミはアドバンスト文科としての役割を担うことになりました．この趣旨は，初年次ゼミと基礎科目を履修された方々に，これらの科目で得た知識をもとに，後期過程で飛躍をするための足がかりを築くことです．このゼミは，後期過程で経済学部に進学され，かつ現代経済を専攻される方に，上記のような機会を提供するものです．このため，上記の進路を志望されている方を想定した内容になりますが，関心のある方で，以下のような履修要件を満たしている方であれば，どなたでも履修していただけます．

履修要件：
履修をされる方には，2022 年度 A セメに「経済学 II（竹野担当）」を履修さていること，あるいは，当ゼミ開講時点で，同科目と同様の内容を既習（自習を含む）されていることをお願いします．具体的には，消費者の理論，生産者の理論，均衡の理論について，（完全に習得している必要はありませんが）およその理解があることをお願いします．

形式：
講義とディスカッション形式で行います．少人数教室を想定していますので，積極的に発言していただけると講義も円滑に行えるので助かります．

内容：
「経済学 II」では紹介しなかった概念（例えばコアの理論）や、履修者の方の関心にもよりますが、ゲーム理論、（近年の時事問題にも関連する）国際経済学からのトピック、あるいは経済学で用いられる数学（例えば Lagrange 乗数法など）について、時間をかけて学ぶことを予定しています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30316	S	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	2 年 文科 理科

講義題目
尊厳の社会学

授業の目標概要
尊厳は現代社会における最重要概念の一つである。この概念は、古典古代以来の長い歴史をもち、特に第二次世界大戦以降、人権との密接な関連が意識されるようになった。今日におけるその射程は、生死、刑罰、科学技術、労働、表現、コミュニケーションなど広範に及ぶ。それにもかかわらず、尊厳に関する社会学的研究は、哲学、倫理学、法学、思想史学などの他のジャンルと比べて、手薄である。
こうした現状を踏まえ、この演習では、いくつかの文献の講読と討論を通じて、尊厳の社会学の可能性について考える。それを通じて各自が社会学的なパースペクティブに習熟することが最終的な目標である。
なお履修希望者が 20 名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるので、初回の授業には必ず出席すること。受講許可は第 2 回の授業日までに掲示によって告知する。

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31268	S	人文科学ゼミナール（歴史学）	岡田 泰平	歴史学	火 2	2 年 文科 理科

講義題目　歴史全集とコーヒーテーブルブックから学ぶフィリピン史

授業の目標概要

この授業では、フィリピン史から、フィリピン文化と社会について学びます。フィリピン社会の変遷を、長期的な視線から見ていくことを試みます。あえて数十年、数百年単位でフィリピン史を見ることにより、現在のフィリピンを見つめなおします。

ある時期にある本が書かれること自体が、その歴史的背景から切り離せません。日本においては日本史全集や世界史全集は、マンガも含めて数多く編まれてきています。他方、フィリピンの場合、いわゆる歴史全集は、1978 年頃刊行の Filipino heritage : the making of a nation（全 10 冊）、そして 1998 年頃刊行の Kasaysayan: the story of the Filipino people（9 冊、年表 1 冊）の二回しか編まれてきていません。両方とも、イラストや写真など画像が豊かで、英語で書かれています。まずは、これらの二つの資料集を基本文献とし、一緒に読んでいきます。

その上で、東南アジアにはコーヒーテーブルブックと呼ばれるジャンルの本があります。大きくて重い本で、多くの場合、写真集と言って良いような体裁です。このジャンルの本も見ていき、その時代、時代で、何がフィリピン人にとって重要だったのかを考えていきます。また、映像や歌も紹介すると思います。

授業の狙いとしては、グローバル・サウスの研究は往々にして政治経済の研究になってしまうので、そうではない歴史像を提供することにあります。そこで、フィリピン人にとって重要だと思うことを学んでいきたいということです。ただ、同時に、ある資料が書かれる背景にも目を向けます。Filipino Heritage はマルコス独裁政権に書かれています。他方、Kasaysayan は民主化から 10 年後に刊行されています。それぞれの時代に何が言えたのか、どのような歴史理解が求められたのかも考えていきます。|

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31668	S	人文科学ゼミナール（歴史学）	根岸 洋	文学部	火 2	2 年 文科 理科

講義題目　考古資料から過去を読む

授業の目標概要

日本において考古学は歴史学の一つとして捉えられているが、人類学や遺伝学、年代測定を含む分析科学などの広い隣接諸分野との連携をもとに、多角的手法から「過去」にアプローチする学問でもある。遺跡から出土する遺物は土器、石器、金属器などの道具だけでなく、動植物遺存体や人骨など多岐にわたる。それらからできるだけ多くの情報を読み取り、現在から遠い「過去」を読み取り、またその価値をわかりやすく伝えることが求められる。

本演習は、東京大学構内にある遺跡から出土した遺物を材料に、考古学がどのようなことをやる学問なのかを体験してもらい、その面白さに触れてもらうことを目的としている。東京大学のキャンパスには先史時代から近代までの遺跡が所在しており、手に触れることのできる多くの遺物も所蔵されている。基礎的な知識は講義することになるが、最も大事なのは実際に遺物を観察し、それをレポートにまとめる作業を体験してもらうことである。発掘調査がそうであるように、考古学は経験科学の一つと言える。一般にイメージする考古学とは違って地味に思えるかもしれないが、その作業にこそモノから歴史を復元するという行為の魅力が詰まっていることを感じてほしい。

また本演習の後半では、取り扱った遺物が出土した遺跡を世界の遺跡と比較する試みを行ってもらう。ユネスコ世界遺産による考え方を学び、その普遍的価値についてのグループ発表が課せられる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31207	S	人文科学ゼミナール（文化人類学）	中村 沙絵	文化人類学	金 5	2 年 文科 理科

講義題目　フィールドワークと人類学的探究

授業の目標概要

人類学は、知を生みだすプロセスとしてのフィールドワークや「参与観察」という手法に重きをおく学問である。ある現場（フィールド）に赴き、その生活世界に身を沈める。そこで人類学者は、周囲の人や環境、生の営みに係わり合い、これに応じながら、自ら大小の変容を経験する。民族誌が読者に「今までとは世界が違ってみえる」ような感覚を与えるのは、それがこのようなフィールドワークでの経験にもとづいて、世界や自己について探究したものであるからだといえるだろう。

本講義は、人類学的探究としてのフィールドワークとはどんなものか、いかなる特徴や意義をもつのかについて、他の学問分野との相違や重なりにも言及しながら理解を深めることを目的とする。授業は『響応する身体――スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌』（2017 年）を主なテクストとした講義・ディスカッションと、より実践的な演習とで構成する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30229	S	人文科学ゼミナール（データ分析）	永田 淳嗣	人文地理学	月 5	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計とフィールドワークから探る農業産地の構造変化 日本の農業は，長期的・巨視的にみると高度経済成長期以降，農業従事者の高齢化・大幅な減少，耕地面積の減少といった形で，産業としての規模を縮小させてきた．しかし日本の国土を見渡せば，農業が現在も基幹的な産業としての地位を維持し，今後のあり方を模索している地域も少なくない．本授業では，何らかの農作物を中心に農業の「産地」と呼ばれてきた特定の地域を取り上げ，概ね高度経済成長期前後から今日に至る産地の構造変化を，国勢調査，農業センサスなどの基礎的統計のオリジナルな分析を通じて客観的に把握する．その上で，3 泊 4 日程度の合宿による人文地理学的なフィールドワークを組み合わせ，産地の構造変化や現状の理解の深化をはかるとともに，産地が抱える課題や今後の方向性を議論する．なお実習を中心とした授業であるため，効果的な指導を行うために受講希望者多数の場合は選抜を行う（10 名程度）．受講希望者は，第 1 回授業で指示する内容の受講希望票を，第 1 回授業終了後の指定した期日までに提出すること．選抜が必要な場合はその内容に基づき行い，第 2 回授業開始までに受講許可者を確定，掲示等で告知する．また本授業は人文地理学教室が所有する紙媒体の統計資料や大判の地図を用いることもあり，対面での授業とフィールドワークに参加可能な学生に履修者を限定する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30516	S	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	石井 剛	中国語	火 4	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		東アジアからの古典講読 東アジアは東アジアだけで東アジア的なのではありません。東アジアとは高度に近代的な地理想像が実体化した概念なのです。東京に暮らし、東京で学ぶわたしたちが東アジアに暮らし、東アジアで学んでいることは地理的に自明ですが、わたしたちはこのような暮らし方、学び方が東アジア的であることを自覚することはかえって稀だと言うべきでしょう。したがって、東アジア的であることの自覚とはすぐれて方法論的であり、時にそこにはある種の戦略性が孕まれることさえあります。|本授業において目指されるのは、かかる方法論と戦略性が普遍性観念の組み替えにとって有益なのだと感得することです。本授業が古典講読という形態を採るのは、それこそが目標を達成するのに最良の方法であるとわたしたちが信じるからです。その際、選ばれる古典テクストは東アジア地域に由来するテクストであるとは限らないことを履修を希望する皆さんにはじゅうぶんに了解してほしいと思います。最初に述べたとおり、東アジアとは高度に近代的な地理概念であり、東アジアから古典を講読するとは、とりもなおさず、「近代」を問い直すことにほかならないからです。 履修希望者が 10 名を超えた場合には、選考を行う可能性があります。選考は初回授業中に各レポートによって行い、結果はできる限り速やかに ITC-LMS を通じてお知らせします。したがって履修を希望する場合は必ず初回授業にいらしてください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31049	S	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	浜田 華練	ロシア語	金 2	2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アルメニア語入門 「アルメニア語」は、現在のアルメニア共和国の公用語である「現代東アルメニア語」と、アルメニア国外のディアスポラのコミュニティで用いられる「現代西アルメニア語」と、19 世紀以前の文語であると同時に現在の教会の典礼言語としても用いられる「古典アルメニア語」の 3 つに分類される。この授業では、アルメニア語の歴史を概観しながら、アルメニア語文法の初歩を学ぶ。				

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30317	S	自然科学ゼミナール（数理科学）	植田 一石	数学	火 2	2 年 文科 理科
講義題目		SageMath と計算機数学				
授業の目標概要		SageMath は Magma や Maple, Mathematica, Matlab などの商用ソフトウエアに対するフリーかつオープンソースの代替手段を提供することを目的として、既に存在する種々の数学に関するオープンソースのソフトウエアをプログラミング言語 Python によって統合したシステムである。この授業の目標は、SageMath を通して、科学や工学に現れる様々な数学的課題に計算機を用いて取り組む方法を学ぶことである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30549	S	自然科学ゼミナール（数理科学）	三竹 大寿	数学	火 5	2 年 文科 理科
講義題目		自然科学に現れる微分方程式				
授業の目標概要		さまざまな自然現象や社会現象の定量的な解明のためには、まず数理モデルを構築することが伝統的な方法である。モデル式は未知量の導関数がからむ方程式となることがニュートン力学などでは普通である。これが微分方程式である。高校までで主に学習してきた２次方程式などの場合と異なり、微分方程式には一般的な解の公式はなく、解が果たしてあるのか、あるとしたら１つに決めるのか、などどいった問題をある程度まで個別的に研究しなくてはならない。本セミナーではこの種の微分方程式を題材に、微分積分学の自然な発展としての数学解析のさまざまな考え方に触れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31664	S	自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾	情報学環	火 4	2 年 文科 理科
講義題目		今日の音楽の自然哲学・・・物理の響き・こころのひびき				
授業の目標概要		1863 年（日本でいえば文久 3 年）に公刊されたヘルムホルツの主著のひとつ「音楽の生理学的根拠のための聴覚生理学」にしめされた知見と問題意識は、21 世紀の観点からみても驚くほどの独創性と新規性を示している。その後 19－20 世紀を通じてもっぱら「聴覚」「生理」に関して後継研究が進んだが、1961 年時点でも、フォン・ベケシーはノーベル賞受賞講演でヘルムホルツを凌駕する内容がほとんど得られていないと嘆いている。それからさらに 62 年が経過しているが「音楽」に関する本質的な研究は、少数の例外を除いてほとんど得られていない。東京大学はその少数の例外を形成しており、物理的音波と認知的音像、双方の側面での日本からの原著業績を平易に解説する。この分野はいまだ若く、新しい世代が歴史に貢献する本質的な仕事を展開可能であり、學問藝術を本質的に前進させてゆくダイナミズム、その醍醐味や楽しさも、駒場のゼミナールとして合わせて教授したい。				

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31656	S	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	三輪 健太朗	教養教育高度化機構	火 2	2 年 文科 理科

講義題目　マンガにとってコマ割りとは何か

授業の目標概要　この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐって、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。受講者の作成物は、授業内で発表やコメントをしてもらう予定です。あくまでも実践を通して理論的に考えることが狙いですので、マンガ制作の技術的な向上を指導する授業ではありません（これまでのマンガ制作の経験も不問とします）。またコマ割りに焦点を当てた内容ですので、絵の巧拙は一切問いません（全然描けないという方でも結構です）。
なお、履修希望者が 20 名を大幅に超えた場合は、初回授業で指示する提出物をもとに人数制限を行う可能性があります。初回のガイダンスには必ず出席するようにして下さい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31663	S	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	伊東 乾	情報学環	火 6	2 年 文科 理科

講義題目　科学と芸術の新しいあいさつ・・・東京都美術館特別展並行プログラム

授業の目標概要　2023 年 5 月、東京大学伊東研究室は 東京都美術館で「日府展 70 回特別展 科学と芸術の新しいあいさつ」を日本画府、ミュンヘン工科大学 AI 倫理研究所、玉川大学脳科学研究所、日本数学検定協会などと共同で主催し、シンポジウムや演奏会も行う。メインキュレータのイジンヨンは小研究室 D3 だが韓国国立民族博物館での実務経験もあるプロである。本展覧会には担当者を含め本学 OB のアーティスト・サイエンティストも複数出品しており 計数工学科名誉教授の杉原厚吉さん、生産技術研究所名誉教授の山中俊治さん、文学部美術史学科名誉教授で「神経美術史」を展開する小佐野重利さんなどの仕事に親しく触れることが出来る。芸術は本質的に文系でもなければ理系でもなく、また文理を問わず一つでも必要な要素が欠けていたら成立しない、ガラス細工の繊細さを持つ。実作者の観点からこれらに触れる。可能なら杉原先生などゲストのご登壇もお伺いし、世代を超えた創造的な交流が出来たらいいなと思っている。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31654	S	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	石津 智大	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科

講義題目　『芸術と感性の認知神経科学』

授業の目標概要　【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。
集中講義の日程：8 月上旬の 3 日間を予定しています
開始・終了時間：基本的に各日午前 10 時～午後 4 時（初日にそれ以降の日のスケジュールをお伝えします）
本講義では、認知神経科学と心理学との学際領域のひとつで、近年盛んに研究が行われている芸術と感性の認知神経科学について学びます。「物をどう見ているのかを知らねば、それを表現することはできない。ゆえに画家は知覚の科学者である」とも言われるように、芸術技法と知覚･認知の仕組みには共通点が多いです。芸術や感性を手がかりとすることで、知覚･認知システムの基本的な知識と、その背後にある脳機能への理解を養います。多様なテーマをふくむ芸術と感性の分野を、主な 3 つの過程 1）知覚と認知の過程、2）意味づけと価値づけの過程、3）創作と創造の過程、4）注目されるトレンドに分け、関連する作品を紹介しつつ、各過程を神経美学、実験美学、芸術心理学などの基礎から最新の研究データをとおして理解することを目指します。認知神経科学と心理学の観点から芸術と感性を読み解く一方、芸術の技法や感性についての人文学的考察を利用して認知とこころ、さらにその背後にある脳機能への理解を養うことを目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31658	S	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	中井 悠	教養教育高度化機構	月 5	2 年 文科 理科

講義題目　Archi-Choreographies：振り付けとしてのクセ

授業の目標概要　口癖、手癖、怠け癖、思考壁、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣（habit)」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、当人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け（コレオグラフィー)」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31662	S	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	足立 智美、中井 悠	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科

講義題目　楽譜とパフォーマンスと文化ージョン・ケージの場合

授業の目標概要　楽譜がどのようにパフォーマンスを生み出すのかを、ジョン・ケージの例をとって、楽譜の読解からパフォーマンス制作までを実際におこなってみることで体験します。特にケージが変化し続ける図形楽譜を発達させた 1960 年代の作品を扱うことになります。またその影響下から始まったフルクサスのテキスト・スコアの考えにも触れることになるでしょう。

ケージは禅を始めとする東洋思想に強い関心を持ち、その影響を公言していました。東洋と西洋という枠組み、自らの文化的な背景、身体のありかたを、批判的に理解、再構築するプロセスも大事な側面になるでしょう。

音楽の概念を更新した楽譜を扱うので、五線譜が読めたり、楽器ができることは必須ではありません。芸術実践の根源を考える場にしたいと思います。

参考図書などは特に指定しませんが、受講までにケージの音楽をある程度聴いておき、その思想にも触れておくようにしてください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

ジョン・ケージは音楽のみならず、20 世紀のあらゆる芸術ジャンルに巨大な影響を及ぼしました。現代芸術にいたる道筋の端緒をつけたともいえる「作曲家」の作品を、実際に手を動かしてリアライゼーションすることで、楽譜とは何か、パフォーマンスとは何かを、音楽だけに限定されない視野で、理念と実践のバランスをとりながら、ひとりひとりの体験から理解することを目指します。同時に社会における芸術の位置、自らの文化的な背景が如何にそのプロセスに関わるのかを考え、芸術から芸術を超えた事象に関わる方法を探ります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31659	S	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	中井 悠	教養教育高度化機構	水 5	2 年 文科 理科

講義題目　（偽）実験音楽史／Fake History of Experimental Music

授業の目標概要　「実験音楽」を「論」として真面目にお勉強することほど、非実験的で、実験音楽の精神に反することはありません。この授業では「実験音楽」を、歴史上の閉じたジャンルとしてではなく、これまで「音楽」と呼ばれてきた営みを問い直し、その外部へと切り開いていくたくさんの事例の開かれたネットワークとして考えます。そして、過去の実践や理論や問題を検討しながら、自分たちでもじっさいに実験を繰り広げることで、あり得たかもしれない実験音楽の作品（「偽実験音楽」）を構想・空想・妄想していきます。そうすることで、これまで「実験音楽」と呼ばれてきた営み自体を問い直し、その外部へと切り開いていくことを目指します。理論的には「偽」という概念と「実験」という概念がどのあたりで重なりうるのかを探っていきます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31657	S	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	三輪 健太朗	教養教育高度化機構	金 2	2 年 文科 理科

講義題目
マンガ・メディアの輪郭を問う

授業の目標概要
マンガは現代日本を代表するポピュラーカルチャーの一つですが、そのジャンルとしての、あるいはメディアとしての輪郭は極めて曖昧です。この授業では、そのようなマンガのあり方を、講義と実践的演習の両面から探究することで、ジャンル概念、メディア概念そのものを問い直す試みを行います。
具体的には、古典的かつ典型的なマンガのイメージ（マンガ家がペンを握って原稿を執筆し、それが編集・印刷された上で流通し、読者はそれを冊子状の本として眺める）から外れた形態のマンガ（ライブ・ドローイング、写真マンガ、ウェブマンガ、美術館の展示物としてのマンガ等々）をいくつか実際に制作・体験してみることで、マンガという大衆芸術とメディアとの関係について検証することを目的とします。受講者の作成物は、授業内で発表やコメントをしてもらう予定です。
あくまでも実践を通して理論的に考えることが狙いですので、これまでのマンガ制作の経験や絵の巧拙は不問とします。
なお、履修希望者が 20 名を大幅に超えた場合は、初回授業で指示する提出物をもとに人数制限を行う可能性があります。初回のガイダンスには必ず出席するようにして下さい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31660	S	文理融合ゼミナール（研究入門）	中井 悠	教養教育高度化機構	月 6	2 年 文科 理科

講義題目
副産物ラボ／Side Effects Laboratory

授業の目標概要
文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。
「副産物ラボ」では、さまざまな専門を持つ学生とともに、広い意味でのパフォーマンスの研究と制作、そして「癖」や「影響」などの関連トピックを軸とするセミナーや出版物の企画を行なっています。今学期は文理融合プログラムの「Archi-Choreographies：クセとしての振り付け」との関連では授業内容をまとめた書籍の構想・出版、ゲスト・アーティストとのコラボレーションによる学内外でのコンサート／演劇／パフォーマンスの企画・実施を計画しています。また教員が現在、国内外で関わっているさまざまなプロジェクトに参加することも可能です。ただし、ラボの名前通り、個々の目的を追求しながらも、その過程において生じてくる思いがけない副産物や副作用にも注目し、それらを活動に回収していくことも目指します。ラボの詳しい活動についてはホームページを見てください（http://selout.site）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31655	S	文理融合ゼミナール（研究入門）	舘 知宏	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科

講義題目
つながるかたち

授業の目標概要
文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。
「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31661	S	文理融合ゼミナール（研究入門）	工藤 和俊	教養教育高度化機構	集中	2 年 文科 理科

講義題目
アートする身体

授業の目標概要
スポーツ、ダンス、音楽などのパフォーマンス時における動作、筋活動、心拍、呼吸等の生体情報計測や映像解析を用いてアート・パフォーマンス熟達者の身体技法やパフォーマンスの熟達プロセスを明かにするとともに、国内外での研究発表を目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31665	S	文理融合ゼミナール（研究入門）	筧 康明	情報学環	集中	2 年 文科 理科
講義題目		マテリアルインタラクション				
授業の目標概要		文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「マテリアルインタラクション」では、物理的な素材の特性や現象に着目しながら、コンピュータを介した新しいインタラクションを創出することを目指します。身の回りの素材を含むものの特性に注目し、ディスプレイやセンシングなどインタフェースへの活用方法を考えます。さらに、アプリケーションシナリオの提示や作品表現などアウトプットやプレゼンテーション方法にもこだわりを持って進めます。 研究テーマに応じて、研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、Arduino などを用いた電子工作なども行います。				

英語中級(クラス指定ターム型)　火 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30397	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理 一 (5-6) 理 二 三 (1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という 3 つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30398	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理 一 (5-6) 理 二 三 (1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		英語で読む芸術理論 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30399	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三浦 あゆみ	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理 一 (5-6) 理 二 三 (1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		Present yourself in English 英語でのプレゼンテーションの基礎から始め、授業での実践を通して、自分の意見を具体例や理由とともに英語で端的に、かつ自信を持って述べられるようになることを目指します。題材は主に海外の最新の英文ニュース記事を取り上げますが、教員が用意する教材の学習に加えて、学生が自らの関心に従って題材を探し、事前に作成した資料等とともに授業内でクラスメイトに発表することも求められます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30400	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	佐原 彩子	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理 一 (5-6) 理 二 三 (1-3,5,12)
講義題目 授業の目標概要		Reading English Articles: Pet Industry and City Landscape The goal is to read an English articles (from The Atlantic) to understand current issues in the U.S. in English. They are on pet industry and city landscape. Students need to read it in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30401	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキダン	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30402	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
ブラック・ライヴズ・マター運動から眺める現代アメリカ

授業の目標概要
戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について関連する文献を読み、学ぶ。
今学期はブラック・ライヴズ・マター運動の展開に焦点をあてる。文献の購読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30403	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(9)文三(8) 理一(5-6)理二三(1-3,5,12)

講義題目
英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要
外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40078	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目
英語で日本近現代史を読む

授業の目標概要
外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40079	S 2	英語中級（クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目　ブラック・ライヴズ・マター運動から眺める現代アメリカ

授業の目標概要　戦間期を起点とし、公教育の場における人種隔離を禁じた 1954 年のブラウン判決以降、全米各地で劇的に展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について関連する文献を読み、学ぶ。
今学期はブラック・ライヴズ・マター運動の展開に焦点をあてる。文献の購読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と 20 世紀の米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40080	S 2	英語中級（クラス指定ターム型)	リチンスキダン	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要　This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40081	S 2	英語中級（クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)

講義題目　Consuming and Creating Media

授業の目標概要　テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という 3 つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40082	S 2	英語中級（クラス指定ターム型)	佐原 彩子	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		Reading English Articles: Pet Industry The goal is to read an English article (from The Atlantic) to understand current issues in the U.S. in English. It is on pet industry. Students need to read it in six weeks. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40083	S 2	英語中級（クラス指定ターム型)	加治屋 健司	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		英語で読む芸術理論 授業はオンラインで行います。オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40084	S 2	英語中級（クラス指定ターム型)	三浦 あゆみ	英語	火 3	1年 文一二(13,24)文三(17) 理一(9,19)理二三(7)
講義題目 授業の目標概要		Present yourself in English 英語でのプレゼンテーションの基礎から始め、授業での実践を通して、自分の意見を具体例や理由とともに英語で端的に、かつ自信を持って述べられるようになることを目指します。題材は主に海外の最新の英文ニュース記事を取り上げますが、教員が用意する教材の学習に加えて、学生が自らの関心に従って題材を探し、事前に作成した資料等とともに授業内でクラスメイトに発表することも求められます。				

英語中級(クラス指定ターム型)　火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30459	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	藤尾 美佐	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要	危機の時代の世界情勢と日本の立ち位置を議論する英語 本教員は 2022 年度、在外研究のため 1 年間イタリアで暮らし、非母語話者からみた英語はもちろんのこと、英語圏とはまた異なる欧州の見解も興味深く学んだ。特に教員自身が受けた Global Studies というサマーコースでは、地政学も含むさまざまな視点からグローバルな問題を議論した。本コースにおいても、そうした体験を活かし、グローバルな問題を考え、議論していける英語力を培うことを目標とする。 授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 授業形態に関しては、英語科目全体の指示に従い、初回のみオンラインであとは対面の予定。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30460	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要	「多人種都市」ロスアンジェルスの歴史 スペイン領地として誕生し 1848 年にアメリカの都市となったロスアンジェルスは、20 世紀初頭までは中西部出身のアングロサクソン系の農民が人口の大多数を占める「アングロの街」としての特徴を強くもっていた。20 世紀に入り、中南米、アジア、東欧・南欧など様々な地域からの移民と、人種隔離制度下にあった南部から機会を求めて移住した黒人の「越境者」が急増する中で、世界で最も「多人種化」が進んだ都市の一つへと変容した。ロスアンジェルスの経済、政治、文化の変化とこの「多人種化」がいかに重なり合い、現代のロスアンジェルスを形成するに至ったかを探る。 英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、戯曲を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30461	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要	英語で読む芸術理論 授業はオンラインで行います。オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30462	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	朝岡 浩美	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションを行う 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。英語のニュースを視聴し、内容を理解し、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。また、ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。さらに英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高めます。 本授業の目的は、以下の通りです。 （1）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （2）動画を引用しながら、自分の意見を英語で話すスキルを高める。 （3）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30463	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要		Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という３つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30464	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	野口 大斗	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要		アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程の中で、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30465	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30466	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(4)文三(18) 理 一 (22,32,38) 理 二 三 (15)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40086	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	土屋 和代	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要	「多人種都市」ロスアンジェルスの歴史 スペイン領地として誕生し 1848 年にアメリカの都市となったロスアンジェルスは、20 世紀初頭までは中西部出身のアングロサクソン系の農民が人口の大多数を占める「アングロの街」としての特徴を強くもっていた。20 世紀に入り、中南米、アジア、東欧・南欧など様々な地域からの移民と、人種隔離制度下にあった南部から機会を求めて移住した黒人の「越境者」が急増する中で、世界で最も「多人種化」が進んだ都市の一つへと変容した。ロスアンジェルスの経済、政治、文化の変化とこの「多人種化」がいかに重なり合い、現代のロスアンジェルスを形成するに至ったかを探る。 英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、戯曲を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40087	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	野口 大斗	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要	アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程の中で、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40088	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	藤尾 美佐	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要	危機の時代の世界情勢と日本の立ち位置を議論する英語 本教員は 2022 年度、在外研究のため 1 年間イタリアで暮らし、非母語話者からみた英語はもちろんのこと、英語圏とはまた異なる欧州の見解も興味深く学んだ。特に教員自身が受けた Global Studies というサマーコースでは、地政学も含むさまざまな視点からグローバルな問題を議論した。本コースにおいても、そうした体験を活かし、グローバルな問題を考え、議論していける英語力を培うことを目標とする。 授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 授業形態に関しては、英語科目全体の指示に従い、初回のみオンラインであとは対面の予定。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40089	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40090	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	太田 奈名子	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要		Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という３つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40091	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	朝岡 浩美	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要		英語の動画を視聴し、英語でディスカッションを行う 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。英語のニュースを視聴し、内容を理解し、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。また、ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。さらに英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高めます。 本授業の目的は、以下の通りです。 （1）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （2）動画を引用しながら、自分の意見を英語で話すスキルを高める。 （3）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40092	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要		英語で読む芸術理論 授業はオンラインで行います。オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40093	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(6,18)文三(12) 理 一 (30,34) 理 二 三 (18,22)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				

英語中級(クラス指定ターム型)　水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30621	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Art in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30622	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	清水 晶子	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		ジェンダー、セクシュアリティ関連の記事を読む The New Yorker, The Atlantic, New York Times など、英語圏の一般紙や文化・政治系の雑誌に掲載された記事を読み、ジェンダーやセクシュアリティをめぐって英語圏でどのような議論がなされているのか、どのような知識や態度が前提として期待されているのかを、学びます。 同時に、報道的に近いものからより随筆調のものまで、英語圏で広く読まれているこのような媒体で目にする多様な文体を読みこなす力をつけます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30623	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		諸国民の工芸―Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』を一緒に読みましょう。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30624	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のある英語の短編動画を視聴して内容を理解し、関連したテーマについて小グループでディスカッションします。英語の Discussion では、自分の意見を英語で言う、英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、そして英語 Discussion の基本的ルールを実践することを目標とします。できるだけ多くスピーキングの時間を取り、回数を繰り返すなかで、明快で説得力がある英語表現をすることを目指します。併せて以下を学習目標とします： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画を視聴して、英語の聞き取りの理解力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す方法を理解する TedEd, VOX, Freethink などから、身近なテーマを扱った短い（5 分）動画を教材として活用する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30625	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30626	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする 作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30627	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	野口 大斗	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程の中で、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30628	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三浦 あゆみ	英語	水 2	1年 文一二(14)文三(4,13) 理一(14-15)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Present yourself in English 英語でのプレゼンテーションの基礎から始め、授業での実践を通して、自分の意見を具体例や理由とともに英語で端的に、かつ自信を持って述べられるようになることを目指します。題材は主に海外の最新の英文ニュース記事を取り上げますが、教員が用意する教材の学習に加えて、学生が自らの関心に従って題材を探し、事前に作成した資料等とともに授業内でクラスメイトに発表することも求められます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40126	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	清水 晶子	英語	水 2	1年 文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目 授業の目標概要		ジェンダー、セクシュアリティ関連の記事を読む The New Yorker, The Atlantic, New York Times など、英語圏の一般紙や文化・政治系の雑誌に掲載された記事を読み、ジェンダーやセクシュアリティをめぐって英語圏でどのような議論がなされているのか、どのような知識や態度が前提として期待されているのかを、学びます。 同時に、報道的に近いものからより随筆調のものまで、英語圏で広く読まれているこのような媒体で目にする多様な文体を読みこなす力をつけます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40127	Ｓ２	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 ２	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする					
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40128	Ｓ２	英語中級（クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	水 ２	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	History Today を読む					
授業の目標概要	イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40129	Ｓ２	英語中級（クラス指定ターム型）	三浦 あゆみ	英語	水 ２	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	Present yourself in English					
授業の目標概要	英語でのプレゼンテーションの基礎から始め、授業での実践を通して、自分の意見を具体例や理由とともに英語で端的に、かつ自信を持って述べられるようになることを目指します。題材は主に海外の最新の英文ニュース記事を取り上げますが、教員が用意する教材の学習に加えて、学生が自らの関心に従って題材を探し、事前に作成した資料等とともに授業内でクラスメイトに発表することも求められます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40130	Ｓ２	英語中級（クラス指定ターム型）	野口 大斗	英語	水 ２	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程の中で、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40131	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)

講義題目　諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む

授業の目標概要　リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』を一緒に読みましょう。
百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40132	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)

講義題目　英語動画を素材に英語で Discussion

授業の目標概要　身近で時事性のある英語の短編動画を視聴して内容を理解し、関連したテーマについて小グループでディスカッションします。英語の Discussion では、自分の意見を英語で言う、英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、そして英語 Discussion の基本的ルールを実践することを目標とします。できるだけ多くスピーキングの時間を取り、回数を繰り返すなかで、明快で説得力がある英語表現をすることを目指します。併せて以下を学習目標とします：
・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する
・英語動画を視聴して、英語の聞き取りの理解力を伸ばす
・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す方法を理解する
TedEd, VOX, Freethink などから、身近なテーマを扱った短い（5 分）動画を教材として活用する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40133	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1年　文一二(5,15,19)文三(6) 理一(7,28)理二三(6)

講義題目　Art in English

授業の目標概要　教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。

英語中級(クラス指定ターム型)　水 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30690	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目 授業の目標概要		19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする 作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30691	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目 授業の目標概要		History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30692	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目 授業の目標概要		諸国民の工芸―Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』を一緒に読みましょう。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30693	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目 授業の目標概要		英語で読む芸術理論 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30694	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目	Art in English					
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史やアートについて英語でディスカッションを行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30695	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion					
授業の目標概要	身近で時事性のある英語の短編動画を視聴して内容を理解し、関連したテーマについて小グループでディスカッションします。英語の Discussion では、自分の意見を英語で言う、英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、そして英語 Discussion の基本的ルールを実践することを目標とします。できるだけ多くスピーキングの時間を取り、回数を繰り返すなかで、明快で説得力がある英語表現をすることを目指します。併せて以下を学習目標とします： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画を視聴して、英語の聞き取りの理解力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す方法を理解する TedEd, VOX, Freethink などから、身近なテーマを扱った短い（5 分）動画を教材として活用する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30696	S 1	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1年 文一二(12)文三(20) 理 一 (10,26) 理 二 三 (16,24)
講義題目	英語で読み解く現代社会					
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40136	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	西川 杉子	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	History Today を読む					
授業の目標概要	イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40137	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion					
授業の目標概要	身近で時事性のある英語の短編動画を視聴して内容を理解し、関連したテーマについて小グループでディスカッションします。英語の Discussion では、自分の意見を英語で言う、英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、そして英語 Discussion の基本的ルールを実践することを目標とします。できるだけ多くスピーキングの時間を取り、回数を繰り返すなかで、明快で説得力がある英語表現をすることを目指します。併せて以下を学習目標とします： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画を視聴して、英語の聞き取りの理解力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す方法を理解する TedEd, VOX, Freethink などから、身近なテーマを扱った短い（5 分）動画を教材として活用する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40138	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	三吉 美加	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする					
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40139	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	加治屋 健司	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	英語で読む芸術理論					
授業の目標概要	授業はオンラインで行います。オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。本文 184 ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40140	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	Art in English					
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40141	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	英語で読み解く現代社会					
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40142	S 2	英語中級（クラス指定ターム型）	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(16)文三(10) 理 一 (13,25,37) 理 二 三 (19)
講義題目	諸国民の工芸—Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む					
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』を一緒に読みましょう。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです—教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					

英語中級（クラス指定セメスター型）　月 2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30031	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	Christopher D. Hammond	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		Sociology of Education and Technology The proliferation of technologies being sold both for educational purposes and to education institutions is often heralded as a means to empower learners, expand access to knowledge, and address inequality. However with this expansion comes the increasing entanglement of public education with private interests, issues of privacy and surveillance, the pedagogical challenges of educating for critical media literacy, and the reproduction of inequalities by the 'digital divide'. In this course we will take a sociological perspective to explore these and other issues in the rapidly evolving world of EdTech. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore both instructor-and student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30032	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	田中 伸一	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		未来学入門 ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された 4 つのエッセイを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲）の 4 つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。やや古い著書であるがゆえに，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こしたり，現代的視点から批判的検討を加えたりする意味があるだろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30033	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	加藤 恒昭	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		科学エッセイを読む The Best American Science and Nature Writing 2022 に収録されている科学エッセイ（非専門家向けのエッセイ，生物，環境関連が多い）を読んでいくことを通じて，論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める．週 2,000 語（4-5 頁）程度ずつ読み進んでいき，1 ~3 週でひとつのエッセイを読み終わる．議論の流れを掴みつつ，大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける．該当箇所に関する資料はプリントもしくはオンラインにて配布する（書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照）． 語彙力を補強するために，「東大英単」（参考文献参照）より自然科学で用いられることが多い語を選び，課題実習を実施する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30034	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)

講義題目
English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M2

授業の目標概要
The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner.

We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries.

In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc.
Topics covered will include:
- TV Commercial Strategies
- Print Advertisements Design Analysis
- PSAs, CSR and cause marketing
- Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30036	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)

講義題目
古典古代の美のいしずえ―Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む

授業の目標概要
リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―現代英語の小説だろうと、百年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、壁の落書きだろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30037	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 2	1 年 文一二(1-3,20)文三(1-3,5,7,9,11)理一(4,35-36)

講義題目
TED Talks - Discussions and Presentations

授業の目標概要
The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30038	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		元祖ミュージカル（サヴォイ・オペラ）の台本を読む 『オペラ座の怪人』の約 100 年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により 100 年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。 このレパートリーの中から、19 世紀末欧米の日本ブームに便乗して大ヒットし、日本・日本人のステレオタイプ形成に貢献（？）した『ミカド』を複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。英米では知名度抜群で現在でも上演の機会が多いこの作品について、成立の時代背景（ジャポニスム）や、日本を含めた上演にまつわるエピソードも概観する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30039	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		政治哲学から公共政策にアプローチする 本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach (Oxford University Press, 2021）に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ（移民の受け入れや国際援助の是非など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31801	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ROLAND Douglas	英語	月 2	1年 文一二(1-3,20) 文三(1-3,5,7,9,11) 理一(4,35-36)
講義題目 授業の目標概要		Exploring Cognitive Science in English Students will be able to improve their reading, listening, speaking, and presentation ability while learning about how the mind works. We will read various newspaper and magazine articles, and watch videos covering topics related to the field of cognitive science. We will discuss the readings and videos in class. In addition, students will give group and individual presentations related to the topics discussed in class.				

英語中級（クラス指定セメスター型）　月 3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30126	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目
アメリカのドラマと映画で学ぶ英語
―〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉に注目して―

授業の目標概要
この講義の長期的な目標は，英語の実例が「単語」や「ある 1 つの音節における音程の上昇」などのミクロな要素の連鎖ではなく，〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉というもっと大きなかたまりの連鎖であると感じられるようになることです。
ただしこのような感覚の習得には長い年月をかけた訓練が欠かせません。まずはこの約 3 ヶ月のセメスターの短期的な目標として，英語の実例から〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉の知識を吸収するための発想法および調査方法を身につけることを目指しましょう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30127	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目
ミュージカル（Allegiance）の台本を読む

授業の目標概要
真珠湾攻撃後に強制収容所に入れられた日系米人の生活を描くミュージカル Allegiance の上演映像（英語版と日本語版）を見ながら台本（歌詞）を読み、関連資料（井上ひさし『マンザナ、わが町』についての雑誌特集号など）も参照する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30128	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目
政治哲学から公共政策にアプローチする

授業の目標概要
本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach (Oxford University Press, 2021）に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ（安楽死と個人の自由との関係など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30129	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)

講義題目
English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M3

授業の目標概要
The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner.

We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries.

In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc.
Topics covered will include:
- TV Commercial Strategies
- Print Advertisements Design Analysis
- PSAs, CSR and cause marketing
- Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30130	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	TED Talks - Discussions and Presentations					
授業の目標概要	The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30132	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	Christopher D. Hammond	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	Sociology of Education and Technology					
授業の目標概要	The proliferation of technologies being sold both for educational purposes and to education institutions is often heralded as a means to empower learners, expand access to knowledge, and address inequality. However with this expansion comes the increasing entanglement of public education with private interests, issues of privacy and surveillance, the pedagogical challenges of educating for critical media literacy, and the reproduction of inequalities by the 'digital divide'. In this course we will take a sociological perspective to explore these and other issues in the rapidly evolving world of EdTech. We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore both instructor-and student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31802	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(11,16-17,23,27,31)
講義題目	古典古代の美のいしずえ―Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む					
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。 このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―現代英語の小説だろうと、百年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、壁の落書きだろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					

英語中級（クラス指定セメスター型）　月 4

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30176	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	愛甲 雄一	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)

講義題目　政治哲学から公共政策にアプローチする

授業の目標概要　本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ（ヘイトスピーチと表現の自由との関係など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30177	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	高橋 和子	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)

講義題目　TOEFL と名作から学ぶ英語リーディング
English Reading through TOEFL and Masterpieces

授業の目標概要　本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を通して英語読解力を養う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。
これらの学習を通して、様々なジャンルの英文を読むことに慣れ親しむことを目標にする。
This class aims to get used to reading English texts of various genres.
Students develop their English skills through TOEFL reading in the first half of the class.
In the second half, we will read famous scenes from masterpieces.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30178	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平沢 慎也	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)

講義題目　アメリカのドラマと映画で学ぶ英語
―〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉に注目して―

授業の目標概要　この講義の長期的な目標は，英語の実例が「単語」や「ある 1 つの音節における音程の上昇」などのミクロな要素の連鎖ではなく，〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉というもっと大きなかたまりの連鎖であると感じられるようになることです。
ただしこのような感覚の習得には長い年月をかけた訓練が欠かせません。まずはこの約 3 ヶ月のセメスターの短期的な目標として，英語の実例から〈よくある言い回し〉と〈よくあるメロディ〉の知識を吸収するための発想法および調査方法を身につけることを目指しましょう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30179	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	メズールールジェルマン	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)

講義題目
English Through Advertising, and Advertising's Role in Society M4

授業の目標概要
The goal of this course is to assist students in understanding the relationships between advertising and the modern consumer-oriented society. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner.

We will study advertising campaigns from TV, the Internet and print media, discover the sales messages contained in these campaigns and how they reach their consumer targets. We will also research the way similar products are marketed differently for different cultures or countries.

In addition, we will evaluate the way different societies use PSAs (Public Service Announcements / 公共広告) to raise awareness of important issues such as Domestic Violence (DV), HIV/AIDS, substance abuse, etc.
Topics covered will include:
- TV Commercial Strategies
- Print Advertisements Design Analysis
- PSAs, CSR and cause marketing
- Advertising controversies (political advertising, advertising tobacco and alcohol, advertising to children, gender and racial stereotypes in advertising.)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30180	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	WONG Michelle	英語	月 4	1年 文一二(10)理一(8,12)理二三(8)

講義題目
TED Talks - Discussions and Presentations

授業の目標概要
The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.

英語中級（クラス指定セメスター型）　火 1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30273	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	松本 和子	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30274	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	佐々木 悠介	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Walter Benn Michaels の社会批評を読む この授業で目指すのは、現代の英語圏の一般読者向けに書かれた本（すなわち、細切れの英文ではなく、まとまった分量のある文章）を自力でどんどん読み進め、論旨を正確につかんだ上で、それに対する自分の意見を明確にもてるようになることである。これはそれぞれの学生が各学科に進学した先で、それぞれの専門分野の論文や学術書を自分の責任において正確に読む必要が生じることを念頭に置いた目標設定である。 こんにちでは diversity は重要なイデオロギーとして広く認識されているように思われるが、Walter Benn Michaels の ‘The Trouble with Diversity: How We Learned to Love Identity and Ignore Inequality’ は、 diversity 言説を隠れ蓑にして存続する不平等な社会構造にメスを入れようとする。 本書がアメリカで刊行されたのは 2006 年だが、日本で「ダイバーシティ」という語が一般に定着してきたのはここ数年であること、ドイツでも一昨年に翻訳が刊行されたことを考えても、本書の議論が持つ今日的な意義は失われていないと言うことができる。 今学期の授業では序章から第 3 章までを読む予定だが、そこまでちゃんと読みこなせれば、残りの章は自力で読めるようになるだろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30275	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		知覚や認識についての英文を読む 知覚や認識に関わる現象を扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30276	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15)理二三(11,23)
講義題目 授業の目標概要		Colonial Encounters This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the British writer Andrea Levy. Her work focuses on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses through discussions in class. Reading for this class will be available online or distributed in class.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30277	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	アルヴィ なほ子	英語	火 1	1年 文一二(23)文三(15) 理二三(11,23)
講義題目	New York Times から"Cultural Awareness"を考える					
授業の目標概要	目標）テクストの読解を通して、英語の表現を学ぶとととともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要）New York Times の記事を出発点として、"cultural awareness"について考察します。授業を通じて"cultural awareness"とはどのようなことかを考える。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。そのような記事と関連する資料を読みます。テクストを読むということは、読者とテクストの対話です。テクストを読みながら、文脈を考え、調べ、テクストの外の世界とも対話しながら、書かれたテクストを自分の知的な糧として、自分と異なる他者への理解を深め、自分自身の文化的なアイデンティティへの理解を深め、自身のテクストを紡ぎ出す力を鍛えてください。					

英語中級（クラス指定セメスター型）　火5

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30527	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	野口 大斗	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程の中で、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30528	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	牛村 圭	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30529	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	リチンスキダン	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30530	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	髙橋 和子	英語	火 5	1年 理一(24,33)理二三(9)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 形式：第1週はオンライン（Zoom）で、それ以降は教室で行なう予定。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（1）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（2）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（3）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（4）英語リスニング力を向上させる。				

英語中級（クラス指定セメスター型）　水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30554	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	野口 大斗	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)

講義題目　アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要　この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程の中で、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30555	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	瀧野 みゆき	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals
授業の目標概要　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージし、1）グローバル社会の英語の役割、2）プロフェッショナルとして英語を使うための基本的な考え方とルール、そして3）英語を将来にわたって長期的に学び、使うための英語学習方法、の3点を学びます。
授業では、ケースやタスクを使い、実際に英語を使って英語の表現や話し方を練習し、実社会で英語を使うための基本的スキルを習得します。
英語のコミュニケーションに重要なリスニング力の強化を、授業外学習で自律的に行います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30556	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	アンダル ジャクリーン	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)

講義題目　Colonial Encounters
授業の目標概要　This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will focus on the British writer Andrea Levy. Her work focuses on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses through discussions in class. Reading for this class will be available online or distributed in class.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30557	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	Kartika Diana	英語	水 1	1年 理一(1-3,18,20-21)

講義題目　Special Topics for Social and Ethical Issues in the Sciences
授業の目標概要　This course will provide an opportunity for students to develop speaking skills (discussion and presentation), writing skills, listening skills, and reading skills. The class will develop the above-mentioned skills through a variety of pre-class assignments, in-class activities, and/or post-class reflections. Possible topics used in this class will be decided based on the interests of the class, and can revolve around the following:
- Social issues in space exploration
- Social issues in energy production
- Social issues in the management of earth resources
- The ethics, culture, and politics of progress in the Sciences
- New technology and ethics
- Sustainability and green chemistry

Students will read and watch/listen to a range of documents, reports, as well as reliable news and media sources.
By the end of this course, students should expect to develop their confidence and aptitude in communication and using sources in English for their studies.

英語中級（クラス指定セメスター型）　水 1

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30558	S	英語中級（クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	水 1	1 年 理一(1-3,18,20-21)

講義題目	はじめてのニュース英語
授業の目標概要	ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。

英語中級（クラス指定セメスター型）　木2

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30840	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	中澤 恒子	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		The Terminal Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。詳細な英語の追求より、物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30841	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習―発音力から聴解力へ― この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30842	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	矢島 宏紀	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		英文リーディング演習―植民地期・建国期のアメリカ史を題材に 【概要】 英文を丹念に読む作業を通して分野を問わず学術の世界で通用する英語読解力（とそれに基づく作文力）の強化を目指します。本授業で扱う英文はアメリカの歴史、思想、社会等に関するものです。論説記事、研究書の一部（通史の序章など）、論文等を読みます。扱う資料は受講者の人数および関心に応じて設定されます。 【目標】 アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と解釈を知りアメリカについての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30843	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	小田 悠生	英語	木 2	1年 文一二(7,11)文三(14)
講義題目 授業の目標概要		グローバリゼーションの基本概念と諸相 この授業のテーマは、グローバリゼーションです。この言葉は 20 世紀初頭に最初に現れ、1990 年代以降に急速に広まったものです。グローバリゼーションとは、どのような現象を指すのでしょうか。それはいつ始まったと考えられるのでしょうか。それは単線的な変化なのでしょうか。その光と影は、私たちの生きる 21 世紀にどのような課題を投げかけるのでしょうか。こうした諸問題を、初学者向けのテキストを用いて考えていきましょう。 指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解する力を養い、自分の見解を論理的に口頭・文章で表現することができるようになることが目標です。				

英語中級（クラス指定セメスター型）　木3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30912	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	久世 恭子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		"Notes on Brotherhood": 現代アメリカの中編小説を読む 本授業は、現代アメリカの中編小説を読み、毎回読解前と後に関連したタスクを行うことによって、読解力を中心に総合的な英語力を養うことを目的とします。また、このような文学作品をじっくり読むことで、受講生の皆さんが言葉の使いかたや様々な解釈の可能性に触れ、自分の意見を形成する訓練の機会が得られるように計画しています。主人公である少年の眼を通して語られる 2000 年前後のアメリカ社会の様子や文化にも興味を持って学習していただきたいと考えています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30913	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	中澤 恒子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		The Terminal Steven Spielberg 監督、Tom Hanks 主演の 2004 年アメリカ映画 The Terminal を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。詳細な英語の追求より、物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30914	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	平賀 優子	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習―発音力から聴解力へ― この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30915	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目 授業の目標概要		現代アメリカ合衆国の短編小説を読む この授業では 1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）、カレン・ラッセル（Karen Russell）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「大聖堂」、「鳩を育てた少女」、「証明」、「アメリカ人」）。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって大きく異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な現代文学の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進めるため、受講生の主体的な参加を求める授業となります。あくまでも語学の授業なので、しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば今まであまり小説を読んでこなかった人も含め、あらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 7〜10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟してください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材はすべて PDF ファイルと印刷物で提供します。履修予定の方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習は必要ありません。 ※学部の方針に従い、初回のみ Zoom でのオンライン授業、2 回目以降は対面授業となります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30916	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	木 3	1年 文一二(21)文三(19) 理二三(4,17,20)
講義題目	知覚や認識についての英文を読む					
授業の目標概要	知覚や認識に関わる現象を扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。					

英語中級（クラス指定セメスター型）　金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31021	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	佐藤 洋一	英語	金 1	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)

講義題目　Making bridge from comprehension to practice

授業の目標概要　In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication.

You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.
In this course, students are expected to learn
1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening,
2. Business English skills for effective spoken and written communication,
3. Strategic competence necessary for global business.
By the end of this course, you will be able to:
-Comprehend basic vocabulary and expressions for business English
-Speak and write basic-level short sentences about business topics
-Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management
-Present your basic ideas about global business communication in English

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31022	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 1	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)

講義題目　Exploring Controversial Topics

授業の目標概要　The main objective is to get some practice using the English language by reading, writing, and talking about important or interesting issues individually and in groups. In regard to content, the course is built around a textbook which touches on a variety of social and cultural issues for university students to think about; its chapters include a short essay, a “comprehension check” exercise, a short dialog, and space for attaching or drawing a related illustration. For all but the first two class meetings (respectively, an online introduction to the course and coverage of one of the chapters to get a feel for how the classes will work), students will be assigned a chapter in the textbook to go through before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) something written individually about the chapter topic, and (2) an oral presentation based on work done in small groups.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31023	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 1	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)

講義題目　Gender and youth in Japan
ジェンダーから見る日本の若者

授業の目標概要　The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it at the end of course.
このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31024	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	川﨑 修一	英語	金 1	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の 2 大英文法書を中心に					
授業の目標概要	本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。 なお、使用する教材は、世界最高峰の 2 大英文法書： Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language. Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language. を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31025	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	坪井 栄治郎	英語	金 1	1年 文一二(25,27) 理二三(13-14)
講義題目	知覚や認識についての英文を読む					
授業の目標概要	知覚や認識に関わる現象を扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。					

英語中級（クラス指定セメスター型）　金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31118	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)

講義題目　Gender and youth in Japan
ジェンダーから見る日本の若者

授業の目標概要　The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it at the end of course.
このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31119	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	古田 直肇	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)

講義題目　「悪の陳腐さ」を通して人間性を探り、「自由」を思索する
授業の目標概要　本講義では、政治哲学者ハンナ・アーレントの提唱した概念である「悪の陳腐さ（the banality of evil)」と経済学者フリードリッヒ・フォン・ハイエクの提唱した「自由主義（liberalism)」について受講生とともに思索を深めていきたい。その作業を通して、複雑な思考を英語で理解し、英語で表現する力を涵養していく。
アーレントは、その著書『エルサレムのアイヒマン』において、悪を成すのは、特別な人間ではなく、むしろ普通の人間であると指摘している。もし、アーレントの言うように、凡人こそが邪悪な行為をするのだとすれば、我々は一様に悪に陥る可能性を秘めていることとなる。では、一体、どのようにすれば、我々は、「陳腐な悪」に陥らずに済むのだろうか。学期中、前半は、様々な角度からこの問いに対して向き合っていくが、特に人間の自由意志について考えを巡らせることが多くなるだろう。
学期の後半は、ハイエクの著作・論文を精読していく。ハイエクの思想のエッセンスを理解することを通して、社会における個人の自由について思索を深めていきたい。ハイエクが人間の自由についてどう考えていたか、この理解を踏み台として受講生には自分の自由論を形作ってもらう。これが学期後半の到達目標である。
受講生は、TED Talk などのインターネットの動画視聴あるいは英文のリーディングを課題として課されるので、事前に配布される Study Questions に答えておくことが求められる。
本講義の到達目標は、以下の通りである。
・「悪の陳腐さ」「自由主義」について、その概念と由来・歴史的背景を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。
・「悪の陳腐さ」「自由主義」に関する自分の見解を、わかりやすい英語で説明できる。
・「実践知」「自由意志」「決定論」「実存主義」「個人主義」といった概念を正確に理解し、その概要を英語で説明できる。また、それについての自分の見解を英語で述べることができる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31120	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1年 文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)

講義題目　Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English
授業の目標概要　This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English.
Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated.
In addition to classroom exercises and homework assignments,
students are encouraged to listen to English on their own as well.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31121	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	秦 邦生	英語	金 3	1年　文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	英語文学作品の精読ならびに映像版との比較 まず英語で短編や中編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テクストと映像テクストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③技法や演出に注目した映像テクスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テクストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解、⑥ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力、という５つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31122	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 3	1年　文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Let's Read and Discuss The aim of this course is to help students improve their reading skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote as much social interactions as possible online, including pair/group work and discussion. We will read (extracts from) a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in magazines such as The New Yorker and Granta. It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31123	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 3	1年　文一二(17,22)文三(16)理一(29,39)
講義題目 授業の目標概要	Exploring the Human Condition through Dialogs The objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and preparing and delivering oral presentations. In regard to content, the course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s).				

英語中級（クラス指定セメスター型）　金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31160	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	秦 邦生	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28) 理二三(21)

講義題目
英語文学作品の精読ならびに映像版との比較

授業の目標概要
まず英語で短編や中編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テクストと映像テクストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③技法や演出に注目した映像テクスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テクストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解、⑥ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力、という５つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31161	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	ポター サイモン	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28) 理二三(21)

講義題目
Ethics in the Context of Major Religious Traditions

授業の目標概要
The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. In regard to content, from the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time. In conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given, and in the the event that any class needs to be done online, the questions and/or essay prompt will be given at LMS near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31162	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28) 理二三(21)

講義題目
Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English

授業の目標概要
This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English.
Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated.
In addition to classroom exercises and homework assignments,
students are encouraged to listen to English on their own as well.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31163	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	小野 五弥子	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28) 理二三(21)

講義題目
Gender and youth in Japan
ジェンダーから見る日本の若者

授業の目標概要
The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment. Students will also collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it at the end of course.
このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等です。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31164	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	鈴木 哲平	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28) 理二三(21)

講義題目　「翻訳」とその他英語スキルに関する 2,3 の事柄

授業の目標概要
英文和訳とは異なる「翻訳」実践をとおして英語スキルを磨くためのクラスです。
また「翻訳」を題材に、教養前期課程で学んでおきたい英語スキルも合わせて扱います。
具体的な作業・スキルは以下です。
1, 英語による文学テクスト（短編小説や戯曲、シナリオや歌詞なども含む）を正確かつ丁寧に読むことができる（英文精読）。
2, 文学テクストを適切に表現できるような日本語を作り上げることを目指して作業できる（翻訳）。
3, まとまった（1000 words 程度）の英文を読み、簡潔な日本語で要約することができる。
4, TOEFL などで必要とされる、300 words 程度の英文を正確に速く書くことができる。
5, リスニング・スピーキング技術を向上させるトレーニングの方法がわかる。
なお 90 分授業の枠組みで行うが、授業開始前 15 分間は学生有志を対象に、質問の受け付けや、英語の発音トレーニングなどを行う予定。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31165	S	英語中級（クラス指定セメスター型）	志子田 祥子	英語	金 4	1年 文一二(8,26,28) 理二三(21)

講義題目　Let's Read and Discuss

授業の目標概要
The aim of this course is to help students improve their reading skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote as much social interactions as possible online, including pair/group work and discussion.

We will read (extracts from) a selection of short stories written by contemporary authors, including but not limited to the ones published in magazines such as The New Yorker and Granta.

It is hoped that the course will help students not only to develop their reading fluency, but also to learn to enjoy authentic texts, as well as opening up new horizons.

英語中級・上級（全クラス型）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30011	S	英語中級	橋川 健竜	英語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歴史研究者はどのような英語を書くか：一般読者向け、研究者向けのアメリカ史論文から探る 学術的な英文とはどのようなものか。誰に向けて書くかによって文体や段落はどう変わるか。人文系の学術英文に日本で学ぶ皆さんがどう体をなじませ、解きほぐすか、アメリカ史に関する入門的な実例をもとに検討する。やや硬い文体やボキャブラリがなぜどの箇所で選ばれるか、それをどう書きかえればわかりやすくなるか、頭の中で変換するトレーニングを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30012	S	英語中級	田中 伸一	英語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		未来学入門 ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された４つのエッセイを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲）の４つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。やや古い著書であるがゆえに，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こしたり，現代的視点から批判的検討を加えたりする意味があるだろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30230	S	英語中級	ペティート ジョシュア	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Technological Hauntings This class will consider the relationship of haunting and the occult to forms of modern media and technology, including the phonograph, the photograph, the telegraph, television, and film. Over the course of the semester, students will learn how modern media have, through processes of disembodiment and decorporealization, enabled the formation of discourses that yoke technology to conceptions of the spectral and ghostly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30231	S	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30232	S	英語中級	加藤 恒昭	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	科学エッセイを読む					
授業の目標概要	The Best American Science and Nature Writing 2022 に収録されている科学エッセイ（非専門家向けのエッセイ，生物，環境関連が多い）を読んでいくことを通じて，論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める．週 2,000 語（4-5 頁）程度ずつ読み進んでいき，1 ~3 週でひとつのエッセイを読み終わる．議論の流れを掴みつつ，大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける．該当箇所に関する資料はプリントもしくはオンラインにて配布する（書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照）． 語彙力を補強するために，「東大英単」（参考文献参照）より自然科学で用いられることが多い語を選び，課題実習を実施する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30318	S	英語中級	土屋 和代	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アメリカにおける障がいの歴史					
授業の目標概要	障がいのある人びとの経験をアメリカ史の中心に位置づけた A Disability History of the United States を講読する。本書の講読を通じて、障がいのある人びとがいかにアメリカ社会のあり方を批判し、シティズンシップを形づくったのか、人種平等や女性解放、多様な性のあり方を求めて闘ったアクティヴィストとともに、自らの権利を求めて起ち上がったのかを検討する。本書は周縁化された人びとの視点からアメリカ史を再考する ReVisioning American History シリーズの一冊である。語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するインタビューやドキュメンタリーを視聴し、背景となる障がいの歴史と 20 世紀の米国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30319	S	英語中級	佐々木 悠介	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Walter Benn Michaels の社会批評を読む					
授業の目標概要	この授業で目指すのは、現代の英語圏の一般読者向けに書かれた本（すなわち、細切れの英文ではなく、まとまった分量のある文章）を自力でどんどん読み進め、論旨を正確につかんだ上で、それに対する自分の意見を明確にもてるようになることである。これはそれぞれの学生が各学科に進学した先で、それぞれの専門分野の論文や学術書を自分の責任において正確に読む必要が生じることを念頭に置いた目標設定である。 こんにちでは diversity は重要なイデオロギーとして広く認識されているように思われるが、Walter Benn Michaels の ‘The Trouble with Diversity: How We Learned to Love Identity and Ignore Inequality’ は、 diversity 言説を隠れ蓑にして存続する不平等な社会構造にメスを入れようとする。 本書がアメリカで刊行されたのは 2006 年だが、日本で「ダイバーシティ」という語が一般に定着してきたのはここ数年であること、ドイツでも一昨年に翻訳が刊行されたことを考えても、本書の議論が持つ今日的な意義は失われていないと言うことができる。 今学期の授業では序章から第 3 章までを読む予定だが、そこまでちゃんと読みこなせれば、残りの章は自力で読めるようになるだろう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30320	S	英語中級	橋川 健竜	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	歴史研究者はどのような英語を書くか：一般読者向け、研究者向けのアメリカ史論文から探る					
授業の目標概要	学術的な英文とはどのようなものか。誰に向けて書くかによって文体や段落はどう変わるか。人文系の学術英文に日本で学ぶ皆さんがどう体をなじませ、解きほぐすか、アメリカ史に関する入門的な実例をもとに検討する。やや硬い文体やボキャブラリがなぜどの箇所で選ばれるか、それをどう書きかえればわかりやすくなるか、頭の中で変換するトレーニングを行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30765	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Introduction to 20th Century American Gothic Fiction					
授業の目標概要	This course is an overview introduction to American Gothic fiction from the 20th century. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30776	S	英語中級	遠藤 智子	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Introduction to Pragmatics					
授業の目標概要	Billy Clark (2022), Pragmatics: The Basics を教科書に用い、語用論の基礎を学ぶ。語用論とは言語学の一分野で、指示対象の同定や、発話の含意、発話によって行われる行為等、言葉の使用に関わる諸現象を扱う学問領域である。教科書は英文で書かれた入門書であり、履修にあたって語用論に関する予備知識は必要としない。 履修者は教科書の割り当てられた箇所を説明し、各章の末尾にある練習問題を課題として提出する。説明の担当箇所以外も全て読む。説明にあたってはスライドまたは配布資料を用意し、正確に理解したうえでわかりやすく説明することが求められる。課題の執筆言語は英語だが、取り上げる言語現象・事例は英語以外の言語でよい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31050	S	英語中級	秦 邦生	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	英語文学作品の精読ならびに映像版との比較					
授業の目標概要	まず英語で短編や中編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テクストと映像テクストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③技法や演出に注目した映像テクスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テクストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解、⑥ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力、という5つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31051	S	英語中級	小林 宜子	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	英語で書かれたエッセイを味わう					
授業の目標概要	著者の身近な事柄や現代社会が抱える種々の問題をめぐり、鋭い観察と深い思索に基づいて書かれたエッセイ（随筆）の読解を通じて、英語の理解力や表現力を養うことをめざします。英米の雑誌や個人のエッセイ集に掲載された近年のエッセイの中から良質の文章を 10 篇ほど選び、それらを教材として用います。著者は Zadie Smith, Teju Cole, Ursula le Guin などの著名な作家で、気候変動、生物多様性、移民問題、家族、老い、アイデンティティなど、多様なテーマが扱われています。英文を細部まで正確に読み取る力を養うとともに、エッセイに扱われたテーマについて英語で考え、表現する力を磨きます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31052	S	英語中級	井上 博之	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代アメリカ合衆国の短編小説を読む この授業では 1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）、カレン・ラッセル（Karen Russell）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「大聖堂」、「鳩を育てた少女」、「証明」、「アメリカ人」）。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって大きく異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な現代文学の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進めるため、受講生の主体的な参加を求める授業となります。あくまでも語学の授業なので、しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば今まであまり小説を読んでこなかった人も含め、あらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 7〜10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟してください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材はすべて PDF ファイルと印刷物で提供します。履修予定の方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習は必要ありません。 ※学部の方針に従い、初回のみ Zoom でのオンライン授業、2 回目以降は対面授業となります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31209	S	英語中級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to 20th Century American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction from the 20th century. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30013	S	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore . Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30233	S	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Geographies of Horror This course introduces students to the role of geography in literary and cinematic horror, exploring the ways in which writers and filmmakers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Ambrose Bierce. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, creatures, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30322	S	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30779	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in Fiction and Cinema This course is an introduction to fiction and stories that concern hauntings, ghosts, and warped spaces in fiction and cinema, across sources from different geographical locations, including Japan, America (indigenous and immigrant/colonial), Britain, the Middle East, Africa, and Eastern Europe. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories about ghosts and haunted spaces, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30982	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in Fiction and Cinema This course is an introduction to fiction and stories that concern hauntings, ghosts, and warped spaces in fiction and cinema, across sources from different geographical locations, including Japan, America (indigenous and immigrant/colonial), Britain, the Middle East, Africa, and Eastern Europe. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories about ghosts and haunted spaces, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31053	S	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Ghosts and Hauntings in Fiction and Cinema This course is an introduction to fiction and stories that concern hauntings, ghosts, and warped spaces in fiction and cinema, across sources from different geographical locations, including Japan, America (indigenous and immigrant/colonial), Britain, the Middle East, Africa, and Eastern Europe. In this class, students will approach stories about ghosts through the lens of cultural studies and historical contexts. In addition to stories about ghosts and haunted spaces, students will be introduced to social criticism, religious studies, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31211	S	英語上級	ペティート ジョシュア	英語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Technological Hauntings This class will consider the relationship of haunting and the occult to forms of modern media and technology, including the phonograph, the photograph, the telegraph, television, and film. Over the course of the semester, students will learn how modern media have, through processes of disembodiment and decorporealization, enabled the formation of discourses that yoke technology to conceptions of the spectral and ghostly.				

総合科目　L 系列　ドイツ語

ドイツ語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要	発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図る。特に文法と会話の練習に重点を置く。 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechsuebungen durchgefuehrt, die sich an den Themen des Grammatikbuchs in der ersten und zweiten Reihe orientieren.
成績評価方法	平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30058	月 2	オプヒュルス 鹿島	1 年 文一二(21)
30630	水 2	I・カウフマン	1 年 文一二(22)
30746	水 4	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(20)
30957	木 4	EINS Wieland	1 年 文三(15)
31170	金 4	ククリンスキ ルーベン	1 年 文三(16)
31217	金 5	速水 淑子	1 年 文科（TLP)
31218	金 5	森井 裕一	1 年 文科（TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30234	S	ドイツ語初級（演習）	ヘルマン ゴチェフスキ	ドイツ語	月 5	1年 理科
講義題目		ドイツ語演習（準必修クラス指定科目）				
授業の目標概要		発音練習・聴き取り・読解・作文や表現の練習などを行い、一列・二列の授業で学習した文法の知識の定着を図ります。特に発音、単語習得と表現練習に重点を置きます。ドイツ語で歌うこと、声楽の歌詞（韻文）の構造も扱う予定です。 In dem Kurs werden überwiegend Aussprache-, Hör-, Schreib- und Ausdrucksübungen durchgeführt, durch die das in der ersten und zweiten Reihe Gelernte geübt und vertieft werden soll. Der Schwerpunkt liegt dabei auf Aussprache, Vokabular und angewandter Satzlehre. Auch das Singen in deutscher Sprache und das Verständnis von Liedtexten (Lyrik) wird behandelt.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31215	S	ドイツ語初級（演習）	森井 裕一	ドイツ語	金 5	1年 理科（TLP）
講義題目		ドイツ語初級演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31216	S	ドイツ語初級（演習）	速水 淑子	ドイツ語	金 5	1年 理科（TLP）
講義題目		ドイツ語初級演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30780	S	ドイツ語初級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（会話）、Deutsch Konversationskurs für Anfänger/innen				
授業の目標概要		初めてドイツ語を学ぶ学生を目指し、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1"に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭・聴解の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen. Geübt werden alltägliche Situationen. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen Sprech- und Hörübungen sowie die Erweiterung des Wortschatzes.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30235	S	ドイツ語初級（作文）	森 芳樹	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（作文）				
授業の目標概要		初修ドイツ語の文法学習と並行して、学んだ知識を能動的に用いる練習を行い、文法的な規則や語彙の定着を図る。同時に、ドイツ語らしい発想や表現とは何なのかを考える機会にしたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31054	S	ドイツ語初級（表現練習）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（表現練習）、Deutsch Redemittelübungen für Anfänger/innen				
授業の目標概要		初めてドイツ語を学ぶ学生を目指し、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1"に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭・聴解の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger/innen. Geübt werden alltägliche Situationen. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen Sprech- und Hörübungen sowie die Erweiterung des Wortschatzes.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31269	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ファイファー マティアス	ドイツ語	月 1	1年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an. Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30338	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		ドイツ語初級インテンシヴ（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30339	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目	ドイツ語初級インテンシヴ（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30995	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科（TLP）
講義題目	ドイツ語初級インテンシヴ（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30996	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科（TLP）
講義題目	ドイツ語初級インテンシヴ（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1.+2. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben gleichermaßen geübt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A1+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31270	S	ドイツ語初級（インテンシヴ）	ファイファー マティアス	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科

講義題目 ドイツ語初級（インテンシヴ）

授業の目標概要
この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。
Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1.+2. Reihe deutsche Grammatik lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER) an.
Die Teilnehmer/innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A1.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30323	S	ドイツ語初級（第三外国語）	一條 麻美子	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 ドイツ語初級（第三外国語）

授業の目標概要
ドイツ語文法の学習を進めつつ、ドイツ語を読む・話す・書く力の基礎を身につけていきます。
英語およびそれぞれの第二外国語との差異に注意しながら、ドイツ語の特徴を理解してもらいます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30781	S	ドイツ語初級（第三外国語）	I・カウフマン	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 Deutsche Sprache / German language (Anfänger / Beginner)

授業の目標概要
Der Kurs richtet sich an Studierende ohne Vorkenntnisse, die Deutsch als dritte Fremdsprachen lernen möchten. Die Studierenden sollen erste Grundkenntnisse in den Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben erwerben und einfache Redemittel für die Kommunikation in Alltagssituationen kennenlernen. Zu dem Kurs wird im nächsten Semester ein Anschlusskurs angeboten, mit dem das Level A1 erreicht werden soll. Es müssen aber nicht beide Kurse belegt werden.
The course is designed for students with no previous knowledge of German who want to learn German as a third foreign language. Students will acquire initial basic knowledge in the skills of speaking, listening, reading, and writing and will learn simple idioms for communication in everyday situations. A follow-up course will be offered the next semester, but it is not necessary to take both courses. A follow-up course will be offered in the next semester to reach level A1. However, it is not necessary to take both courses.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31055	S	ドイツ語初級（第三外国語）	斉藤 渉	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 ドイツ語初級（第三外国語）

授業の目標概要
学習者が自分自身のことについて、ドイツ語で話せるようになることを目標とします。半年間で学習した項目については、ヨーロッパ言語共通参照枠 A1 レベルに到達できるよう、集中的に練習します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30236	S	ドイツ語中級（演習）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語中級（演習）				
授業の目標概要		ドイツ語の初等文法を復習しながら、実践的な表現力、運用力、読解力を身につけます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30324	S	ドイツ語中級（演習）	柳橋 大輔	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		テクスト読解で学ぶドイツ語圏の文化・社会・思想				
授業の目標概要		ドイツ語で書かれた短い文章を読みながら、既習の文法知識を定着させ、語彙を豊かにすることにより、知的な文章を読みこなす訓練を行ないます。さらに、テクスト読解をつうじてドイツ語圏の文化・社会・思想への理解を深めることを目指します。初級文法を履修済みの受講生を対象とした授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30340	S	ドイツ語中級（演習）	梶谷 真司	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30341	S	ドイツ語中級（演習）	大石 紀一郎	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31056	S	ドイツ語中級（演習）	工藤 達也	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語テクスト読解				
授業の目標概要		ドイツ語文法の基礎知識をすでに習得した（1年次のドイツ語必修科目履修済み）学生が、ドイツ語テクストを実践的に読むことを通して、これまで培ったドイツ語能力をさらに発展させる。 テクストの内容は歴史や政治、時事的な話題など、「社会科」的な文献を選ぶ。リクエストがあれば応じるので、積極的に授業に参加してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30983	S	ドイツ語中級（会話）	EINS Wieland	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話）				
授業の目標概要		Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen des Deutschen gedacht, die vor Beginn des Kurses etwa das A2 Niveau des Europäischen Referenzrahmens erreicht haben. Im Mittelpunkt steht die Sprechfertigkeit; inwieweit Grammatik- oder Wortschatzarbeit eine Rolle spielen wird, hängt vom Sprachstand der Teilnehmenden ab. Zentral ist aber in jedem Fall die mündliche Kommunikation. 初級程度の会話力を持ってる方のための授業です。このコースに参加するまでに A2 程度のレベルに達していることが望ましいです。主な目標は話す能力の向上；文法や語彙のレベルは参加者のレベルによって変わりますが、口頭で行うコミュニケーション能力を高めることに重点を置いています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30237	S	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語中級（作文） Schreibübungen (Mittelstufe)				
授業の目標概要		様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30019	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目		ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30325	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate) この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンジヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30790	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2 年 文 科 理 科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30997	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科 2 年 文 科 理 科 (TLP)
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31057	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	I・カウフマン	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)					
授業の目標概要	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンジヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31219	S	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2 年 文 科 理 科 (TLP)
講義題目	ドイツ語中級演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende mit grundlegenden Kenntnissen der deutschen Sprache. Ziel des Kurses ist es, die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben auszubauen und zu festigen, sodass am Ende des Kurses die Stufe B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreicht wird. Die Lerner*innen sollen dann in der Lage sein, über Themen des alltäglichen Lebens, der Arbeit und Freizeit zu kommunizieren und über Erfahrungen, Interessen, Ansichten, Ziele und Pläne zu sprechen. ドイツ語の基礎知識がある学生を対象としています。コースの目的は、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを開発・強化し、コース終了時に欧州共通参照枠のレベル B1 に到達するようにすることです。学習者は、日常生活、仕事、余暇などの話題についてコミュニケーションをとり、経験、興味、見解、目標、計画などについて話すことができるようになります。					

総合科目　L 系列　フランス語

フランス語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生には、自由参加が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。
成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30187	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
30343	火 2	藤岡 俊博	1 年 文科（TLP）
30423	火 3	COUCHOT Herve	1 年 文一二(23)
30502	火 4	CAPEL Mathieu	1 年 文一二(24)
30631	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(27)
30632	水 2	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文一二(28)
30715	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
30751	水 4	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文三(20)
31127	金 3	Steve Corbeil	1 年 文三(17)
31128	金 3	アルベリック ドリブル	1 年 文三(19)
31171	金 4	アルベリック ドリブル	1 年 文三(18)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30342	S	フランス語初級（演習）	伊達 聖伸	仏語・伊語	火 2	1年 理科（TLP）
講義題目		ＴＬＰフランス語演習（1年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30326	S	フランス語初級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（会話）／ French Language (Introductory)				
授業の目標概要		発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や読解の応用練習などを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30782	S	フランス語初級（表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		(WEB シラバス参照)				
授業の目標概要		(WEB シラバス参照)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30984	S	フランス語初級（読解）	桐谷 慧	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		平易なフランス語の文章を読む				
授業の目標概要		この授業では、平易なフランス語で書かれた文章を、受講者の皆さんと一緒に読んでいきます。受講者のレベルに応じて、重要な語彙の確認、初級文法のおさらいなども並行して行う予定です。丁寧に文章を読むことを通して、フランス語読解の基本を身につけることを目指します。 また、受講者の希望も考慮しつつ、時事的、文化的、学術的文章を取り上げることにより、フランス語圏の文化や社会についての理解を深めることも目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30020	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30021	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30238	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30239	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30783	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30814	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（インテンシヴコース）				
授業の目標概要		このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31073	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 春学期の目的：DELF のレベル A1 に達する				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31220	S	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30784	S	フランス語初級（第三外国語）	黒木 秀房	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		フランス語初級				
授業の目標概要		フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31058	S	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項を用いながら、特定の身近な話題に関してフランス語で自然に会話ができるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30344	S	フランス語中級（演習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		ＴＬＰフランス語演習（2年次） ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30583	S	フランス語中級（演習）	ドゥルマジュール ラウル	仏語・伊語	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Activités en français Dans ce cours, les étudiants pratiquent le français à partir d'exercices oraux et d'exercices écrits, seuls ou en groupe. Chaque semaine : une chanson française pour travailler la prononciation un de conversation en groupe une activité en français seul ou en groupe (exposé, reportage, interview, etc.)				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30886	S	フランス語中級（演習）	CAPEL Mathieu	仏語・伊語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		ＴＬＰフランス語演習（2年次） ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30087	S	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Expression et communication orale Ce cours propose un entrainement à l'expression orale à partir de divers sujets, y compris des thèmes d'actualité. L'objectif est d'améliorer l'expression orale et d'enrichir le vocabulaire.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31059	S	フランス語中級（作文）	ドゥルマジュール ラウル	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Atelier d'écriture : espèces d'espaces En prenant exemple sur des textes littéraires ou philosophiques à propos de la question de l'espace, notamment sur Espèces d'espaces de Georges Perec (1974), ce cours propose d'écrire chaque semaine en français. L'objectif est à la fois de progresser dans la maîtrise de la langue française, mais aussi de découvrir des écrivains ou des penseurs français à partir d'une expérience de la vie quotidienne (la chambre, la rue ou encore la ville).				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30985	S	フランス語中級（表現練習）	ビゼ	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Les enfants au cinéma					
授業の目標概要	Les enfants sont très présents dans les films. Nous consacrerons ce premier semestre (et le second) à des films réalisés par Albert Lamorisse, François Truffaut et Louis Malle, et qui mettent en scène des enfants, dans des contextes historiques différents. Il s'agit du Ballon rouge (1956), Zazie dans le métro (1960), L'Enfant sauvage (1960), Les quatre-cents coups (1958) et Au revoir les enfants (1987). L'objectif de ce cours est d'apprendre à observer les images, de sensibiliser les étudiants au langage cinématographique et de leur donner des clés de lecture des films.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30327	S	フランス語中級（読解）	斎藤 かぐみ	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	政治・社会分野の仏文を読む					
授業の目標概要	政治・社会分野の仏文を読みこなす素地を養う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30884	S	フランス語中級（読解）	片岡 大右	仏語・伊語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	現代フランスのジャーナリズムに触れる					
授業の目標概要	フランス語学習の傍ら現代フランス社会をよりよく理解すべく、『ル・モンド』ほか、フランス語の新聞・雑誌・ニュースサイトの記事の読解を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30217	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目	ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2年次）					
授業の目標概要	ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30218	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科 (TLP)
講義題目	ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2年次）					
授業の目標概要	ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（ＴＬＰ用）、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30818	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 1	1年 文科 理科 2 年 文 科 理 科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31044	S	フランス語中級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 1	1年 文科 理科 2 年 文 科 理 科 (TLP)
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（2 年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30885	S	フランス語上級（読解）	原 和之	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		哲学思想のフランス語				
授業の目標概要		ひととおりフランス語の文法を履修し簡単なフランス語を読み解けるようになった学生が、哲学思想を論ずるフランス語テクストを読んで内容を理解し、適切な翻訳ができるようになることを目指す。				

総合科目　L 系列　中国語

中国語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
著者（訳者）　毛 興華
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30057	月 2	林 立梅	1 年 文一二(13)
30272	火 1	黄 海萍	1 年 文一二(16)
30421	火 3	喬 志航	1 年 文一二(19)
30428	火 3	李 佳リョウ	1 年 文三(13)
30717	水 3	中原 裕貴	1 年 文三(11)
30742	水 4	毛 興華	1 年 文一二(15)
30847	木 2	李 彦銘	1 年 文一二(17)文三(12)(TLP)
30848	木 2	鄧 芳	1 年 文一二(17)文三(12)(TLP)
31020	金 1	斉 金英	1 年 文一二(18)
31117	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(14)
31126	金 3	李 雲	1 年 文三(14)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30986	S	中国語初級（演習）	姚 毅	中国語	木 5	1年 理科
講義題目		1年理系生のための基礎トレーニング				
授業の目標概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31074	S	中国語初級（表現練習）	李 彦銘	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		TLP 中国語 基礎トレーニング 演習				
授業の目標概要		TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30014	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	月 1	1年 文科 理科
講義題目		中国語の実践能力を養うためのトレーニング				
授業の目標概要		基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月1 賈黎黎先生 ・ 木5 毛興華先生 【B】 火2 賈黎黎先生 ・ 金2 毛興華先生 【C】 火2 毛興華先生 ・ 金2 王英輝先生 【D】 月1 白春花先生 ・ 木5 賈黎黎先生 【E】 月5 李彦銘先生 ・ 木1 李佳樑先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は4月1日（午前0時）～4月3日（午後24時）です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6 ☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、AからEクラスという順番で抽選を行います。1回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、CクラスとEクラスにエントリーした場合、まずCクラスの抽選に参加し、当選したらCクラスで受講していただき、落選したら自動的にEクラスの抽選に参加します。 ☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.comにお問い合わせください。 4月4日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4月5日にUTASの授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30015	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	月 1	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4 月３日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30240	S	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	月 5	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4 月３日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30328	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	火 2	1年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

中国語の実践能力を養うためのトレーニング
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4 月３日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30329	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	火 2	1年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

中国語の実践能力を養うためのトレーニング
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4 月３日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30345	S	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	火 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30346	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30347	S	中国語初級（インテンシヴ）	菊池 真純	中国語	火 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング） この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。 特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30815	S	中国語初級（インテンシヴ）	李 佳リョウ	中国語	木 1	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語の実践能力を養うためのトレーニング 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。 【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生 【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生 【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生 【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生 【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。 https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6 ☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。 ☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。 4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。 【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30975	S	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	木 4	1年 文科 理科（TLP）

講義題目　TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要

この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。

特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30987	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	木 5	1年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング

授業の目標概要

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。

【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生

☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。

☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は 4 月 1 日（午前 0 時）～4 月 3 日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6

☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。1 回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。

☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。

4 月 4 日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4 月 5 日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。

【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30988	S	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 5	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4 月３日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31060	S	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。S セメスターは５クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月１ 賈黎黎先生 ・ 木５ 毛興華先生
【B】 火２ 賈黎黎先生 ・ 金２ 毛興華先生
【C】 火２ 毛興華先生 ・ 金２ 王英輝先生
【D】 月１ 白春花先生 ・ 木５ 賈黎黎先生
【E】 月５ 李彦銘先生 ・ 木１ 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は４月１日（午前０時）～4 月３日（午後 24 時）です。受付期間中に以下の URL にアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、A から E クラスという順番で抽選を行います。１回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、C クラスと E クラスにエントリーした場合、まず C クラスの抽選に参加し、当選したら C クラスで受講していただき、落選したら自動的に E クラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12 時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.com にお問い合わせください。
４月４日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、４月５日に UTAS の授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31061	S	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	金 2	1年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

中国語の実践能力を養うためのトレーニング
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）
実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Sセメスターは5クラス開講し各クラス定員を２０名までとする。各クラスの詳細は下記のとおり。
【A】 月1 賈黎黎先生 ・ 木5 毛興華先生
【B】 火2 賈黎黎先生 ・ 金2 毛興華先生
【C】 火2 毛興華先生 ・ 金2 王英輝先生
【D】 月1 白春花先生 ・ 木5 賈黎黎先生
【E】 月5 李彦銘先生 ・ 木1 李佳樑先生
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆例年履修希望者が多いため、開講前に抽選を行います。抽選の受付期間は4月1日（午前0時）～4月3日（午後24時）です。受付期間中に以下のURLにアクセスして「履修希望登録」フォームに必要な情報を記入してください。
https://forms.gle/65u1G4xa35NXpfkC6
☆ 複数クラスの抽選にエントリーした場合、希望の優先順位に関係なく、AからEクラスという順番で抽選を行います。1回当選したら、それ以降のクラスの抽選資格を自動的に失います。例えば、CクラスとEクラスにエントリーした場合、まずCクラスの抽選に参加し、当選したらCクラスで受講していただき、落選したら自動的にEクラスの抽選に参加します。
☆ 「履修希望登録」フォームを提出したら、控えが自動的にフォームに記入していただいたメールアドレスに送信されます。12時間以上経っても届かない場合、lilyleijia@hotmail.comにお問い合わせください。
4月4日（抽選締め切りの翌日）に当選者のみにメールにて通知いたします。また、4月5日にUTASの授業用掲示板に当選者の学籍番号をクラスごとに掲載します。
【注意事項】：当選後、原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないようにご注意ください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31075	S	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	金 2	1年 文科 理科（TLP）

講義題目
授業の目標概要

TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31076	S	中国語初級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	金 2	1年 文科 理科（TLP）

講義題目
授業の目標概要

TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30016	S	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中国語入門（A セメスターの続き）					
授業の目標概要	中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 この授業は同教員が担当した A セメスターの続きを行う（第 9 課から始める予定)。 授業の性質上 30 名を定員とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30330	S	中国語初級（第三外国語）	黄 海萍	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中国語入門					
授業の目標概要	中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。半年間のみの授業だが、続けて学習をしたい者は A セメスターに同じテキストで開講される、第三外国語の授業で継続的に履修することが可能である。 授業の性質上 50 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31062	S	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中国語の基礎					
授業の目標概要	この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターはⅠ、A セメスターはその続きのⅡである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30088	S	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中国語作文					
授業の目標概要	教官の思い付き（日本語）を丁寧に中訳・添削する形で授業を進める。思い付きとは言え、レベルは初級と大違い。日常会話レベルの日中両国の言語を、慣用句（成語）にするのが要求される（例：日本語：羹に懲りて膾を吹く or 蛇に噛まれて朽縄に怖じる；中国語：小题大做 or 一年被蛇咬，十年怕井绳)。同じ表現なのに、日中両国の言葉に相違点が少なからず存在していることを受講生に気づかせる。語彙テストをランダムに実施（一例。日本語：level1：面白い、level2：興味深い、level3：腹を捩る or 腹が捩れる、level4：臍で茶を沸かす。中国語：level1：有趣、level2：兴味盎然 or 妙趣横生、level3：捧腹大笑、level4：忍俊不禁)。ちなみに、Level1 ができなければ、日常会話で相槌を打つことすら不可能。かたや level4 が「お茶の子さいさい」だと思えば、native でも稀に見る。「覚えることだけが語学」だという悪しき先入観を、「考える語学」まで理路整然と高めるのが、目的。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30584	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30819	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31077	S	中国語中級（演習）	菊池 真純	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 読解を中心とした応用トレーニング この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースにさらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々なジャンルの文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30517	S	中国語中級（会話）	喬 志航	中国語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	目標 長文読解能力を向上させることと、広範で複雑な話題についても明瞭に自分の意見を表現できることを目標とする。 中国語を使った研究を始める基礎的な力がある。 異文化の理解につとめ、多様な価値観への寛容性を身につけるよう期待する。 概要 中国語を一年間学習した学生を対象に、中国語の長文読解と文法事項を教え、そしてテーマごとに中国語会話の練習を行う。 中国語圏の歴史や文化、社会情勢などに関係するテーマについて、言葉の背景にある中国の社会、政治、文化、歴史などについての知識をも積極的に取り入れて、言葉の微妙なニュアンスを感じ取り、真のコミュニケーション能力を養うと同時に、異文化への理解力を培うように心掛けたい。 授業のはじめに、教員による本文の内容確認をし、関連する表現や文法事項について説明を行う。そのうえで、学生による発表・討論、またはディベートを行う。それを通じて、中国語による表現力を強化させていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30816	S	中国語中級（会話）	何 珍時	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語をマスターする条件は、発音、構文（仕組み）と語彙の3つです。この3つの条件さえ満たせば、誰でも中国語を身に付けることができます。ですから、「会話」と言っても、3つの条件なしに成り立つわけではありません。発音はもちろんのこと、ある程度中国語の仕組みが分からなければ、会話は成り立ちません。この講義は中級会話なので、一年生で学んだ文法理解と語彙の習得を前提に、さらに進んだ文法理解を深め、複雑な構文も学んだ上で、それを活かして、中国語で言われた内容を聞き取り、自分の考えたことを中国語で表現し、会話を行うこと 授業の目標はまず、中国語の基本的な仕組み（文法）をきちんと理解すること、つぎに自分の考えたことをできるかぎり中国語で表現すること。これらの基礎作業の上に学んだ内容を活かしたテーマを設定し、それについて学生相互で基本的な会話（日常会話）ができるようにすること。以上が授業の目標です。会話の練習は、数回程度授業内で行う予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31063	S	中国語中級（会話）	李 雲	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の発音と会話の基礎を固めるトレーニング。 1年間学んだ発音と文法事項を踏まえ、会話の実践的なトレーニングを行う。半年を通して、基礎的な会話能力を身に付けることを目標とする。授業では、ペアを組んで、読み、暗誦、発表を繰り返していく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30331	S	中国語中級（作文）	李 洵	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中検2級の作文 この授業は中国語検定試験2級レベルの構文を中心に学び、トレーニングを行う。中検2級の作文の基本をマスターすることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30734	S	中国語中級（読解）	伊藤 徳也	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代中国の文学に触れて、中国語読解力を鍛える 中国語の基礎を学び終えたばかりの学習者向け。 中国の著名な小説家・閻連科（1958～）の講演記録を精読します。 閻連科は最初農村出身の質実なリアリズム作家として出発しましたが、多くの前衛的な作家達が 1990 年代以降リアリズムへと回帰していくのとは逆に、アンチ・リアリズムへと向かいました（短編にはリアリズムが残りますが）。 著書で破天荒な物語内容や語りを提示したため何度も発禁処分を受けるも、気骨のある態度を示し続けました。 そんな彼が駒場キャンパスを訪れて講演をしたことがあります（2016 年 11 月 6 日コムシー）。 この授業では、その時の講演記録を一字一句丁寧に読んでいきたいと思います。 もし、閻の講演記録を早めに読み終えられたら、 中国の現代文学の基礎を作った魯迅や聞一多のごく短い作品を読んでみたいと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30971	S	中国語中級（読解）	賈 黎黎	中国語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語中級（読解） この授業の履修を通じて、いままで学んだ文法知識などをベースに、さらに複雑な中国語の文章を読みながら読解能力をいっそう高めることを目標とする。 読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターするだけでなく、様々な文体の文章を読むことを通して、それぞれの文体の特徴を知り、次の段階へステップアップさせたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31194	S	中国語中級（読解）	朝倉 友海	中国語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	論説体を中心とした中国語への習熟 本授業では、いわゆる論説体の中国語に対する理解力を身につけることを目標とする。 「論説体」とは新聞報道などメディアの文体を指すが、本授業では広くフォーマルな、あるいはアカデミックな場で用いられる中国語を念頭においている。日常的に用いられる文体であるものの、初級で学ぶ口語表現とは大きく異なっており、漢文の伝統を色濃く残す文章語という側面がある。本授業は、論説体の中国語に習熟することを目的とし、ニュース記事や論説記事を教材として用いた読解練習を中心に進めていく。併せて、報道を利用して聞き取り能力も養う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30093	S	中国語中級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要	TLP 中国語実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30348	S	中国語中級（インテンシヴ）	鄧 芳	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30451	S	中国語中級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30665	S	中国語中級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		耳を澄ませてリスニングチャレンジ この授業では主に聞き取りの訓練を行う。 街中で録音した自然な会話を聞き、初級で習得した単語や構文を点検するとともに、日常会話やテレビの報道番組などが聞き取れることを目指す。 なお、会話中心の「中級インテンシヴ」とセットで履修することを強くお薦めします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30887	S	中国語中級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30936	S	中国語中級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語 実践トレーニング（中級作文） この科目は前期 TLP(トライリンガル・プログラム)の一環に位置づけられている。対象となる学生は TLP 二年生、またはそれと同等以上の中国語能力を有していると認められる学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業では、日常的に良く使われる複文の文型をマスターするのが最初の目標であって、複文に慣れてから、本格的な作文を週に一回作成し、添削を通して、中国語の文章の書き方を少しずつ覚えていく。一学期の勉強を通して、普通の短い文章を書けることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31064	S	中国語中級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級インテンシヴ会話 中級インテンシヴ聴解をセットで履修することが望ましい。金曜日 2 限では、主に会話の訓練を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31154	S	中国語中級（インテンシヴ）	李 彦銘	中国語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 中国語実践トレーニング（中級会話） この授業は、トライリンガル・プログラム（TLP）の一環として位置づけられている。対象となる学生は TLP の二年生及びそれと同等以上の中国語能力を有する学生である。TLP クラスに所属していない学生は、初回授業で実施される「プレースメントテスト」を必ず受験すること。テストの結果でレベル判定をする。また、20 名を超える場合は人数制限を行う場合がある。 この授業の履修を通じて、日常会話はもちろん、場面ごとに合う適切な表現を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31065	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		字幕翻訳演習 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1）言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2）的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3）既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。(Ｇ８－１０) ＊ 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31065	S	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		字幕翻訳演習				
授業の目標概要		本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1）言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2）的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3）既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。（Ｇ８－１０） ＊ 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30785	S	中国語上級（会話）	王 欽	中国語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		現代中国を考える				
授業の目標概要		現代中国社会に関するテーマをめぐって議論することで、中国語でものを考える能力を磨く。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30167	S	中国語上級（作文）	張 政遠	中国語	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		作文				
授業の目標概要		中国語でエッセイを書く。表現力を高める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30817	S	中国語上級（読解）	張 政遠	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		香港文学				
授業の目標概要		劉以鬯を読む。				

総合科目　L 系列　ロシア語

ロシア語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。

成績評価方法　平常点など。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30947	木 4	GUTOVA Ekaterina	1 年 文一二(4)
30952	木 4	GRECKO Valerij	1 年 文三(4)
30977	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文科（TLP）

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30735	S	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 3	1 年 理科
講義題目		現代ロシア語の基礎				
授業の目標概要		基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30976	S	ロシア語初級（演習）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 4	1 年 理科（TLP）
講義題目		ロシア語演習（TLP）				
授業の目標概要		ロシア語でのオーセンティックな内容 （教科書以外）を理解し、それについて議論することができるための基礎を作る演習です。カードなどを用いて、テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ミニレクチャーや音楽を聞いたり、ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論やディベート、ロールプレイをします。宿題は主として新しい単語の復習であり、ボキャブラリー増加を目指します。 ※この授業は TLP 生専用です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31066	S	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語会話の基礎				
授業の目標概要		ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30022	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 1	1 年 文科 理科（TLP）
講義題目		TLP ロシア語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。２コマセットで履修すること（月曜１限と金曜５限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30241	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	毛利 公美	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		ロシア語の必修クラスで学んだ内容を補足し、より理解を深めて自由に使いこなせるレベルにまで定着させます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30786	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目		現代ロシア語の基礎				
授業の目標概要		基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。 ※「初級インテンシヴ」は週 2 コマをセットでのみ履修できます。かならず月曜 5 限の授業と両方を履修してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31221	S	ロシア語初級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 5	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		TLP ロシア語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。S セメスターではアルファベットを習得し、正確な発音を目指すところから始める。２コマセットで履修すること（月曜１限と金曜５限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30550	S	ロシア語初級（第三外国語）	石井 優貴	ロシア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		ロシア語を第三外国語として基礎から学んでいく授業です。通年の開講を予定しており、1年間でロシア語の初級文法や基本語彙などを習得することを目標としています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30242	S	ロシア語中級（演習）	畔柳 千明	ロシア語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級（演習）				
授業の目標概要		ロシア語の基本文法を一通り学習した人が、これまで学習した文法を定着させるとともに、新たな語彙・文法事項などを習得することを目指す授業です。色々な時代・テーマのロシア語に触れることで、扱えるロシア語の範囲を少しずつ広げることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30989	S	ロシア語中級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級（会話）				
授業の目標概要		主に一年生時に初級（会話）を受講した学生を対象に、「聞く・話す」能力を育んでいきます。 基礎文法・語彙の知識を確認しながら、会話にいかせる文法・語彙力の育成を目指します。ネイティヴ・スピーカーの先生が聴取・発音・会話に関して高度な運用能力を育成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30332	S	ロシア語中級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語中級作文				
授業の目標概要		既習文法事項、単語を適切に用いることが出来ると同時に、一歩上の文法、語彙も使用して、意図した内容を正確に、より豊かなロシア語で書けるようになるのが目標です。 ロシア語を学習するにあたり、自分が何を理解できていないのか、何が弱いのか、何に注意を払う必要があるかを知るのは大変重要です。自分でロシア語を用いて文章を書いてみれば、自分に何が足りないかすぐに分かります。また、添削を受けることで独学では気づき得ない弱点、誤解にも気がつくことができます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30666	S	ロシア語中級（読解）	鳥山 祐介	ロシア語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア紀行：ペテルブルクからカスピ海への旅 【概要】サンクトペテルブルクからモスクワ、カザンなどを経てカスピ海沿岸のアストラハンに至る様々な場所が舞台となる、旅行記形式のオリジナルテクストを読みます。 【目標】精読を繰り返し、文法事項の確認を行うとともに語彙を増やし、読解力の向上を目指します。またテクスト内で触れられるロシアの多様な文化や歴史に触れるきっかけを作ります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30551	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を1年以上学習した者を対				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30791	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生2年生用のインテンシヴ授業である。週2コマ行い、ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31197	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP ロシア語中級（インテンシヴ） TLP 生2年生用のインテンシヴ授業である。週2コマ行い、ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31212	S	ロシア語中級（インテンシヴ）	宮川 絹代	ロシア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語文法の復習と発展 ロシア語の基礎文法を学んだ学生を対象とした授業です。文法を復習し、定着させます。さまざまな例文に触れることで、理解を深め、より複雑な内容を取り入れることで、ロシア語運用力を高めます。多くの練習問題を解きながら進めます。具体的には、格、移動の動詞、動詞の体を軸に、関係詞を用いた文や形容分詞、副分詞などのある文なども取り上げる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30518	S	ロシア語上級（演習）	浜田 華練	ロシア語	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		ロシア語上級（演習）				
授業の目標概要		TLP ロシア語 2 年生を対象に、テキストの読解やヒアリングを通じて 1 年次で学んだ文法の復習と応用を行います。中・上級レベルの文法を身につけることに加えて、語彙力をと総合的なロシア語運用能力の向上を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30089	S	ロシア語上級（会話）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語上級（会話）				
授業の目標概要		ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既修」で入学した学生のみである。それ以外の学生は履修できないので注意すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31153	S	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ロシア語の文章表現				
授業の目標概要		ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30216	S	ロシア語上級（読解）	毛利 公美	ロシア語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		アニメーション論を読む				
授業の目標概要		ノルシュテインの著書『草上の雪』からの抜粋や関連する論説文を読みながら、抽象的な文章を正確に読み解き、わかりやすい日本語に訳す方法を学ぶ。				

総合科目　L 系列　スペイン語

スペイン語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要　この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習)」(理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。

成績評価方法　各教師の指示に従ってください。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Brújula－スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30053	月 2	松田 葉月	1 年 文一二(7)
30056	月 2	AIT MORENO Isaac	1 年 文一二(12)
30404	火 3	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文一二(10)
30405	火 3	松田 葉月	1 年 文一二(11)
30603	水 2	松田 葉月	1 年 文一二(8)
30635	水 2	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(10)
30716	水 3	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(7)
30741	水 4	Fernando Yeng	1 年 文一二(9)
30954	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(8)
30955	木 4	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(9)

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30017	S	スペイン語初級（演習）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	月 1	1 年 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学びます。この授業の一番の目的は、スペイン語によるコミュニケーション能力を伸ばすことです。そのために、会話練習、聴解の練習、短い口頭発表などを通して、話す・聞くの実践に重点を置きます。実際的なコミュニケーションに必要な文章力を磨くために、書く練習も行います。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30349	S	スペイン語初級（演習）	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 理科（TLP）
講義題目		Seminario de español para el TLP TLP スペイン語演習|			
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.|コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30990	S	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語（初級会話）|			
授業の目標概要		練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。|その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31213	S	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。				
授業の目標概要		自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31067	S	スペイン語初級（作文）	受田 宏之	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級（作文）				
授業の目標概要		この授業は、スペイン語を深く学んでみたい、実践的なスペイン語力を身に付けたい、という意欲ある一年生、二年生を対象とする。スペイン語の基礎を学び始めた一年生には、作文を通じて学習を深めるとともに、スペイン語表現の豊かさを味わってもらうことを目標とする。二年生は、文法の復習と語彙力の向上、専門課程でのスペイン語の使用も意識した作文力の習得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30243	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	アルバロ ペラル ヒガンテ	スペイン語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		このコースはスペイン語の紹介です。授業では主に口頭表現及び語彙を増やすための演習を行います。またリスニングと文章表現も学習します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30350	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP |TLP スペイン語インテンシブ|				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30991	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目		スペイン語初級				
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。作文練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31730	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP |TLP スペイン語インテンシブ|				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31078	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP |TLP スペイン語インテンシブ|				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31222	S	スペイン語初級（インテンシヴ）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1年 文科 理科（TLP）
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP |TLP スペイン語インテンシブ|					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。|					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30018	S	スペイン語初級（第三外国語）	松尾 俊輔	スペイン語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	1年間で学ぶ三外スペイン語					
授業の目標概要	この授業は、スペイン語を第二外国語として履修していない学生を対象とし、1年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。|文法事項をひとつひとつ身に付けていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。S セメスターと A セメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。|S セメスターの授業では、発音や簡単な挨拶から始め、基本的な動詞を用いた現在形と点過去形の短い文章を作ることができるようになることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30820	S	スペイン語中級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	El mundo hispano en las noticias					
授業の目標概要	この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行いま す。1年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 から A2 レベルに対応しています 。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30888	S	スペイン語中級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	El mundo hispano en las noticias					
授業の目標概要	この授業ではコミュニケーションのために必要な実践練習を行いま す。1年次に学習した文法項目の復習を行い、文法を自分のものとすることをめざします。さらに発音を練習するとともに、 スペイン語でのコミュニケーション能力を向上させ、 スペイン語圏のさまざまな文化について学びます。 ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 から A2 レベルに対応しています 。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31195	S	スペイン語中級（演習）	シルビア ゴンサレス	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Comunicación en el mundo hispano.¡Vamos a hablar español!					
授業の目標概要	El objetivo principal de este curso es desarrollar las habilidades de comunicación en español, especialmente de manera oral. Se espera que los estudiantes conozcan los principios de la comunicación masiva, y que elaboren y expongan sus opiniones sobre el entorno cultural y temas de actualidad del mundo hispanohablante, a través de la observación de los contenidos en diversos medios de comunicación. このコースの主な目的は、スペイン語のコミュニケーション能力、特にオーラルコミュニケーション能力を養うことです。| 学生は、マス・コミュニケーションの原理を知り、様々なメディアにおけるコンテンツの視聴を通して、スペイン語圏の文化環境や時事問題に対する自分の意見を練り上げ、発表することを目標としています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31196	S	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション					
授業の目標概要	様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法）、 メトニミー（換喩）、メタファー （比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30992	S	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。					
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30244	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	松田 葉月	スペイン語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español, nivel intermedio, composición					
授業の目標概要	El objetivo del curso es aprender a escribir correctamente en idioma español. Se busca dotar al alumno de los elementos claves e imprescindibles en la redacción de un texto, mediante la utilización de modelos y estructuras gramaticales apropiadas acordes al discurso seleccionado.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30351	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	相田 豊	スペイン語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	スペイン語圏のエスノグラフィー／ライフヒストリーを読む					
授業の目標概要	エスノグラフィー（民族誌）あるいはライフヒストリー（生活史）とは、ある地域に生きる人々の生活について、人々の日常的な語りをもとに記述したものである。そのため、エスノグラフィーやライフヒストリーは、ありのままの日常的な会話表現や、人々が生きる現実に触れることのできる格好の「外国語教材」である。本授業では、こうしたエスノグラフィー／ライフヒストリーを読むことを通じて、1年時に学修した文法事項などを確認しつつ、スペイン語で文章を読む力を養うとともに、スペイン語を運用する上で必要なレアリア（言語外知識）としての、スペイン語圏の文化的・歴史的背景に関する専門知識を涵養することを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30787	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	Fernando Yeng	スペイン語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Curso Intensivo de Español Intermedio					
授業の目標概要	スペイン語基礎から続いて、基本文法の学習を進め、さらにこれらの知識を実際に運用できるようにするため、これらの文法項目が実際のコンテンツ内でどのように使用されているかを確認しながら、4技能（話す、書く、聞く、読む）のスキルを高めていきます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30937	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	相田 豊	スペイン語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	スペイン語圏のエスノグラフィー／ライフヒストリーを読む					
授業の目標概要	エスノグラフィー（民族誌）あるいはライフヒストリー（生活史）とは、ある地域に生きる人々の生活について、人々の日常的な語りをもとに記述したものである。そのため、エスノグラフィーやライフヒストリーは、ありのままの日常的な会話表現や、人々が生きる現実に触れることのできる格好の「外国語教材」である。本授業では、こうしたエスノグラフィー／ライフヒストリーを読むことを通じて、1年時に学修した文法事項などを確認しつつ、スペイン語で文章を読む力を養うとともに、スペイン語を運用する上で必要なレアリア（言語外知識）としての、スペイン語圏の文化的・歴史的背景に関する専門知識を涵養することを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31079	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	川崎 義史	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	Los misterios de Laura を読む					
授業の目標概要	スペインのテレビドラマ Los misterios de Laura の聞き取りとスクリプトの読解を通して，スペイン語力の更なる向上を目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31080	S	スペイン語中級（インテンシヴ）	上 英明	スペイン語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	TLP2年生（文系）向けスペイン語中級演習					
授業の目標概要	CEFR 準拠 A2 レベルのスペイン語運用能力を身につける目的で、演習形式で授業を行う。課題は多岐にわたるが、単なる読解にとどまらず、リスニング能力の向上、及び応用文法や口語表現の習得を行うことにも力点を置く。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31803	S	スペイン語上級（演習）	松田 葉月	スペイン語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Práctica de español, nivel avanzado				
授業の目標概要		El curso de práctica de español avanzado tiene un triple objetivo: en primer lugar, consolidar y ampliar el conocimiento gramatical de los estudiantes a través de las cuatro destrezas lingüísticas (comprensión auditiva, expresión oral, comprensión de lectura y expresión escrita); a continuación, alcanzar una mayor fluidez oral; por último, fomentar el conocimiento por parte de los estudiantes de diversos temas relativos al mundo hispánico.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31805	S	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		América Latina en su literatura. Principales tendencias de la narrativa (I).				
授業の目標概要		In this course, students will learn concepts such as "imagination", "fantasy" and "reality", related to Latin American literature, by reading some works of major authors. Students may improve their skills in Spanish language through readings and writing exercises. They may also strengthen aspects of grammar, syntax and vocabulary of Spanish.|En este curso, los estudiantes aprenderán conceptos como "imaginación", "fantasía" y "realidad", relacionados con la literatura latinoamericana, mediante la lectura de algunas obras de los principales autores. Los estudiantes pueden mejorar sus habilidades en el idioma español a través de lecturas y ejercicios de escritura. También pueden fortalecer aspectos de gramática, sintaxis y vocabulario del español.|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31804	S	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		スペイン語による作文の授業				
授業の目標概要		Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を生徒に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、生徒が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。|授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30295	S	韓国朝鮮語初級（演習）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1年 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）TLP この授業では、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30188	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 4	1年 文三(5)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初修（文系） 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30296	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）TLP この授業では、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30395	S	韓国朝鮮語初級（演習）①	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1年 文一二(5)
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（演習）文一二 この授業では、韓国朝鮮語一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には一列・二列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文をバランスよく練習し、一年間を通じて、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30090	S	韓国朝鮮語初級（会話）	金 庚芬	韓国朝鮮語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（会話） 本授業は、初めの韓国朝鮮語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、韓国語の基礎知識を習得、活用しながら、「聴く」そして「話す」能力のトレーニングに重点を置く科目です。そのため、授業では「聴く」と「話す」練習用の様々な種類のアクティビティを行い、実践的な学びを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30023	S	韓国朝鮮語初級 （インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1年 文科 理科（TLP）
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30168	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 3	1年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ				
授業の目標概要		必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30978	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 4	1年 文科 理科（TLP）
講義題目		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列				
授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31043	S	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 1	1年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ				
授業の目標概要		必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30333	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（入門）				
授業の目標概要		文字をちゃんと読める!楽しく学習する!そして書ける!何よりも外国語が話せる喜びを感じさせる、そして韓国について興味入門過程（文字・発音）を中心に基礎的な文法や表現を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」 という四つの力をバランスよく身につけることを目標とする。 ゼロから始まる韓国朝鮮語学習者が対象となる。 ① ハングル文字を正確に読める。 ② あいさつ、自己紹介、数学など、簡単な表現を用いて話したり、書いたりできる。 ③ 「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30334	S	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		韓国語入門・初級				
授業の目標概要		韓国語を本格的に身につけようとしている方を対象にした授業です。S・A 両セメスターの受講を前提として授業を進め、通年で初級レベルの韓国語力を確実に身につけることを目標とします。 S セメスターは発音や文字等、入門レベルから始め、初級レベルの学習項目の前半部分を学びます。 なお、履修にあたっては、必ず UTAS の授業計画、履修上の注意、学習上のアドバイスを確認してください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30335	S	韓国朝鮮語初級 （第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級				
授業の目標概要		本授業は、韓国朝鮮語を初めて学習しようとする学生を対象としている。S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。S セメスターでは、韓国朝鮮語の文字と発音をしっかり学んだ後、初級前半レベルの表現と語彙を学ぶ。 授業は、「韓国朝鮮語」のみで行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30889	S	韓国朝鮮語中級（演習）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		韓国朝鮮語中級（演習）TLP				
授業の目標概要		本授業は、韓国朝鮮語の初級を学び終えた TLP 履修生を対象とし、中級レベルの語彙と表現の定着と応用をはかる。具体的には、他の中級表現の授業に合わせ、さまざまな文を読む、書く、話す、聞く練習を徹底的に行う。さらにグループワークや発表、ディスカッションを通じ、場面に的確な表現を習得し、より高度な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31068	S	韓国朝鮮語中級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語中級（会話） Korean Language (Intermediate)				
授業の目標概要		韓国朝鮮語初級から中級へつながる表現と語彙を学び、日常生活の会話ができるようにロールプレイを通して生きた会話の練習を目指す。したがって、積極的に授業参加するのが前提である。 授業は、できる限り、韓国朝鮮語で行う。 This course aims to acquire the necessary skills and knowledge needed to perform their conversation better. In this course, the students will learn				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31069	S	韓国朝鮮語中級（会話）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語中級（会話）				
授業の目標概要		様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30933	S	韓国朝鮮語中級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語中級（作文）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使い、短文の作文練習から徐々にパラグラフ作文まで発展していく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30336	S	韓国朝鮮語中級（表現練習）	根本 理恵	韓国朝鮮語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（表現練習） 言葉と文化の理解を中心に					
授業の目標概要	韓国朝鮮語の初級教材を学び終えた学習者を対象とする。基礎知識を発展させることを目標に日常会話を取り入れながら語彙を増やす他、さまざまな文章に触れる機会を設けて変則活用や慣用句など、文法事項のまとめも行う。会話練習と読解練習はもちろんのこと、映画等の視聴覚教材を活用してヒアリングにも力を入れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく伸ばしたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30766	S	韓国朝鮮語中級（読解）	加藤 裕人	韓国朝鮮語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国の中学校用歴史教科書の講読					
授業の目標概要	韓国の中学校用歴史教科書を講読する。実際に韓国の中学校で採択されている教科書の講読を通じて、韓国語の文章を読解するために必要とされる基礎的な語彙や文法事項、表現等を習得するとともに、韓国語を自然な日本語に翻訳する技術を身に付ける。また、取り上げた内容について解説やコメントを付すことで、韓国・朝鮮の歴史に対する理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30297	S	韓国朝鮮語中級 （インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ一列					
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30094	S	韓国朝鮮語中級 （インテンシヴ）	朴 天弘	韓国朝鮮語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目	TLP 韓国朝鮮語 中級インテンシヴ二列					
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30972	S	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語上級（作文）					
授業の目標概要	韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、論理的な文の作成に取り組む他、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。					

総合科目　L 系列　イタリア語

イタリア語初級(演習)①	開講区分	S

授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時)。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30060	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
31114	金 3	マルコ ビオンディ	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31070	S	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 2	1年 理科
講義題目		イタリア語初級演習（理科生むけ演習）				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30767	S	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。||||			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30993	S	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30973	S	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30667	S	イタリア語初級（表現練習）	横田 太郎	仏語・伊語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級表現練習				
授業の目標概要		この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30337	S	イタリア語初級（インテンシヴ）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（インテンシヴ）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31071	S	イタリア語初級（インテンシヴ）	野里 紳一郎	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級 - インテンシヴコース				
授業の目標概要		イタリア語における基礎文法の十分な理解と練習の実践				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30091	S	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30788	S	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31214	S	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		初級イタリア語				
授業の目標概要		イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いてイタリア語の基礎文法を学びます。第1課から第4課で学ぶ初歩的な文法事項（名詞、冠詞、形容詞、前置詞、動詞・補助動詞の直接法現在）について既習の方を対象にしています。独学で学ばれた方は初回の授業時に教員にご相談下さい。|今学期は教科書の第 5 課からスタートし、初級～中級レベルの文法の習得を目指します。また文法知識のインプットのみではなく、それを使用してアウトプットできるよ				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30092	S	イタリア語中級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		Lingua italiana, livello elementare				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30974	S	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。|||			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30668	S	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio）				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ヴィデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30994	S	イタリア語中級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリア語中級表現練習				
授業の目標概要		本講義では、イタリア語でのライティング、リーディング、リスニング、スピーキングという4技能をみがくことを主目的とします。ネイティブスピーカーの講師とともに、会話や作文の練習をしながら、言語能力を高めることを目指します。受講者の希望に応えながら、様々な教材を使用してイタリア文化をテーマにした授業を進めます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30736	S	イタリア語中級（読解）	岡本 太郎	仏語・伊語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		ダイアログを通してイタリア語の表現を探る				
授業の目標概要		イタリア映画の実際の映像とスクリプトなど、生のイタリア語を教材に、現代イタリア語のさまざまな表現について学習し、その文化的背景を考察します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30934	S	イタリア語中級（読解）	藤崎 衛	仏語・伊語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリアの歴史を読みとく				
授業の目標概要		イタリア語テクストの読解力を身につけるとともに、イタリア中世史の理解を深めることもめざす。イタリア語習熟のための様々なツールも紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30935	S	イタリア語中級（インテンシヴ）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリア演劇からイタリア語に親しむ				
授業の目標概要		イタリアの演劇作品を読むことを通し、読解力、文章力、会話力を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31072	S	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリア語中級（インテンシヴ）／ Italian Language (Intermediate)				
授業の目標概要		初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30789	S	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		Facciamo un passo avanti!				
授業の目標概要		Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30768	S	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科（TLP）
講義題目		イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）				
授業の目標概要		L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico.|Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello.|La scrittura accademica è piena d			

総合科目　L系列　その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31277	S	アラビア語初級 （第三外国語）	竹村 和朗	アジア・日本研究コース	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級文法 アラビア語の基礎的な文法を解説します。1年間の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。「諺に曰く、「道を長くする者は、歩みを倍にする（من استطال الطريق ضعف مشيه）」。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31278	S	アラビア語初級 （第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語初級（第三外国語） アラビア語初学者を対象に、文字の書き方・発音から始め、初級文法を概観する。授業では、アラブ諸国の共通語である正則アラビア語（文語・書き言葉）を扱い、1年間で基礎文法を網羅し、辞書を用いて、現代標準アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31280	S	アラビア語中級 （第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級（第三外国語） 母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく文法や語彙を確認しながら進めます。自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31279	S	アラビア語中級 （第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アラビア語中級（第三外国語） 母音符号のついた正則アラビア語の読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながらアラビア語の短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31281	S	ヒンディー語初級 （第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語（初級） インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口6億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、夏学期で指定教科書の9課までを終えることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31282	S	ヒンディー語中級 （第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course					
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31283	S	インドネシア語初級 （第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	インドネシア語入門（Indonesian language for beginners）					
授業の目標概要	インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法と語彙を身につけ、基本的な読み書きができるようになることを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31284	S	インドネシア語中級 （第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	インドネシア語中級（Indonesian language for Intermediate Students）					
授業の目標概要	この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。|インドネシア語は文法が簡易であるため、長文を読むには西欧諸語とは違った技術が必要となる。そうした技術を身につけることを目標とする。|講読するテクストは新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説など、広い分野から取り上げ、様々なスタイルの文章を用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31285	S	ベトナム語初級 （第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ベトナム語入門 I					
授業の目標概要	ベトナム語を学習するにあたって基礎となる発音、文字の読み方、書き方から始め、基礎文法、簡単な会話表現を学ぶ。ベトナム語の基礎文法、初歩的な会話表現を習得することを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31286	S	ベトナム語中級 （第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ベトナム語文献講読					
授業の目標概要	ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31223	S	広東語初級（第三外国語）	倉田 明子	中国語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語（初級） 広東語は香港とマカオで第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも少なくありません。|この授業では影響力の最も大きい香港の広東語について初級レベルの習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31287	S	ヘブライ語初級 （第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること――すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30298	S	ペルシア語初級 （第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ペルシア語を読む・ペルシア語を話す ペルシア語はアラビア語の文字 28 文字に独自の文字 4 文字をプラスした、32 文字を用いて言葉を記述しています。見慣れぬ文字にわくわくしたり不安を感じたりすることは面白い体験です。|本授業では、イランのペルシア語を学びますが、アフガニスタンのダリー語、タジキスタンのタジク語などもペルシア語の兄弟言語で、一定程度の意思の疎通も可能です。||かつてペルシア語は、古い歴史や文化を知るために学習する言語でした。現在では（と言ってもコロナ前ですが）日本とイランは人の往来も多く、日本で長年暮らしビジネスで活躍するイランの人				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31224	S	セルビア・クロアチア語初級 （第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語（初級） セルビア・クロアチア語の初等文法をマスターし、簡単な会話能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31198	S	セルビア・クロアチア語中級 （第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語（中級） セルビア・クロアチア語の初等文法の学習を終えた者を対象に、読解力を身につけるための文章講読の授業を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30352	S	ポーランド語初級（第三外国語）	久山 宏一	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポーランド語初級				
授業の目標概要		ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31288	S	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		タイ語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		半年間で、タイ語の基本的な文法とタイ文字を修得することを目指します。｜辞書を使えばタイ語の新聞や雑誌を読むことができるレベルに到達することを目指す人は、A セメスターも継続して履修することを勧めます。S セメスターの履修だけでも、タイを旅行する際、簡単な会話をしたり、看板に書かれているタイ文字を読んだりできるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30998	S	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、A セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30979	S	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31081	S	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		台湾語初級 A				
授業の目標概要		「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31289	S	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	モンゴル語					
授業の目標概要	初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける 会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31290	S	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	現代トルコ語初級文法入門 1					
授業の目標概要	現代トルコ語の初級文法を習得する。S セメスター、A セメスターの通年で完結するトルコ語文法学習の前半に相当し、一年後には新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。会話の練習などは行わず、文法体系を身に付けることが中心となる。トルコ語は文法規則が厳格かつ整然としているので、最初にきちんと文法を身につけないと、簡単な文さえ作れないからである。その代わりあるところまでたどり着ければ、日本語に発想が似ているので文章読解は非常に楽になるだろう。トルコ語学習を通じて異文化に対する					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31291	S	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	トルコ語中級文献講読					
授業の目標概要	文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに 出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30821	S	古典語初級（ギリシア語） I	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語の手ほどき					
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31225	S	古典語初級（ギリシア語） I	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（前半）					
授業の目標概要	I. 目標||初級文法を一年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた文章を，辞書と文法書を使えば何とか読めるようにする．||II. 概要||S セメスターの授業の主な内容は次の三つである．||A. ギリシア語アルファベット 24 文字を覚える．|B. 名詞の格変化を覚える．|C. 名詞の格の概念を覚え，それにもとづいて短めの簡単な文を訳す．||ギリシア語アルファベットの多くの文字はローマ字と似ているので，A は一週間〜二週間かけてしっかり勉強すれば誰でも覚えられる．B は覚える量が多いので，おおむね一学期間をかけて覚え					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30890	S	古典語中級（ギリシア語） I	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		古典ギリシア語散文講読				
授業の目標概要		古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30024	S	古典語初級（ラテン語） I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ラテン語初級				
授業の目標概要		辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30519	S	古典語初級（ラテン語） II	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Grammatica Latina (2) − Coniugationes verborum|注 この授業は 2022 年度の A セメスターで始まった一年間の初級ラテン語コースの 2 学期目に当たります。すでにこの授業で使われる教科書の 1 ～17 章を勉強した学生、または同じぐらいのラテン語力を身につけている学生を対象としています。最初からラテン語を始める学生は別の教員の授業を取ってください。				
授業の目標概要		Finis huius cursus est linguam Latinam non per aliam linguam sed per illam ipsam discere.|注 この授業をハイブリッド形式で行い、対面のみの参加でも、オンラインのみの参加でも、または一部対面一部オンラインの参加でも可能です。ただし初回はオンラインのみ、最後の授業（試験）は対面のみです。|A セメスターの方法で続けます。すべての授業資料がホームページに提供されています。くわしくは下記のリンクをご覧ください。パスワード分から				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30095	S	古典語中級（ラテン語） I	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ラテン語散文講読				
授業の目標概要		初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業ではアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を第 1 巻冒頭から読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30301	S	古典語初級（サンスクリット語） I	梶原 三恵子	文学部（アジア・日本研究コース）	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		サンスクリット初級文法 (I)				
授業の目標概要		古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。S セメスターは、文法の前半部（音論、名詞・形容詞の変化）を扱う。|サンスクリット語は古代・中世インドで宗教聖典および各分野の学術書に用いられた古典語である。仏教などを通してアジアの諸地域の文化にも少なからぬ影響を与えた。また、印欧比較言語学分野においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。|授業は文法の解説と練習問題による演習				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30245	S 1	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 |（1）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （2）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （3）自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40018	S 2	日本語中級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	滑らかに話すための日本語発音 伝わりやすく自然な発音でコミュニケーションができるようになることを目標とする。また、大学での口頭発表等に必要な発音の習得を目指す。授業の概要は以下のとおりである。 |（1）リズムやアクセントなどの音韻知識を学びながら、発音練習および活動を行う。 （2）シャドーイング等の練習方法を活用し、発音学習方法を身につける。 （3）自己評価・他者評価によって自分の発音上の問題点を把握し、発音を上達させる。|				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30299	S 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読解を通じ，日本の歴史を考える|Advanced readings in Japanese history ※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする４月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。||この授業では日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40040	S 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	読解を通じ，日本の歴史を考える|Advanced readings in Japanese history ※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする４月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。||この授業では日本の歴史を題材にして書かれた小説等の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したこと				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30300	S 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その１ 授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40041	S 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その2				
授業の目標概要		授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30999	S 1	日本語上級	藤井 聖子	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		アカデミック・ディスカッション：テーマで考え議論するリベラルアーツ [1]|Academic Discussion and Active Learning in Liberal Arts for Arts and Sciences [1]				
授業の目標概要		文理横断的なテーマ関して、読解・聴解、資料収集、調査、協働談話タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、等、リベラルアーツの能動的協働活動を行う。これら一連の協働活動の中で、とりわけアカデミック・ディスカッションを通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を的確に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、ディスカッションの相互行為を円滑かつ効果的に行う力、ディスカッション談話の相互行為を通して考察を深め明確化する力				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40054	S 2	日本語上級	藤井 聖子	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		アカデミック・ディスカッション：テーマで考え議論するリベラルアーツ [2]|Academic Discussion and Active Learning in Liberal Arts for Arts and Sciences [2]				
授業の目標概要		文理横断的なテーマ関して、読解・聴解、資料収集、調査、協働談話タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、等、リベラルアーツの能動的協働活動を行う。これら一連の協働活動の中で、とりわけアカデミック・ディスカッションを通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を的確に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、ディスカッションの相互行為を円滑かつ効果的に行う力、ディスカッション談話の相互行為を通して考察を深め明確化する力				

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31082	S	言語構造論	広瀬 友紀	言語情報科学専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	言語学入門 コトバを科学する！					
授業の目標概要	私たちが普段使っていることばとはどのような知識の体系なのだろうか。音声、語の形態、文の構造、それぞれどのように整理・記述され、実際にヒトに運用されるのだろうか。違う言語の間で異なる要素はたくさんあるけれど、共通するしくみもあるのだろうか。言語学や文法について何も知らなくても言葉は使いこなせるけど、私達の頭の中の何がそれを可能にしているのだろうか。一緒にことばの不思議をさぐりましょう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30246	S	言語応用論	吉川 雅之	言語情報科学専攻	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	漢字音の歴史（南北朝から宋代まで）					
授業の目標概要	変異と変化という視点から漢字音を概観し、声調を含むその諸側面の多様性を理解する力を養います。 今学期の授業では南北朝から宋代までを扱う予定です。中でも「中古音」と呼称される体系とその資料について重点的に扱います。「中古音」についての知識を持つことは、日本漢字音の漢音を理解する上で不可欠です。 漢字音の音価を記すために国際音声記号（IPA）を用いますが、授業中には国際音声記号の基本についての解説も行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31000	S	言語態理論	逆井 聡人	言語情報科学専攻	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	文学理論への招待					
授業の目標概要	【目標】 この授業では、構造主義以降の文学理論に関する基礎的な知識を得ることを目的とする。また授業で得た理論的知識を使って、文学作品を分析し、その批評を自分の言葉で書けるようになることを目指す。 【概要】 最近の文学や文化をめぐる議論では、西欧中心の世界観から西洋以外の地域も含めた本来の意味での世界的視野の獲得へと認識の地殻変動が進んでいる。世界には様々な言語で書かれた文学作品があり、それ故に多様な文学を水平に捉えるためにはある一定の共有された語り方が必要となる。その語り方こそが、理論である。 この授業では、前半で構造主義以降の理論の流れをたどりながら分析のためのツールを、後半では文学作品の多様性、固有性を掴んでいくための姿勢を学んでいく。また、そこで得た知識を応用するために中間レポートと期末エッセイで具体的なテクストと向き合ってみる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31703	S	外国文学	日向 太郎	文学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アプレイウス『黄金のろば』を読む					
授業の目標概要	アプレイウスは2世紀のラテン語作家。後世に多大な影響を及ぼした『黄金のろば』を著わした。これは、小説というジャンルのひとつの先駆けとして考えられている。古代ローマ文学のなかでも異彩を放つ傑作ということができる。また、アプレイウスが生きた時代、ギリシア・ローマ文化圏では修辞学や弁論教育が隆盛した。いわゆる第二ソピストの時代である。また2世紀のローマ社会では、古い時代の文化に対する関心や憧憬が認められる。授業では、豊かな文化的成熟を孕む時代背景を視野に入れつつ、まずは、長く愛好されて来たこの作品の魅力を味わい、現在の我々の時代との接点も探って行きたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31701	S	外国文学	王寺 賢太	文学部	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス文学のエチュード					
授業の目標概要	この授業は、文学部・フランス文学研究室の教員がそれぞれ専門とする時代・作家・作品を取り上げて講義し、フランス文学の全貌を解説すると同時に、文学研究の方法と意義についても教養学部前期課程のみなさんにわかりやすく解き明かすことを目的としています。 人文科学は人間の探求を目的としています。その一分野としての文学（および文学研究）は、言葉なりテクストを介して、可能性としての人間を考察する点に特徴があります。哲学が概念を通じてそれを行い、歴史学が過去における人間のあり方を探るとしたら、文学は人間のあり方の持つ可能性を、概念の手前に遡り、あるいは過去の事実の枠組みを越えて探求するのです。言い換えれば、きわめて日常的に行き交う言葉の流通のなかから、まったく「想定外」の人間像を探求する。そしてフランス文学こそ、今まで、もっともその試みに務めてきた文学であるように思われます。 フランス文学は時代順にいって人文主義、古典主義、啓蒙主義、ロマン主義、自然主義、シュルレアリスム、実存主義という文芸思潮をたどり、しかもそのすべてにおいて時代の尖端をゆく作品を産み出してきました。一国文学でありながらヨーロッパ世界の精神史の流れを先取り、ないしリードしたといってよく、これをたどることによって、副産物として、世界文学への展望を容易に把握することもできます。現況はより複雑な様相を呈していて、哲学、社会学、人類学などの他の領域とこれまで以上に深く関わる形で文学が営まれていますが、まず基本を学ぶことで現在の状況への認識をさらに深めることが期待できます。 授業では、それぞれの文芸思潮のなかから、いくつかの代表的な作品を選び、翻訳の抜粋を読解することによって、その作品の魅力を説き明かす形で進められます。時代順にはこだわらず、担当教師がもっともおもしろいと思う作品を取りあげることにします。授業を手がかりに、気になる本があったらぜひその翻訳全体を読み通すことを希望します。文学の魅力と可能性を再発見する機会となることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31702	S	外国文学	浦 一章	文学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イタリア語（イタリア文学）への誘（いざな）い					
授業の目標概要	イタリア語への習熟を増すことを第 1 の目標とする。21 世紀のイタリア語を中心にして読み進めてゆく。ただ、2021 年はダンテ・アリギエーリの歿後 700 周年であったため、この詩人をテーマにした著作が多数出版された。それゆえ、ダンテと何らかの主題的つながりのあるものを教材として選びたい。また、イタリア語を作家は必ずしもイタリア人作家によって書かれるとは限らない。たとえば、ベンガル出身の女流作家 Lahiri（米国籍）は、伊語で直接創作している。伊語を学ぶ日本人には、よい刺激となろう。彼女が教材となることは動かない。 対象は、主として 2 年生で、以後初級文法を終了した学生を想定している。ただし、帰国子女であり、すでに伊語を習得しているなど、1 年生でも学習が可能な学生は歓迎する					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31705	S	言語文化論	中尾 千鶴	文学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	生成文法統語論研究					
授業の目標概要	「人間が母語を自然に無意識的に話せるようになるのはなぜか」という問いに基づき、生成文法理論と呼ばれる言語理論の基本的な考え方及び、その理論で説明できる日本語や英語の文法の特性について、再帰代名詞やその他の代名詞の特徴に焦点を当てながら論じる。身近な例文の文法性の差異に興味を持ち、それらの文の性質を理論的に説明できる能力を身に着けることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31704	S	言語文化論	長屋 尚典	文学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語の多様性から考える言語学 世界には 6000 から 7000 ほどの言語が存在すると言われるが、その構造は言語ごとに異なり、多様である。たとえば、「花子さんが（S）みかんを（O）食べた（V)」という内容を伝えるために、日本語のように SOV 語順をとる言語もあれば、英語のように SVO 語順をとる言語も存在する。さらには VSO、VOS、OSV、OVS といった語順も存在し、多様である。しかし、完全に不規則というわけでもない。実は SOV 言語と SVO 言語だけで世界の言語の 80% 以上を占めており、人間の言語に「S が V に先行する」「V と O が隣接する」という傾向があることが分かっている。このような言語の特徴は、世界の言語を幅広く観察することによって初めて知ることができる。 このような言語の多様性の問題は、言語を科学的に探求する学問である言語学 linguistics の研究課題のひとつであるが、この授業では、この言語の多様性に注目しながら、言語学という学問体系の導入をおこなう。世界のさまざまな言語の例をとりあげ、世界の言語の驚くべき多様性について学びながら、言語学とはどういう問題に取り組んでいるのかを議論する。			

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31001	S	記号論理学Ｉ（理科生）	伊藤 遼	哲学・科学史	木 1	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要		古典命題論理，古典述語論理，様相論理の統語論と意味論をさまざまな定理を実際に証明することを通じて学ぶ． これらの事柄に関する基本的な概念や証明方法に習熟することを目標とする．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31226	S	記号論理学Ｉ（理科生）	齋藤 浩文	哲学・科学史	金 5	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代形式論理学入門 現代形式論理学の基礎としての命題論理・述語論理について、自然演繹の体系を通して学び、証明の方法に習熟するとともに、意味論の意義についても理解することを目指す。時間が許せば、若干の進んだ話題にも触れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31083	S	記号論理学Ｉ（文科生）	藤川 直也	哲学・科学史	金 2	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		記号論理学の基本を学ぶ。 古典命題論理、いくつかの多値命題論理、様相命題論理、古典一階述語論理について、その統語論、意味論、タブローを習得する。上記の論理のそれぞれについて、モデルを用いた妥当性の証明、反例モデルの構成、タブローによる証明ができるようになることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31227	S	表象文化論	田中 純	表象文化論コース	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		表象文化論への複数のパサージュ 1980 年代後半に駒場（東京大学教養学部）で生まれた「表象文化論」は、個別の芸術作品から社会的・歴史的な文化変容に至るまで、広範な文化現象を分析する学術分野である。本講義では、担当教員が自著で取り上げてきたテーマを複数の通路（パサージュ）として、表象文化論の扱う諸問題の多様性を示すとともに、各テーマ間の相互関係、および、それらを貫く文化論的視座を解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31829	S	美術論	松井 裕美		火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	西洋近現代アート入門					
授業の目標概要	本授業では、西洋を中心とする近現代アートで核となる問いをそれぞれの講義の中でテマティックに扱っていく中で、芸術がいかに近現代の消費社会と関わってきたのかについて理解を深めることを目的とします。近現代アートは、それ以前の芸術との断絶という切り口から理解される傾向にありますが、実のところ、個々の作品にはそれぞれに異なる歴史的背景や同時代背景があり、単一の「歴史」や「意図」で語ることが困難な側面があります。西洋近現代美術の基本的な流れを学びつつも、一つ一つの芸術作品や美術批評を読み解くことを手がかりとしながら、解釈のさまざまな手法を学ぶことが、この授業の目標です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31696	S	美術論	増記 隆介	文学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	美術史学入門					
授業の目標概要	美術史学の入門として、日本美術史、東洋美術史、西洋美術史の各分野から、計6名の教員がオムニバス形式で講義を行う。芸術家や美術作品の調査、様式や図像、文字資料を使った検討、鑑定や作品の評価、美術館・博物館における美術展示の実際など、美術史学にかかわる様々な研究方法を概説するとともに、日本・東洋・西洋の古代から現代にいたる主要な研究トピックや国内外での研究動向を紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30353	S	映画論	韓 燕麗	表象文化論コース	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	映画を読むこと、語ること					
授業の目標概要	映像表現の基本的な概念について学ぶ。 映画を詳細に分析するのに役立つ原則を習得させることが目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31084	S	演劇論	河合 祥一郎	表象文化論コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	『ロミオとジュリエット』論					
授業の目標概要	「ロミジュリ」表象の問題をベースにしつつ、何の予備知識もない人にもわかるように、哲学の問題や演劇の実践に触れつつ、『ロミオとジュリエット』という作品の核心に迫る。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31688	S	性の政治 I	羽生 有希	教養教育高度化機構	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　クィア理論

授業の目標概要　この講義では、フェミニスト・クィア・スタディーズにおける基本的な概念やトピック、議論を概観する。この際、とりわけインターセクショナルな分析の重要性に焦点をあてる。
そうすることで、ジェンダーやセクシュアリティが私たちの生活にいかに密接に関わるかを理解し、フェミニスト・クィア・スタディーズの視座から文化的事象を分析できるようにする。
具体的な到達目標は以下の通り。

・フェミニスト・クィア・スタディーズにおける基本的な概念やトピックを理解し、現代文化を批判的に分析する
・社会規範に対する批判的な姿勢を身に付ける
・広義の社会正義にコミットするための土台を作る
・多様性の重要性を意識しつつ、また、その理念が現実化されていない現況を批判的に考察しつつ、その名のもとで見えなくされる特定の存在や身体について考える

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30247	S	比較文化論	佐藤 光	比較文学比較文化コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　比較文学比較文化研究へようこそ

授業の目標概要　比較文学比較文化とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察し、文化研究へ広げていく学問です。この授業では比較文学比較文化の研究事例を（1）英文学と出会った日本、（2）日本と出会った英文学、（3）アダプテイションの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学と文化をあわせて考える実証研究の事例集です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31796	S	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　近代日本における出版・読書文化の大衆化

授業の目標概要　近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31697	S	比較思想	八尾 史	文学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　初期仏教の聖典とその思想

授業の目標概要　仏教がインドで誕生してから数世紀を経て、今日一般に初期経典あるいは原始経典とよばれる聖典群が成立してきた。これらの経典の言葉ははるかな時空間を超えて読者に訴えかける力をもつ一方で、当然ながら古代インド特有の思想的、社会的文脈を背負ってもいる。この授業では、インドの宗教である婆羅門教やジャイナ教との比較を通して、初期経典の思想を解説する。さまざまな原典を邦訳を通して紹介するとともに、仏教要語をパーリ語やサンスクリット語といった古代インド言語に即して解説したいと考えている。古代の思想について自ら考え理解する力を養うことがこの授業の目標である。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31698	S	比較思想	渡辺 優	文学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	神秘主義再考——もうひとつの知の系譜学					
授業の目標概要	授業の目標：「神秘主義とは何か」あるいは「「神秘主義とは何か」とは何か」という問いについて理解を深めること。同時に、宗教思想研究に求められる基本的なものの考えかたを養うこと。 授業の概要：19 世紀以降、「宗教の本質」にアプローチするうえでの特権的な主題とみなされ、数多くの思想家を惹きつけてきた一方、近代の合理主義的な知の覇権のなかで「怪しい他者」として周縁化されてもきた「神秘主義」の、複雑多岐な歴史を概観する。とくに、西洋近代に確立してくる体験中心主義的な神秘主義理解や、神秘主義のジェンダー化されたイメージを再考しながら、従来看過されてきた別様の知脈を神秘主義の歴史のなかから掬いあげることを試みる。 神秘主義は宗教の本質に直結しているという理解は今でも根強いだけに、神秘主義を問い直すことは私たちの宗教理解を問い直すことにもつながるだろう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31699	S	比較思想	菊地 達也	文学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	イスラム教の形成					
授業の目標概要	2003 年のイラク戦争以降、中東における地域紛争がシーア派対スンナ派という宗派対立の枠組みで語られるケースが増え、イランを中心とする諸国家とサウディアラビアなどの国々との間の国家対立に宗派の問題が重ね合わせられることが増えた。このような単純化された枠組みが信用に値するものでないことはすぐに分かるだろうが、シーア派とスンナ派の宗教上の争点は何か、その争点が政治とどのように関わり合っているのかについてはそれほど知られているわけではない。 本授業では、ユダヤ教、キリスト教という同系統の宗教と比較しながら、預言者ムハンマド没後に生まれた幾つかの争点を巡る思想史を追い、それらの争点がシーア派、スンナ派といった宗派の形成にどのように関わっていったのかを分析し、ユダヤ教、キリスト教と一線を画すイスラム教思想史の特徴を明らかにする。その上で最終的には、最初期のイスラム思想と現代のそれとの異同を明確にすることを通じて、現在のイスラム教イメージを相対化する視座を獲得してもらいたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30452	S	経済思想史	高見 典和	経済・統計	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	経済社会に対する理解の変遷					
授業の目標概要	経済や社会がこれまでどのように論じられてきたかについて概説します。アダム・スミスやケインズといった経済学者の名前は，ほかの経済学の講義でも言及されますが，より詳細に，過去の著名な思想家の人物像や学説を紹介します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30248	S	社会思想史	森 政稔	社会・社会思想史	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス革命とその後の時代の社会思想: 民主主義と独裁、政治と社会の関係をめぐって					
授業の目標概要	この社会思想史の授業では、過去の年度ではヨーロッパの近代形成期を主対象として、先立つ古代および中世の思想からの影響関係、16 世紀前半のルネサンスや宗教改革、ホッブズやロックら契約説が形成された時期、18 世紀西欧における啓蒙思想の展開と文明化の諸思想、アメリカの革命を順次扱ってきた。今年度はフランス革命とその影響を受けた 19 世紀の社会思想を広い観点から取り上げる。フランス革命が社会思想史的にも最重要な事件であることは疑い得ないが、その意義の評価は今なお深刻な論争の対象となっている。この革命は人民主権、民主主義、普遍的人権など今日の重要規範の起源をなすとともに、ナショナリズムの本格的な成立の起点でもあり、また残酷な独裁もここに始まっていると言える。このような多様な面を有する革命の諸相、そしてそれを解釈する政治的立場や枠組みの対立点を検討することにより、革命によって本格化して近代の秩序とは何であったのかを明らかにすることを目的とする。					

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30249	S	国際関係論	石田 淳	国際関係	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	戦争と平和の国際政治学					
授業の目標概要	戦争と平和の問題を中心に、国際政治の概説的講義を行う。 ウクライナ戦争など、時事問題にも触れるが、決して時事解説ではない。国際政治の理解の仕方を開設する。 この講義では、関係者の同意に基づく価値配分として《政治》をとらえる（価値配分アプローチ）。そのうえで、この同意を確保する過程を《交渉》、交渉の結果として一定の基準について構成員の間に同意が成立している状態を《秩序》と概念化する。 このように定義された政治、外交交渉、国際秩序をキーワードとして講義を進める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31085	S	国際関係論	湯川 拓	国際関係	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	国際関係について理論的に考える					
授業の目標概要	国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。 なお、講義期間中に一度、全員に授業内容についての質問の提出を求める。 これが成績の 10%を占める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30354	S	国際関係史	川島 真	国際関係	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	東アジアの国際関係史					
授業の目標概要	19 世紀から 21 世紀に至る東アジアの国際関係史について講義をおこなう。主に中国外交史、中国外交について述べるが、適宜、日本や台湾の視点を取り入れ、朝鮮半島、東南アジアも視野に入れる。また、適宜、中国、台湾、日中、日台関係などについての現状分析も行う。現代から過去を振り返るのではなく、個々の時代の背景と政策選択について考察し、歴史的な連続性、変化・変容を見出す。高等学校では制度的に世界史必修ではあっても、十分になされていないこと、また理系の学生も参加することを考慮し、基礎的な事項に触れながら講義することをできる限り心がける。この講義を受講することにより、東アジア国際関係史の基本的な内容とともに、その歴史的な継続性と変容、さらに現在起きている東アジアの諸問題の原因や背景について理解することができるようになることを期待したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30355	S	現代国際社会論	遠藤 貢	国際関係	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　現代アフリカと国際関係

授業の目標概要

趣旨

国際社会の中において、(主に独立後の）アフリカ諸国が抱えてきた諸問題を俯瞰するための多角的な視点を提供する講義等を行う。アフリカ諸国の国家の特徴、政治経済の論理、国際社会、あるいはグローバル化との関わり、多発する紛争とその対応や紛争後の課題などの問題を検討する。また、これらの作業を通じて政治学、ならびに国際政治の理論に提起されてくる諸問題について考察を加える。

アフリカ大陸は、現在大きな変貌を遂げている地域である。急速な人口増加や経済成長といった要因とも連動する形で、今後国際的にも大きな課題を提起する地域として位置づけられる。。日本も、アフリカ大陸への関心を強めており、2016 年 8 月末には、第 6 回アフリカ開発会議（TICADVI）が初めてアフリカ大陸（ケニアの首都ナイロビ）で開催され、2019 年 8 月末には横浜で第 7 回アフリカ開発会議（TICADVII）が開催され、2022 年 8 月にはチュニジアで第 8 回アフリカ開発会議（TICADVIII）が開催された。コロナ禍のもとでの格差問題や、ロシアによるウクライナ侵攻による食糧供給の停滞などで、一部地域では食糧危機が迫っている。

そこでこの授業ではアフリカという地域を通して、改めて現代における国際社会を再考する機会を設ける。授業実施方式については対面・オンライン併用型 A とし、初回のみをオンライン実施し、2 回目以降については対面で実施する。

アフリカが抱える問題の検討を通じて、国際社会が直面している課題についての想像力を涵養し、今後の対応を考えるための構想力・想像力を喚起することをねらいとする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31086	S	現代国際社会論	榎本 珠良	国際関係	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目

授業の目標概要

【目標】

- 1990 年代以降の開発と安全保障の融合や「人間の安全保障」概念が前提とする考え方およびそれらに基づく実践事例について理解したうえで、それらの課題やジレンマについても考察することができる。
- 2010 年代後半以降（とりわけ 2020 年以降）に表面化した、開発と安全保障に関連する業界に対する批判や再考の動きを把握し、その展望を考察することができる。

【概要】

冷戦終結後の国際政治学や国連等での政策論議においては、既存の「安全保障」概念が見直され、「人間の安全保障」といった概念が提示された。同時に、主に「南」における「新しい戦争」や暴力が問題視され、開発上の諸問題は戦争や暴力の発生リスクを高める要因とみなされた。研究や政策論議における開発と紛争予防や平和構築との境界線は曖昧化し、開発問題と安全保障問題は不可分のものとみなされていった。

本講座では、こうした認識に基づいて行われてきた研究や、条約等の合意形成、そして個々の現場での取り組みを紹介し、研究と実践の双方において生じた成果やジレンマ、課題を考察する。

とりわけ、講座の後半では、近年の#MeToo 運動や新型コロナウイルス感染症をめぐる状況、Black Lives Matter 運動の展開、ロシアによるウクライナ侵攻などを背景に生じた、開発・安全保障関連業界に対する批判や再考の動きに焦点を当てる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31087	S	平和構築論	宮下 大夢	地域文化研究専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　平和構築の理論と実践

授業の目標概要

21 世紀の世界では武力紛争を起因とする深刻な人道危機や大規模な難民の発生が問題となっています。本授業では武力紛争の原因やその影響に関する基礎的な理解を深めます。そして、人権、民主主義、人間の安全保障、保護する責任といった規範的概念をキーワードに、平和構築の理論と実践に関する知識を習得します。その上で、武力紛争の影響を受け、脆弱な立場に置かれている人々の人間の安全保障を実現するための方法について考察します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30250	S	地域文化論 I	川喜田 敦子	地域文化研究専攻	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ研究入門					
授業の目標概要	日本にとって、ドイツという国は特別の意味をもちます。日独関係が始まった 19 世紀後半以来、日本の近代化の過程において、学術的な思考とそれを支える概念が形作られるにあたり、ドイツの学術の影響は決定的な意味をもちました。 ドイツが歴史的に果たしてきた役割、また今日の国際社会において現実に果たしている役割に鑑みて、日本の人文社会科学の諸学問にとって、ドイツは今日なお重要な関心の対象でありつづけています。ドイツを知らずしてヨーロッパを理解すること、近現代の世界の動きを理解することはできないでしょう。また、世界でも屈指の研究環境をもつ大学、研究所等を多く有するドイツは、人文社会科学のみならず、自然科学、工学、医学などありとあらゆる領域の研究者が研鑽を積む研究の場としての意味をもっていることにも注意を払う必要があります。 研究対象としてのドイツに関心がある人も、研究の場としてドイツを選択肢に入れられるかもしれないと考えている人も、大学生の一般常識としてドイツについて最低限のことを語れるようになりたいと思っている人も含めて、今日のドイツについて分かっておきたいと考えるあらゆる人のために、この授業では、後期課程地域文化研究分科「ドイツ研究コース」およびドイツ・ヨーロッパ研究センター（DESK）の教員 4 名が、それぞれの専門（歴史学、政治学、文学・思想）を生かして、近現代ドイツのよりすぐりのトピックを解説します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30980	S	地域文化論 I	MOORE Nicole、市川 紘子、橋川 健竜	地域文化研究専攻	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	AUSTRALIAN STUDIES: DEFINING MOMENTS					
授業の目標概要	This course provides a brief introduction to Australian history and society. It uses a selection of defining moments from Australia's past and present to explore the formation of the nation and its peoples through time. The course aims to equip students with an expanded understanding of the historical shifts, social issues and cultural identities that have combined to make up contemporary Australia. Students will engage with primary historical records, cultural texts, oral histories, contemporary scholarship and audiovisual and digital materials of many kinds, to provide varied exposure to Australian material. The course provides an English-language teaching environment designed to encourage development of learning, reading and writing skills in English, as well as an experience of Australian educational styles. Students who complete this course should have: •gained an introduction to the historical formation of contemporary Australia •gained an introduction to issues and identities that define Australian society •become familiar with some interdisciplinary approaches within the field of Australian Studies •developed their skills in learning, reading and writing in an English language context.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31088	S	地域文化論 I	藤崎 衛	地域文化研究専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	教皇とコンクラーベの歴史					
授業の目標概要	地域文化論としてヨーロッパの歴史的理解を試みる。ヨーロッパの社会と文化を理解するうえでローマ教皇の存在は無視できない。中世においては世俗君主と肩を並べるほどの政治的影響力を行使したと言ってよく、現代の国際政治においても教皇の果たす役割は無視することはできない。ヨーロッパの歴史における宗教と政治を読みとくための鍵である教皇はどのように選ばれるのか。また、教皇の死はどのような意味を持つのか。選出や死に際してどのような儀礼や象徴物が用いられ、それらはどのような意味を帯びるのか。これらを解明するために古代から現代にいたるまでの時代を対象として、「教皇とコンクラーベの歴史」をひもとく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31293	S	比較地域史	飯田 巳貴	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
商業の歴史からみる近世の東地中海域と西アジア

授業の目標概要
＜授業の目標＞
東地中海域および西アジアの交易について、近世を中心に主に繊維製品を軸に学び、自然条件・政治・慣習など様々な要素と商業の相互作用について考察することで、総合的な視点で社会を見る目を養うことができるようになる。
＜授業の概要＞
アジア、アフリカ、ヨーロッパの三大陸に囲まれた地中海域は、周辺の陸地とともに、古代から、モノ・ヒト・かね・情報が活発に行きかう場所であり、オリエント、ギリシア、ラテン、アラブ、ユダヤ教、キリスト教、イスラームなど多様な文化や社会が互いに影響しあって重層的な世界が形成されてきました。商業は個人や集団、地域間の「差異」を前提とすることから、必然的に外部の人間との結びつきと共存が不可欠です。地中海世界でも、異なる背景を持ち文化・社会・国家などの境界を超えて動く商人が交流の担い手となり、モノやヒトの往来によって文化や技術も伝播しました。16 世紀以降、世界商業の成立に伴い新たな商業圏が誕生し、プレーヤーが増加しますが、地中海域もまたそれらと密接に関わりながら独自の商業圏を形成しました。オスマン帝国の領土拡大、喜望峰ルートの開拓、世界商業の誕生、北西欧諸国の地中海交易への本格的参入などは、地中海商業にどのような影響を与えたのでしょうか。この授業では、商業、特に繊維製品などモノの交流・交易に関する歴史を通じて、異文化の共存と対立、マイノリティーの活動、海賊集団、ファッションの変遷、物質文化の伝播など、近世の東地中海地域でみられた交流の諸相について考えます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31292	S	比較地域史	田中 創	歴史学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
ローマ帝国の衰亡と古代末期世界

授業の目標概要
西ローマ帝国が 476 年に滅んだ一方で、東ローマ帝国はその後も 1,000 年近く永らえたというのが西洋古代世界を締めくくる上での一般的な説明である。しかし、東西の歴史的変容の違いをどのように描き出すか、あるいは帝国が滅びるとはどういうことかといった点は、長年来議論の対象となってきた歴史上の難問である。本講義ではこの解決の難しい問題とその長大な研究史を真正面から扱うわけではないが、このような歴史的難問を内包する紀元 4−6 世紀頃の東西地中海世界の歴史に着目し、東西ローマ帝国それぞれが歩んだ異なる道のりを概観する。そして、いくつかの個別的な事象の検証を通じて、歴史に対する視座を豊かにすることを目指したい。世界史の記述がどうしてこのような形になっているのか？ イスラームとキリスト教はどのような社会背景の中に成り立ったのか？ この時代の文化が現代にどのような影響を及ぼしているのか？ このような数々の一般的な問いに取り組む姿勢をはぐくみたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31689	S	人種とジェンダー	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
脱帝国主義／植民地主義のために——東アジアにおけるレイシズムと〈ヘテロ〉セクシズムの交差

授業の目標概要
【概要】
2020 年 5 月 25 日、アメリカで白人警官が黒人男性のジョージ・フロイドを窒息死にいたらしめた事件に抗議して、全米で Black Lives Matter（BLM）を訴える抗議デモが再燃しました。日本でもさまざまな媒体が BLM をとりあげて話題になりましたが、「(アメリカとちがって）日本にレイシズム（人種差別）は存在しない」とする主張も SNS で広く見られました。日本に「レイシズムはない」のでしょうか。あるいは「日本にレイシズムは存在しない」とする言説は、いかなる歴史的・社会的文脈において形成されてきたのでしょうか。そもそもレイシズムとはどのような種類の暴力なのでしょうか。

この講義では、はじめにレイシズムとそれに関連するいくつかの重要な概念（エスニシティ／ネーション／ナショナリズム）の意味や成り立ちを近代国民国家と関連づけて説明します。次に、〈ヘテロ〉セクシズムについて講義します。そのうえで、日本を事例として、近代化の過程で「人種」や「民族」といった言説がどのように活用されてきたか、それが〈ヘテロ〉セクシズムと結びついて帝国の建設や植民地主義といったプロジェクトにいかなる貢献をもたらしたか、さらにはこれらの歴史が現代の東アジアや日本社会にどのような影響を及ぼしているかを批判的に考察します。

【目標】
レイシズムや〈ヘテロ〉セクシズムとそれに関連する重要な概念について基礎的な知識を習得すること、東アジアの帝国主義／植民地主義の歴史を学ぶこと、そのうえで脱帝国主義／植民地主義のプロジェクトへの参与を促します。すなわち現代日本におけるレイシズムやナショナリズム、歴史修正主義といった諸問題を歴史的文脈に位置づけて批判的に考える力を養うことを目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30096	S	日本文化論 I	恋田 知子	国文・漢文学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		お伽草子を読み解く 14 世紀から 17 世紀にかけて盛んに制作された短編の物語群であるお伽草子（室町物語）の絵巻や絵本を鑑賞する。『源氏物語』に代表される王朝物語が貴族の恋愛を中心としたのに対し、お伽草子では、貴公子や姫君はもちろん、武士や庶民、芸能者・宗教者、神仏や異類にいたるまで、物語の主人公となって、都だけでなく、地方や外国、竜宮や地獄などの架空世界において、生き生きとした活躍を見せる。奇想天外な物語は絵とも結びつき、素朴な絵本や豪華な絵巻に仕立てられ、印刷出版の普及によって広く流通してゆく。 本講義では、各作品の形成と構造、本文・挿絵の表現の特色、背景にある信仰や文化など、多角的な視点からお伽草子を読み解く。中世の説話や芸能、絵画資料なども視野に入れながら、現代アニメの源流や日本人の精神文化を探り、お伽草子の特徴と魅力に迫る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30669	S	日本文化論 I	黒川 真理恵	国文・漢文学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』の音楽 歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』を題材に、歌舞伎で用いられる音・音楽への理解を深めることを目標とする。 はじめに『仮名手本忠臣蔵』の作者や成立の背景、段構造を学び、次に各段における歌舞伎音楽の特徴を学び、最後に『仮名手本忠臣蔵』の及ぼした影響や流行歌について考察する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30356	S	日本文化論 II	島田 英明	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古代・中世日本思想史概論 日本の文化や思想に絶大な影響を与えた仏教を中心に、この国の古代・中世思想史を概観する。履修者は、①当該時期の歴史や文化に関する基礎教養を得ること、②日本思想や日本文化につき原理的考察を深めること、③単なる懐旧やエキゾチシズムとは異なる過去との付き合い方を学ぶこと、を期待できる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30251	S 1	日本語日本文学 I （理科生）	品田 悦一	国文・漢文学	月 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		珠玉の『万葉集』 『万葉集』4500 首より、とびきり味のある歌を見つくろってお届けする。キャリア 40 年の品田シェフが腕によりをかけて、素材の持ち味を最大限に引き出す調理法を披露するから、どうぞご堪能あれ。よい歌とそうでもない歌の違いが分かるようになればしめたもの。つまり違いの分かる大人になることが目標だ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30357	S	日本語日本文学 II	矢田 勉	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		仮名による日本語表記史・文章史（上代～中世） 日本語史は、特に書記言語に関してきわめて多彩な様式を成立させてきたことに特徴がある。 本講義ではそのうち、上代から中世に至る、仮名による日本語表記史および文章史を扱う。 （漢字・漢文による日本語表記史・文章史は A セメスター開講の「古典日本語」で扱う予定なので、関心のある者は併せて受講されたい） 具体的な資料読解を通じて、日本語仮名表記史・文章史の多様性を理解し、ある程度まではその読解能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30792	S	西洋古典学	筒井 賢治	地域文化研究専攻	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ギリシア・ローマ文学				
授業の目標概要		Greek and Roman Classics ヨーロッパ系文化の基礎をなすギリシア・ローマ古典文学を紹介する。 ホメロスとウェルギリウスを中心とし、適宜他の作家・作品にも触れる。 授業資料は ITC-LMS もしくはプリントで配布する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31295	S	歴史社会論	後藤 はる美	歴史学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ブリテン革命と近世ヨーロッパ				
授業の目標概要		1649 年の出来事を何と呼ぶか。これはイギリス史（世界史）の大問題である。高校世界史で長らく採用されてきた「ピューリタン革命」は、英語圏では使われなくなって久しい。 本講義では、近年注目を集めている「三王国戦争」としての「ブリテン革命」論を出発点に、ブリテン諸島の人びとが 17 世紀なかばのこの激震をどう生きたかを、広く近世ヨーロッパ史のなかで再検討する。その際、国制の転換といった政治史だけでなく、文化史・社会史的な広がりや、Brexit に揺れる現代社会における連合王国の位置づけにも目配りし、過去と現在を歴史的に考える目を養うことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31294	S	歴史社会論	前田 弘毅	歴史学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		近世帝国としてのサファヴィー朝イラン 海・陸・境域				
授業の目標概要		サファヴィー朝イラン（1501 年―1736 年）の画期であるアッバース一世（在位 1587－1629 年）の治世に焦点をあてながら、特に近世におけるユーラシア秩序再編について考察することで、ユーラシア史を構造的に理解することが出来るようになる。 遊牧帝国かつシーア派教団国家としてのサファヴィー朝の出発点を確認した後、アッバース 1 世によるイスファハーンを結節点とした国土改造と軍事行政制度等の統治体制の変革を検討する。その上で、改革の担い手となったコーカサス出身「王の奴隷」集団について、政治的・文化的・宗教的「境界」を超えた集団の観点から捉え直す。ペルシア語およびジョージア（グルジア）語史料等についても適宜紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31296	S	近現代史	藤井 豪	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		朝鮮近現代史				
授業の目標概要		開港から植民地化と独裁を経て民主化に至るまでの（南北）朝鮮の近現代史を政治史、社会史などを中心に学ぶことで、現在の南北朝鮮を理解するための基礎を作ることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31089	S	近現代史	野口 久美子	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近現代史：ネイティブ・アメリカンから見るアメリカの歴史 この講義は、アメリカ合衆国の歴史をネイティブ・アメリカンの視点から学ぶことを目的とします。その過程で、先住民の排除と統合、白人至上主義、黒人奴隷制度、環境正義、フェミニズム運動、大衆文化といった現代アメリカを理解するための重要なテーマを取り上げます。 1960 年代以降、アメリカ史を再考しようとする動きがネイティブ・アメリカンの中から活発化してきました。それは「リベラルなアメリカ像」に異議をとなえ、「セトラー・コロニアリズム国家」としてのアメリカの歴史をあぶりだそうとする試みでした。この授業では、現代の私たちの問題でもある「国家史」をどう描くか、（例えば、わたしたちは先住民族アイヌをどのように描いてきたか）の課題を問い、「近現代史」そのものに対する考察を深めてほしいと思います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31298	S	歴史と文化	井坂 理穂	歴史学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近現代のインド社会における宗教・信仰 この授業では、近現代のインド社会におけるさまざまな宗教・信仰のあり方や、その歴史的変遷を検討する。神々への信仰がどのようなかたちで行われていたのか、宗教・信仰をめぐりどのような論争や事件が起きていたのか、異なる宗教コミュニティ間での摩擦や対立はどのようにして生じたのか、政治権力は宗教・信仰に関してどのような政策をとっていたのかを、具体的事例とともに説明する。人口規模の大きいヒンドゥーやムスリムの内部の多様性や、キリスト教、シク教、仏教、ジャイナ教、ゾロアスター教、ユダヤ教その他の宗教を信仰する人々の存在にも留意しながら、インド社会のなかでこれらの多様な宗教コミュニティが互いにどのような関係を築いてきたのかを、その他の地域の事例とも比較しながら考察する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31297	S	歴史と文化	長谷川 香	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	儀礼空間から読み解く皇都・東京――都市・建築史の視点から 「皇都」とは「天皇の住む都。天子の都。」を意味します。今日では、東京が「皇都」と形容されることはほとんどありませんが、近代に入り、東京奠都によって江戸城が皇居とされて以降、今日にいたるまで東京は「皇都」であり続けています。 この授業では、都市・建築史の観点から、そのような近現代における「皇都」としのて東京の側面を読み解きます。具体的には、都市を舞台とした国家や皇室に関わる儀礼に注目し、その儀礼空間（儀礼のための建築や会場、さらには皇居や御所から会場にいたるまでの経路）の分析を通して、近現代における天皇制と都市・建築の関係性について考えます。 授業の前半では明治から昭和戦前・戦中期、後半では戦後も含めて扱います。 都市や建築の具体的な「空間」の分析を通して社会や政治を読み解く都市・建築史の手法を学び、歴史的な観点から今日の都市や建築を理解することを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31700	S	世界史論	島田 竜登	文学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　近代世界とアジア・日本

授業の目標概要　本講義では、16 世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える講義を展開します。15 世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展しました。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの住む社会を生み出していったのです。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中でグローバル・ヒストリーだけでなく、東洋史や西洋史、日本史といった歴史学の諸分野の意義を考えてみたいと思います。
本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとすることに関心のある学生にも有意義なものとなるでしょう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30026	S	文化人類学 I	関谷 雄一	文化人類学	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　文化人類学入門 （Introduction to Cultural Anthropology）

授業の目標概要　本講座は文化人類学に関心のある学生向けに、同学問の特色、史的経緯から現代の展開そして残されている課題や今後の可能性に至るまでを、基礎的な説明を中心に講義を行ってゆく。どちらかというと初学者向けの内容となるが、既に関心があり、自己学習をしている者にとってもコースワーク（毎回のリフレクションペーパー等）を通してさらに理解を深められるような工夫もしていきたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30358	S	民族文化論	塚原 伸治	文化人類学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　現代民俗学

授業の目標概要　民俗学と聞けば、古くさい文化について扱う学問、あるいは古いものを穿鑿する学問という印象があるかもしれない。しかし、実際の民俗学は近年大きな変化のただ中にあり、私たちが生きる現代社会や人びとの日常について探究する学問へと変貌しつつある。このような新しい民俗学の研究動向をここでは現代民俗学と呼んでおこう。
とはいえ、新しく生まれ変わりつつある民俗学も、これまでこの学問がたどってきた歴史の影響下にあることを忘れてはならない。そこで本講義では、あえて民俗学の最古の研究対象のひとつでもある祭り／祭礼をとりあげ、その現代的状況に触れながら、21 世紀における民俗学を構想する。民俗学の長年にわたる研究蓄積と近年の研究動向の間を往復することで、民俗学のものの見方についても適宜概説する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31090	S	現代文化人類学	津田 浩司	文化人類学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　フィールドワーク論

授業の目標概要　何某かが生起している現場に身を置きつつデータを収集し、そこから新たな知見を得て思考を鍛えていくことの重要性は、今や人文学・社会科学・自然科学の多くの分野で指摘されている。文化人類学は、まさにそうした学的営みとしてのフィールドワークを方法論の支柱に掲げてきた学問分野である。
しかしながら、他の学問分野でフィールドワークの重要性が強調されるようになったのとは裏腹に、1980 年代以降のいわゆる「ライティング・カルチャー（Writing Culture）」ショックによって、文化人類学分野においては、エスノグラフィ（民族誌）を書くこと、およびその前提としての(かつそれと不可分な営みとしての)フィールドワークをすることに、より反省的であることが求められるようになった。とはいえ、エスノグラフィを書くこともフィールドワークをすることも、人類学の主要な方法論であることには変わらない。
本授業では、フィールドワークに関する基本的な論点を整理することを通して、改めて人類学的フィールドワークとは何かを初歩から考えたい。

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30359	S	法と社会	高橋 信行	法・政治	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　法と社会―コロナ危機と法

授業の目標概要

本授業では、「コロナ危機と法」を主題として、コロナ危機に付随して生じた様々な法的問題を取り扱う。その趣旨は以下の「授業の目標・概要」のとおりである。

2019 年末から始まった新型コロナウィルス（Covid-19）の感染拡大により、様々な社会問題が生じており、それに付随して法的問題も増え続けている。典型的には、人々の外出を抑制するために罰則付きの禁止命令を発することの憲法上・法律上の問題を挙げることができるが、それに限らず、感染者・濃厚接触者のプライバシー保護の問題や、ワクチン接種による副作用被害の救済問題、飲食店等に対する休業命令と損失補償といった点である。

本授業では、これらのテーマについて解説を加えるが、前期課程科目としての特性上、法学を専攻することを予定していない者にも十分理解できるように、前提知識の説明から始める。例えば、「休業要請と損失補償」であれば、まずは憲法 29 条 3 項等の求める損失補償制度について説明した上で、コロナ危機で生じた新しい問題を取り上げることを予定している。また、「感染症対策における国と地方自治体の役割分担」であれば、憲法第 8 章の定める「地方自治制度」の概要を説明してからコロナ危機に関する問題をとりあげる。このように、法学に詳しくない者にも十分理解できるように配慮するため、授業の全てがコロナ問題に費やされるわけではないことに注意してほしい。

また、2021 年度（令和 3 年度）から始まる新しい授業である上に、関連する法律が頻繁に改正されたり、新しい判例が出たりすることも予想されることから、いわば「走りながら考える」授業となる。そのため、準備が必ずしも万全でないままに授業をすることもあり得るが、この点は予め容赦してほしい。

また、コロナ危機は民法や刑法、労働法といった様々な法分野に関係するが、担当者は行政法を専攻する研究者であるので、主として公法（憲法と行政法）に関する法的問題を取り扱うので、本授業でカバーできる範囲はコロナ危機に関する法的問題の一部分にすぎないことにも注意してほしい。

なお、本授業では毎回予習課題を提示するので、受講生は必ず教材を熟読して予習課題に解答してから授業に参加することが求められる。詳細については初回のガイダンス時に説明する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31228	S	日本国憲法	福岡 安都子	法・政治	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　教養としての憲法

授業の目標概要　法学を必ずしも専攻しない学生も対象に、「日本国憲法」の基本的原理を、その歴史的背景にも配慮しつつ講義する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31692	S	現代と法	白石 忠志	法学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　現代と法

授業の目標概要

法学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、法学部の教員のうち 13 名が、1 人 1 コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。

法学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2 年生も歓迎しますが 1 年生を念頭に置いて進めます。

講義担当者は、それぞれ、憲法・民法・刑法・国際法・民事訴訟法・労働法・租税法・商法・刑事訴訟法・知的財産法・競争法・中世教会法史を専門としていますが、必ずしも専門科目の枠にはとらわれず、自由に講義をする予定です。

詳細は ITC-LMS で知らせます。

第 1 回については ITC-LMS の「オンライン授業情報」に書き込みます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31806	S	現代社会論	開沼 博	社会・社会思想史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　現代社会論入門 「白書」と「メディア」から読み解く現代社会

授業の目標概要

◯本講義の目的

現代社会とはいかなる社会か。その秩序はいかに可能になり、また変更されようとしているのか。
この根本的な問い、様々な解が存在し得る問いに自分なりに一定の答えを与え、これから社会に大きな変化が訪れた時にもそれを解釈するための「自分の中の軸」をつくることが本講義の目的です。

（1）現代社会を俯瞰的に把握するために、社会を構成する諸領域のおさえるべき事実を理解する（2）その過程で一定量の情報を短期間で自らの知識とする経験を反復する（3）諸領域を越境しながら思考することで現代社会に共通する課題とそうではない課題とを峻別する、という3点を繰り返す中で、受講生各々が独自の視座を得ることを目指します。その際には、常にメディアにある情報を横目にいれながら社会と個人の関係とを意識します。

現代社会とは何か。その根本に何があり、どんな特異性が存在するのか。その全体を見渡すことはますます難しくなっています。
個人それぞれが自らの見える世界の内部に閉じこもり、またそれを加速するよう社会構造・情報技術等も高度化している。「それならそれで良い」と意識的に選択しているならまだ良いが、おそらくそうではない。多くの人は情報過多の渦の中に巻き込まれるに身を任せ、無意識のうちに狭い世界に引きこもりつつ、可処分時間を「自分ではない何か」に奪われ、休み無く走らせられ続ける感覚に疲弊している。
未来への答えなき不安と期待値の低さ、現在の幸福と最小化・最適化された不満。その中であえて立ち止まり、自分と社会の足元・現在地を確認しなおすことに、いま大学で学ぶことの意義の一端はあるでしょう。

受講にあたって、文理、所属・専攻、関心、進路の希望等々は問いません。

◯本講義の進め方

上記の目的に向け、本講義では中央省庁が刊行する白書を課題文献として、受講生にはその読解を前提に文書を作成し、議論する、という作業をしてもらいます。その際、常に白書の内容に関連するメディア上の情報を踏まえながらのアウトプットを積み重ねます。
具体的には、課題文献を読んで各自のリアクションペーパーを作成した上でグループディスカッションをする「GD回」、全体討議をしレポートを作成する「全体討議回」を講義時間の中で交互に設定し進めます。前後半、それぞれの終わりに研究ノートを作成する「まとめ回」もあります。
リアクションペーパーとレポートでは、メディア上に存在するニュース等関連情報を参照し、白書に示された現状や指針と、メディア上の情報との双方を批判的にとらえるようにしてください。

上記の「本講義の目的」を達成するためには、歴史的アプローチ（ex.過去の動向を大局的に捉え典型的な構造やパターンを抽出して考える）、理論的アプローチ（ex.個別事例を普遍的に説明できる概念や規則・式を参照したり記述したりしながら考える）、フィールドワークや定量データ分析など分析的アプローチ（ex.現場に生きる人の口述内容や意識調査、統計データに現れる見えていなかった現実を元に考える）といった方法がありえます。

本講義は、その前段階で必要な事実を知る機会となります。難しいと思うかもしれませんが、もし可能であれば、各受講者が自分の知っている範囲で、自由にそれらの方法を組み合わせながら議論やレポートの作成をすることを歓迎します。他の講義・ゼミや課外活動で学んだ知識をアウトプットし血肉化する機会としても利用して頂ければと思います。

学部1・2年生であれば、高校までの教科教育で学んだ内容や探究学習等で得た知識をもとに思考せざる得ない部分も大きいでしょうし、大学に来たからには、その枠を超えた思考を展開したいという関心を様々に持っている場合も少なくはないでしょう。それが将来の職業選択やキャリア形成の選択肢を増やすと予感している人もいるでしょう。例えば「SDGsについてより深く考えたい」「国際政治の勉強をして世界平和に貢献したい」「いずれ地方で暮らし少子高齢化やコミュニティ崩壊の問題に取り組みたい」「遠からず来る大規模複合災害に向けていまからできる防災や復興のあり方を構想したい」等々。
それらの関心の上により深く思考するためには、歴史的・理論的・分析的アプローチなどの方法論的な「タテ糸」と、細分化され続ける個別領域・事例についての幅広く・精緻に構造化された理解によって撚られた「ヨコ糸」とで織られた一枚の布を可能な限り幅広く・分厚く自分の中に用意し携えておくことが必要です。
その布は、難所を進む際には雨風から身を守り、立ち止まる際には落ち着いて休むための敷き布となり、旅の中で得た持ちきれないほどの宝物を遠方まで運ぶための包み布としても活きるでしょう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30793	S	ジェンダー論	瀬地山 角	社会・社会思想史	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
セクシュアリティとジェンダーの社会学

授業の目標概要
セクシュアリティとジェンダーについて、大学生として最低限知っておくべき知識を伝える講義です。
前半のセクシュアリティ編については、「下ネタの講義」という誤解、風評被害に悩まされていますが、きちんと履修した学生さんはそのような感想を決して持たないはずです。そういった愚かな反応がなぜ起きるのかも含めて、一貫した問題意識の下で「社会科学の立場から性を考える」とはどういうことなのかについて論じていきます。「本能」だと勘違いされている「性」を自然科学とは異なるアプローチで読み解きます。
ジェンダー編は、みなさんの人生設計そのものに関わります。この講義は東大全体で女性の履修者がもっとも多いもので、優秀な女子学生の未来が、男子学生のそれとどう関わりを持つのかについても、この講義を通じて、考えてもらいたいと思います。
新書を教科書として指定していますが、それに則って講義をするのではありません。これでカバーされるのは講義の1〜2回分です。講義で触れるいくつかの論点については、『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』の中でも言及しています。

※このところ受講者が大幅に増加したことに伴い、SNS で不正確な情報が飛び交うようになりました。匿名の二次情報などに惑わされない程度のメディアリテラシーを持ってください。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30252	S	日本の政治	竹中 治堅	法・政治	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
日本の政治：危機の中の内閣総理大臣

授業の目標概要
岸田文雄政権が 2021 年 10 月 4 日に誕生した。岸田文雄首相は国際環境が大きく変化する中で、政権を担う。「新しい資本主義」を掲げ、日本の経済力の底上げを図る一方、日本を取り巻く安全保障環境が大きく変化する中で、安全保障政策を見直し、防衛力の増強する方針である。
日本はどのような国際環境の中に置かれているのか。その中で、岸田首相はどのような権力基盤に立ち、どのような政策を作ろうとしているのか。岸田首相の政策はそれ以前の安倍晋三首相や菅義偉首相の政策をどのように発展させているものなのか、違いは何か。
本講義では国際環境の変化を踏まえつつ、日本の権力構造、政策決定過程について理解できるようにする。ところで、2000 年代以降の日本の政治を分析する上で一つのことを留意する必要がある。それは、1990 年代から 2001 年にかけて日本の統治構造が大きく変革されたということである。この変革は日本の政治構造を大きくかえ、政治構造が変化する中で、長期政権や短期政権が現れている。また、多くの政権が現れては消える中でも、政策決定過程は確実に変化してきている。
2023 年度の「日本の政治」の目的は二つである。第一の目的は、現在日本政治の特徴を理解することである。具体的には二つのことを把握したい。一つは日本の統治構造の変化と現在の特徴を学ぶこと。二つは政策決定過程を観る目を養うことにある。このため岸田内閣、菅内閣、第二次・三次・四次安倍内閣の下における政策決定過程を掘り下げて分析する。
また、講義と併せて、①戦後日本の政治の歩み、②現代日本の権力構造、政策決定過程を分析する代表的な本、論文をシラバスにそって講読することが、重要な履修条件となる。 第二の目的は受講者にレポートの一つの書き方を修得してもらうことである。レポートを書くことの目的は単にレポートで取り上げるテーマについて 情報としての知識を身につけることにとどまるものではない。レポートを書く作業を通じてわからないことを調べる力、ものごとについて考える力、多くの事象を重要な点にしぼって観察する力を養うことになる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30360	S	ジェンダー論 【人文学】	飯田 麻結	表象文化論コース	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目

授業の目標概要
本講義は、フェミニズム理論やクィア理論の歴史的な展開を下敷きに、ジェンダーやセクシュアリティ、身体への人文学的なアプローチを探究し、その上で様々な文化的事象を読み解くための多角的な視点を獲得することを目標とする。前半では主にフェミニズムの理論史の解説を行い、「インターセクショナリティ」といったキータームを紹介する。後半では具体的な事例を取り上げつつ、フェミニズム／クィア理論の現在における理論的動向を考察する。以上の基礎的な枠組みを踏まえ、学生は本講義を通じて得た知見を同時代的な議論へと敷衍する力を身に着けることが望ましい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31690	S	性と身体 I	野澤 淳史	教養教育高度化機構	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	障害(者)に対する認識は、障害学(なかでも障害の社会モデル)の登場とともに大きな転 換を遂げている。この授業では、障害学登場の歴史的意義や到達点を踏まえながら、過去か ら現在に至るまで、社会はどのようにして障害に対する考え方を形作り、いかにして障害者 から生の可能性を剥奪し、そして、健常者中心の社会を作り上げてきたのかを議論する。そ のうえで、現代社会に生じている障害をめぐる解決困難な難問と向き合い、粘り強く思考し ていくことを目的にしている。				
授業の目標概要	障害学の議論の変遷や概念を踏まえた上で、障害者の可能性が剥奪されてきた仕組みを理解し、説明できるようになること。現代社会における障害学的課題を議論できるようになること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31725	S	現代経済理論	渡辺 安虎	経済学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	経済学研究の現在を理解する					
授業の目標概要	経済学及び関連分野の第一線で研究に従事している研究者が、それぞれの分野における研究の現状をわかりやすく解説し、経済学や関連分野のおもしろさや有効性についての理解が広がることを目標とする。 「経済学？（゜Д゜)ﾊｧ?」「経済学 www」といった知的態度の学生の履修も強く歓迎する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31229	S	現代経済理論	鍾 非	経済・統計	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

経済分析の基礎：「数学的因果関係」である関数から始まるミクロ経済学・マクロ経済学・数理統計学

数学的因果関係は、y＝f(x)という「関数」（一昔前の数学者だと「函数」（例えば、高木貞治）、function）によって表される。函数における因果の「極限的つながり」を示す「微分」（Δx→0, Δy/Δx,僕に言わせれば,「極限の分数」）について、（数学特有の厳密さを無視し）優雅に語ってみよう。紙幅の制限に配慮し、ほとんどの東大生にとって常識である微分の定義式を海馬に深く刻みつつ（場所とらず＆面倒臭がり屋に最適)、「知的想像力」も少し働かそう（「ユーモア」という特製調味料を小さじ 1/4096)。恋人を喜ばせるため、誕生日にプレゼントを贈る者（なかんずく大学生）が多い。「恋人の嬉しさ（y：果)」と「プレゼントの値段（x：因)」の間の数学的因果関係（増加関数にある数量関係）に注目したい（ただし、プレゼントの値段と嬉しさの度合いはいずれも数値化可能と仮定)。おにぎり一個に比べ、ドイツの高級車・ベンツ一台（Δx1＝ベンツの値段－おにぎりの値段：大）をもらった後の恋人の嬉しさに雲泥の差（Δy1＝省略：大）があることは至極当然であり、おにぎり一個と比べて幕内弁当ひとつ（Δx2＝幕内弁当の値段－おにぎりの値段：小）を食べさせた後の恋人の喜びの僅かな増分（Δy2＝省略：小）をも見逃さず、値段の僅差の商と比較する（Δy2/Δx2）のが、微分（正確には、「微分」に近し)。換言すれば、Δy1/Δx1 は意味不明（or 数学的には無意味)。もちろん、「ゼロに限りなく近づく値段の極小な増分」（Δx→0）をより精確に強調したければ、（一番安いのがおにぎりであることを考慮に入れて）やや高価な幕内弁当を二番目に安いだろう食パンに置き換えたほうが、もっと適切（ただし、食パンが高価な場合を除く)。微分の親戚は、積分（同じ事例による定義のユーモア溢れる展開は、ご想像にお任せしますよ)。本講義は、因果関係の大本を異なる角度から捉える微積分（文系の高校数学でも必修）の紹介を皮切りに、経済分析における様々な概念を、その数量的本質を深く掘り下げてしゃきっと解説。「ものの値段が上がれば、消費者はどれほど買い控えるか？」（ミクロ経済学)「一国の経済成長率が上昇すると、失業率はどう変わるか？」（マクロ経済学)「説明変数が 1％上がると、従属変数はどう反応するか？」（数理統計学）などなど、ミクロ経済学（例えば「効用」)・マクロ経済学（例えば「比較静学」「動学」)・数理統計学（例えば「回帰分析」）にとって、微積分を出発点とする数量分析こそ、揺るがぬ礎。数、実数、有理数、無理数、関数、因果関係、微積分、指数関数、対数関数、行列（以上、文系の中学校・高校数学)、限界、平均、弾力性、（不）効用、価格、収入、予算制約、利潤、費用、極大（or 極小）化、FOC、消費者・生産者（or 企業）行動、市場、均衡（or 不均衡)、価格の自動調節機能（or「（神の）見えざる手」)、競争、独占、市場の失敗、余剰、パレート最適（or 効率性)、国家（or「政府の見える手」、習近平の台詞)、税、所得税、消費税、関税、公共財、モラル・ハザード、逆選択、ただのり、（不）平等、Gini 係数、GDP、失業（率)、金利、貨幣、乗数効果、IS-LM 曲線、金融・財政、財政赤字（黒字)、腐敗（or「政府の失敗」)、成長（率)、インフレ（デフレ)、確率、平均、偏差、偏差値、分散（標準偏差)、共分散、相関係数、最小二乗法（少なからぬ専門用語を掲げたものの、全部ではない；英文省略）といった重要な基本概念を深く掘り下げて吟味。なお、授業中に試験と似通った計算問題をも適宜出題・解答。「地に足のついた姿勢で、少年・少女の如く、根掘り葉掘りわからせる」のが、方針。絡み合った複雑な事柄を極めて平易に解説することに努める。「脳筋（≈知性)」をとことん鍛えるのにこだわった授業を心掛ける。たとえば、成長率の表し方（マクロ経済学）を紹介するとき、なぜ「e(Napier's Number)」という無理数を base とする指数関数（exp x）およびその「いとこ」にあたる自然対数（ln x）が決定的に重要であるかを、「逆関数」という指数関数と対数関数の関係にさかのぼって証明していく。一昔前、数学をほとんど使わぬ統計学のテキストを書いたある先生が、本のタイトルを「涙なし・・・」（ただし、詳細は未確認）とした。それと正反対の意味で、「涙・・・」を否定せず、講義のサブ・タイトルを「嬉し涙ありの経済分析」としてもなかなか興味深い。教育者の着眼点や意図が異なる、大層有益な意見対立だからだ。文系レベルの高校数学に強いアレルギーさえなければ、誰もが興味津々に受講可能。もちろん、理系受講生や数学を得意とする者を決して飽きさせない（恐悦至極)。一年生も二年生も他学部生も PEAK 生も聴講生も大歓迎（出席自由；計算のプロセスを重視)。テキスト（分量多し、全部読まなくていい。土産)、レジメ（テキストの一部＝試験範囲；全部必読)、過去問（詳細な解答を含む）は ITC-LMS (Information Technology Center-Learning Management System) にて公開（閲覧するには、履修登録が必要)。思えば、ノーベル賞経済学者 Paul Anthony Samuelson（neo-classical synthesis：新古典派総合）は名著 Foundations of Economic Analysis（経済分析の基礎）の扉に、「Mathematics is a language」という、彼が尊敬していた数学者・物理学者・物理化学者 Josiah Willard Gibbs (1839-1903)の言葉を引用した。本講義を通じてその素朴にして興味深い言葉の醍醐味を少しでも味わっていただければ幸い。世間にありふれた「物知りクイズ」（僕は大いに疑問）と一味、二味も違う、頭の体操でもある「IQ クイズ」（地頭のみで考えるクイズ）を、授業の翌日にネット出題（自信のある者は答えを zhongf@hotmail.co.jp まで送信)、翌々日に ITC-LMS で正解発表（＆正解者表彰)。クイズを一問出題しよう（偏差値 41)：「コロナ禍」とかけて、「数列の極限」ととく。その心は？答え：収束。ガイダンスの「こころ」（本質）を興味深く理解するには、初回 quiz の醍醐味をじっくり味わうのが、大前提。地頭のみで考えよう（以下の記述を、物知りクイズの達人（典型は「東大王」）にプレゼントする。「因果関係」という前述のキーワードを踏まえて言えば、「物知りクイズ」は「果」のみを追い求める無味乾燥な暗記作業に過ぎず、「因あっての果」や両者のつながりを理路整然と究明するのが、IQ クイズ（初ゼミのシラバス参照)。AI（人工知能）が日進月歩しているなか、生身の人間の存在価値を端的に示す IQ 指数を高めよう。博覧強記≠頭脳明晰。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30794	S	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　教育・学校心理学

授業の目標概要

誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。

上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直せるとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。

第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。

第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。

第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30822	S	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　教育・学校心理学

授業の目標概要

この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」について、授業担当者の実務経験に基づいて説明する。

授業担当者は、スクールカウンセラーや教育相談所相談員という教育領域の心理臨床家（心の専門家）としての実践経験が有る。

具体的には下記の内容を取り扱う。

1．教育現場において生じる問題及びその背景
いじめ、不登校、学業不振など。

2．教育現場における心理社会的課題及び必要な支援
教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。
学校内の支援体制と方法：教員による教育相談、スクールカウンセラーなど。
学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30361	S	教育臨床心理学	石川 亮太郎	心理・教育学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　臨床心理学概論

授業の目標概要

臨床心理学は、多様な学派の理論をもとに、心理的援助を求めるクライエントの生活の質の向上をめざす学問である。臨床心理学を理解するためには、精神分析学、精神医学、認知行動科学、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、児童・思春期におこりやすい心理的問題や疾患を例にあげながら、臨床心理学の基礎となる理論や治療法について説明し、学生に臨床心理学の基本を理解してもらう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31091	S	教育臨床心理学	石垣 琢麿	心理・教育学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。 今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31230	S	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。					

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30362	S	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30253	S	生態学	土畑 重人、 鈴木 準一郎	生物	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象にする。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半（担当、土畑）には、生物群集と多種共存の機構／生物の個体数変動／自然選択と生活史の適応進化／性選択と血縁選択／種間の相互作用と共進化／生態的過程と進化的過程の相互作用などを解説する。後半（担当、鈴木）には主に植物生態の視点から、日本の自然の特徴／環境と生物の応答／環境条件と生物群集／陸域のバイオーム／生態系での物質とエネルギーの流れ／土壌の生態学などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30363	S	社会環境論	小田 隆史	人文地理学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		自然と社会の関わりから考える災害と防災 本講義では，自然環境と人間社会の関わりに着目し，災害に対する脆弱性，被災，支援，復興，教訓伝承と次なる災害への備えなど，一連の災害過程にみられる諸問題を，教員の専門である地理学的な視点を中心に多面的・多角的に理解していくための見方・考え方を習得することを目標とする．具体的な事例として，東日本大震災やハリケーン・カトリーナなどの国内外の災害を取り上げる．授業内容のより詳しい説明は初回授業時に行う．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30220	S	社会生態学	永田 淳嗣	人文地理学	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		熱帯・亜熱帯地域の人文地理学 東アジア，東南アジアの熱帯，亜熱帯地域における，社会変容，資源利用，開発と環境の問題などを，具体的な事例に則して考えるとともに，人文地理学の基礎的な視点や方法論を学ぶ.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30939	S	社会生態学	梶田 真	人文地理学	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		公共事業と地域経済・社会 本講義では、マクロな制度や政策とミクロな地域との関係について、公共事業と地域経済・社会との関係を事例に検討していきます。この検討作業を通じて、受講者のみなさんに全国あるいはグローバルなスケールで起きている様々な動きとローカルな地域の動態とがどのように結びついているのかを（人文）地理学的な視点から理解していくための見方・考え方を習得してもらいたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31092	S	地域生態学	森島 済	人文地理学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		世界の様々な地域の自然環境と社会の適応 気候は，緯度や海陸分布，標高といった気候因子の影響を受けて地域性を持ち，それに関連して人間が利用可能な自然資源にも差異が生じている．気候もまた変動し，人間社会はそれに対し，短期的にも，長期的にも適応しようとし続けている。本授業では，低緯度に広がる乾燥気候帯，熱帯気候帯にみられる多様な自然環境に着目し，その水資源や関連農業に関する，現地調査やモニタリング調査を題材に，地球環境の変化，火山噴火などの自然災害，資源を活用するための技術の導入がもたらす地域の変化に目を向け，地域生態の理解を深めることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30169	S	人間行動基礎論 （理科生）	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 人間は，環境から受け取った光や音の情報をもとに，外界のモノや出来事を認識し，過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し，また他の人間と相互作用することができる．このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである．認知科学(cognitive science)とは，心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら，その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である． 本講義では，多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら，知覚，認識，記憶，感情，思考，意識，社会性といった，人の心の基本的な仕組み及び働きを支えている脳情報処理の原理原則と，その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ．それによって，進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための知識と視点を身につけることをめざす．人工知能や脳信号解読を含めた脳工学技術や心理学の成り立ちにも触れる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30891	S	人間行動基礎論 （理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30364	S	認知脳科学	四本 裕子	心理・教育学	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	神経・生理心理学					
授業の目標概要	認知脳科学、認知心理学、神経科学に関する幅広い分野の基礎を学ぶ。脳機能の各種測定法、脳刺激法を学ぶとともに、脳の構造やはたらき、脳の発達、感覚・知覚、記憶、睡眠など、さまざまな人間の認知的側面とそれに関連する脳のはたらきについて学ぶ。基本的な内容と合わせて、最近の研究によって明らかになった知見を紹介し、認知脳科学についての幅広い理解と興味をうながすことを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30254	S	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	神経・生理心理学					
授業の目標概要	＜目標＞ ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 ＜概要＞ 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30453	S	適応行動論	香田 啓貴	心理・教育学	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	人間の行動と心の進化についての生物学的理解					
授業の目標概要	人間とは何か。根源的な問いに対して我々はどのように探求するべきだろうか。教養学部はこの大問題に対して多様な方法論で究明するための研究者が結集した学際部局であるが、本講義では生物進化、とりわけ霊長類進化の視点でこの問題に迫る。全ての現生成物は同じだけの時間を経過して生物進化を果たしている。生物種としての「ヒト」は、その進化の連続性の中で成立しており、身体や脳の設計や、我々が営む社会構造に至るまで、ヒト固有と思われる生命現象は全て生物進化の上で成立したと考えて良い。化石の痕跡に残らない行動や心といった現象も、進化の痕跡である。こうした生物進化の視点で、心や行動の進化適応性を考慮し、それを理解する学問は、人間行動進化学、心理を理解する学問は進化心理学と呼ばれ、最先端の学際的教養分野である。 本講義では進化論が近現代の人間観・世界観に与えた影響を概観した後、進化生物学の基本的な概念を学習する。加えて、講師の専門である霊長類進化に関わる最新の知見を解説しながら、霊長類の生物特徴とヒトの固有性について理解し、人類の進化史を学ぶ。。これらの内容を踏まえた上で、身体や脳の設計とその進化を考慮して、そこから生じる行動と心について、ヒトとヒト以外の動物との共通性や相違点などの様々な例を挙げて、その進化について学習する。扱う主題としては、ヒトの言語や文化、社会の進化や養育行動などを想定している（講義の進捗や時折挿入する雑談などによって話題を多岐にわたって展開する）。「人間とは何か」という大きな問題に対し、従来の人文科学や社会科学にはなかった新しい文理融合的アプローチによって迫りたい。 本授業の履修にあたって進化学の知識は前提としない。必要な概念についてはその都度解説する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30670	S	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　社会・集団・家族心理学

授業の目標概要

本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。

人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。

心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能的なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。

世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。

スポーツ・身体運動実習	開講区分	S

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する） 第 2 回から第 13 回 選択した種目での対面授業 天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9 号館前の掲示板や ITC-LMS のお知らせをよく確認すること。 以上の授業計画は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更となることがある。その場合は ITC-LMS を使って連絡する。
授業の方法	第 1 回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。 基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3 回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。
成績評価方法	出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
履修上の注意	実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、雨天時の講義など実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 同一セメスターに 2 コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は 1 コマ目の登録者が優先的に履修できる。 同一セメスターに 3 コマ以上登録することは認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスは ITC-LMS のお知らせに掲載予定である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30170	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
30365	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
30671	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
30823	木 1	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
31093	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	S

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回目 種目選択（実施場所は 9 号館前の掲示または ITC-LMS を参照すること、オンラインとなる可能性もある） 月 3、火 2、水 2、木 1、金 2 のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない（できなかった）場合は担当教員にメールで連絡する。 第 2 回目以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある）
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
履修上の注意	実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、ガイダンスなど実習でない部分や一部の実習についてはオンラインで実施する可能性もある。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
30255	月 5	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	2 年 文科 理科
30585	水 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	2 年 文科 理科
30027	月 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科
30302	火 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30366	S	身体運動科学	工藤 和俊	スポーツ・身体運動	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	運動の巧みさと上達の科学					
授業の目標概要	一流のアスリートや，ダンサーや，音楽演奏家は，日々の弛まぬ練習によってきわめて高度な技（スキル）を体得します。本講義では，このような高度熟練パフォーマンスに代表される運動の巧みさ/上手（うま）さに関する以下のような素朴な疑問について，認知行動科学、神経科学、非線形数理科学など学際的立場から議論します。 ・上手なひととそうでないひとはどこが違うの？ ・どうすれば運動が上手になるの？ ・スランプはどうして起こるの？ ・練習でできていたことが試合でできなくなることがあるのは何故？					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30824	S	身体運動科学	八田 秀雄	スポーツ・身体運動	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	運動生理生化学 運動におけるエネルギー代謝の知識を健康増進や競技のトレーニングに役立てる 特にこのような厳しい状況の中で、感染に気をつけながらも、日常的に運動をすることの重要性を理解する					
授業の目標概要	生きていることはエネルギーを生み出していることである。そしてエネルギーは基本的には糖や脂肪からミトコンドリアが酸素を利用して ATP の形で生み出されている。運動時にはさらにエネルギー必要量が高まる。そこで本講義では運動時を中心に糖や脂肪がどう代謝されているのかを中心にして、運動時における体内の変化を学ぶ。運動することはエネルギー消費量を高めるが、それだけが運動の効果ではない。運動を継続することで体内の状況をよくすることができる。エネルギー代謝の知識を活かし、今後の健康維持にどのように運動を取り入れていけばよいのかを学ぶ。また健康増進だけでなく競技におけるエネルギー代謝に関する内容も話題として取り上げる。 また乳酸及び運動と疲労に関する内容も多い。乳酸は糖からできるエネルギーであり、老廃物ではなく、無酸素状態だからできるものではない。乳酸ができるから疲労するのではなく、むしろ疲労するような運動をしているので、それに対処するためにできるのが乳酸である。 世の中脂肪燃焼がよくいわれるが、あるサプリメントを摂ったからといって脂肪がどんどん減るようなことはあり得ない。運動で代謝を高めるから脂肪が減るのである。また運動では必ず糖を利用するが、糖を利用することは無駄なことではなく、糖尿病の予防になり、結果としては脂肪の減量にも結びつく。そこでこの講義でのもう一つの柱は、おかしな健康情報がいかに多いのかについても学ぶことである。お茶を飲むだけで脂肪が減るかのようなおかしな情報を鵜呑みにせず振り回されない姿勢＝メディアリテラシーを身につけることも。本授業の目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30097	S	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	健康スポーツ医学					
授業の目標概要	現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30304	S	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	スポーツ動作を科学する					
授業の目標概要	身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダ イナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30257	S	情報メディア基礎論	渡邉 英徳	情報メディア委員会	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	本講義では，情報を“ストック”／“フロー”化するメディアとしての「データビジュアライゼーション」と「デジタルアーカイブ」を作成しながら，情報とメディア・社会の関わりについて考えます。 できごとは，多様な人々の視点を内包しています。多面的な資料を“ストック”した「デジタルアーカイブ」は，できごとの実相を伝えていくための基盤となります。そして「データビジュアライゼーション」によって，アーカイブ化された資料の内容が視覚化され，コミュニケーションが創発して“フロー”が生まれます。 本講義ではまず，各人（各チーム）が定めたテーマに沿ってデータを収集し“ストック”します。次いで，2D/3D 地図に情報をマッピングし，データビジュアライゼーション／デジタルアーカイブを作成します。そして“フロー”化の実践として，成果物をウェブ公開します。 授業では，GIS ソフトウェア「ArcGIS」，3D 地図作成サービス「Re:Earth」を使用します。また，随時，データビジュアライゼーションとデジタルアーカイブの最新動向についてレクチャー（ゲスト講師含む）を行ないます。					
授業の目標概要	1）情報を“ストック”し，“フロー”化するメディアとしての「データビジュアライゼーション」と「デジタルアーカイブ」のありようを学ぶ 2) ArcGIS, Re:Earth などの使い方を学び，今後の学習・研究において活用していく素養とする 3）レクチャー（ゲスト講師含む）を通して，デジタルアーカイブ・情報メディアについての最新の知見を身に付ける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30258	S	科学技術基礎論 II	渡部 麻衣子	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	科学技術とジェンダー					
授業の目標概要	科学技術の実践に参加する女性が少ないという現状は、なぜ生じ、それはなぜ問題なのでしょうか。この授業では、1999 年に米国で出版され、2002 年に翻訳書が出版されたロンダ・シービンガーによる著作『ジェンダーは科学を変える！？』を教科書に、国内外の最近の事例を挟みながら、科学技術とジェンダーの関係を学びます。ジェンダーという視座は、科学技術が「社会における多様性（共生社会）の実現」とどのような関係を持つ営みであるのかに関心を持ち、理解を深めるのに有効な基点となるでしょう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30259	S	現代倫理	高橋 哲哉	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	赦しと和解の現代倫理					
授業の目標概要	国家、民族など集団間の抗争によって生じた傷をいかに克服し、和解にもたらすか。20 世紀末以来のグローバル化によって世界に広がったこの問題は、罪と罰、責任、復讐と赦し等をめぐって、現代倫理の一大テーマでもある。ホロコースト（ショアー）の傷をめぐる戦後世界の歴史を背景に、ハンナ・アーレント、カール・ヤスパース、ウラジーミル・ジャンケレヴィッチ、ジャック・デリダらの哲学的思考を辿り、この問題についての導入としたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31691	S	フェミニズム科学論	飯田 麻結	教養教育高度化機構	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要	本講義は、科学的な知の生産におけるフェミニズムの視点を、女性科学者の歴史的な位置づけだけでなく、科学の客観性・価値中立性に対する批判、生殖技術の発展、AI/AL 研究に代表されるデジタルな領域を含む同時代的な事象、人新世などの新たな思想的潮流との接続といった側面から取り上げる。この講義を通じて、学生は科学的言説におけるジェンダーの非対称や権力関係についての理解を深め、その研究対象としての「身体」がどのように形づくられてきたのかに関して考察する力を身に着けることが期待される。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31673	S	現代工学基礎 I	加藤 浩徳	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	国際プロジェクトと社会イノベーション わが国は戦後から 70 年以上が経過する間，急速な少子高齢化など多様な社会構造の変化を経験し，国内経済の様々な仕組みが曲がり角を迎えていることを受けて，近年多方面で構造改革が叫ばれている．一方でグローバル化の進展とともに人・カネ・モノ・情報が国境を超えて容易に移動するようになり，世界標準（グローバルスタンダード）が押し寄せてくるとともに，地球環境問題のようにグローバルスケールで取り組むべき課題も山積している．持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向け，これからは，コミュニティのような地域社会で貢献できる人材とともに，国際社会で活躍できる人材が求められている． 工学は，このような国際的課題を解決するための技術を生み出し，それが活用される社会的条件を踏まえながら実践的に課題解決に取り組む学問である．なかでも社会基盤学は，環境・エネルギー問題，自然災害，貧困や格差といった世界の様々な問題に対し，人類社会を支える技術を基礎とした社会イノベーションを構想・実践してきた．本講義では，国際機関や企業と協力して先進国・途上国の課題に取り組む教員が，自身が参画する具体的な国際プロジェクトの事例を紹介しながら，社会基盤学からみた現代工学のあり方を議論する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31674	S	社会システム工学基礎 I	羽藤 英二、福田 大輔、市村 強、加藤 浩徳、石田 哲也、堀田 昌英、布施 孝志、田島 芳満、沖 大幹、目黒 公郎、中井 祐	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	東京のインフラ 東京は世界有数のメガシティである。単に巨大であるだけでなく、緻密なインフラシステムを有する先端性、日本最大の城下町江戸の血を引く歴史性、豊かな海に面し繊細な地形と川に恵まれた 自然性など、多様多彩な特徴や魅力を潜在的に備えたユニークな大都市である。同時に幾度も深 刻な災害に襲われ、その都度再生してきた復興都市でもある。関東大震災から 100 年の節目を迎え、本講義では社会基盤を構成するそれぞれの専門学術領域の立場から東京のインフラストラクチ ャーを論じることを通じて、現代都市を構成する社会基盤と都市そのものを理解し考えるための視座と機会を提供するものである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31675	S	社会システム工学基礎 I	田尻 清太郎	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「建築空間のデザイン&リサーチ」 建築学の扱う範囲は多岐に渡り，意匠，計画，歴史，構造，構法，材料，環境といった全ての分野が，現実の社会と密接に関係している．建築学の目的は，これら諸分野の技術を統合し，様々な社会的な課題を空間的に解決したり，新しい建築空間の創造を通じて，来たるべき社会のあり方を指し示すことである．本授業は，建築学，そして建築実務における諸分野の専門家による多様な講義を通じて，建築における最新の研究事例，また建築が直面する様々な現代的課題や，それらに対する具体的なアプローチ，解決手法を学ぶことを目的とする．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31676	S	総合工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 核融合実験基礎講座－人工太陽は創れるか？－

授業の目標概要
海水中の重水素の原子核を融合して無尽蔵のエネルギーを得る核融合エネルギー開発は、いわば人工太陽の研究といえます。エネルギー問題の最終解と位置づけられる人工太陽=核融合開発は、ようやく実用炉が見渡せる段階となり、現在、工学実証のための国際熱核融合炉 ITER を建設する一方で、その先にある経済性の高い原型炉の開発が進み，この数年はベンチャー企業まで生んでいます。
この授業は、講義と実験を組み合わせた「新しいタイプの核融合エネルギー開発の入門授業」といえます。
講義では、核融合炉の原理、特に核融合炉の心臓部である炉心プラズマ閉じ込めと関連技術について理解を深めると共に、軽水炉に対抗しうる経済性の高い核融合炉実現へ進むための最新の研究動向について紹介します。
また、専門に進むための入門実験として東京大学本郷の核融合プラズマ閉じ込め実験を実際に体験し、プラズマの振る舞いについて考えてもらいます。美しく輝くプラズマの挙動を観察し、考える中で、核融合エネルギー開発の現状と将来について理解を深めていただければ幸いです。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31681	S	生体医工学基礎 I	秋元 文	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 バイオマテリアル入門-医療への貢献

授業の目標概要
今日の生物工学や遺伝子工学、医療工学などの目覚ましい発展により、従来の医療では困難であった疾患の早期発見や再生医療、遺伝子治療などの高度先進医療も現実のものになり始めています。工学の領域でも、このような医療福祉に対する社会的要請に応じて、医用材料、すなわちバイオマテリアルの研究・開発が注目を集めています。この講義では、高度先進医療を支える先端バイオマテリアルについて様々な角度から紹介し、工学と医学・生物学の融合により切り拓かれる未来型医療について、皆さんと一緒に考えていきます。バイオマテリアルの入門として、バイオマテリアルの基礎から最先端研究までを紹介します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31686	S	生体医工学基礎 I	南 豪	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 化学生命工学基礎

授業の目標概要
「化学」によって我々は自らの創造力を駆使し，自然界に存在する分子を手本に，自然界にはない方法で新たな機能を持つ分子や美しい構造を次々に生みだすことができます。
「生命」は化学物質の変換を精妙に行い自律的に活動を続ける複雑なシステムです。生命を「化学」の視点で眺め，理解することは，我々自身を深く知ることになるのはもちろんのこと，生命現象を巧みに操り，役立てるという目標につながります。

21 世紀の人類社会がかかえる課題解決のためにもはや欠かすことが出来ない「化学」と「生命工学」，そして両者の融合による「化学生命工学」。「化学生命工学」は我々の生活にどれくらい浸透し，我々の明日をどのように変え，未来に貢献していくのか？
これらの領域が果たす役割の重要性と魅力について，各講師が日本・世界の動向や，時に最新の成果も交えながら分かりやすく紹介します。

本講義では，有機化学，合成化学，触媒化学，グリーンサスティナブルケミストリー，高分子化学，超分子化学，分子生物学，生化学，タンパク質工学，細胞工学，酵素工学，抗体工学，糖鎖工学，ケミカルバイオロジー，バイオイメージング，創薬，などのトピックについて扱う予定です。

化学生命工学科のホームページ(http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/)から本講義の紹介・最新情報のページにアクセスできます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31684	S	環境・エネルギー工学基礎 I	西林 仁昭	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	最先端化学を理解する化学基礎					
授業の目標概要	現在、化学が取り扱う範囲は、環境やエネルギーなどの分野に加え、バイオ、医学、およびエレクトロニクスなど幅広い領域に広がっている。その結果、従来の化学の基礎のみでこれら最先端化学を理解することが困難になっている。そこで、本講義では、最先端化学を理解するために必要な化学の基礎を学ぶことを目的とする。触媒、高性能電池、自己組織化、ソフトマテリアル、分析デバイス、一分子バイオ、分子設計、人工光合成、有機エレクトロニクスなど最先端の高度な化学を理解するための基礎を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31682	S 1	環境・エネルギー工学基礎 I	白岩 隆行	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	環境・基盤マテリアル入門					
授業の目標概要	我が国を支えてきたものづくり、すなわち製造業やその技術の発展には、経験や感覚を要する職人の育成はもとより、そのプロセスの根幹となる原理原則に則った技術革新もまた重要である。多くの材料や製品は原料から素材を作り、合成・加工することにより生産されているが、製品寿命を終えると循環されるという持続可能な新たなものづくりシステム構築も促進されつつある。中でも、ベースメタル、セラミックス、ポリマーなど社会の基盤を支えるマテリアルの循環システムやその機能が我々の生活にもたらす影響は非常に大きい。マテリアル循環プロセスにおいては古くは公害、今は CO2 問題、資源・エネルギー問題と枚挙に暇がなく、人類の持続的繁栄に直結している。また、密かに進化し続ける鉄鋼材料が、スカイツリーやゲートブリッジの出現をもたらし、ボディーの高強度軽量化による自動車の燃費や安全性を大きく向上させている。 これらのプロセス技術やパフォーマンス設計を支える学理を体系化した学問領域が、環境・基盤マテリアル工学である。物質や材料を取り扱う工学の基本であり、教養学部で学ぶ物質科学を広くベースにしている。 本講義では、入学直後の皆さんが高校で学んだ物理や化学の知識から、環境・基盤マテリアル工学を通して、自然現象からものづくり技術、パフォーマンス設計、そして持続可能社会への繋がりを理解することを目標とする。その近道として、ものづくりのベースとなる熱力学や力学の基本を理解した上で，社会を支える基盤マテリアルの創成やその循環プロセス設計について、実例を交えて紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31677	S	環境・エネルギー工学基礎 I	小野 靖	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	エネルギー環境論 ーサスティナブルな社会は実現できるかー					
授業の目標概要	エネルギーは我々の日常から最先端の科学技術まですべての人間活動を生み出す根元といえます。エネルギーなしに考えられる技術は何一つ無いことは明らかですが、そのエネルギーをいかに作りだし、輸送し、制御して、人間が使いやすい形で利用していくかはまさに今世紀の最重要課題といえます。システムの構築次第で社会全体が効率的に働いたり、逆に危機に際して大混乱に陥ることも想定され、社会活動や地球環境を決定する第一義の技術なのです。この講義ではそのエネルギー・環境技術の現状はどんなものか？未来技術はどうあるべきなのか、最新技術はどこまで進んだのか？数人の教官が体系的な講義を行います。エネルギー発生では火力、原子力、核融合、太陽光、風力、シェールガス・オイル、バイオマス、燃料電池、エネルギー輸送では超高圧送電、水素エネルギー、スマートグリッド、電力貯蔵ではSMES、エネルギー利用ではエネルギーシステム、交通システム、電気自動車、環境保全技術・・・・等々、新聞を賑わす最新技術がどんなものなのか、各分野の専門家による講義とプリンストン大学教授の特別講演を含む，一部英語を織り交ぜた授業で理解を深めてもらう予定です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31685	S	環境・エネルギー工学基礎 I	伊藤 大知	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	化学システム工学入門 －次世代社会のための化学と材料－					
授業の目標概要	本科目では、化学システム工学の基本的な考え方を理解するために、人間社会が直面している課題（エネルギー、気候変動、環境汚染、安全とリスク、超高齢化社会など）を取り上げながら、化学システム工学の方法論がどのような解決策を提示できるのかについて講義と議論を行います。 特に、エネルギー変換化学、環境化学、安心安全工学、医用工学の 4 つの分野を取り上げ、各分野で最先端の研究を行っている工学部化学システム工学科の教員が講義を行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31693	S	ヘルス・サイエンス概論	小西 祥子	医学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ヘルス・サイエンスへの招待					
授業の目標概要	人間の健康問題を考えるためには、生命科学・行動科学・情報科学・社会科学などの多様なアプローチを統合した学際的努力が必要です。そのためには、生化学・生理学・解剖学・遺伝学などの生命現象の基礎をなす学問だけでなく、疫学・生物統計学・医療倫理学・精神保健学・医療経済学・人類生態学・国際保健学・人口学などの保健・医療に関わる応用学問の実践が不可欠です。本授業では、医学部・健康総合科学科の教員が行っている健康社会の実現を目指した実際の研究活動事例を通して、現代が抱える「ヘルス・サイエンス」の問題と将来展望について学びます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31694	S	看護学概論 I	仲上 豪二朗、麦田 裕子、高橋 聡明、阿部 麻里	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	生きることを支える科学					
授業の目標概要	高度に医療技術が発展してきた現代社会では、逆説的ではあるが、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、健康への様々なニーズが顕在化してきている。このような社会では、従来の医学モデルでは解決できない様々な課題が生じ始めてきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルで扱い新たな対処方法を構築することに対する社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、人々の健康問題を、身体的、精神的、社会的、霊的に捉えることで、より人々に適合したケアを提供することが出来る。本講義では、看護学の概要と特徴を提示し、今日的な健康問題を解決するための最新の研究成果を紹介することで、今後の看護学発展による国民の健康向上への道筋を議論する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31713	S	環境と生物資源	宮下 直、安田 仁奈、鈴木 牧、藤田 剛、瀧本 岳	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	生物多様性と保全					
授業の目標概要	いま、地球環境は激変の時代にあり、生態系の劣化や生物種の絶滅が急速に進んでいる。これは我々人類にとっても重大な問題となっている。水、土、大気、食糧、どれをとっても我々の生活に不可欠であり、そうした「自然の恵み」を抜きにして人類の将来を語ることはできないからである。本講義では、特に生物の豊かさを意味する「生物多様性」に焦点を当て、それが維持されている仕組みや、劣化の実態とその背景要因、生物多様性の保全や再生、そして持続的な利用の在り方の視点から、生物と人間社会の関係性を語る。 具体的には、最初の 2 回で講義全体の枠組みを概説した後で、生態学の基本理論に基づいた生態系のダイナミズムを紹介する。次いで、海、山、里山といった現場に焦点を当て、それぞれの生態系の構造や機能、そこで起きている諸問題とその解決法を紹介する。そして最後には、生物多様性の価値について、それが生み出される仕組みも含めて「生態系サービス」の観点から論じる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31714	S	食糧と環境	伊藤 直樹、岡田 茂、高橋 一生、黒木 真理	農学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　海洋生物資源の特性と利用

授業の目標概要　地球表面積の 70%を占める水圏（海洋および陸水）は、潮干帯から沿岸、外洋、深海、熱帯域、極域、陸水に至る、多様で変異に富む環境で構成される。水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が進化的に適応放散し、独自の生活史を発展させてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。そして、これら多様な生物の相互作用により、複雑で豊かな生態系が形成されてきた。しかし、陸上生物である我々 ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。一方、広大に見える水圏でも、そこに棲息する生物量は有限である。水圏生態系における物質循環および生物生産の仕組みを理解し、ヒトと水圏生態系の関わりあい方、および再生可能資源としての水圏生物の持続的有効利用のあり方を探ることが、これからの自然共生型の持続可能な社会を構築していくうえでの鍵となる。
本講義では、水圏に棲息する生物およびそれをとりまく環境を対象に、（1）水圏環境および生態系内での物質循環と生物生産について理解すること、（2）食料資源、生化学資源、エネルギー資源などの観点から、水圏生物の持続的有効利用に向けた知識を習得すること、を目標に授業を進める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31715	S	森林環境資源学	蔵治 光一郎、大谷 侑也、齋藤 暖生、楠本 大、三浦 直子、當山 啓介、水内 佑輔、安村 直樹、藤原 章雄、浅野 友子、福井 大	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　森の成長、森と水、森と癒し

授業の目標概要　世界の森林が危機的な状況にあり、植林によって環境問題に貢献していることをアピールする企業の CM が TV や新聞に頻繁に流されている。その一方で、日本の国土の 68.5%は森林に覆われている。日本は世界有数の森林大国であり、森林は日本最大の「地主」である。さて、皆さんは、このような広大な面積をもつ森林の実態を、どれだけ知っているだろうか。

高校までの生物や地理で、生き物としての樹木や森林に生息する動物、世界の森林の分布などを勉強した人は多いだろう。しかし森林の全体像を知るためには、森林内で何が起きているかを知る自然科学や、森林を取り扱うための技術といった「理系的アプローチ」だけでなく、森林の歴史、経済・経営、法制度、行政・財政といった「森林と人とのかかわり」＝「文系的アプローチ」の両方をあわせて学ぶことが不可欠である。その意味で、森林は、東京大学前期課程の総合科目で学ぶ対象として最もふさわしい対象の一つである。

森林を学ぶための場として、東京大学は、北海道、東京、千葉、埼玉、山梨、静岡、愛知の 7 県に、山手線の内側の面積の 5 倍以上の面積の森林を演習林として保有しており、その面積は、東京大学の全キャンパス面積の 99%を占めている。

本講義は、駒場キャンパスの教室で、東京大学を卒業して社会で活躍する皆さんが教養として知っておくべき「森林の基礎の基礎」についての講義と、演習林で開講する 1 泊 2 日のフィールドワーク（現地講義）をあわせて行うことで、森林を机上での学習と実体験により総合的に理解することを目的として開講する。フィールドワークでは、現場に常駐して教育研究を行っている教員の指導のもと、森林の現物に触れるとともに、教員と学生のディスカッションを行う。

※受講人数は 43 名に制限します。受講希望者が 40 名を上回った場合はセレクションを行います。

※講義室での講義を 7 回行い、別に、1 泊 2 日のフィールドワークを行います。フィールドワークは以下の 1～3 から 1 つを選んで参加します。1～3 にはそれぞれ定員がありますので希望の場所に行けるとは限りません。また、もし空きがあれば、複数のフィールドワークに参加することもできます。

1．テーマ：森の成長
場所：千葉演習林（千葉県鴨川市）
日程：5 月 27 日（土）、28 日（日）

2．テーマ：森と水
場所：生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）
日程：6 月 3 日（土）、4 日（日）

3．テーマ：森と癒し
場所：富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）
日程：6 月 10 日（土）、11 日（日）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31716	S	水と土の環境科学	西村 拓、高木 強治、細井 文樹、吉田 貢士、西田 和弘、吉田 修一郎、溝口 勝	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 食をささえる水と土の環境科学

授業の目標概要
2022 年に 80 億人を超えた人口を養っていくためには、食料生産の維持・増大は欠かせない。主食である穀物の生産量が，灌漑農地面積に比例して造材してきたことは，我々日本人が当たり前と思っている「水」を「土」にどのように与えるかで食料生産が左右されることを示している．
2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs を達成するためには，自然環境との調和を図りつつ食料生産の基盤を整備するとともに快適な地域空間を創出する必要があるが，これは容易ではない。特に、植物の生育に不可欠な水と生態系存立の基盤である土、さらに地域空間における物質循環に関する科学と技術が不可欠である。
この講義では、食料生産、いわゆる農業について、生産効率向上の工夫や持続的な農業生産に関する課題を紹介するとともに農業に関連して生じている様々な環境問題やそのメカニズムを社会的背景と物質循環についての基礎知識やモニタリング技術を含めてわかりやすく解説する。
この講義によって、普段気にしていない水と土を巡る物質循環の科学の私たちの社会・生活における重要性が理解できるようになることを期待する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31717	S 1	住環境の科学	青木 謙治、恒次 祐子、斎藤 幸恵、稲山 正弘	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 人と木と木造建築

授業の目標概要
地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅・中大規模木造建築に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31726	S	心身の実践科学	佐々木 司	教育学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 現代の社会を生きる心身の知恵

授業の目標概要
この授業は、急速に変化する現代社会を生きていく上で、またそのような社会の中で相互扶助による貢献を第一義とする市民的エリートとして成長するために不可欠な心身の実践科学とその知識について、理論と実践両面から学ぶことを目的とします。インターネットや SNS の急速な普及（四半世紀前にはこの世に存在しなかった）と情報氾濫、生活の 24 時間化・国際化、産業構造の変化、これらに伴う対人関係の変化など、現代のわれわれを取り巻く環境と状況は加速度的に変化し続けています。このような変化は、当然ながら、心身の健康、ストレス、学習に大きな影響を及ぼし、人間関係、将来設計、社会での適応のあり方、精神疾患などにも影響を及ぼしています。これらは学生の皆さんの現在の生活のみでなく将来の社会人としての活躍にも当然ながら深く関係する問題です。この授業では、教育学部身体教育学コースでの研究内容を紹介しつつ、生活習慣、学習、脳、精神医学、社会など様々な観点からこれらの問題について考えていきます。この中には、相談支援研究開発センターの教員が担当して行う、学生支援の実際した講義も多数含まれます。この講義での学習を通じ、学生生活における健康の維持・向上とともに、将来の社会での活躍のあり方について考えを深める上でも必要な知識とスキルを習得してもらえればと思います。

なお平成 27 年度から開始された学生同士の相互扶助を目的としたピアサポートプログラムに参加希望の学生には、特に履修を勧めます。学生ピアサポーター（一定の研修プログラムを修了した本学学生を相談支援研究開発センター長が認定）として必要な基礎知識の習得に必須の講義が含まれます。当然ですが、それ以外の学生の履修も大いに、かつ平等に歓迎します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30367	S 1	システム論	福永 アレックス	情報・図形	火 2, 金 2	2 年 文科 理科
講義題目		システム論				
授業の目標概要		「システム」とは、相互に影響を及ぼしあう要素から構成されるまとまりや仕組みであり、その概念は分野横断的に幅広く応用されている。例えば、国や企業等の社会システムはたんなる人の集合ではなく、複雑な社会システムである。一方、インターネット等の複雑な人工物も、たんなるコンピューターの集合でなく、「システム」である。 本授業ではこのような複雑なシステムを理解、構築、操作する為に役立つ汎用モデル化技術を紹介する。一方、これらのモデル化技術の本質的な限界についても考察する。			

総合科目 E（物質・生命）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30795	S	振動・波動論	深津 晋	物理	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	振動・波動論					
授業の目標概要	音や光はわれわれの生存をかけた情報伝達を担う手段である一方で，音楽，美しい景色，絵画，写真などを通じて生活に潤いを与えてくれる． 音と光は波動現象の典型例であるが、意外に身近なところにも振動・波動現象は数多く存在する． しかもそのいくつかはわれわれの知的好奇心をおおいにかき立ててくれる． たとえば誰もが知っているブランコ．どのようにすればうまく漕ぎ出せるのか，その原理は必ずしも自明でない． また海の波が波打ち際で砕けてしまう現象もよく目にはするものの説明は容易でない． 実は、建造物や製品の設計においても振動・波動の影響への考慮が欠かせない． このように日常と密接に関わる振動・波動現象の物理を根本から深く理解することがこの講義の狙いである． なお，振動・波動の考え方は，場の理論の基礎をなすものであり，今後，量子力学，場の量子論等を学ぶ上で必須である．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31232	S	振動・波動論	若本 祐一	物理	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	振動・波動論					
授業の目標概要	音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない． このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30261	S	相対論	大川 祐司	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	特殊相対性理論					
授業の目標概要	特殊相対性理論の基礎についての講義を行う。 相対性の概念、相対論以前の光の伝播の問題、相対論における異なる慣性系の間の座標変換である Lorentz 変換、テンソルを用いた共変的な記述、相対論的な力学、Maxwell 方程式の相対論的共変性などについて、基本的に教科書に沿って講義を行うが、教科書がなくても理解できるように板書を行う。 高校で習う数学および物理学の知識を前提とし、大学で電磁気学を履修していなくても十分に内容が理解できるように講義を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31095	S	量子論	岸根 順一郎	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	量子力学入門					
授業の目標概要	量子力学をはじめて本格的に学ぼうとする方を対象に講義を行う．数学の準備をしっかりした上で量子力学の基本原理を述べる．その後，１次元ポテンシャル問題と量子ダイナミクスを取り上げ，量子力学の基本的運用法に親しむ．最後に量子物理，量子工学，量子情報などへの展開に触れる．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30796	S	統計物理学	堀田 知佐	物理	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	統計物理学					
授業の目標概要	統計物理は，自然界の身近なマクロな現象をミクロなレベルから解き明かす，現代物理学の基礎的な学問である． 鉄は何で磁石に引かれるのだろう？ゴムは良く伸びるけど，手を離せばもとに戻ってしまう， そんな身近な疑問も，分子，原子，電子といったミクロな構成要素が 無数に集まって統計的にどう振る舞うかを定式化すれば 簡単明瞭に理解することができる． 熱力学では抽象的なマクロ変数をもとに熱平衡という概念を扱った．その際にエントロピーという一見正体不明の物理量が出てきただろう． ところが統計物理の言葉では，そのエントロピーの正体も少数の原理を仮定するだけで，実に明快に定義することができるのである． 本講義では，統計物理の枠組みを初歩から理解し，そのうえでゴムや磁石などの問題を具体的に取り上げ，物理学の面白さを知ってもらい，また物理的なものの見方を理解してもらうことを目標にする．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30368	S	現代物理学	立川 裕二	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	整数量子ホール効果の物理と数理					
授業の目標概要	電圧 V を掛けた方向に電流 I が流れるというのは高校の物理でも習うところだが、物質によっては電圧を掛けた方向に直交した方向に電流が流れるという「ホール効果」がある。この場合、比例関係を I=σV として σ をホール伝導度というが、さらに特別な状況では、このホール伝導度 σ が e を電子の電荷、h をプランク定数、厳密に e^2/h の整数倍となることが 1980 年に実験的に発見され、数年後には理論的に説明された。これを整数量子ホール効果とよび、ここ十年ほど盛んになっているトポロジカル物性の研究の先駆けであり、かつ、もっとも基本的な場合と考えられている。 また、整数量子ホール効果はトポロジカル物性への数理物理的なアプローチにおいても基本的な対象であり、e^2/h の偶数倍だけでなく奇数倍が許されるのは、電子が数学的にはスピノルという、360 度回転ではもとに戻らず 720 度回転ではじめて元に戻るもので記述されることに加え、四次元スピン多様体の交叉形式が偶であるという数学的事実に関係していることが知られている。 この講義では、これらの事実について、意欲的な学部二年生なら理解できるよう説明していきたいと思っている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31096	S	物理科学I（文科生）	守田 佳史	物理	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目	理論物理学の技法: 空間/時間/物質					
授業の目標概要	理論物理学の技法を、自然現象および(量子)デバイスなどの具体的な例および実験結果に即して学ぶ。 その過程で、古典/量子物理の基礎を身につけることを目指す。 また現代（そして未来)のテクノロジーとの関連も議論する。 基礎から学ぶので予備知識は不要です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30369	S	物質化学（文科生）	青木 優	化学	火 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　科学リテラシーを身につける一助としての現代化学入門

授業の目標概要
「化学」は、様々な物質の構造、性質、反応性を学び、研究する「自然科学」の一分野として発展してきた。本授業では現代化学の基礎を、身近な物質や社会問題と関わるトピックスを通して解説する。数式は最小限にとどめ、図や表を使うことで「化学の基礎的な考え方」を視覚的に理解できるような講義を目指す。
取り上げる具体的な項目として以下を予定している。
1. 原子の構造と性質
2. 分子の構造と性質
 ・分子の形と化学結合
 ・分子の観測
3. 集合体の状態について
 ・水の化学
 ・二酸化炭素の化学
 ・集合体の状態とエネルギー
4. 化学反応について
 ・アンモニアの合成
 ・オゾンの生成、破壊
5. 化学物質の機能と社会への活用

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31706	S	基礎方程式とその意味	濱口 幸一	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　基礎方程式とその意味を考える

授業の目標概要
物理学がもつ「基礎方程式」（基本法則といってもよい）を掘り下げその意味を考える。
本講義では現代物理学の大きな柱として、相対論と量子力学を扱う。
高校までの知識をもとに、それらの基本方程式を導くとともに、具体的な現象への応用例を通じて、方程式の背後にある物理的な意味の理解を目指す。
これらの基礎方程式は、これまでの古典的なイメージと大きくかけ離れたものであるが、
学生の皆さんの新しい知的冒険を始める一助となるものとしたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31707	S	分子化学概論	山田 鉄兵	理学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　分子化学概論／Introduction to Molecular Chemistry

授業の目標概要
ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどの新しい技術の出現と発展により、物質や生命が機能するしくみを分子レベルで理解し、制御することが可能になってきています。しかし一方で、化学を基盤とした基礎科学や応用科学が急速に発展していく中で、高校化学と専門課程の化学に求められる基礎知識とのギャップが広がりつつある。
本講義では、将来、化学のみならず生命科学や物質関連科学を志向する１・２年生に必須となる最新の化学の考え方を、理学部化学科の教員がわかりやすく解説します。この講義の目的は、学部初年次のレベルから化学研究の最前線に至る道筋を明らかにすることです。
/With the emergence and advancement of new technologies such as nanotechnology and biotechnology, it is becoming possible to understand and control the mechanisms by which materials and living organisms function at the molecular level. However, as basic and applied sciences based on chemistry continue to rapidly develop, the gap between high school chemistry and professional chemistry courses is widening. In this lecture, faculty members of the Department of Chemistry in the Faculty of Science will clearly explain the latest concepts in chemistry, which are essential for first and second year students who aim to study not only chemistry, but also life sciences and material-related sciences in the future. Our goal is to reveal the pathway from the level of a first-year undergraduate to the forefront of chemical research.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31727	S 1	化学薬学概論	船津 高志	薬学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ケミカルバイオロジーI（化学からみたケミカルバイオロジー）				
授業の目標概要		医薬を創製し、人類の健康を守ることは薬学の大きな目標の一つである。この目標のために、薬学では、生体や疾患の仕組みを解明するための研究、薬や毒などの物質と生体との相互関係を解明するための研究、生体に有用な物質を創製するための研究などが、互いに連携をとりながら日夜進められている。本講義では、薬学研究の中から主として有機化学あるいは物理化学研究を取り上げ、これらの研究が新薬の創製にいかに重要であるかを平易に解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30370	S	超分子化学	平岡 秀一	化学	火 2	2 年 理科
講義題目		分子認識と分子自己集合				
授業の目標概要		殆どの場合，分子は孤立して存在するというより，常に他の分子と相互作用している．特に溶液中では，必ず分子間における相互作用が存在する．このような分子間相互作用は分子骨格を形成する化学結合（共有結合）に比べとても弱いが，分子間相互作用が生命系の複雑な仕組みと深く関わり，秩序立ったシステムの形成・維持に寄与している．本授業では，ほぼ全ての分子間相互作用を扱い，さらに分子間相互作用の理解を深めるため，分子軌道により解釈される共有結合との比較も行う． 水素結合やファンデルワールス力は分子間相互作用の一つで，高校化学の教科書でも取り扱われている．しかし，分子間相互作用について，いくつもの基本的な疑問がある．水素結合はどういう元素間で形成されやすく，なぜそうなるのか？DNA の塩基対は水素結合で形成されているが，AT ペアより GC ペアの方が強いのはなぜか?単に水素結合の数だけで説明して良いのか？タンパク質はポリペプチドから形成され，アミド間の水素結合により一義構造へ折り畳まれるが，なぜアミド結合が選ばれたのか？なぜ水に溶けにくい物質は水を嫌って集合化するのか？また，水以外にこのような特性を示す溶媒は存在するのか？ファンデルワールス力は分子間相互作用の中で最も弱いが，無視できるほど弱いのか？分子が自発的に集合し，秩序構造を形成する自己集合という現象は，生命システムの形成に欠かせないが，どうやって自己集合体が形成されるのか？自己集合も化学反応の一つだが，その反応機構は，一般的な化学反応と同じような考え方で解釈できるのか？ 本授業では，これらの問題について「分子間相互作用」というキーワードをもとに合理的に考え，結論を導き出していく．				

基礎化学	開講区分	S

授業の目標・概要　「化学」は単に物質の名前を覚えたり、反応式を暗記するような学問ではなく、基礎的な概念に基づいて、多様な物質の構造や性質を体系的かつ包括的に扱う学問である。本講義では、高校で学んだ化学の知識を基礎として、化学が関わる身近な現象や最先端の技術を題材にしながら、その根底にある化学的な概念をできるだけ平易に解説する。これによって、化学の学問体系を大づかみに理解するとともに、化学の面白さを学ぶことを目標とする。また、本講義は、化学系の基礎科目や専門的な内容を扱う総合科目を学ぶための入門的な役割をもつ。本講義で扱う主な項目を以下に示す。

1. 物質の構成（原子の構造、分子の形成、固体の構造と物性、光と分子）
2. 物質の変化（熱力学の法則、化学平衡、反応速度論）
3. 有機化合物（構造と結合、有機電子論、分析化学、触媒化学）
4. 機能性分子と生体関連分子（高分子化学、超分子化学、核酸、タンパク質）

成績評価方法　各担当教員の UTAS シラバスを参照の事.

教科書　その他。／Other

書名

著者（訳者）

出版社

ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30225	月 5	内田 さやか、井上 将行	1 年 文科 理一(1-12)理二三(1-8)
30313	火 2	山口 和也、寺尾 潤	1 年 文科 理一(13-21)理二三(14-18)
31047	金 2	高鍋 和広、滝川 浩郷	1 年 文科 理一(31-39)理二三(19-24)
31205	金 5	山田 鉄兵、野崎 京子	1 年 文科 理一(22-30)理二三(9-13)

有機反応化学	開講区分	S

授業の目標・概要

理科生はクラス指定された曜日・時間帯で受講する．この科目では，有機化合物の構造・性質・反応・機構について学ぶ．以下に標準的な講義項目を示す．ただし，項目の順序や内容は各教員によって若干異なる．

１．序論
・物質化学における有機化学の位置づけ．
２．炭素が関与する化学結合
・炭素の原子価状態，正四面体モデル，混成軌道，電気陰性度と結合の極性
・メタン，エチレン，アセチレンの分子軌道（σ 軌道と π 軌道）
３．異性現象と立体化学
・異性体，立体配座，立体配置，不斉現象，キラリティー，RS 表示
４．有機化合物の性質
・分子間力，水素結合，分散力，酸と塩基，共役系，芳香族性
５．有機化合物の反応およびその機構
・脂肪族求核置換反応，脱離反応，付加反応，付加環化反応，転位反応，
芳香族求電子置換反応，カルボニル化合物の反応
・一次反応，二次反応，反応中間体，反応遷移状態，化学平衡
６．目的化合物の合成
・逆合成解析，生理活性物質の合成，機能物質の合成

成績評価方法　担当教員の UTAS シラバスを参照の事。

教科書　その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30002	月 1	岩井 智弘	2 年 文科 理一(11,13-18,22)理二三(10-13,19,22)
30775	水 5	大和田 智彦	2 年 文科 理一(1-3,5,8-10,19,27-29,32) 理二三(1-4,7,9,20-21)
31028	金 1	池本 晃喜	2 年 文科 理一(4,6-7,12,20-21,23-25)理二三(16-18,23-24)
31046	金 2	岩﨑 孝紀	2 年 文科 理一(26,30-31,33-39)理二三(5-6,8,14-15)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31678	S	物質・生命工学基礎ＩＡ	竹中 充	工学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ナノ物理・情報エレクトロニクスの基礎				
授業の目標概要		ナノテクノロジー、情報化社会、エレクトロニクスという言葉を聞いたことがあるだろう。これらの先端技術は、electron（電子）のもつ性質を自在に活用し、工学として人間社会に役立てるという考え方の上に成り立っている。エレクトロニクスは、現代社会のあらゆる方面にわたって不可欠な基盤技術であるだけでなく、今後到来すると予想される人工知能社会や量子情報社会においてもそれらを支える必須の基盤技術として、その重要性は増す一方である。この発展を支えているのは、トランジスタを多数組み合わせたプロセッサやメモリなどの集積回路(VLSI)であり、半導体レーザ、光スイッチ、光ファイバなどを用いた光エレクトロニクスである。半導体集積回路(VLSI)は、コンピューターや携帯端末などあらゆる電子機器の心臓部であり高機能化をめざして活発な研究が続けられている。また、光通信や光情報処理技術の必要性が増すと共に、光ファイバ、半導体レーザなどの光エレクトロニクスデバイスも急速に発展しつつあり、グローバルな通信ネットワークを支えている。これらのシステムやデバイスの基盤となる半導体結晶や新しい光・電子材料の開拓など、ナノテクノロジーも含めた基礎物性の分野（物性科学との境界領域）も重要である。特に次世代のデバイスは、ナノメートル(10^-9 m)スケールの物理学（ナノ物理）を理解することなしにありえない。本講義では、工学部電気電子工学科の教員が現代社会を支える情報エレクトロニクスの基礎をわかりやすく解説し、AI や量子コンピューター等にもつながる研究の最前線の状況についても紹介したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31680	S	物質・生命工学基礎ＩＢ	古澤 明、小芦 雅斗	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		量子コンピューター入門				
授業の目標概要		量子コンピューターの研究は、微細加工技術が進歩し、情報処理を担う「素子」が原子レベルに近づきつつある今日、当然の流れと言えよう。「素子」が原子レベルに近づくと、その動作はニュートン力学ではなく量子力学という運動法則に支配される。そこでは、アインシュタインとボーアの論争に代表されるシュレーディンガーの猫状態やＥＰＲ相関（一種のテレパシー？？）が実際に起こる。量子コンピューターでは、これらの摩訶不思議な「量子効果」を用いて、情報のやり取りや情報処理を行う。この講義では、量子コンピューターの原理と現状についての入門的な講義を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30305	S	動物科学	道上 達男	生物	火 1	2年 文科 理科
講義題目		大学教養で学ぶ動物科学				
授業の目標概要		本講義では、1年生で履修した生命科学Ⅰ及びⅡの内容を踏まえた上で、動物の分類、機能、構造などに関する基礎的な内容を概説する予定です。具体的には授業計画に記載した内容（「キャンベル生物学原書 11 版」の 32-34 章、40-51 章に対応）を予定していますが、順序や区切りは変更される可能性があるので、詳細は初回時に説明します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31808	S	動物科学	大杉 美穂	生物	金 2	2年 文科 理科
講義題目		動物科学：哺乳類の受精・発生/Fertilization and Development of Vertebrates-Focusing on the differences between mammals and non-mammalian vertebrates-				
授業の目標概要		動物個体の発生、構造、機能についての基礎的な内容を、どのような実験によって得られた知見であるかについて触れながら概説する。特に、受精・発生について哺乳類と他の脊椎動物との間にはどのような違いがあるかといった視点からの解説を行い、がんや生殖医療・再生医療など、日常生活で耳にする事柄についての動物科学的な理解も目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30371	S	植物科学	末次 憲之	生物	火 2	2年 文科 理科
講義題目		植物科学				
授業の目標概要		植物科学の基礎的なことを学ぶ。植物の分類、形態、発生、生理反応などを概説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31809	S	植物科学	佐藤 直樹	生物	金 2	2 年 文科 理科
講義題目	植物の不思議を考える					
授業の目標概要	植物に関するさまざまな内容を幅広く理解することを目標とします。 基礎科目としての生命科学を履修した基礎の上に，植物特有の現象に焦点を当てながら，植物の形態，生理，生化学などを中心として学習することになります。植物の進化や環境との関係，人間社会との関係などについても扱います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30372	S	進化学	嶋田 正和、 土松 隆志	生物	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	進化生物学					
授業の目標概要	動物分野の嶋田と植物分野の土松の二人で担当する。初回ガイダンスは授業第 1 回（4/11）に行い、キャンパス混雑を避けるために Zoom でオンラインガイダンスを実施する。授業の進め方、授業内容のオーバービュー、参考書の提示、コロナ対策の注意点、期末評価などを解説する。前半の第 2 週～第 7 週は嶋田が対面で授業する。(2)生物の共通性と生命の起源、(3) 自然選択による進化の法則、(4)性の進化と性選択： 雄と雌の存在、(5) 血縁選択理論： 利他行動と群れ社会の進化、(6) 協力と裏切り： 進化のゲーム理論が示す社会の様相、(7) 迅速な適応性とエピジェネティクスを学ぶ。 後半は、土松が (8) 分子進化の中立説 (9) 進化ゲノミクスの基礎と利用 (10) 非生物的環境への適応 (11) 生物間相互作用の進化 (12) 植物の進化 (13) 生物の分布と種多様性についての講義を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31097	S 1	現代生命科学 I （文科生、理一生）	矢島 潤一郎	生物	金 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目	現代生命科学					
授業の目標概要	生命科学の進展は我々の予想をはるかに上回っています。それでも「生命とは何か」といった根本的な問題や、新型コロナウイスルへの対応等、解決すべき点が多々あります。社会に生命科学の知識を還元するためには、文系・理系の枠を超えた知の構築が必要となります。「生物学のようなサイエンスを暗記物にしてしまった」これまでの日本社会の風潮により、文系の人によるサイエンスの理解と理系の人によるサイエンスの理解が大きく乖離してきました。このサイエンスの理解の乖離が、1980-90 年代以降、日本がより高い水準の技術立国へと躍進する機会に、官民が（結果として）正しい判断をできず、テクノロジーに関する競争力低下の一因という可能性があります。ウイルス操作技術・原子力の平和利用など、日本社会で科学的な議論が熟さないのもこうした理解の乖離が一因とも考えられます。本講義では、「生命とは何か」を考えつつ、知識偏重ではなく、物理や化学などの知識も総動員し、原理原則やメカニズムの理解から生命システム（の基礎）を理解する努力をしましょう。こうする取り組みで、「生物学を暗記物にしてしまった」ことで日本社会に残る多くの課題を払拭するヒントを得ましょう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
40058	S 2	現代生命科学 II（文科生、理一生）	阿部 光知	生物	金 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目	植物が周囲の環境とどのように会話して形をつくるのか？					
授業の目標概要	植物の発生現象に関するさまざまな内容を理解することを目標とする。 植物特有の発生現象に焦点を当て、環境に応じて姿・形を変えていく植物の発生の面白さを学んでいく。単なる知見の紹介にとどまらず、研究の内容や歴史に触れながら講義を進めていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31708	S	現代生物学	國枝 武和	理学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代生物学/Modern Biology 現代生物学の目標は、生命現象の基本原理（普遍性）と多様性がどのような仕組みで生み出され、また、それらがどのような過程を経て進化してきたのか、という問題について、本質的理解を得ることにある。このため多様な生命現象を対象として、分子・ゲノム、オルガネラ、細胞、組織、器官、個体、集団に至るさまざまなレベルで研究がなされている。本講義では、今まさに進展しつつある最先端の生物学について、その基礎と発展を学ぶ。具体的には、理学部生物学科で人類学・動物学・植物学の各分野を担当する教員が、それぞれの専門研究分野について概説した後、当該分野の最新の研究成果を紹介し、今後、解決されるべき重要課題について講義する。この講義を通じて生物学の面白さを見出し、人類発展における生物学の意義を考えてもらうことを期待している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31709	S	人類科学	井原 泰雄	理学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間の本質にせまる科学 生物としてのヒトをあつかう自然人類学の視点から、人類の進化、ヒトの特異性、現代社会におけるヒトの科学について学習し、我々自身に関する理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31710	S	生物情報科学	角田 達彦	理学部	水 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物情報科学 生命科学の最先端の分野である生物情報科学についての基礎をオムニバス形式で紹介する。生物情報科学研究に必要とされる生命科学と情報科学の双方の基礎的な知識と技術を習得する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31728	S 1	生物薬学概論	青木 淳賢	薬学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ケミカルバイオロジーII（生物系薬学からみたケミカルバイオロジー） 医療が発達したといわれる現在においても、治療が難しいあるいは治療手段すらない病気が多く、これらの疾患に対する新しい医薬品の開発・創製（創薬）が切望されています。創薬の出発点は治療標的の同定、すなわち病気の鍵となる標的分子の発見とその作用機序の解明にあります。この理解に基づき医薬品の候補となる化合物（低分子有機化合物から生体高分子までを含む）を探索し、安全かつ有効な医薬品が開発されていきます。こうした研究には、「化学的観点あるいは化学的手法を用いて生命現象を解明すると同時に、生体機能を制御する学問分野」であるケミカルバイオロジーの視点が極めて重要です。 病気は身体の中で日常的に営まれている正常な生命活動の破綻により惹起されます。つまり病気の理解のためには正常な生命活動のメカニズムを十分に理解することが不可欠です。実際、生命科学研究の進展により新しい病気の発症機構が次々と明らかになっており、生命科学研究の最先端が薬学研究のフロンティアでもあります。本授業科目では、ケミカルバイオロジーの視点から、生物系薬学分野での最先端の研究結果を織り交ぜながら紹介し、創薬への貢献について解説します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30797	S	惑星地球科学 I (理科生)	清水 久芳	宇宙地球	水 5	1年 理科 2年 理科
講義題目 授業の目標概要		固体地球科学概論 固体地球および惑星を支配している物理化学的な枠組みを概説し、身近な自然現象として火山と地震について学ぶ.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30825	S	惑星地球科学Ⅰ(理科生)	黒川 宏之、小宮 剛	宇宙地球	木 1	1年 理科 2年 理科
講義題目	地球惑星科学入門Ⅰ：現在の惑星地球の姿／Introduction to Earth and Planetary Science I: Planet Earth today					
授業の目標概要	惑星地球科学Ⅰ・Ⅱを通じて、我々人類が生活する惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する。惑星地球科学Ⅰでは現在の地球の姿を中心に、その表層環境（大気・海洋）と気候、内部構造（地殻・マントル・コア)、ダイナミクス、物質循環について解説する。地球をその他の惑星と比較しながら理解するため、太陽系やその外の惑星系についても紹介する。／Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Planetary Earth Science I focuses on present-day Earth, outlining its surface environment (atmosphere and oceans), climate, internal structure (crust, mantle, and core), dynamics, and material cycling. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30098	S	惑星地球科学Ⅱ(理科生)	中村 尚、升本 順夫	宇宙地球	月 2	1年 理科 2年 理科
講義題目	地球気候の形成・変動と大気海洋システム					
授業の目標概要	ノーベル平和賞にも輝いた 2007 年発表の IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第 4 次評価報告書は，地球温暖化と環境変化に関する社会の大きな関心を呼んだ．だが，2011 年の原発事故を経て，地球温暖化への日本社会の関心は一見低下したかに見えた．一方，2018・19・20・21・22 年暖候期に実際に経験したように，社会に大きな影響を及ぼす猛暑・冷夏，暖冬・寒冬，豪雨・旱魃などの異常気象への関心は防災・減災上の観点から益々高まりつつあり，異常気象と地球温暖化との関連性が依然として議論されている．こうした折，一昨年夏 IPCC から第 6 次評価報告書が発表され，地球温暖化への関心が再び高まりつつある．人間活動に伴い CO2 など大気中の温室効果気体の濃度が増加し，地上気温に見られる顕著な上昇傾向は紛れもない事実である．IPCC 評価報告書では，今世紀末までに顕著な温暖化が予測されており，海面上昇や海氷域の顕著な減少，海洋の酸性化，中緯度大陸の乾燥化など，地球環境に及ぼす深刻な影響が懸念されている．国連の「持続可能な開発目標（SDGs)」の達成も，地球温暖化・気候変動問題の解決なくしては困難であろう．我が国でも原発事業が縮小される中，再生可能エネルギーへの移行が順調に進まない限り，温暖化リスクがさらに高まる可能性も否定できない．そうした中，2015 年末に「パリ協定」が締結されて地球温暖化に対する世界的な取組みが開始され，日本政府もようやくその方向に舵を切った． このように，地球温暖化に対する様々な緩和策や適応策が採られつつある中，まず求められるのは地球気候の成立ちとその過去から現在に至る変遷，さらには温暖化のメカニズムと予測される気候の将来変化に関する科学的理解である．本講義の目的は正にそれであって，地球温暖化を環境問題として社会倫理の観点から論じたり，温暖化の事実や予測をただ受け容れた上でその対策について論じたりすることでもない．平均状態として温暖化しつつある大気海洋系も，内在する自然変動のために常に揺らぎ，過去に例のない極端な天候が生起しやすくなっている．最新の研究により，温暖化シグナルがこうした自然気候変動パターンの変化として現れやすいこと，それ故に温暖化シグナルの地域予測にある程度の不確実性が不可避なこと，さらには 10 年規模の長期自然変動により地球温暖化が加速したり停滞したりすることなどが示唆されている．よって，気候系の自然変動や天候変動のメカニズムの理解を深めることも，温暖化した将来の防災・社会適合上の観点からも重要である． 本講義では，受講者が高校で地学を履修してこなかったことを前提とし，地球気候の成り立ちや大気・海洋の循環やその変動のメカニズムの基礎を解説したのち，地球温暖化やオゾンホールに代表される人為的気候変化のメカニズムや予測されている気候への影響について解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31711	S	地球惑星物理学入門	橘 省吾	理学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	物理で理解する地球惑星科学					
授業の目標概要	地球惑星でおこる多くの現象は、物理学的なアプローチで研究されている。たとえば、気象は流体力学、地球内部は固体物理学、宇宙空間はプラズマ物理学、惑星形成は天体力学などを基礎としてさまざまに展開している。本講義では、このような物理学について基礎方程式を示すとともにその背景にある物理的意味を詳説し、具体的にそれがどのように最新の地球惑星物理学研究の中で使われているかを講義する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30454	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	火 3, 火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	惑星地球科学実習					
授業の目標概要	科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通して体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 使用する道具や材料の数に限りが有るので，受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は，初回授業時に抽選等による選択を行います. 月曜日，火曜日の 2 回同じ授業を行うので，いずれかの曜日を選択して下さい.また、 本授業は 3，4 限の 2 コマ続きで行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30171	S	惑星地球科学実習	澤木 佑介	宇宙地球	月 3, 月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	惑星地球科学実習					
授業の目標概要	科学は自然現象の観察、データ収集とその取り扱い、解釈という三つの過程を経て論じられ、発展してきました。特に、地球科学は野外実習を通し体験的に科学を学ぶことができ、それらを身近に体験することのできる学問です。本実習では野外観察・室内実験・実習とその議論を通して、地球科学のみならず、科学的なものの考え方を学びます。 使用する道具や材料の数に限りが有るので，受講者希望者数が予定数(40 人)を超えた場合は，初回授業時に抽選等による選択を行います. 月曜日，火曜日の 2 回同じ授業を行うので，いずれかの曜日を選択して下さい.また、 本授業は 3，4 限の 2 コマ続きで行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30262	S	宇宙科学 I （理科生）	諏訪 雄大	宇宙地球	月 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	宇宙物理入門					
授業の目標概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31002	S	宇宙科学 II （理科生）	冨永 望	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目	変動する宇宙 - 超新星爆発・時間軸天文学・マルチメッセンジャー天文学 -					
授業の目標概要	「宇宙は変化しない」そのように考えている人もいるかもしれません。しかし、近年、宇宙物理学・天文学の分野では「時間軸天文学」が注目を集めています。時間軸天文学とは宇宙における時間変動を扱う天文学です。扱われる時間変動のタイムスケールは一日から一年程度と非常に幅広く、特に近年は一日程度以下の短時間変動をターゲットにした研究が行われています。また、2015 年に初めて直接検出された重力波に代表される電磁波以外のメッセンジャーを用いた天文学「マルチメッセンジャー天文学」も注目を集めています。マルチメッセンジャーを放射する天体は大抵時間変動する天体であり、時間軸天文学の大きな部分を占めています。本講義では、まず時間軸天文学において最も重要な天体である超新星爆発を紹介します。超新星爆発は星が一生の最期に起こす大爆発であり、時間軸天文学の対象としてだけではなく、宇宙における元素の起源としても重要な天体です。その後、近年発見されている様々な突発天体の紹介の後に、観測も含めたマルチメッセンジャー天文学の概要を紹介します。本講義は変動する宇宙を実感することを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31199	S	宇宙科学実習 I	吉田 慎一郎	宇宙地球	金 4, 金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コンピュータを使用した宇宙科学実習 この授業では，国内外の天体望遠鏡，宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い，受講者が実際に手を動かして天体の物理的，天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます．また宇宙科学の理論に現れる基本的な方程式をコンピュータで解きながら簡単な数値計算手法を学びます． 場所:KOMCEE-EAST 5 階 宇宙実習室				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30221	S	宇宙科学実習 I	吉田 慎一郎	宇宙地球	月 4, 月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		コンピュータを使用した宇宙科学実習 この授業では，国内外の天体望遠鏡，宇宙望遠鏡による天体の観測データを用い，受講者が実際に手を動かして天体の物理的，天文学的情報を引き出す方法の基礎を学びます．また宇宙科学の理論に現れる基本的な方程式をコンピュータで解きながら簡単な数値計算手法を学びます． 場所:KOMCEE-EAST 5 階 宇宙実習室				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30771	S	宇宙科学実習 II	谷川 衝	宇宙地球	水 4, 水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い，観測によって得られた星，星団，銀河，宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や，天体の運動に関する数値計算を，自ら行うことにより，現在明らかになっている宇宙像を認識する．また，それに伴いプログラミング言語やグラフィクスの初歩を学習する．データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない．プログラミング言語には主に python を用いる．受講希望者が多数の場合は抽選を行う． 1回目の授業で抽選に関する説明を行い， 2回目の授業までに当選者を発表する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30981	S	宇宙科学実習 II	谷川 衝	宇宙地球	木 4, 木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宇宙科学の問題に対するデータ処理と数値計算 情報教育棟の計算機を使い，観測によって得られた星，星団，銀河，宇宙の大規模構造などの天文のデータ処理や，天体の運動に関する数値計算を，自ら行うことにより，現在明らかになっている宇宙像を認識する．また，それに伴いプログラミング言語やグラフィクスの初歩を学習する．データ処理や数値計算に必要なプログラミング言語の予備知識は特に要求しない．プログラミング言語には主に python を用いる．受講希望者が多数の場合は抽選を行う． 1回目の授業で抽選に関する説明を行い， 2回目の授業までに当選者を発表する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30263	S	惑星地球科学 I （文科生）	小宮 剛	宇宙地球	月 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星科学概論 I／ Introduction to Earth and Planetary Sciences 1 人類が生活する惑星地球の構成および進化の基本を理解する。地学の基礎を包括的に学ぶ授業として、惑星地球の全体像と進化を説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30029	S	宇宙科学 I （文科生）	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		天文学・宇宙物理学の基礎的内容 Introductory Astronomy and Astrophysics				
授業の目標概要		宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31718	S	微生物の科学	勝山 陽平、川崎 寿、 岩間 亮、有岡 学、 新井 博之、福田 良一、 水口 千穂、足立 博之	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		微生物のバイオテクノロジー				
授業の目標概要		バイオテクノロジーは、ヒト以外の生物、特に微生物が保持する様々な能力を人類のために役立てることを目的とした科学技術である。アルコール飲料の醸造に端を発するこの技術は数千年の歴史を持つ。現代では食糧生産、環境浄化、医薬品生産などを通じて社会を支える重要な科学技術である。また、最近では遺伝子組換え技術の発展に伴い、進化工学や合成生物学、ゲノム編集といった新たな概念が生まれ、バイオテクノロジーの応用範囲は広がりつつあり、持続可能な社会を構築する上で重要な技術の一つである。本講義では、バイオテクノロジーを支える主要な学問である応用微生物学を中心に、これが食糧、医薬そして学問の発展などに果たしている意義を、私たちが現在行っている研究を例に挙げつつ講義する。それを通してバイオテクノロジーの中身を正確に理解し、応用微生物学（バイオテクノロジー）と現代社会の関係を把握することを目標にする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31719	S	植物医科学	山次 康幸、 前島 健作	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		植物医科学概論				
授業の目標概要		世界人口は、2050 年には 90 億を突破すると予想されていますが、それを養う食糧生産の増加率は鈍り、人口増加率の半分にも達しません。そんな中で世界の食糧生産のうち三分の一が微生物病や害虫病、雑草害、生理病、気象害などからなる「植物病」によって失われていることはあまり知られていません。これは世界の飢餓人口を十分に養える量です。この危機的な状況を克服するには、植物を病気から守り、治療する研究を推進する必要があります。一方で、近年の環境問題への意識の高まりとともに、持続性の高い先端農業への転換が強く期待されています。農薬や遺伝子組換え作物に変わりうるものとして植物圏微生物叢やゲノム編集作物などが注目を集めています。これら幅広い研究課題を担う学問分野が「植物医科学」です。植物医科学は世界が協調して取り組むべき開発目標 SDGs の 17 のゴールのうち、生産、陸上資源、イノベーション、エネルギーなど実に 10 のゴールに密接に関連する重要な研究分野です。 植物医科学は「植物基礎医科学」と「植物臨床医科学」の二つの側面を持ちます。植物病を防ぐには「なぜ植物は病気にかかるのか」という根本的な疑問についてメカニズムを徹底的に究明する必要があり、そのために最先端の分子生物学、ゲノム科学、AI、バイオイメージング、バイオテクノロジーなど多面的なアプローチにより日々研究が進められています。これらを包括する学問領域が「植物基礎医科学」です。 一方、我が国だけで 2 万種類以上もある植物病を診断し、治療・予防する学問領域が「植物臨床医科学」です。この領域では、「植物基礎医科学」で得られた基礎的な知見を農業現場に活かすことを目的に、最先端の遺伝子組換え技術、ゲノム編集技術、バイオインフォマティクスなどを駆使して、植物病の診断・治療・防除・予防のための高度先端臨床技術の開発を行います。さらに、生産現場で発生する植物の病気を診断し治療する「植物医師」の養成と組織化を担う社会科学的研究分野をも包含します。 本講義では、植物学、微生物学、分子生物学から社会科学までを含む極めて幅広い学問領域である「植物医科学」について、基礎から最先端にわたり易しくかみ砕いて紹介し、「植物医科学入門」の講義構成を心掛けました。植物・微生物・昆虫の関わりについて、分子レベルの課題から有機農業、ゲノム編集作物、環境保全など社会的課題に至るまで平易に紹介し、広く普遍的な生命現象を俯瞰できるように構成しています。この分野にはこれまで触れたことのない方々が多いと思います。この講義を通じて皆さんが日頃見過ごしているに違いない身近にたくさんある植物の病気や植物環境微生物に興味をもって頂き、食糧・環境問題にそれらが深く関わっていることを知って頂きたいと考えています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31720	S	応用動物科学 I	杉浦 幸二、片岡 直行、桑原 正貴、武内 ゆかり、田中 智、山内 啓太郎、李 俊佑、伊藤 公一、村田 幸久、後藤 康之、内藤 邦彦、角田 茂、高橋 伸一郎	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	動物生命科学へのいざない					
授業の目標概要	哺乳動物が持つ複雑で雑多な生命現象、新たなバイオテクノロジーについて最新の情報を含め、オムニバス形式で解説する。授業内容は、哺乳類生殖学・感染症学・ペットの問題行動・発生工学・記憶と学習・アレルギーの科学・栄養学・RNA 学・ワクチンの科学などが挙げられ、広範な話題が提供される。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31721	S 1	食の科学	山内 祥生、三坂 巧、喜田 聡、内田 浩二、東原 和成、鈴木 道生、永田 宏次	農学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	食に関する生命科学					
授業の目標概要	食は、ヒトの生命活動に不可欠であり、栄養素の供給のみならず、香りや味覚を介して感覚を刺激し、さらに体内において疾病の発症を遅延・予防する機能性も発揮する。また一方で、バランスを欠いた食生活は糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の原因になっており、生活習慣病に起因する疾患は世界の主要な死因の一つとなっている。本講義では、食の持つ多様な機能について、多面的角度から学ぶことを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31722	S 1	天然物の科学	高山 誠司、中嶋 正敏、浅見 忠男、鈴木 道生、永田 宏次、藤井 壮太	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	生命を支える生理活性物質／Bioactive Compounds Supporting Life					
授業の目標概要	生物が作り出す分子の実体解明から天然物科学がスタートした。それらの中には、生殖、発生・分化、成長、恒常性維持などにおいて、きわめて微量で特有の作用を示すものがある。これらを総称して、「生理活性物質」と呼んでいる。農学部ではこれまで、最先端の精製・構造解析技術を取り入れることで、ビタミン、薬理活性物質、ホルモン、フェロモンなど様々な生理活性物質の発見に成功してきた。新たな生理活性物質の発見は、生命の理解を飛躍的に深化させると同時に、人類の生活の向上に大いに貢献する。そして今日では、生物に関するゲノム情報など多彩な情報の蓄積に伴い、生理活性物質の探索は新たな局面を迎え、従来では全く想定されなかった分子が次々と発見されるに至っている。本科目では、新たな生理活性物質の発見に挑戦している教師陣による講義を通じて、生理活性物質化学の考え方と研究の現状について学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31723	S 1	生物素材の科学	山口 哲生、五十嵐 圭日子、岩田 忠久、齋藤 継之、横山 朝哉	農学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	バイオマスの科学					
授業の目標概要	「バイオマス」とは、動植物などから生まれた生物（bio）資源（mass）の総称で、再生可能素材・再生可能エネルギーの原料として、近年急速に注目が集まっています。地球温暖化対策，循環型社会の構築，農山村の活性化，地域環境の改善など様々な方面での活用が望まれており、化石資源の乏しい我が国において次世代社会での利用が期待されている重要な資源です。 本講義では、高校までの勉強で触れられることがなかったバイオマスに関する基礎を学ぶことができ、さらに地球上に存在する様々なバイオマスの化学的・生物学的変換に関する最新の研究およびバイオマスを材料として利用するための最先端の技術などに関して知識を深めることを目標としています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31724	S	森の生物学	久保田 耕平、福田 健二、益守 眞也、丹下 健、松下 範久、鎌田 直人	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　森の生物学：共存する森林生物

授業の目標概要

森林は，生物多様性のもっとも高い生態系のひとつである。そこでは，多種多様な植物，動物，微生物が互いに影響（相互作用）し合いながら，それぞれを取り巻く環境条件に適応して繁殖し，共存している。

森林内の植物は，取り巻く光環境や水環境に自らを適応させ，光合成により有機物を生産して，森林全体の物質収支を支えている。動物は，その植物を食べて有機物を得ている。さらに，植物や動物の遺体を分解して有機物を無機化するのは，菌類などの微生物の役目である。分解された有機物は，やがて再び植物によって有機物へと合成されていく。こうして，森林内で主役を演じる三者の間を有機物が巡っていくが，有機物の受け渡しに平行して，三者の間では，様々な相互作用が起こっている。例えばナラ類は，異なる光条件下でそれぞれの環境に適するよう，生理機能や樹形を変化させる。また，ブナアオシャチホコやスギカミキリはブナやスギの葉や幹を餌にするが，樹木は摂食を防ぐ様々な仕組みを発動して危害を抑制する。森林内には，植食性動物だけでなく，動物や菌類を捕食したり寄生したりする動物も多数生息しており，それらの間でも多種多様な相互作用が繰り広げられている。一方，林床の落ち葉や枯れ木には，腐朽菌が生息しており，有機物の分解を進めている。その他微生物には，マツタケのようにマツの根に共生して植物の生長を助けたり，逆にならたけ病菌のように様々な樹木に甚大な病害を与えたりして，直接的に樹木と相互作用するものもいる。

この講義では，このような森林で見られる樹木の環境への適応と植物－動物－微生物間の複雑な相互関係を，多面的に紹介し，解説する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31233	S	自然現象とモデル	長谷川 宗良、塩見 雄毅、加藤 雄介、上野 和紀、堀田 知佐、池田 昌司、福島 孝治	先進科学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　自然現象とモデル

授業の目標概要

授業の目標、概要：自然科学では様々な現象のモデル化を行い、観測結果とモデルに基づいた計算結果を比べることで、モデルの成否を判断し、良いモデルは科学理論として受け入れられる。本講義では、物質の性質、すなわち物性科学にテーマを絞り、自然現象がモデルによっていかに説明されるか学んでもらう。

例えば、リニアモーターカー、スーパーコンピューター、量子通信技術といった最先端の科学技術は，物質の性質，例えば電気伝導度，比熱，屈折率，磁性などを巧みに制御することによって機能している。これらの性質は、物質中のの電子の応答の結果である。

しかし、物質中の電子は、莫大な数があり、直感の通じない量子の世界にあるため、物質の性質と電子応答を関係づけるのは困難である。このため、電子の応答を上手にモデル化し、また多数の粒子に特有な現象をモデル化することで、物質の性質と電子の応答の関係を解説する。

本講義は、統合自然科学科・物質基礎科学コースの物理・化学の教員により行われ、実験を専門とする教員は演示実験を取り入れ、理論を専門とする教員はエレガントな学問体系や理論モデル、コンピュータを利用した先端的な科学について分かりやすく解説する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31098	S	先進科学Ⅰα	野口 篤史	先進科学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　量子技術と量子コンピュータ（アドバンスト理科）

授業の目標概要

「量子コンピュータ」この単語を聞いたことがあるだろうか。
近年、大学だけでなく、大企業やベンチャー企業までもが量子コンピュータの開発や応用を目指した研究を進めており、夢のコンピュータである量子コンピュータを使える世界が音を立てて近づいてきている．量子コンピュータが扱う量子情報を担う物理系は，分子や原子からなるものから，超伝導体の電気回路からなる人工的な素子まで様々なものが研究されてきた．この講義では，量子コンピュータが扱う量子ビットの基礎を学ぶ。また、授業の中では IBM Q Experience が提供する超伝導量子コンピュータ実機を使用可能なクラウドサービスを利用し、量子アルゴリズムを実際にプログラムし、量子コンピュータにて実行する演習を行う。また、授業の後半ではハードウェアとしての超伝導量子コンピュータの仕組みやその他の量子技術について解説する。
python の記述経験や量子力学への知識の有無は問わないので、量子コンピュータ・量子力学に興味のある学生を歓迎します。

受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時にレポート課題によって数学などに関する基礎学力の確認と量子力学への学習意欲に関する調査を行い選抜する。その結果、受講対象者をアドバンスト理科のホームページに掲載する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31099	S	先進科学Ⅲα	柳澤 実穂	先進科学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　物理学による生命の記述（アドバンスト理科）

授業の目標概要

「生命の神秘」を見たとき、それを物理学で説明できたならば、その「神秘さ」は失われてしまうでしょうか。あるいは、「物質の神秘さ」をもたらすでしょうか。皆さんの答えがそのどちらであったとしても、生命現象の根底には数多くの物理法則が存在しています。例えば、細胞運動ではタンパク質溶液の液体－固体相転移（ゾル―ゲル相転移）やタンパク質の反応拡散波が鍵となります。また近年、細胞内ではタンパク質や核酸が会合し、膜を持たないオルガネラとして機能することが分かってきました。この現象は相分離と呼ばれ、その原理はドレッシングで生じる水・油の分離と同じものです。試験管中でみられる相分離や相転移といった現象は、理論的に記述できるものの、少量かつ非平衡な細胞内での振る舞いとは異なる点も多くがあり、物理的に説明できない現象も多く存在します。こうした溝を埋めるべく、生物学と物理学が協力して研究を展開してきています。本講義では、物理学で説明できる（はずの）物質と生物の境界を明確化することで、現在の物理学で説明できる「物質の神秘さ」や説明できない「生命の神秘さ」を味わうことを目指します。そのため、物理学は得意ではないけれど好きな生物学を極めたい、あるいは、生物学は得意ではないけれど物理学を極めたい、という方を歓迎します。

本講義の前半では、ソフトという力学的性質の定義から、従来の気体・液体・個体とは異なるソフトマター全般の力学的性質について理解します。その後、生物細胞を題材に力学や熱力学、統計力学の知識を総動員しながら、生命を特徴付ける「生物の形、物質の移送、運動」といった現象について物理的に表現します。さらに、状況が許せば、物質である人工細胞と生細胞を実際に観察したり、マイクロキャピラリーと呼ばれる非常に細いガラス管やレーザーピンセットを直接操作する、生物らしさの体験も行います。

本講義では、議論やデモ実験を行うため、受講人数を 20 人程度に制限します。受講希望者が 20 名を超える場合には、ガイダンス後に基礎学力の確認と、生物学と物理学の複合領域への学習意欲に関する調査による選抜を行います。

総合科目　F　（数理・情報）

微分積分学続論	開講区分	S

授業の目標・概要	多変数の微分積分学における様々な基本的手法を取り上げ，例を中心として必要な理論を学び，具体的な問題を扱えるようにする． 数学・物理学はもちろんのこと，幅広い理学・工学で用いられる重要かつ有用な手法を取り扱うので，将来少しでも数学的道具を使うのであれば必須の内容である．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/advanced_calculus.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30373	火 2	柏原 崇人	2 年 文科 理科
30374	火 2	中野 雄史	2 年 文科 理科
31003	木 5	松本 久義	2 年 文科 理科
31004	木 5	高山 茂晴	2 年 文科 理科

常微分方程式	開講区分	S

授業の目標・概要	種々の量の時間発展は，多くの場合，常微分方程式を用いて記述できる．また，電柱の間にぶら下がった電線の形状や屈折する光の経路をはじめ，さまざまな曲線の幾何学的性質を常微分方程式によって特徴付けることができる．常微分方程式は，自然科学や工学，社会科学などの多くの分野で重要な役割を演じている．この講義では，常微分方程式の理論的基礎を学ぶとともに，幾つかの重要な具体例を取り上げ，それぞれの方程式の解法と解の性質について解説する．これらの内容の理解には，微分積分学，および線型代数学で学んだ固有値・固有ベクトルに関する基礎知識が必要となる．したがって，本講義はこれらの知識の総合的応用篇であるとともに，進んで偏微分方程式論を学ぶための入門篇でもある．
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によっては小テストやレポート等を含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ode.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30805	木 1	橋本 義武	2 年 文科 理一(1-10)
30806	木 1	坂井 秀隆	2 年 文科 理一(11-17)
30807	木 1	足助 太郎	2 年 文科 理一(18-24)
30808	木 1	志甫 淳	2 年 文科 理一(25-32)
30809	木 1	松本 久義	2 年 文科 理一(33-39)
30810	木 1	岩木 耕平	2 年 文科 理二三(1-2,5,7-11,17)
30811	木 1	加藤 晃史	2 年 文科 理二三(3-4,13-16,18,21)
30812	木 1	吉野 太郎	2 年 文科 理二三(6,12,19-20,22-24)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30099	S	ベクトル解析	三竹 大寿	数学	月 2	2 年 文科 理科
講義題目	ベクトル解析					
授業の目標概要	１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30100	S	ベクトル解析	大島 芳樹	数学	月 2	2 年 文科 理科
講義題目	ベクトル解析					
授業の目標概要	１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31100	S	ベクトル解析	松尾 厚	数学	金 2	2 年 文科 理科
講義題目	ベクトル解析					
授業の目標概要	１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31101	S	ベクトル解析	權業 善範	数学	金 2	2 年 文科 理科
講義題目	ベクトル解析					
授業の目標概要	１年生で学んだ「微分積分学」において実数を値に持つ関数の微積分を扱ったが，自然科学では運動する点の速度のようにベクトルに値を持つ時間の関数や，各点の電荷密度のように空間上の関数などが， よくあらわれる．さらに電磁気学における磁場のように，空間上の関数であってベクトルに値を持つものが扱われることも多い．ベクトルに値をもつ関数はベクトル場と呼ばれ， 実数に値をもつ通常の関数はスカラー場とも呼ばれる．そのような種々の関数があらわれ，微積分学的な性質とベクトルのもつ性質が組み合わさって重要な役割を演じる自然現象が，電磁気学や流体力学をはじめとして数多くの場面で見かけられる．本科目では自然現象の記述と考察に適用できるそのような数学的枠組みについて解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30264	S	解析学基礎	未定	数学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		解析学基礎				
授業の目標概要		解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である．この講義では，実数の連続性と ε-δ 論法に基づき，数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30798	S	解析学基礎	高田 了	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		解析学基礎				
授業の目標概要		解析学の要である無限操作を誤りなく扱うには深い理解が必要である．この講義では，実数の連続性と ε-δ 論法に基づき，数列や関数列の収束などの解析学の基礎となる概念をきちんと取り扱うことによって理解を深める．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30826	S	数理科学概論 I (文科生)	小林 俊行	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目		数理科学概論 I				
授業の目標概要		文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30375	S	数理科学概論III(文科生)	高木 俊輔	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目						
授業の目標概要		一年生向けの微積積分学の講義では、実数の構成には立ち入らないことが多い。この講義では、有理数の完備化として実数を構成し、構成した実数が「数学 I (文科生)」などの微分積分学の講義で学んだ性質を満たすことを確認する。また有理数の別の完備化として p 進数を構成し、p 進数の基本性質についても解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30376	S	統計データ解析 II	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		統計データ解析 II では，統計ソフトウェア R の説明の後，高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析，および時系列データの基本的な解析法を学ぶ．統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え，微分積分学，線型代数学等の前期課程数学と連携し，数理科学的側面を意識しながら，実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30799	S	統計データ解析 II	小池 祐太	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		統計データ解析 II では，統計ソフトウェア R の説明の後，高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析，および時系列データの基本的な解析法を学ぶ．統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え，微分積分学，線型代数学等の前期課程数学と連携し，数理科学的側面を意識しながら，実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31102	S	統計データ解析 II	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		データサイエンス入門				
授業の目標概要		統計データ解析 II では，統計ソフトウェア R の説明の後，高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析，および時系列データの基本的な解析法を学ぶ．統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え，微分積分学，線型代数学等の前期課程数学と連携し，数理科学的側面を意識しながら，実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する．				

図形科学Ｂ

図形科学Ｂ	開講区分	S

授業の目標・概要　３次元立体形状の図的表現および形状処理について、手描作図に基づいた図法幾何学を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。
主な項目は以下のとおり。
１.投影法
1.1 投影―投影の原理,各種投影法
1.2 軸測投影,透視投影
２.正投影による空間図形の表現と解析
2.1 点・直線・平面―主・副投影,直線の実長,平面の実形,交わり
2.2 基本的立体―多面体,(円)錐,(円)柱,球,その他の曲面
2.3 基本立体の交わり―切断,相貫

成績評価方法　出席点、講義期間中に課したレポートおよびセメスター末試験。

教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名　【入力可】
著者（訳者）　【入力可】
出版社　【入力可】
ISBN　【入力可】

関連ホームページ

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
30073	月 2	奈尾 信英	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(5-6,8,29)理二三(1-3,6-9,20-22)
30644	水 2	横山 ゆりか	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(12-14,38)理二三(5,12-13,16,18-19,24)
30722	水 3	金井 崇	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(10,15,18,23,27-28,30,35)理二三(23)
30752	水 4	椎名 久美子	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(7,11,16-17,19,24,36-37)
30921	木 3	腰原 幹雄	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(1-4,9,21,26,31-34,39)
31180	金 4	金 徳祐	1 年 文科 理科 2 年 文科 理一(20,22,25)理二三(4,10-11,14-15,17)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30001	S	基礎統計	安藤 雅和	経済・統計	月 1	1 年 文科 理一(1-10)理二三(1-6,8) 2 年 文科 理一(1-7,36-38) 理二三(6,8,14,16)
講義題目	基礎統計					
授業の目標概要	統計学は、日常生活や社会で起こる様々な現象を観察し、そこから得られる数値データを分析（記述、検証など）して、その現象の法則性を探っていくことを目的としている。近年のコンピュータの普及に伴い、容易にソフトウェアを用いてデータ分析ができるようになってきたが、データの特性や分析の目的に応じた統計手法を用いるためには、統計学の基礎的概念を理解し、数値結果を適切に評価する能力を身につける必要がある。そこで、本講義では、統計学の基礎的概念と統計手法について解説し、どのように現実の問題に適用されているのかを身近な例を用いて説明する。通常、データには対象について知りたいと思う性質とは無関係な変動が加わる可能性があり、そのような偶然的な変動は、確率論の法則に従うものと考えられるため、確率論についても取り上げることにする。そして、確率論を背景にして体系づけられた統計的推測について、推定と仮説検定を通して学ぶ。受講後には、新たな問題に直面した時に自ら統計分析を行い問題解決ができるようになることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30226	S	基礎統計	来島 愛子	経済・統計	月 5	1 年 文科 理一(26-30)理二三(12-13,21-24) 2 年 文科 理一(23-27,29-30,39)理二三(5,13,18,24)
講義題目	統計学入門					
授業の目標概要	コンピュータの発達により非常に多くのデータを収集し、分析することが可能となった現在、自然科学や社会科学、多くの分野において統計学の考え方と統計的方法を正しく使うことが必要不可欠となっている。本講義では統計学の基礎となる概念、考え方を解説する。統計学において確率論も重要な基礎であり、記述統計（データの収集・要約)、推測統計（推定・検定）と合わせて扱う。大学の専門課程などにおいてデータを統計的に分析することができるように考え方を身につけることが目標である。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30961	S	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	木 4	1 年 文科 理一(13-18)理二三(7,11,14-16) 2 年 文科 理一(20-22,31-35)理二三(12,17,23)
講義題目	基礎統計					
授業の目標概要	統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31045	S	基礎統計	倉田 博史	経済・統計	金 2	1 年 文科 理一(11-12,19-25)理二三(9-10) 2 年 文科 理一(8-10,13-14,28)理二三(1-4,7,9-10,19)
講義題目	統計学入門					
授業の目標概要	本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化)、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31204	S	基礎統計	齊藤 史哲	経済・統計	金 5	1年 文科 理一(31-39)理二三(17-20) 2年 文科 理一(11-12,15-19)理二三(11,15,20-22)
講義題目	基礎統計					
授業の目標概要	文理を問わず、あらゆる学問において、データを適切に解析・理解するスキルは重要であり、従って、統計学の素養を身に付けることは必須である。本講義では、(i)データを整理するための平均・分散・ヒストグラムなどの記述統計、(ii)データのふるまいを表す確率分布、(iii)記述統計と確率分布の両者を基礎としてデータを解析する統計的推測、それぞれの基本事項の修得を目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31005	S	計算機プログラミング	松島 慎	情報・図形	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	プログラム構成論					
授業の目標概要	本講義では、プログラミングの基礎となるデータモデルの考え方を理解し、代表的なデータモデル、例えば、リスト、スタック、キュー、集合、木、グラフ、論理などについては、活用できるようになることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30378	S 1	計算機システム概論	森畑 明昌	情報・図形	火 2, 金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	計算機システム概論					
授業の目標概要	計算機システムは現代の情報化社会の基盤となっています。本講義では、計算機システムについて、様々な側面から、それがどのように構成されているか、それを設計・利用する上で理解しなければならない基本原理は何か、ということを学びます。 具体的に扱うトピックは以下の通りです。 1. 計算機アーキテクチャと高速化技術 2. Operating System 3. データベースシステム 4. 分散・並列処理 5. 科学技術計算 6. 人工知能 7. セキュリティ 8. プログラミング言語					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31712	S	計算の理論	今井 浩、小林 直樹	理学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	計算の複雑さと形式的意味論					
授業の目標概要	計算は、小学校で学ぶ四則演算から始まって、高校までに多項式・関数そしてその微分・積分など様々なものを学ぶ。高校では、教科情報でコンピュータによる計算も少し学び、プログラミングも経験しているだろう。大学では、より高次の計算を対象として学び、情報科学技術が社会基盤となった現代における基盤的学問として理工系分野ではどの分野でも、社会科学分野でもかなりの分野で勉学してくことになる。 本講義は、情報科学の立場から、計算を科学していく。計算とは、何らかの機構を用いて入力情報から所望の条件を満たす出力情報を得る過程であり、人間が自ら能動的に得ることができる操作である。その立場からは、自然界の種々のことも計算という観点で解釈して、新たな世界を開くこともできる。ここでの計算は、高校までのものと違い、理論として確固たる基盤をもつ対象であり、その神髄を知ることは次世代の情報科学技術を創出し、今とは違った情報社会を構築していくことにつながる。 講義は、大学 1, 2 年次の学生を対象に、このような計算の理論をわかりやすく講究し、人類が自ら操作して得る新たな科学としての情報科学を理解することを目指す。計算の理論を学ぶことにより、知能に関する研究も自らの視野に入れることができるようになり、そのような方向も示すことにより、初学者を計算と知能を最先端で研究する情報科学の理論にいざなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31679	S	情報システム基礎 I	古関 隆章	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	情報システム基礎 I 「足からロケットまで---走る／飛ぶ／探る科学入門」 人や物を効率良く運ぶことが、文明社会の成立に欠かせず、移動手段を提供する技術が、我々の生活の基本を支え、そして生活を楽しく豊かにするために大切です。実際、日常的な生活の中で、自動車や鉄道などの身近な交通は不可欠なものとなっていることを実感しているでしょう。人々は太古の昔から、速くて、快適で、便利な移動手段を求めてきました。近年は、これに加えて、安全性への意識も高まっており、環境への負担の少ない交通、高齢社 会への移行に伴い「交通弱者でも移動の自由が奪われない」バリアフリーに対応した交通など、移動手段の「質」に対する要求もさらに高いものとなっていま す。このような様々な要求に応える「運ぶ」営みのために、電気や情報の技術が貢献できることは多く、交通における電気・電子・情報技術の役割はますます大きくなっています。 本講義では、このような視点から、電気エネルギーおよび情報通信や計算機技術を積極的に用いて人や物を「うまく」運ぶ方法論をオムニバス形式で解説します。高校や教養学部で習う物理や数学の延長上にどのようにこれらの技術が構築されているかをできるだけわかりやすく具体的に解説するとともに、最新の研究動向を紹介します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31683	S 1	モデリングと シミュレーション基礎 I	澁田 靖	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	python プログラミングによるマテリアルデザイン マテリアル(材料)工学に関連する物理・化学モデルを python プログラミングにより実装し，数値解析の基礎を修得してもらいます。また機械学習の例題を通じてマテリアルズインフォマティクスについての理解を深めます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31687	S 1	モデリングと シミュレーション基礎 I	菅野 太郎	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	コンピュータモデルで社会を観る－社会システムデザインのための科学的アプローチ－ 社会問題の解決や社会制度設計に役立てるために、人の行動データや WEB 上のビッグデータから統計、数理、認知科学、社会科学、計算機科学などの原理に基づいて様々な人間集団や社会のモデルを構築し、エージェントシミュレーション、ネットワークシミュレーション、インタラクティブシミュレーションなどのコンピュータシミュレーション技術を用いてその振舞いをダイナミックに予測、解析する手法が注目されつつある。本講義では、こうした社会モデリングとシミュレーション技術を活用した社会システムデザイン・分析の代表例と最新の適用事例について紹介しその可能性について議論する。 1「社会システムのモデリングとシミュレーションのための基礎知識」 1.1 基本用語と社会システムデザインの概要 1.2 ヒューマンモデリング I（ヒューマンモデルとは） 1.3 ヒューマンモデリング II（チーム・組織・インタラクション） 1.4 コンピュータシミュレーションの使い方（理解・予測と検証、発見と共創） 2「基本モデルの紹介」 2.1 ライフゲームと創発性 2.2 社会心理モデルとゲーム理論 3「応用例の紹介（金融市場のモデリングとシミュレーション)」 3.1 金融市場の特徴と金融データの統計解析 3.2 金融市場のモデリング 3.3 金融市場のコンピュータシミュレーション 3.4 金融市場制度設計に向けて 4「まとめ」 4.1 まとめ				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30377	S	図形科学演習 I	舘 知宏、三木 優彰	情報・図形	火 2	2 年 文科 理科

講義題目　ボロノイ図、透視図、曲線折紙

授業の目標概要

目標：
形状を用いた思考は、言語や数式を用いたものとは本質的に異なるプロセスで理解や創造を飛躍的に手助けする。また図や模型製作による表現は、設計（デザイン）・製造分野における共同作業に欠かせないコミュニケーション手段でもある。本授業では、手描き製図と模型制作を通じて諸概念の図形的理解を深め、設計および、形を通した諸科学現象の解明のための基礎技能を修得する。

概要：
1. 様々な物理現象に現れるボロノイ図について幾何学的理解を深め、平面図形のオフセット、二次曲線でできた Medial Axis の作図を行う。
2. 線織面・可展面について学び、立体の切断と可展面の展開の作図、曲線折紙の製作を行う。
3. 視覚における透視投影の仕組みについて理解し、実際に立体形状の透視図を作成する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30800	S	図形科学演習 II	山口 泰	情報・図形	水 5	2 年 文科 理科

講義題目　グラフィクスプログラミング

授業の目標概要　Python プログラミングを通じて，2 次元および 3 次元コンピュータグラフィクスの基礎について学習する．

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31516	S	西洋史学へのいざない	勝田 俊輔	文学部	月 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要　高等学校などでは外国の歴史は、「世界史」として教えられています。しかし東大を始めとする多くの大学では、外国史は「西洋史学」や「東洋史学」の形で学ぶ／研究することになっています。もちろん、こうした枠は絶対的なものではなく、西洋と（日本を含めた）東洋との関係も研究のテーマとなり得ます。近年の「グローバル・ヒストリー」の隆盛は、そうした地域横断型の歴史研究の一例です。
その一方、我々の生きてきた世界において、ヨーロッパは単なる一地域にとどまらぬ個性をもち、他の地域に対して、良きにつけ悪しきにつけ大きな影響を与えてきました。この授業では、そうしたヨーロッパの歴史について考えるための手がかりを皆さんに提供することを目標としています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31462	S	化学システム工学で拓く未来社会	伊與木 健太、北田 敦	工学部	月 5	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要　化学システム工学科の教員が、持続可能な未来社会を創るための化学と工学を最新の研究を紹介しながら分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。

【環境・エネルギー分野】
・光触媒で太陽エネルギーを水素に変換する
・大気環境汚染を計測し、解決する
・データの力で材料を開発する

【医療分野】
・化学とバイオの力で病気に立ち向かう
・診断・治療ナノシステムを化学で創る
・化学と工学で創薬にイノベーションを起こす

「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には本郷キャンパス・化学システム工学科研究室見学会も案内します（参加は自由です）。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31476	S 1	これからの食糧生産を支える植物・土壌科学	柳澤 修一、妹尾 啓史、藤原 徹、大塚 重人、浅見 忠男、小林 奈通子、岡田 憲典	農学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要　今世紀半ばには 90 億人を超えると予想されている世界の人口を支えるためには作物生産性の向上が必須である。そのためには、土壌が有する物質変換や肥沃度維持の仕組み、植物の養分吸収や栄養環境適応の仕組みを明らかにして生産性向上に結び付けることが必要である。また、問題土壌や環境変動下での作物生産、雑草を克服した作物生産は今後の重要課題であり、劣悪な土壌や病害虫などのストレスに耐性を持つ作物の育種や、根寄生雑草を防除する新たな化学的手法が開発されている。一方、生産性向上と環境保全を両立した農業技術の開発が地球環境と地域環境の保全のために重要である。本授業科目では、このような研究に携わっている農学部の教員による最先端の講義を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31515	S	最前線の東洋史学	吉澤 誠一郎	文学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

21 世紀の世界が大きく動いているなか、歴史学にも新しい視点が次々に登場してきています。歴史学とは単に過去の事実を並べ立てる学問ではありません。常に問題意識を研ぎ澄まし、我々人類はどこから来て、どこにおり、そしてどこに向かうかを日々真剣に考え、そのうえで過去にアプローチしているのです。
この授業では、文学部で東洋史学を担当している教員が、それぞれ得意とする領域からトピックを選んで、歴史学の新しい波を紹介します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31452	S	サイバネティクス入門 ー物理・人・社会を繋げる 情報科学の先端ー	天野 薫	工学部	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

サイバネティクスとは、生物を含む自然系、機械を含む人工物、さらにはこれらを含む社会について、その基本構造を統一的に捉えることを指向した科学技術の概念である。生物が環境中の情報を計測し、処理し、自ら行動として環境に働きかける一連の流れを、信号処理、通信、さらにフィードバック制御に関わる数学で捉える。その上で、この原理を人工物に応用することで、自ら考え、判断・学習し、行動できる知的な機械を実現する方法論へ展開する。数学者ウィーナーによって 1947 年に創始されたこの学問体系は、生物、機械、社会を含むあらゆる物理的現象に関わる基本構造の抽出と、機能の設計・解析・制御などの方法論として今でも発展し続けており、脳工学、生体工学、バーチャルリアリティ、システム科学、人工知能（AI)などの現代的工学技術の礎のひとつとなっている。

この授業は、最先端の工学技術に関する講義と研究室の見学を通して、サイバネティクスの基本概念を理解してもらうことにある。様々な事象に対して、数学・物理学・情報学を駆使した現象の解析やモデル化を通し、新しい原理や方法論あるいは機構やシステムを創り出し、様々な分野での応用を可能にする工学の考え方や実際の最先端の研究に関し、工学部計数工学科システム情報工学コースの教員がオムニバス形式で紹介する。ブレインマシンインタフェース、バーチャルリアリティ、ロボティクス、音声・画像信号処理、生体医用工学といった最先端かつ広範な話題に触れることができ、しかも、それらが計測・解析・制御というサイバネティクスの共通の原理で語られることに驚きを覚えるであろう。人間の能力をいかにして機械などの人工物が獲得できるかを知る上でも、数学・物理学・情報学の基礎がどのように実践され役立つかを学ぶ上でも、人間と AI を含む機械が共生する将来像を考える上でも、この科目は充実した学識に触れる良い機会を提供できる。また、実際の研究現場を見学することにより、講義内容がどのような環境で着想され、育てられ、発展しているのかを見ることもできる。

具体的には以下に挙げるような、認識、行動、物理、情報、総合の 5 分野にわたるテーマに関する講義と研究室見学を行う。具体的な講義の内容の詳細と日程およびレポートの提出要領二関しては、掲示および初回の講義で案内する。

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45〜）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31530	S	ジェンダーを考える	小川 真理子	情報学環	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

現代社会では、想定外の政治的課題や事象が次々と起こっている。その際、マジョリティ側とは異なる視点、ジェンダーや多様性の視点を導入することで、複雑な事象や課題を別の視点から捉え、分析することが可能になる。政府が設定した「202030 年目標」は未達成に終わったが、新たに、2020 年代の可能な限り早期に社会のあらゆる分野において指導的地位に占める女性比率が少なくとも 30%程度になるよう目標を設定している。本講義では、ジェンダー平等後進国の日本の現状について、学生が認識を高め、ジェンダーをめぐる多様な問題について自ら考える機会を持つことを目的としている。
初回はイントロダクション、2 回目から 11 回目までは各講師の専門領域の視点や切り口からジェンダー不平等に関連したトピックについて講義を行う。第 12 回は講義を踏まえてグループに分かれてディスカッションを行い、第 13 回は発表とまとめの回とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31543	S	グローバル・コモンズの管理とシステム転換	川崎 昭如	未来ビジョン研究センター	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【目的】地球という人類の共有財産（Global Commons）を守るためには、社会・経済システムを急いで転換する必要があります。具体的には、気候、エネルギー、食料、都市といった地球システムに大きな影響を与える社会・経済システムを転換し、人類と地球が共に持続可能な未来を築く必要があります。本講義では、多様な学問に基づく「グローバル・コモンズの責任ある管理（Global Commons Stewardship）」についての総合知を習得することを目的とします。本課題に対する東京大学の取り組みについて学び、仲間との議論を通して、地球規模課題を自分事として捉えるとともに、社会・経済システムの転換を主導するリーダーシップと創造性を育むことを目指しています。

【内容】本講義では、はじめにサステイナビリティや社会共通資本などグローバル・コモンズを考える上で重要な基礎理論や概念について学びます。次に、地球温暖化や気候変動などの問題、そして、エネルギーや食料、都市など転換するべき社会・経済システムについての課題や今後の展望について議論します。
また、「グローバル・コモンズの責任ある管理」に関する国際的に共有される知的枠組みの構築と普及に関して、東京大学がさまざまな研究機関や国際的に連携しながら進めている取り組みについて学びます。

【履修後に身に付く能力】気候、エネルギー、食料、都市という国際社会が喫緊に取り組むべき課題を中心に、持続可能性や社会的共通資本といった俯瞰的視点から問題を捉えながら、グローバル・コモンズに関する重要な概念やキーワードを網羅的に学ぶことができます。
また、経済学研究科や工学系研究科、農学生命科学研究科などグローバル・コモンズを守るために東京大学の多様な部局で取り組んでいる研究活動について概括することができます。

・過去の講義の様子や最新の情報については、以下のサイトをご覧ください。
https://cgc.ifi.u-tokyo.ac.jp/research/u-tokyo-spring-gx/

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31812	S	気候と社会	瀬川 浩司	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

地球の気候システムはさまざまな時間スケールで変動しており、それにかかわる海洋環境の変化や極端気象の発生などの自然現象は、生態系はもちろん農林水産業といった人間社会の営みに影響してきた。20 世紀後半以降、気候の温暖化が顕著となり、科学的な評価にもとづき、産業革命以降の文明社会が排出してきた温室効果ガスがその原因であることが明らかになっている。温暖化による社会への負の影響を最小限に抑えるため、2050 年までに二酸化炭素の正味排出をゼロにするカーボンニュートラルが国際的な流れとなってきた。
気候変動あるいは地球温暖化の問題は、もはや自然科学の枠を超えている。気候変動を理解し予測する理学的なアプローチ、気候変動の影響を明らかにする農学・水産学・生物学的アプローチ、カーボンニュートラルを実現する工学的なアプローチに加えて、将来の社会の在り方に依存する温室効果ガスの排出経路推定、気候正義に代表される社会の格差解消に対する公共政策、個人から組織、国家までのさまざまな階層でカーボンニュートラルを達成するための行動変容など、人文社会科学的なアプローチを組み合わせたトランスフォーマティブサイエンスの実施が必要である。そこで本講義では、変わりゆく気候のもとで持続可能な社会を実現するための分野横断的な自然科学・社会科学・人文学研究を俯瞰する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31471	S	気候物理学入門 ~移ろいゆく気候の科学~	三浦 裕亮、吉森 正和、東塚 知己、小坂 優	理学部	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

気候変動や気象は、物理学を中心とする様々なアプローチで研究されている。例えば、大気・海洋の流れを記述する流体力学、地球と宇宙のエネルギー交換を記述する大気放射学、雲の生成と消滅を記述する雲微物理学、大気と海洋の間の相互作用、気候予測に具体的手段を提供する気候モデルなど、さまざまに展開している。本講義では、気候変動や気象、大気海洋大循環を記述する基礎方程式を示すとともに、それがどのように使われているかを講義する。

複数講師によるオムニバス。
各回あるいは複数回ごとに、気候・気象の科学で使う基礎的な方程式を示し、その物理的な意味とともに、その式がどのように使われるのか具体的現象を例に解説する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31429	S	Medical Biology 入門： 生命現象から病気の治療へ 多様な医学研究	菅谷 佑樹	医学部	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

当講義は、文系理系を問わず全科類の学生に向けて、医学部の教員によって行われる講義である。本学医学部では、「解明されていないこと、解決法が求められていることに対して新しい医学を発信する」、すなわち広い意味で医学研究を推進する人材の育成を目指している。本講義はその一環として行われる。
新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより社会が大きな変革を迫られたが、一方で mRNA ワクチンなどの新しい技術によってこれまでにない速いペースで感染症の克服が進んでいる。また、ゲノム編集を用いた生理機能の解明や遺伝子情報を活用したテーラーメイド医療など、医学研究の発展とそれに向けられた興味は学際的で多岐にわたる。こうした最先端の医学研究の背後には長年にわたる地道な基礎研究の積み重ねがあるが、そこに携わる研究者から直接研究についての考え方やより深い背景を学ぶ機会は驚くほど限られている。高校まではこうした最先端の医学研究を研究者自身が深く紹介するカリキュラムはほとんどなかったのではないだろうか。そこで将来多方面で活躍するだろう本学のみなさんに、この大学の医学系研究科で行われているこれらの研究活動についてなじみを持ってもらいたいと考え、本講義を企画した。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31469	S	UT チャレンジャーズ・ギルド A	廣瀬 明、永綱 浩二	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。
まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。
※受講人数：10 名
※開講場所： 駒場 KOMCEE 3 階 K301 号室
受講を希望する学生は、永綱（t-ngtna@g.ecc.u-tokyo.ac.jp） までメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選

ガイダンス/ Guidance：
合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加するほか、第 1 回講義で行う。
個別ガイダンスは 4 月 11 日 18：45 からオンラインで行う。
https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/236291390

※このゼミは 4 月 6 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31540	S	環境安全衛生入門 －身のまわりのリスクから学び、安心へつなげる－ Introduction to Environmental Health and Safety	飯本 武志	環境安全衛生部	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

ふと目を向ければ、私たちの身のまわりには様々なリスクがあることに気付きます。
いつも使っている駅のホーム。やや狭いうえ柵もないホームの横を急行電車が猛スピードで走り抜けていきます。これまで事故が起きなかったからこれからも起きないという保証はありません。そこには常にリスクが存在しています。では、そのリスクを低減するためにはどうしたらよいでしょうか？
安全で安心な社会の実現には、身のまわりの環境や安全についての多角的な視点と理解が必要です。本講義では、身近な話題から自然災害に至るまで、現在我々が抱えている諸問題とその解決に向けたアプローチについて、各分野の専門家が対話形式を盛り込んでわかりやすく解説します。文系・理系を問わずすべての学生を対象とし、将来の我が国を担う皆さんが環境と安全の分野に対して正しく興味をもち、安心へとつながる道筋を自分で考えることができるようサポートします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31491	S	数理科学の研究フロンティア：宇宙、物質、生命、情報	河東 泰之	数理科学研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本講義では，宇宙の起源，物質の起源，生命の進化，情報と人工知能などの現代科学のフロンティアを，最前線の若手研究者が数理科学という切り口で俯瞰する．授業担当教員がモデレータとなり，理化学研究所の若手研究者をゲストに招き，以下の話題を議論する．ゲスト氏名と話題は，榎戸輝揚「宇宙線で紐解く自然界」，金子善宏「地震現象を計算する」，入谷亮介「生物現象とその動態を数理で理解する」，鮑園園「結び目のトポロジー」，大同暁人「物質の中のトポロジー」，松浦俊司「量子コンピュータの実用化に向けて」，瀧雅人「学習するコンピュータの知能」である．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31542	S	デジタル空間社会における研究と社会実装最前線	関本 義秀	デジタル空間社会連携研究機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

概要：
都市や森林・海洋などの空間を、IoT デバイスや衛星データなどの多様でダイナミックな時空間データに基づき理解することができるようになってきています。本授業では、こうした時空間ビッグデータに関連する分野横断的な学術研究の最先端に触れ、社会を取り巻く課題に対して、データを軸に多角的なアプローチで検討する視点や俯瞰的な思考力を取得することを目的とします。

目的：
複雑化・多様化する社会の諸事象の関係性を様々なデータを用いて分野横断的かつ俯瞰的に捉え、新たな視点での課題解決へのアプローチを導出する力が求められるようになってきます。そのために、本授業では、空間情報を用いて地球環境や都市環境をどのように捉え、また空間をめぐる様々な課題にどのようにアプローチすることができるのかを学びます。都市社会や自然環境の変動、自然災害、農業、経済、公衆衛生など多様な研究領域での最新の研究成果や社会実装の最先端に触れます。空間情報を軸とした具体的なアプローチや解決手法を学び、データ駆動型の思考法や新たな視点を取得することは、今後、環境や都市、社会基盤等の諸問題について自ら問いを立てて、またその問に対するアプローチを考える上で活きることでしょう。

目標：
-- デジタル化など社会を取り巻く変化や、デジタル空間社会実現に向けた可能性、課題や複雑性について理解する
-- さまざまな空間情報を収集し、それらを分析し、問いに対する答えを導くまでのアプローチを理解する
-- デジタル空間社会データの可能性や限界、課題を理解した上で、データに基づいたアプローチに関する問を立てたり、その問に対するアプローチに関する自分の意見や考えを発展させることができる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31522	S	歴史資料と地震・火山噴火	加納 靖之	地震研究所（地震火山史料連携研究機構）	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】

東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。

この連携研究機構が提供する講義では、歴史資料（史料）を用いた地震・火山噴火の研究について、背景となる知識やこれまでの成果、今後の展望について解説する。全体を理解するために必要な概論ののち、東北地方太平洋沖、南海トラフ、内陸活断層の地震、首都圏の地震について、具体的な事例－貞観の地震と富士山の噴火、明応の南海地震、慶長の豊後地震と畿内（伏見）地震、宝永の南海地震と富士山噴火、安政の江戸地震など－を取り上げ、歴史学および地震学・火山学のそれぞれの立場から説明する。どのように歴史資料を読みとき、どのように現象を理解するのかを学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。

授業は、佐竹健治（地震研究所）・杉森玲子（史料編纂所）・及川 亘（史料編纂所）・前野 深（地震研究所）・加納靖之（地震研究所）が分担する。

【目標】

・歴史学や地震学の基礎を、具体的な事例を通して学ぶ
・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る
・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える

【こんな人に来てほしい】

文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。

（参考）地震火山史料連携研究機構の概要

地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31451	S	数理工学のすすめ	郡 宏	工学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

数理工学とは，工学的問題解決のための数理的手法を（必要とあれば新しい概念や原理も）創り出す学問のことです．(http://www.keisu.t.u-tokyo.ac.jp/ も参照してくだい．）本講義では，数理工学において，どのようにして，新しい原理や数理的手法が開発され，発展していったか（発展しつつあるか）について，実例を交えて解説します．とくに，以下の 7 つの話題を扱います．

[数理工学のすすめガイダンス ＋ 動的現象のモデリング入門]
自然，人工物，社会には複雑な動的現象が多く存在し，それらを理解・制御するためには数理モデリングと解析が不可欠です．モデリングがどのようになされるか，またどのような解析方法があるのか，いくつかの例を用いて解説します。

[暗号と量子アルゴリズム]
暗号理論の概要と量子アルゴリズムによる影響を踏まえた近年の研究状況を説明し、暗号の安全性と関わりのある量子アルゴリズムの説明を行います。

[簡潔データ構造]
ビッグデータを圧縮したまま処理するデータ構造について説明する．

[数値解析入門]
科学・工学で現れる多くの数学的問題は，計算機の助けなしには解けません．「数値解析」は，そのために計算機で数学の問題をどう解くかを考える学問です．この「数値解析」の初歩を学びます．

[社会選択理論入門]
公平にケーキを分けるにはどのようにすれば良いでしょうか？社会選択理論とは、異なる好みを持つ人々に対して、適切に好みを集約する方法を数理的に解析する理論です。本講義では、社会選択理論の基礎と応用について解説します。

[機械学習の数理]
機械が学習するということはどういうことか？数理工学の立場からその基本原理を紹介し，深層学習やカーネル法といった機械学習手法に現れる数理工学的トピックを解説します．

[統計モデリング入門]
データをもとに現象の理解や予測を行うための統計モデリングの考え方について、いくつかの例を用いて解説します。

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45〜）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31497	S	現代の数学 ―その源泉とフロンティア―	小木曽 啓示	数理科学研究科	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。 今回は、講義順に、阿部紀行先生「超関数」、増田弘毅先生「統計的モデリングの数理」、大島芳樹先生「積分変換と Lie 群の表現」、宮本安人先生「チューリングパターン」の 4 テーマです。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31439	S	エコで安全で健康な社会を 実現する機械工学	村上 存	工学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	機械工学は、エコで安全で健康な社会を実現するための重要な基盤技術として，社会や産業の発展に大きく貢献してきました．そして，機械工学は未来に向けてさらに飛躍的な発展を遂げようとしています．このような機械工学の全貌を機械工学科の教員および外部講師（ソニー，ＪＲ東海，コマツ，デンソー）により分かりやすく解説します． ---------- ※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31470	S	ノーベル物理学賞と 「ほのぼの物理キーワード辞典」 から覗く最先端物理	酒井 明人	理学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	近年のノーベル物理学賞の受賞理由と物理学（物性物理、宇宙物理、素粒子物理、量子情報、地球物理など）の最新トピックスを関連させた内容を全 13 回に分けてオムニバス形式で、それぞれのトピックスに詳しい教員がわかりやすく説明する。本講義を受講することで、物理学分野の最先端動向を俯瞰的にとらえることができる。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31490	S	30 年後の世界へ——空気はいかに価値化されるべきか	石井 剛	教養学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

東アジア藝文書院は、2019 年度の発足以来、「30 年後の世界へ」をテーマとして毎年オムニバス講義を行ってきた。今年度は「空気の価値化」について考えたい。

グローバルな気候変動が人類の生存を危機に晒している。2050 年のカーボン・ニュートラル実現が人類共通の目標に据えられているが、専門家の中には 2030 年までが目標達成のために具体的な手立てを講じ得る最後のチャンスであるとの声もある。現に猛暑や異常渇水、巨大水害、森林火災などが世界中で深刻な被害をもたらしている。温室効果ガスの排出を止めるためには、少なくとも化石燃料の使用を制限しなければならないが、一方で、人々の安全かつ健やかなくらしのために、機械的な空気調和が欠かせないのも事実だ。わたしたちは、炭素化合物を排出して空気の条件そのものに人為的変更を加えながら、悪化した空気を局部的に調整するためにさらなるエネルギー消費を行うという矛盾した経済活動のことを文明と称している。

たしかにわたしたちは空気なしでは生活できない。空気を条件づけること（air conditioning）はしたがって、人間を条件づけること（human conditioning）である。だからこそ、わたしたちは空気に独自の価値を見出さなければならない。空気において新たな価値は創造できるだろうか？だが、そもそも空気に価値を見出すとはいかなることなのだろうか？この講義ではこれらの問いについて、分野を越えて議論したい。

新たな価値の創造は産業社会の革新的発展の原動力であり、豊かな明るい未来の到来を予感させる。だが、こうした期待には、価値とは交換価値であるという前提がある。だが、近代文明がそのように価値を矮小化してしまったために、人類は大きな代価を払っている。直接人類の文明生活が脅かされているだけではない。あらゆる生命を育む地球の生態環境全体が深刻に脅かされている。本来、地球は生きとし生けるものたちすべてにとっての「コモンズ」であるはずであり、その価値は交換価値によってだけ測られるものではない。

交換価値の外側には、価値にならない価値、非価値の価値が見出されるべきである。それを指標化するために「社会的共通資本」という概念がある。空気に価値があるとすれば、それはまず社会的共通資本としての価値であろう。その価値は交換価値よりも、交換を可能にする基礎要件に近い。ところで、交換は資本主義や近代社会に特有なものではない。人間の活動にはつねに何らかの交換がつきまとっている。つまり、交換によって媒介される人間活動は交換価値に先立って存在している。人間の行為に交換が付きまとっているということは、人間が関係性によって成り立つ動物だということを示す。人は空気なしに生きられない。だがそれは、生命維持に不可欠な物質としての空気への依存のみを意味するのではない。空気が交換を可能にする基礎要件であるということは、空気はまた、人の関係性を成立させるための〈場〉でもあるということを意味している。空気をよくしていくことは、したがって、関係性を生み出したり、促進したりすることでもあり、関係性はすべて交換価値に還元できるわけではない。

つまるところ、「空気の価値化」とは、物質であると同時に多様な関係を取り結ぶ〈場〉としての機能をも有する空気に独自の価値を見出すべく、非価値の価値に光を当てようとする創造的試みである。空気の価値を創造することは、価値概念の変容をもたらし、したがって、人間に対する理解のありようを変容させることにつながる。特に、関係性は人と人のみならず、自然の万物や超越との関係性を含むし、今日、関係性の〈場〉には物理空間のみならずサイバー空間までが含まれるはずだ。

カーボン・ニュートラルの実現が、人のよりよき生を顧みることのないままに目指されることになれば、2050 年にわたしたちが見出すのはディストピアの光景であるかもしれない。「空気はいかに価値化されるべきか」という問いは、価値概念の見直しから始めて、万物のよりよき共生的関係を可能にする社会経済システムを考えるプロジェクトである。これこそはいまアカデミアが果たすべき役割の中心であるにちがいない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31440	S	UT-ONE（1 年生全員向け Project Debut Stage）	杉上 雄紀	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

ようこそ、受験勉強からプロジェクトの世界へ！

UT-ONE は、1 年生 3000 人全員で同時進行を目指す超大規模なプロジェクト実践型オンライン講義です。

東大の様々な講義で使われているチャットツール Slack の解説から始まり、他のプロジェクト型講義の紹介やプロジェクト実践のノウハウを共有していきます。金曜 5 限にリアルタイム開催しますが、講義の動画は Slack で共有されますので、タイムシフトで受講できます。

また、対面でのプロジェクト体験として、同じことに興味を持つ違う科類の 1 年生とのマッチングランチ会と駒場クエストという約 1 時間のキャンパス内探索の 2 つを開催。4 月中にそれぞれ 1 回以上参加しフォトレポートを提出すれば、総合科目の 1 単位が取得できます。

UT-ONE の Slack は、1 年生が大学生活をより楽しむためのポータル・コミュニティでもあります。
同じ講義を受けている人がリアルタイムにつぶやきあえるチャンネルや、上級生と交流しながらプロジェクトに挑戦したり大学生活について質問できる環境が整っています。

5,6 月には複数のテーマから 1 つを選び、仲間と共に挑戦できるプロジェクト実践編も用意しています。週 1 回 30 分のオンライン講義でノウハウ習得とペースメイクをしながら、4 月に出会った仲間とプロジェクト活動を実施し、6 月末の講義最終回でその苦労と喜びを発表します。

5,6 月のプロジェクトの例（仮）
企業コラボ：3D Printer のエンジニアリング会社とものづくり、イノベーション系メディアに新トレンドの記事掲載
社会課題解決：地元の中高生に東京や大学の生活を紹介、駒場の商店街マップ＆外食キャンペーン
文化・国際：外国人留学生と書道イベント＆文化比較、留学生と共にその国のゲームの体験会を開催

東大にある多様な学びの場を知り、社会課題と向き合う自分自身を知り、同じ思いを持つ仲間と出会って一緒にプロジェクトをやってみることで、社会と自分との関係を考える出発点とする。
それが、あらゆる創造と挑戦の源泉、アントレプレナーシップ（起業家精神）の第一歩だと私たちは信じています。

起業・アントレプレナーシップ・イノベーションに興味がある方はもちろん、正解がある受験勉強を終え自分なりの答えが求められる社会に出るまでの間に、創造的な協働作業を楽しいと思える自分になりたいと思うすべての 1 年生を歓迎します。

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

※本講義はソニー東大社会連携講座 Ignite Your Ambition と東大生メディア UT-BASE のコラボにより企画・運営されています
昨年度に UT-ONE を受講した学生がスタッフとして参加しています

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31441	S	スタートアップ・トレーニング	杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

テクノロジー×デザイン×ビジネスのスタートアップ手法を社会実装を通じて身に着けるソニー社会連携講座のトレーニング・パートです。自分の頭で考え、手を動かして作り、足を運んで使ってもらう事を繰り返すことで、圧倒的な体験と野心的な未来構想を生み出す新規事業開発の次世代リーダーになります。

本郷近隣の東京芸術大学・デジハリの学生や現役の社内起業家と共に活動。人生を賭けて挑みたいことを本気で見つけたい人を、文理・学年問わず歓迎します。

社会連携講座の全体像や具体的な曜日･カリキュラムについてはオリエンテーションや公式サイトを確認してください。

オリエンテーション:
4/5(水)17:00-18:00 ソニー社会連携講座 2023 オリエンテーション
※Zoom URL は ITC-LMS の「オンライン授業情報」欄を確認すること

公式サイト ※2023 年 3 月末に更新予定
https://ignite-your-ambition.com

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31443	S	「使う、わかる、好きになる」設計工学×認知心理学	杉上 雄紀	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

世の中には多くの製品やサービスがあふれていますが，機能は良いのに使いにくいもの，無くても困らないのについ使ってしまうものなど，その評価は様々です．皆さんは，誰もがこれらの製品の使い手＝ユーザであり，また将来は他のユーザに製品を届ける作り手＝設計者にもなるかもしれません．

ものづくりの手法について学ぶ「設計工学」という分野では，製品の設計（デザイン）と評価の関係について知ることができます．この分野では，力学などの知見に基づく物理・化学的な評価を行う手法が伝統的に研究されていますが，ヒトの感じ方や考え方についての知見を活かしてユーザの評価の仕組みを理解しようとする研究は発展途上です．

この授業では，ヒトを研究対象とする基礎分野「認知心理学」と，ものづくりの手法を研究対象とする応用分野「設計工学」の融合によって，製品の設計とユーザ評価の関係を明らかにするための方法論を探っていきます．

授業を通じて，
①「設計工学」の知識・技術を概観し，
②「認知心理学」の研究手法の例を，実際に製品を使用する演習を通じて学びます．

授業の後半では演習で受講者から集めたデータをもとに，ユーザが製品を評価するときの思考プロセスについて考察します．
発展途上の分野をトピックとしているため，教科書やインターネットに正解が載っているわけではありません．
受講者の皆さんの気づきや考えをもとに議論ができることを期待していますので，事前の知識や興味によらず関心のある学生の方に受講していただければと思います．

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

本講義は 4 月上旬に開催予定の学術フロンティアの合同説明会に参加します
30 分程度のオリエンテーション動画の URL をその際に共有予定です、ITC-LMS にも掲載します

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31465	S	海研究のフロンティアⅠ	早稲田 卓爾	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本講義は、東京大学海洋アライアンスを構成する教員による，駒場キャンパス，本郷キャンパス，柏キャンパスの実験施設の見学と講義を通して，海洋研究の最先端に触れることが目的である．例えば，海中ロボットの実験施設，船体運動を計測する大水槽，海洋生物などを研究する施設，洋上風車の研究をする施設，海洋の流れのメカニズムを解明する実験装置などを見学することができます．

講義に関する追加情報は、以下に記載されます。
http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31494	S	Software Foundations 輪講	植田 一石	数理科学研究科	月 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	コンピューターの複雑さと社会における役割は増大する一方であり、高信頼ソフトウエアに対する需要はかつてなく高まっている。この授業の目標は、高信頼ソフトウエアの基礎となる論理学と、ソフトウエアの形式的検証を行うための定理証明支援系、それに並列処理などとの関連で重要性が高まっている関数型プログラミングなどについて学ぶことである。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31520	S	マグリブ近現代史入門 （植民地支配を考える）	渡邊 祥子	東洋文化研究所	月 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この授業では、旧フランス領北アフリカ・マグリブ地域（モロッコ、アルジェリア、チュニジア）の近現代史について、フランス植民地主義の特徴と思想的・制度的変遷、植民地体験が現地社会に及ぼした政治的・文化的・社会的影響、マグリブ人による抵抗の様々な戦略、植民地体制の揺らぎと脱植民地化の過程等に着目しながら学ぶ。 参加者は、毎回事前配布する課題教材（英語または日本語の論文 1〜2 本程度）を事前に読み、背景知識を講師による講義で学んだうえで、講義後に行うディスカッションに積極的に参加することを期待される。課題教材を読み込み、歴史的な文脈を踏まえつつ、自分の言葉で分析を行ったり、意見を述べることができるようになることを目標とする。 マグリブ地域や植民地史に関心がある参加者を広く歓迎する。中東・北アフリカ近現代史、フランス近現代史、アラビア語およびフランス語の基礎的な知識があることが望ましいが、いずれも必須条件とはしない。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31478	S	動物細胞研究法入門	田中 智、片岡 直行、 伯野 史彦、杉浦 幸二、 後藤 康之、高橋 伸一郎	農学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	動物の生命現象を解明しようという努力は、個体の観察から始まったことは言うまでもない。これが組織、そして細胞へと機能の解析が進んだのは、「細胞培養」という技術が開発されたことに依るところが大きい。細胞は、分離して培養することができる生物の最小単位と言われている。これらの細胞を用いて、それぞれの細胞に特異的な生命現象や、普遍的な現象の機構などを検討できるようになったのは大きな進歩である。その後、遺伝子工学技術が開発され、動物細胞に外来遺伝子を導入し高発現したり、内在性遺伝子の発現を抑制したりすることも可能となった。この技術の開発により、細胞レベルで、興味がある遺伝子の機能、これがコードするタンパク質の機能などを調べることができるようになり、細胞生物学的研究が開花した。本講義では、このような動物細胞を用いた研究の原理と手法、実例などを紹介、動物細胞を用いた研究で何ができるのかを知ることを目標とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31488	S	実践的プログラミング	金子 知適	情報・図形科学	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、適切なアルゴリズムを考えることと、それを正確にプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。 プログラミングの経験を受講の前提とする（授業では文法等は解説しない）。詳細は http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/ を参照のこと.						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31493	S	モジュラー曲線と数論幾何学	三枝 洋一	理学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	モジュラー曲線とは，複素上半空間（虚部が正である複素数全体）を「折り畳んで」得られる図形のことである．一見全く明らかではないことであるが，モジュラー曲線の背後には多くの代数的・整数論的な現象が隠れている．この講義では，具体的なモジュラー曲線を通して，フェルマー予想，佐藤・テイト予想，ラングランズ予想，バーチ・スウィンナートン＝ダイアー予想といった，整数論における大定理・大予想がどのようなものであるかについて解説し，数論幾何学と呼ばれる分野への入門を試みる．						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31518	S		宮田 眞治	文学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	(UTAS WEB シラバス参照)						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31536	S	国際政治の新しい課題	鈴木 一人	公共政策大学院	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	現代の国際政治は伝統的な国家間関係だけでは説明できない。一方ではアメリカの超大国としての地位が衰退し、中国の台頭やロシアなどの地域大国の影響力が増しているが、他方で、世界は自由貿易を基調とした、グローバル市場の統合が進み、高度に相互依存関係にある。こうした中で国際政治を学ぶ上で必要なコンセプトをきちんと理解し、その上で国際政治の現状を理解するための基礎となる知識と解釈を身につけることを目的とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31541	S	サイバーセキュリティ	宮本 大輔	情報基盤センター	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	昨今、社会におけるサイバーセキュリティを脅かす事件や事故が毎日のように発生している。それらがどのような形で発生し、その裏側でどんなことが起きているのかについて、本学の情報セキュリティ教育研究センターの教員、ならびに、Z ホールディングス(ヤフー株式会社、LINE 株式会社)等からお招きするセキュリティ専門家が、わかりやすい言葉で解説していく。 はじめにセキュリティの概論や総論について、技術・経営・法律・人材育成などの観点から解説する。その後、セキュリティの最新のトレンドを形成している分野や、サイバー社会の多種多様なサービスと、セキュリティとの関係を解説する。それぞれの分野とセキュリティがどのように関係し、安心・安全なサービスを提供するためにどのような努力がなされているかについては、Z ホールディングス社などの現場の事例を基に、リアリティのある話題を、わかりやすく解説していく。 授業は講義形式で実施し、毎回提出する講義レポートにより成績評価を行う。全 11 回以上のレポート提出をもって単位取得とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40201	S 2	植物栄養学入門	藤原 徹、大森 良弘、 反田 直之、神谷 岳洋	農学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	地球上の生態系は植物抜きでは成り立たない。植物の成長には例外なく無機栄養を吸収する必要がある。植物の無機栄養の吸収は植物の生育を促進し人類に恵みをもたらす一方で、物質の移動をもたらし環境に大きな影響を与える。人類の活動がさらにその影響を大きくしている。本講義では植物と栄養の関わりを多様な観点から考え、植物の進化における栄養吸収の役割や、文明が起こって以来、人類の活動が、植物の持つ特性によって恩恵を受けるとともに、制限もされていることを理解するとともに、それらを踏まえて将来の展望について議論する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31506	S	SDGs を学べる授業をつくろう	中澤 明子、中村 長史	教養教育高度化機構	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として 2015 年の国連総会で採択され、17 の目標が定められている。MDGs が途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGs は世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。 この授業では、このような SDGs について高校生が効果的に学べるオンライン授業を設計してみることで、SDGs についての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることそのものや、オンライン授業を設計する過程での調査や議論は、本人にとって最も身につく学びとなる。また、この授業では「効果的に学べる」ためにアクティブラーニングという手法を用いたオンライン授業を設計することを目指す。 具体的な到達目標は、以下の通りである。 ①SDGs が作成された背景について説明することができる ②SDGs の意義について説明することができる ③SDGs の課題について説明することができる ④SDGs の 17 の目標について説明することができる ⑤学習者の学びを深める授業の方法について説明できる ⑥SDGs について学習者の学びを深める 50 分間のオンライン授業を設計することができる					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31552	S	Knowledge Encounters in Global History and the Contemporary World	FACIUS Michael	東京カレッジ	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	This course will lead you worldwide to understand knowledge formations in various encounters, such as trades, colonization, religions, and wars. This course is not a conventional history course centered on specific periods or places. Instead, we will travel through historical and contemporary themes relevant to knowledge encounters and formation processes. We will review scholarly discussions on global history, the history of knowledge and other related fields of studies, analyze both the pre-modern and modern systems of knowledge and their encounters in the global context, and explore the possibilities of the formation of new forms of knowledge for our future. Learning Goals •To review cases of worldwide knowledge encounters and networks in history and the present; •To understand different approaches to contextualize knowledge in historical, social, and cultural contexts; •To identify, compare, and analyze the knowledge systems and their communications; •To develop your viewpoints toward future world understanding					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31519	S	日本中世の漂流記を読む	黒嶋 敏	史料編纂所	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	漂流中の体験を書き記した漂流記は、貴重な異文化体験の証言であるだけでなく、当時の異国観や移動の実態を教えてくれる、じつに面白い素材です。そのなかでも、1243 年に琉球に漂着した一行から聞き取りをしてまとめられた「漂到流球国記」は、絵画表現など豊富な歴史情報に満ち溢れています。現代人とは異なる中世日本ならではの記述を読むことで、史料に慣れるとともに、彼らの漂流を追体験してみましょう。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31450	S	物理学汎論	沙川 貴大	工学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

物理学は、力学、熱力学、電磁気学、量子力学、…等といくつもの科目にわけて講義されることが多いが、実際は人類の膨大な思考の積み重ねによって、一つの統一された学問を形成している。そこで本講義では、歴史と最新の発展をふまえて、物理学の全体像を三部構成で俯瞰することを目標とする。

まず第一部では、相対性理論を解説する。時間の遅れやローレンツ収縮などの不思議な現象を通して、時空や対称性といった物理学の基本的な考え方を学ぶ。
第二部では、「光子」を題材にして量子力学をゼロから学び、ミクロな世界の物理法則が如何にマクロな世界とは異なっているかを議論する。さらに、量子暗号や量子テレポーテーションなど、量子力学の性質をフル活用した最先端の量子情報技術の紹介を通して、量子力学をより深く理解することを目指す。
最後に第三部では、統計力学について解説を行い、マクロな自然現象がミクロな粒子の集団的振る舞いによってどのように記述されるかを述べる。さらにフェルミ粒子やボーズ粒子といった異なる統計性をもつ粒子の集団的振る舞いの違いを示すことで、低温状態で現れる超伝導や超流動といった多彩な物性の発現を理解することを目指す。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31474	S	考える力を養う／ コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

コントラクトブリッジを基礎から学び、判断力・分析力を駆使し、確率に基づいた最適プレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。
コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。本講義では、Zoom とオンラインブリッジを組み合わせたオンラインでブリッジの基礎を学ぶ。
担当教員は日本リーグに参加している上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31526	S	「経済安全保障」の 基本文献を読む	玉井 克哉、 井形 彬	先端研	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

現在の世界は、激動の中にある。
冷戦終結後の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとする WTO 協定が、1995 年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。
いまや、この基調が大きく変わろうとしている。軍民融合や千人計画、一帯一路などを通じて戦略的な経済安全保障政策を進めてきた習近平体制の中国は対外政策を更に強硬にしてきており、特に台湾をめぐる情勢は日に日に緊迫している。これに対する米国の反発姿勢は、バイデン政権下でますます強まってきた。この米中対立の激化により、既存の国政政治の枠組みが変化してきただけでなく、AUKUS、クワッド、IPEF といった、新たな枠組みが成立しつつある。そして、ロシアのウクライナ侵略戦争という既存国際秩序へのあからさまな挑戦は、さらに大きな不安定要因を形成している。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、深刻な影響が及んでいる。
担当教員（玉井克哉）は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本のルール形成に従事してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしつつある。
担当教員（井形彬）は国際政治・経済安全保障の研究者であるが、経済安保に関する最先端の議論を国内外の政策決定者や有識者と頻繁に行っている。
また、新任の武見綾子准教授が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関（WHO）での職歴も有しており、本年２月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。
このゼミでは、法律と政治という異なる視点から「経済安全保障」について研究してきた担当教員二人と共に、今後の日本の大戦略について議論し、理解を深める機会を提供する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31531	S	作曲・指揮	伊東 乾	情報学環	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	最初の2回はオンラインでのガイダンスだが、例年 履修希望者の背景分布、文系理系の割合、音楽経験の深度などの確認に時間を使う。そののち、実習を取り扱う。なお本コマとして独立して履修可能であるが、4限（「今日の音楽の自然哲学」）6限（「科学と芸術の新しいあいさつ」）と（すべて同じメンバーがゼロから作っている内容なので必然的に）有機的な連関がある。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31537	S 1	豊かな人生設計に必要な金融リテラシーを学ぶ ～実務の最前線で奮闘する官僚が語る～	池田 宜睦	公共政策大学院	火 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	人生100年時代の到来や、ライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。加えて、FinTechの台頭や、低金利環境の長期化など、現在の金融をめぐる状況も急速に変化しています。こうした中で、豊かな人生を送る上では、金融についての正しい知識（金融リテラシー）を身に付け、安定的な資産形成を行っていくことの重要性が以前にも増して高まってます。 本講義では、昨今の経済社会や金融をめぐる環境変化を踏まえながら、私たち一人一人が豊かな人生を送る上で知っておくべき金融リテラシーについて講義を行います。具体的には、ライフプランニング、資産形成、投資理論、簿記の基礎知識と不公正取引、起業といったテーマを扱うことを予定しています。（必要に応じて、金融庁の現役官僚や実務家がゲストスピーカーとして参加します。） 文系・理系を問わず、金融リテラシーに関心のある学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31511	S 1	国連と文化1	井筒 節	教養教育高度化機構	水 3	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	戦争の惨害から将来の世代を救い、全ての人の人権と尊厳を守り、一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上を促進する決意のもとに創設され、2023年に78周年を迎える国連。「誰一人取り残さない」ことを目標に、子ども、若者、障害のある人、HIV/エイズと共に生きる人々、高齢者、先住民、難民、国内避難民、移民、そしてLGBTIの包摂とエンパワメントに力を入れています。 国連教育科学文化機関（UNESCO）憲章に「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあるように、国際社会では、これまでの軍事・経済・政治を中心とした視点に加え、人間の心のウェルビーイングに目を向けた国際的パートナーシップの必要性に注目が集まっています。 人々の心に働きかけるためには、文化や芸術が大きな役割を担います。よって、この授業では、国連システムの基礎や、2030年までの国際優先事項である「持続可能な開発目標（SDGs）」について学びながら、心の交流や文化・芸術の力に注目した、未来志向の国際協力について考えます。 ＊この授業は、S2タームの「国連と文化2」夏季集中講座履修希望者の必須授業です。 （「国連と文化2」は、世界情勢により、中止となる可能性があります。）						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
30772	S	「問題解決のための思考法」	宇野 健司	学生による全学自由研究ゼミナール	水 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

通称「宇野ゼミ」
大手シンクタンク（総合研究所）出身のプロフェッショナルによるＭＢＡ（ビジネススクール）形式のディスカッション授業です。
講義を一方的に聴講するのではなく、アクティブラーニング型で学生同士がフレンドリーに意見交換するタイプのゼミなので、結果として例年みんなが非常に仲良くなります。
内容としては、企業の組織論・経営戦略論、個人のキャリア形成など実践的なテーマを取り上げます。
ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。
また講師の体験談（海外大学院ＭＢＡ留学、専門スキル習得、就活、転職など）をもとに、「皆さんの将来キャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスをします。
授業の目的は、
（1）ディスカッション・スキルを身に付けること
（2）自分のキャリアについて考えること
（3）講師・クラスメイトから刺激を受け、意識を高め、将来に向けてより自発的に行動できるようになること
一定の問題意識を持った意欲的な学生の参加を希望します。

※双方向でのディスカッション授業の性質上、例年、講師・クラスメイトがとても親密になり、授業外でも友好的なコミュニティーとなり、卒業後も存続しています（皆さんが８期生になります)。
○「海外留学」
（東大の中で、交換留学に行く人が一番多いゼミだと思います。昨年度はゼミ生８０人、一昨年度は５０人が留学決定。個別にアドバイスして皆さんの背中を押しています。ゼミ生以外でも相談に乗っていますので、気軽に声をかけて下さい）
○「進振り」（ゼミ生向けに説明会を実施）
○「起業」
○「コンサル、外資金融」（ゼミ生向けに選抜コミュニティ説明会を実施）
○「司法試験」
○「資格試験」
○「就職活動」（希望者には個別に相談に乗っています）
○「イベント企画」（駒場祭や五月祭などにゼミで参加）
○「ボランティア活動」（高校生との交流など教育分野が中心）
○「課外活動」（朝日新聞などメディアと一緒に活動）
○「授業外交流」
などで、気の合う仲間が多数できると思います。
※履修希望者が定員を大幅に超える場合が多いので、第２回までに授業に参加するようにしてください。
定員を超えた場合の対応は、第１回（4/5）および第２回（4/19）授業で詳細を説明します。
（それ以降でも、いつでも個別に上記メールで相談して来て下さい）
※例年、LINE グループや SLACK や Google ドライブなどを使って、緩やかなコミュニティを形成しています。講師・ゼミ生間の距離が近く、とても仲良くしています。
（東大生であれば授業を履修していなくても参加できます。宇野ゼミ LINE グループは、一昨年度は約 200 人、昨年度は 400 名超でした。水曜４限に予定が入っている人にも柔軟に対応しますので、いつでも気楽にメールなどで問い合わせて来て下さい。また希望者には、１人 30 分ずつ ZOOM による個別面談で公私にわたる何でも相談に乗っています。昨年度は、約 150 人と授業外に１対１でオンラインで会話しました。いつでも誰でもゼミ生以外でも歓迎しますので、どうぞ！）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31428	S	法と行動科学入門 （英語文献講読）	淺香 吉幹	法学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

法と行動科学（認知心理学，社会心理学，行動経済学）に関する英文の入門書 Cass R. Sunstein, Behavioral Science and Public Policy (Cambridge University Press 2020)（本文 61 ページ）を読んで，必ずしも経済合理的ではない人間行動に法がどのようにアプローチするかを検討する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31472	S	最新の宇宙像	峰崎 岳夫	理学系研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	近年、宇宙観測の技術は急速に発展を遂げており、私達人類が持つ宇宙像は、大きく塗り替えられている。最先端の宇宙観測とその成果を、理学系研究科附属天文学教育研究センターに所属する様々な分野の専門家がわかりやすく紹介する。天体現象だけでなく観測手法についての解説も行う。天文学の知識を系統的に与えることが目的ではなく、多様な宇宙の姿やその観測技術・研究手法に興味を持ってもらい、科学的な思考方法に慣れてもらうことに主眼をおく。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31480	S 1	農学・微生物研究フロンティア	石井 正治、亀谷 将史、森脇 由隆、新井 博之、水口 千穂	農学部	水 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	農学部の生命化学・工学専修においては、多くの微生物研究が進められています。そうした中から、(人の役に立つ)微生物の代謝研究に焦点をあてた全学自由ゼミナールを開講します。(専修の中の【人の役に立つ】代謝研究は、紹介するものだけではなにことに、注意してください) 授業内容の理解だけでなく、内容を発展させた調べ、さらにその調べに基づいた口頭発表までも主体的に行う意欲のある、前向きな学生諸君の聴講を求めます。 授業の概要は以下の通りです。 代表者(教授・石井正治)がガイダンスを含め2回の講義を担当し、 その後、専修に属する4名の教員によるオムニバス形式の授業を展開します。 この6回の授業を聴きながら、自身でより深く調べたいテーマを選びとり、あるいは、提案して貰います。 7回目の授業では、個々人あるいはグループで調べつつある、あるいは、調べたいテーマさらには発表概要について提案して貰います。提案を受けて、教員はフィードバックを行います。 そのフィードバックを反映させ、最終回では皆さんに口頭発表を行って貰います。 最終的な聴講人数にも依りますが、個人あるいはグループとして調べ、発表を行って貰うこととします。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31509	S	【アクセンチュア×東大 私たちが今ほしい未来を提言 （構想編） ―アイデア創出、アイデア検証、 企業への提案まで体験しよう！	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

＜概要＞
近年はデジタル化が進み、目まぐるしく新商品・サービスが生まれています。大企業だからといって、必ずヒット商品・サービスが生まれるわけではありません。特に新規事業については、実際にやってみないと成功するかわからないこともありアクセンチュアの調査によると、立ち上げに成功したと躊躇なく言える経営幹部はわずか 6%にとどまっています。
不確実な世界は、どんどん加速していきます。そのような世界で、成功している製品・サービスの多くは「最初はその価値に気が付かず、気がついたら手放せなくなる」という特徴があります。
例えば、皆さんが使用している LINE。スマートフォン普及以前の時代は、携帯メールで連絡することが当たり前で、LINE が出てきたときは、多くの人は携帯のメールを使えばよいと考えていました。しかし、LINE は件名を記載せずに本文を打てて、スタンプで自分の気持ちを伝えるなど、気軽なやり取りができます。また当時は電話による通話が一般的で、電話料金を気にしながら話していましたが、今は多くの人は LINE の無料通話を活用しています。
最初はそれほどイノベーションだと思わなかったのに、気づいたら LINE がなかった時代にはもう戻れないと、多くの人が感じるでしょう。
そのような手放せなくなる新商品・サービスを生み出すためには、素早く試すことが重要です。具体的には、顧客のニーズを捉えて描いた“こうありたい”というビジョンをもとに、トライアル商品・サービスを素早く市場に投入し、市場の反応をタイムリーに商品・サービスに反映します。
私たちアクセンチュアは、世界有数の総合コンサルティング企業として、世界中の様々な企業と一緒に、新しいサービスをビジネスとして実現させてきました。その経験と実績を活かし、本授業では、初学者を対象に、アクセンチュアの現役コンサルタントと共に、商品・サービスを育てるプロセスを身に付けることを目的としています。
同世代の価値観やインサイト（潜在的な欲求）をインプットに、デザインシンキングという手法で“今ほしい未来”の新しいアイデアを生み出し・精査して、そのアイデアをもとに簡易プロトタイプ（検証のためのサービス・もの）を作成・検証します。そして最終発表では、ストーリーテリング（ビジネスを「物語」を通して表現する手法）を活用して、実際の企業の方へプレゼンします。
※2022 年 A セメスターの授業（調査編）では、電車移動の時間のストレス・退屈さや、日常の悩み相談のハードルが高いといった大学生の生活に近い領域について、同世代の価値観やインサイトを調査しました。
※本講義のプログラムは、構想編の授業からでも履修できるようにプログラムを構成しています。デザインシンキング、ストーリーテリング等の手法を学びながら進めますので、初学者の方も安心して履修してください。

＜目標＞
・「私たちが今ほしい未来は何か？」という正解がない「問い」に対して、CX（顧客体験）、ビジネス、テクノロジーなどの視点から磨きをかけ、自分なりの解をみつける技術を学ぶことで、不確実な世の中も楽しめるようになる
・最適なトライアル版を素早く作り、評価を的確に分析・反映する手法を学び、実践する
・ストーリーテリングをもとに人を説得する技術を学び、発表する

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31513	S	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。
今学期は、SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題を「体制移行国の課題」として取り上げる。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する予定である。とくに国連総会で承認された唯一の永世中立国トルクメニスタンと、2022 年初頭に大きな政治的混乱を経験したカザフスタンに今学期はとくに注目する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31521	S	モデルとデータで見る社会	飯田 高	社会科学研究所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この授業は、「社会というものをどのようにモデル化するか」という問題を検討することを通じ、個人と社会の関係を検討するための視点を養うことを目的としています。 社会科学諸分野（経済学、政治学、社会学、法学など）は、「社会」の実際のありようを精査したり、「社会」を改善していくための方策を検討したりします。その際にしばしば重要になるのはデータですが、データを適切に分析・解釈するためには、人々の行動や意思決定がどういうものであるか、それらの行動や意思決定がどのように影響を及ぼしあっているか、あるいは、個人の行動がどのような帰結をもたらすか、といったことに関する考察が必要になります。 本授業では、個人や社会の関係を描写したり社会現象を予測したりするための数理モデルを中心に取り上げ、参加者の皆さんと一緒に研究・議論したいと考えています。具体的には、以下のような数理モデルを取り上げる予定です（あくまで一例です。参加者の関心に応じて調整したいと思います）。数理モデルではありますが、数学的な予備知識は不要です。 ・個人の行動に関するモデル（合理的選択モデル、行動経済学のモデル、ルールベースモデルなど） ・正規分布、べき乗則分布 ・線形モデル ・ネットワークモデル ・エントロピー ・確率モデル（マルコフ過程など） ・ゲーム理論のモデル（協力、集団行動、シグナリングなど） なお、担当教員の専門は法学系（法社会学、法と経済学）ですが、どんな分野の方も大歓迎です。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31524	S	生命科学の最前線	奥山 輝大	定量生命科学研究所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	定量生命科学研究所で行われている研究を題材に、その分野の歴史や最新の知見をオムニバス講義形式で紹介する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31525	S	「経済安全保障」と ルール形成戦略	玉井 克哉	先端研	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	現在の世界は、激動の中にある。 冷戦終結後の約 30 年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとする WTO 協定が、1995 年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。 いまや、この基調が大きく変わろうとしている。軍民融合や千人計画、一帯一路などを通じて戦略的な経済安全保障政策を進めてきた習近平体制の中国は対外政策を更に強硬にしてきており、特に台湾をめぐる情勢は日に日に緊迫している。これに対する米国の反発姿勢は、バイデン政権下でますます強まってきた。この米中対立の激化により、既存の国政政治の枠組みが変化してきただけでなく、AUKUS、クワッド、IPEF といった、新たな枠組みが成立しつつある。そして、ロシアのウクライナ侵略戦争という既存国際秩序へのあからさまな挑戦は、さらに大きな不安定要因を形成している。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、深刻な影響が及んでいる。 担当教員（玉井克哉）は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本のルール形成に従事してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしつつある。 担当教員（國分俊史）は、企業に対するコンサルテーション業務を長年担当し、その中で「ルール形成戦略」の重要性を強調した草分けとして、経済安全保障に先覚的な多くの企業の要望に応えてきた。その過程で、国内・海外の政治・経済関係の要人と頻繁に接触している。 また、新任の武見綾子准教授が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関（WHO）での職歴も有しており、本年２月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。 このゼミでは、法律と経済・経営という異なる視点から「ルール形成戦略」を手がけてきた担当教員二人と共に、経済の最前線で企業が直面する課題を理解し、「ルール形成戦略」の観点から課題を解決する機会を提供する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31532	S	遊びと学びの科学	藤本 徹	情報学環	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	この授業は、遊びの中でも特にゲームの遊びを通した学びを中心に、関連する基礎的な知識を学び、関連研究から示された科学的知見を調査して、豊かな遊びを生み出すためのデザイン実践を行う。 履修者は、自らの遊びの経験を軸として、デジタルゲーム、アナログゲーム、謎解き、脱出ゲームなど、ゲーム的な要素が含まれる遊びの活動全般から関心のある対象を選んで文献調査を行う。取り上げた遊びの事例について、認知的な影響や動機への影響など、人間の成長と遊びの関係について理論的な枠組みを使って理解し、応用できることを学習目標とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31813	S	Road to 2050 環境エネルギー政策目標の達成に向けて	瀬川 浩司	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	2020 年 10 月わが国は世界に向けて「2050 年カーボンニュートラル」を宣言した。その後、2030 年には温室効果ガスの排出量を 2013 年度比でマイナス４６％とし、さらに 50%の高みに向けて努力する方針を示している。2021 年には第 6 次エネルギー基本計画が策定され、様々な政策が動員されているが、本講義ではこれらの現状と課題について取り上げる。民間でも、ESG 投資の広がりや RE100 宣言企業の増加に加え、コロナ禍からの回復を見据えたグリーンリカバリーに関する取り組みが広がっているが、「2050 年カーボンニュートラル達成」は、そんなにたやすいものではないことも事実である。本自由研究ゼミナールでは、2050 年カーボンニュートラルに向けた戦略を議論する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40200	S 2	環境浄化・保全の微生物学	野尻 秀昭、原 啓文、鈴木 研志、水口 千穂	農学部	水 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	我々は豊かな生活を享受して、現代の生活を謳歌しているが、その裏側では燃料、溶剤、農薬などの様々な化成品が毒性物質として環境を汚染し、我々自身や野生動植物を含むエコシステム自体の劣化を招いている。このような環境汚染問題は年々深刻さを増しており、早急な対策が求められるのは言うまでもない。難分解性で毒性のある有機物による環境汚染の浄化においては、物理・化学的な処理に加えて、微生物を用いた環境浄化手法（バイオレメディエーション）も有効な選択肢の一つとなりうる。同様に、我々の家庭や工場などから排出される有機系排水の処理でも、微生物による排水処理がメインの処理技術として長く利用されている。 このように、環境・エコシステムを守るために目に見えない微生物の力は、実際に利用されている。この全学自由ゼミナールでは、環境分野における微生物利用の実際を紹介した後で、微生物利用が鍵となる環境問題を選択してもらい、調べた結果の発表や教員との議論を通じて問題解決の方策を練り上げてもらう。合わせて、土壌汚染浄化や排水処理を企業で実施している専門家の話を聞く機会も提供し、選んだ課題を解決する参考にしてもらう。そのような過程を通して、環境分野での微生物利用についての現状を理解してもらうと共に、方策を議論するプロセスを見ることで技術・社会・コストなど環境問題を幅広く捉える視点を醸成することを目的とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31508	S	20年先輩のリアルを知りにいく －きくこととつたえることの ワークショップ	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

◆ゲスト講師
浅利雅士（楽天株式会社）
～2003年東京大学教育学部卒。数社での勤務経験のなかで、他人の話を聞いてサービスを考えたり、社内のメンバーの話を聞いてプロジェクトマネジメントに活かしたりする作業を多く行ってきたそうです。自身でもさまざまな研修やワークショップに参加し、他人の話を聞くということを大事にしてきたという経験を活かし、ご協力いただいています。～

＜概要＞
このゼミでは、受講者の多くのみなさんよりおよそ20年先輩である東大卒業生に会いに行き、入学からこれまでの20年間を振り返るような話をきいてきてもらいます。仕事の話やプライベートの話、趣味の話などなど、何が話題の中心になるかわかりませんが、話をきいてきた上で、みなさんにゼミでその話を共有していただきます。受講生一人が卒業生一人の話をききにいき、クラス全体できいてきた話をできるだけ、そのまま伝えるという作業をします。最終的には受講者数と同じ数だけの卒業生の過去20年の話をできるだけ知っている状態になることを目指しています。

さて、「きく」ということをあなたは普段どれくらい意識的に行っているでしょうか。また、他人の話をどれくらい「きく」ことができているでしょうか。そして、他人の話を聞く際に、どのような姿勢で、どのような考えを持って聞き、どのようなリアクションをしているのでしょうか。
卒業生の話をききに行く前に、このゼミでは、「そもそも私は他人の話をどのようにきいているのだろうか」という、素朴な疑問を基に、自分自身がどのような話のきき方をしているかを徹底的に知ることを目指します。「正しい」聞き方やコミュニケーションスキルを磨くというようなことを目指しているわけではありません。もしかすると、このゼミを受けたあとに、受講者の皆さんそれぞれにとっての「正しいきき方」や「より良いきき方」というものができるようになるかもしれません。が、それ自体はこのゼミの目的ではありません。あくまで、自分のきき方の「現在地」を知る、それがこのゼミの目指すところです。

＜授業の目標＞
•自分が他人の話を聞くときに、どのように聞いているかを知る。
•話の聞き手の姿勢や態度が話し手にどのような影響を与えるかを知る。
•話し手、聞き手によって、話の内容がどのように変化するかを理解する。
•自分が持っているフレームワークや仮説から離れて他人の話をきけるようになる。
•相手の話に対して、要約を試みたり、評価をしたり、アドバイスをしたりせずにきけるようになる。
•一緒にゼミに参加する人の話をできるだけありのままきく。
•できるだけ多くの先輩の東大入学後からこれまでを振り返った話を知っている状態になる。
•“20年先輩”から聞いた話を、他人に伝えられるような形でまとめる。

＜ゲスト講師からのメッセージ＞
駒場を離れてから、だいたい20年くらいになります。自分も周りの友人も、本当に多様な人生を歩んでいます。 大学生の頃には、卒業後の生活にこんなにも多様なストーリーがありうるなんて全く想像もつきませんでした。

仕事の肩書だけを見れば、民間企業で働いていたり、起業していたり、 弁護士だったり公務員だったり研究者だったりします。でも、どんなことを得意として働いているか、それまでどんな経験をしてきたか、それを純粋にきいてみると、それぞれに全く異なる多様な働き方・生き方があったりします。そうした先輩のリアルを駒場の頃の僕が知っていたら、今とはまた異なるかたちでの人生の選択があったかもしれない。そんな思いからこの講義を企画しました。

みなさんにはこの１３回の講義を通じて、できるだけ多くの先輩のできるだけリアルな卒業後のストーリーを知ってほしいと思っています。しかも、先輩の”かっこいい”プレゼンテーションや完成されたインタビュー記事からではなく、みなさん自身が話をききにいき、この場所でシェアすることを通じて。そうすることで、できるだけリアルな部分が残った、みなさんからの距離が近いストーリーが知れるんじゃないかと思っています。
ただし、「話し手が言いたいことは何か」と要約することに集中したり、事前に立てた仮説を検証したり、内容の良し悪しや優劣をジャッジしたりするようなききかたでは、そうした話はとらえられません。だから、どうすればありのままの話がきけるのかを数回に渡って一緒に考えるところから、講義をスタートしていくつもりです。 その後、僕たちが用意した先輩リストの中からみなさんに対象を選んでもらい、各々でストーリーをきいてきてもらおうと思います。その結果をここにいるみなさんが何らかの方法でシェアしあって、 結果としてみなさんができるだけ多くの先輩のリアルを知っている状態になる。というのが理想の進み方です。
基本的にはこの手順通りに、事前に毎回やることを決めて進めていきますが、 様子をみながら変えていく可能性はありますのでご了承ください。

また、きくゼミといっても、インタビューのテクニックの講義ではないですし、 先輩から将来へのアドバイスをもらおうというものでもないです。なので、すぐに役立つ類の話はないかもしれません。 でも、人の話をじっくりきいてみることやその話をもとにみなさんで対話することを通じて、何かが強く心に残るだろうということだけは保証します。

概要は以上です。これから約３ヶ月間、20年のリアルを一緒に味わってみましょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31553	S	Architecture Beyond the Human	FACIUS Michael	東京カレッジ	水 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	We live in an unprecedented time of history where architecture can no longer be considered an exclusively human undertaking. Architecture Beyond the Human offers an introduction to architecture as a more-than-human phenomenon, emphasizing the many concepts and modes of thinking needed to understand architecture as an interface between human and nonhuman life. In what ways do cities interact with nonhuman beings on a day-to-day basis? How aware of nonhumans are we? How do we understand the needs of another species who cannot speak? How can architectural design contribute to biodiversity or memorialize extinct species? The course will introduce these questions and other relevant themes through a broad interdisciplinary lens incorporating critical theory, history, global case studies, fiction, and storytelling traditions. Students will be expected to respond to lecture content through their own individually chosen research projects incorporating nonhuman perspectives in design and visual-textual communication. [Learning Goals] • Understand and communicate key terms and discourses related to ecological thinking and nonhuman responsibility in architecture and related disciplines • Learn how to develop an individual research project that responds to the content of lectures and other experiences in your personal reference worlds • To understand the complex relationship between thinking and making that grounds research and design within architecture and related disciplines • Practice English writing, speaking and research skills in an open and non-judgmental environment					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31498	S	符号と暗号で使う代数学	ケリー シェーン	数理科学研究科	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	学術英文の読解能力・プレゼンテーション能力の向上を目指す。符号化理論とは、ノイズの多いチャンネルを通してデータを正しく伝送し、破損したメッセージの誤りを訂正することに関係する。コンピュータ科学や工学の多くの応用におお > いて、中心的な重要性を持っている。このセミナーでは、行列や代数曲線のような代数的構造から発生する符号の研究を紹介する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31504	S	自然科学サロン(シーズン３) 身近な生命科学編 2023S	鹿島 勲	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標
概要

何の変哲もない身近にあること・現象への気づき、さまざまな学問領域への自由な横断

==========

【特徴】
＊グループ作業・ディスカッションあり
＊体験・プチ実験あり
＊ゲスト講師講演あり

==========

本ゼミは、㋑普段とくに気に留めることもないような身の回りあることへ着目、気付きから知的興奮へ、㋺ニュースなどでもよく出てくる生命科学用語・技術の理解、㋩それらを科学的に思考し批判することを主たる目的とした講義シリーズ、垂直／水平展開しながら進んでいく。
具体的には、身近な生命科学に関する事柄・現象・時事ニュースを題材／起点とし、㋥実体験・実験、㋭講義、㋬課題発見・解決、㋣特別ゲスト講義、㋠グループ作業および発表、にセメスターを通じ取り組む。この授業は駒場の自然科学サロン、気軽に楽しむ、教員と仲間とお話をする、こういう気持ちで取り組んでほしい。
この取り組みは、自然科学という分類が与えられた学問領域での普遍性・独創性への探求、その醍醐味の紹介を第一の目的とするが、同時に、工学、人文科学、芸術、音楽、歴史、文化、数理科学、時事ニュースなど、異なる領域をも恐れずに“自由に飛び回る”、そういった気風、“駒場らしい”教養教育の追求、環境／授業／教材開発を目指す。この授業を通じて、“自由に飛び回る”練習、その面白さを体験してみたい学生さんにぜひ参加してほしい。
これらの試験的な試み、特別な体験を通じた“考えるトレーニング”の機会を提供すること、ピュアな自然科学の楽しみ、加えて、履修者のみなさんが世界が多様であることを受容し、様々な視点・観点でアイデンティティーを確認・確立する良いキッカケにもなること期待して 2021 年度から開講している。2023 年度で 3 シーズン目。

==========

【ガイダンス】
初回授業 Zoom に実施
Zoom セッション情報は下記 URL から確認
http://bit.ly/3iE0KNF
【教室】
KOMCEE EAST 3 階 教育開発用実験室
Google Map https://goo.gl/maps/dmcwqNjYiUmNuvW88
【問い合わせ先】
salon@adves.c.u-tokyo.ac.jp
【授業ホームページ／最新情報の確認】
自然科学サロン(シーズン３) 身近な生命科学編 2023S
URL：https://bit.ly/3QA9nFw
【問い合わせ先】
e-mail：salon@adves.c.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31814	S	(国際環境エネルギー経済学) ／ Specialized Seminar	瀬川 浩司・松井英生	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本授業は、新型コロナ禍による未曾有の経済危機に直面している世界情勢の中で、極めて厳しい状況下にあるわが国経済社会が今後発展していくための方途を探ること、特に２０５０年を目指してカーボンニュートラルを実現していくための課題を分析すること、及び経済社会のあらゆる分野に活用され始めており近い将来において人間の職を奪い去るのではないかと懸念されているＡＩの躍進の状況下においてＡＩに負けない人材になるための課題解決能力の向上を図ることを目的としています。

１．電気、石油、ガスの三大エネルギーは、経済社会に定着して必要不可欠なものとなっており、現代生活においては、いつでも簡単に使えるものとして空気のような、あって当たり前のような存在になっております。しかし、東日本大震災において、これらエネルギーの経済社会における重要性が再認識されました。すなわち、これらエネルギーが無くなると経済社会は立ち行かなるということです。

以降、国を挙げてエネルギー問題の議論がなされて来ております。マスコミなどを通じて表に出ているのは原子力発電の議論が中心に感じられますが、本問題は、わが国経済社会の在り方のみならず、わが国の安全保障問題にも直結する重要課題であり、実際はもっと幅が広くかつ奥が深い議論がなされております。同時に国際的に地球環境問題も重要課題として議論がなされており,

再生可能エネルギーの開発が進んでおります。エネルギー問題と地球環境問題は表裏の関係にあり、密接に関連して議論がなされております。一昨年菅政権は、２０５０年に向けてカーボンニュートラルを実現していく方針を打ち出しましたが、これは我が国経済社会のシステムを抜本的に変革させるものであり、人々のライフスタイル、価値観、文化までも大きく変化させるものであります。この実現に向けて経済社会のあらゆる分野で脱炭素に向けた取り組みが始められましたが、どれも簡単な課題ではなく、総合的に対応していく必要があり、国が国中の英知を集めて将来ビジョンを創り、その具体的実施を官民協力して進めることが必要不可欠であります。

２．カーボンニュートラルを実現していくためには、先ずエネルギー問題についての実情を理解することが必要です。エネルギーが無ければ、人々の生活は勿論のこと、経済社会は成り立たないのであり、エネルギーの輸入が貿易収支に大きな影響を与え、更には、エネルギーコストの上昇は、経済社会活動に大きなインパクトを与え、国に発展を左右します。加えて、エネルギー資源獲得競争は、紛争を惹起させたり、国際的軍事情勢に影響を与えるばかりでなく、原子力発電政策のあり様により世界の安全保障問題にも大きな影響を与えます。また、化石燃料によるエネルギーは地球環境問題を引き起こします。

３．国際環境エネルギー問題の扱い方如何によって今後の明るい我が国の将来像が見えてくると言っても過言ではないと思います。逆に言えば、国際環境問題に関する取り組みを間違えれば、わが国の先行きを不透明にすると言っても過言ではないと思います。

このような難しい課題を内在しているエネルギー問題について、脱炭素、すなわちカーボンニュートラルの実現を目指すということは極めて難しい課題で、エネルギー問題に上手く対応することによってクールでスマートな日本の実現を図っていくことができると思います。

４． 一方、アメリカのトランプ大統領の出現を契機に、従来正しいと信じられていた新自由主義、グローバリズム、自由貿易といった概念に疑問が呈せられております。アメリカ第一主義の名の下、保護主義的概念が台頭してきております。この背景には様々なものがありますが、一つにはアメリカがシェールガス、シェールオイルの開発生産により、エネルギーの輸入に頼る必要がなくなりエネルギーセキュリティの立場が極めて強固になったことが挙げられます。バイデン政権になり方向性に変化が見られましたが、米国内の政治状況から依然として先行きは不透明であると思います。更に脱炭素関連の技術を巡って中国の台頭が世界経済社会に大きな影響を与えかねない状況になっております。

このように今まさにエネルギー情勢等の変化によって世界の経済社会の価値観やルールに大きな変化が起きつつある重要な時期であると思います。

５．また現在世界的に蔓延している新型コロナ禍により世界的に経済状況が危機に瀕しており、それを受けて社会状況も差別が台頭するなど観覧が生じており、世界経済社会のブロック化が進展する恐れが出てきています。すなわち新型コロナの感染の拡大を抑えるためだけではなく、今後の新しい感染症の侵入を抑えるとともに他国に依存しない経済社会を志向して世界のブロック化が進む恐れがあると言えます。そのような状況下において各国が自国の経済社会の発展を図るためにはエネルギーの安定的確保が必要不可欠で、今後ますますエネルギー確保をめぐる競争が激化する可能性が高いと思われます。このような厳しい状況下においてカーボンニュートラルを実現していくためには解決すべき課題が山積しております。

６． そこで、本講義は、経済社会の帰趨を左右する国際環境エネルギー問題の実情を説明し、近い将来に経済界、官界,政界、学会、マスコミなどにおいて我が国を支えることとなる聴講生が、そのリーダーシップをとるに当たり参考となる考え方の材料を提供することを目的とします。したがって、細かい事象やデータを覚えるのではなく、エネルギーを巡る大きな流れを理解できるよう解説をします。

経済産業省においてエネルギー行政の最前線で政策立案に携わっている若手の官僚達を議題に応じて 4 名程ゲスト講師として迎えて、カーボンニュートラルを実現していくための課題について、再生可能エネルギー政策などの実状と政策立案の裏話などを披露して頂きます。

また、わが国トップの再生可能エネルギー関連のスタートアップ企業の経営者の方をゲスト講師として迎えて、民間企業における実業の具体的な内容や大学在学中に起業した苦労話や成功話などを披露して頂きます。

７．更にＡＩ、ロボットの進展により人間の仕事がＡＩなどに置き換わって行く可能性があると危惧されていますが、このような懸念の払拭に資するよう、人間として似コミュニケーション能力や人間らしい判断力、構想力、など人間力を磨くための方途につき解説します。これは、社会に出て活動をするに際に必要不可欠な課題解決能力の向上に役に立つと思います。

８．後半の授業において、グループディスカッションをするほか、環境エネルギー問題に限らず聴講生からの様々な質問に答える機会を設けます。

９．若手の官僚たちによる、政府における政策立案に際しての裏話などの講義もあることから、文科系、理科系の全ての学生にとって有意義であると考えます。

講義のポイントは、以下の通りです。

１．石油、ガスの太宗は中東地域で賦存している。
２．中東地域は、民族上、宗教上の対立などにより紛争が頻繁に勃発している。
３．石油、ガスの利権確保などを目的に欧米ロシアなどの列強が中東地域の紛争に加担して、彼ら の代理戦争の様相を呈している。
４．我が国は、エネルギーの９割以上を輸入に依存している。
５．エネルギーが途絶すると我が国経済社会は立ち行かなくなる。
６．東日本大震災時の福島原発事故を契機に純国産エネルギーであるとともに地球温暖化対策に 貢献する原子力発電に対して反対論が台頭している。
７．地球温暖化問題への対応が国際的に高まっている。この観点から、２０５０年に向けてカーボン ニュートラルを実現していくために再生可能エネルギーの開発と導入促進が喫緊の課題となって いる。さらにあらゆる産業において脱炭素の取り組みが進めて行くことが求められている。
８．原子力発電がほとんど停止している現状において、雇用の喪失、地域経済の疲弊、産業構造の 変化、経済の停滞などが生じることに加え、代替燃料としての石油、ガスの輸入が大幅に増大し て貿易収支を赤字傾向に悪化させている。
９．．核燃料サイクル政策の帰趨が不明確になったことにより、使用済み燃料の処理問題とプルト ニウム処理問題が大きな課題となっている。
１０．原子力爆弾に直結する恐れのあるプルトニウム管理問題は世界の安全保障問題として最重 要な課題となっている。
１１．最近の脱炭素の動きから石油などの生産減と原油価格の大幅な上昇が世界の政治情勢、軍事情勢に大きな影響を及ぼしており、世界の国家間の枠組みに変化をきたす恐れが生じている。
１２．昨年末のＣＯＰ２６までに多くの国がカーボンニュートラルを宣言したが、目標年次が日米欧は 2050 年、中国、ロシアは 2060 年と違うなど各国とも国益を睨んでしたたかに対応するという経済戦争の側面があり、またこれまで志向されてきたグローバル化の動きとは相反するブロック化の動きが強まる恐れがあり、各国間でのエネルギー獲得競争が激化する恐れがある。
１３．電力・ガスに自由化、石油産業の再編など我が国エネルギー産業が大変革期を迎えている。
１４．以上のような最近の世界を揺るがす様々な状況変化の下で、今後の我が国の豊かな経済社 会を実現していくために、今後の国際環境エネルギー政策の在り方が極めて重要になっている。
１５．デジタル化、ＡＩの進展の下で、ＡＩを使いこなせる資質を持った社会人となるために人間力の向上が求められている

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31499	S	こまとちゃんゼミナール ～駒場図書館で学ぶ大学生のための情報検索・収集・発信スキル	山上 揚平	教養教育高度化機構	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

「こまとちゃんゼミナール」は、教養学部生のホームライブラリーである駒場図書館を活用しながら、大学での学習、研究はもちろん社会に出てからも役に立つ、情報の検索収集、そして活用の技術を身に付ける為の授業です。駒場図書館や情報システム部の協力のもと、大学図書館の様々な機能や学内で利用できる膨大な情報リソースの使いこなしを、グループワークを含む課題実習を通して学びます。
また講義や図書館見学などを通して、図書館という施設や制度自体についての理解も深めることが目指されます。
学期の終わりには、授業で磨いた情報検索・収集スキルを活かして、駒場図書館所蔵の資料を発信する実習を行います。駒場図書館内の展示スペースをお借りして、会期２週間ほどの展示企画(公開)の開催を目指します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31534	S 1	国家のグランドデザインを描く ～政策立案シミュレーション～	仲 浩史	公共政策大学院	木 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

現在、日本の経済・社会はかつてない変化に直面しており、社会保障制度や国と地方のあり方といった様々な制度について改革が求められていると同時に、経済の再生や気候変動問題をはじめとする政策課題への対応が必要とされています。また、国際社会や世界経済の情勢も日々刻々と変化する中で、国際社会との関わりも新しいフェーズに入っています。こうした構造変化への処方箋が「政策」になります。とりわけ、国家のリソース配分を通じて、大きな構造変化、或いは個別の社会課題に対応していくことが、政府の重要な役割になっています。本講義では、国家財政という視点を踏まえ、日本の将来を考えつつ、様々な課題にどのように対応していくかという点について、現役の財務省職員とともに、政策立案の体験を通して考えていきます。受講生の皆様には、経済・社会を見る目を養いつつ、政策を通じた課題解決に取り組んでいただきます。学生ならではの新しい角度から、自由な発想で大胆な提言がなされることを期待しています。
行政や政策立案に関心がある学生はもちろんのこと、抽象的な社会の在り方に関する議論が好きな学生や具体的な社会課題の解決に興味を持つ学生の参加をお待ちしています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31006	S	「障害者のリアルに迫る」ゼミ	野澤 和弘	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	
授業の目標概要	さまざまな「障害」に生きづらさを抱える人々や、「障害」問題に関わる実践家や専門家など、多彩なゲストの語りを聞き、タブーなき対話を重ねる中で、「障害」および人間への深い理解を目指す。 「障害」を身体障害や精神障害、知的障害といった一般的によく知られる「障害」に限らず、依存症や性的マイノリティなど、広い意味での様々な生きづらさとして考え、障害を巡る色々な問いについて考えること、自らの中に生まれた思いに立ち止まって考え話し合うことのできる場を作っていく。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31008	S	盆踊りの実施 着付けの実施 日本舞踊の実施	孝藤 右近	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	世界で日本舞踊、和エンターテイメントのショーを展開してきた講師孝藤右近が日本舞踊を通じ世界に通用する日本の美である型や所作、また全国に存在する数々の盆踊りを歴史と共に教えていくことで日本文化を身につけていきます。 日本舞踊は400年以上前から伝承される歌舞伎でみられる踊りや舞妓さん芸者さんがお座敷で踊られる日本を代表する身体で表現する和の芸術です。 また日本舞踊は着物を着て踊りますので 浴衣(着物)を自分で着れるように 着付けも実施し、浴衣(着物)を1人で着れるようになります。 ※講義では、踊りの実施は洋服で行います。講義のスケジュールの中に 浴衣の着付けがはいります。 浴衣は夏の着物として 手軽に着て遊びにいけたりするもので、この日本が生んだファッションで世界中に愛好家が増えている 日本を代表する美の形です。 グローバルな社会で 日本特有の価値である 着物を着て踊りが出来ることは それだけでコミュニケーションが深まり自分自身のアイデンティティーとなり世界に羽ばたく自身の強みを持たせてくれます。 また盆踊りを習得にすることにより地元や地域の祭り参加や指導ができることにより、 伝統文化の継承につながります。 和の心を養い 豊かな世界観を身につけていきます。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31477	S	農作物を知る	河鰭 実之、本多 親子、津釜 大侑、郭 威、内田 圭、大森 良弘、若林 侑、角井 宏行、加藤 洋一郎、細井 文樹、矢守 航、海津 裕	農学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	私たちが日常的に食べたり、観賞したりする農産物は、どのように生産され、どのような特徴があるのだろうか。その特徴を、伝統的な栽培方法から最新の技術まで、生態系との関係、社会や文化との関係などを、文系の学生にもわかりやすく解説する。本セミナーを通じて、人類にとって不可欠な食料・農産物の持続的生産に関わる問題や、農業の新しい取り組みについてより具体的に学び、農業問題を身近なものとして考えてもらいたい。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31505	S	未来の学びを考える 【文献講読編】	中澤 明子	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	小学校から大学まで、教育・学習を取り巻く状況は日々変化しています。2000 年以降、大学では「アクティブラーニング」や「国際化」などの取り組みが多く行われるようになりました。また初等中等教育（小学・中学・高等学校）でも、「アクティブラーニング」や「GIGA スクール構想」などの取り組みが行われています。それでは、未来の学びはどうなるのでしょうか。 本授業の目的は、教育・学習に関する文献（章・節など短い分量）を読み、文献の内容や自身の経験（過去・現在）の意味を理解した上で、未来の学びがどうなるかを自分なりに考えることです。またその過程では、学期を通じてクラスのメンバーと「未来の学びがどうなるか」について議論し、自身の考えを深めていきます。文献の内容や学期を通じた議論を踏まえて、最終的には個人で考えた「未来の学び」（10 年後を想定）を発表・共有します。 ・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。 1. 教育・学習に関する文献を読み内容を説明できる 2. 教育・学習に関する問いに対してグループで議論できる 3. 自分の教育・学習経験を、文献の内容と関連づけて示せる 4. 「未来の学び」について、クラスのメンバーと議論し、自分の意見を示せる 5. 文献や自身の経験、学期を通じた議論を踏まえ、自分なりの未来（10 年後を想定）の学びのあり方を示せる

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31523	S	大気海洋科学の最前線	羽角 博康	大気海洋研究所	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	地球規模の気候変動による災害の増加や生態系の変化が地域的・国際的に大きな問題となっています。大気海洋研究所では、地球表層を覆う海洋と大気に関する様々な基礎的研究を推進し、地球環境の変動機構や生命の進化など、人類と生命圏の存続にとって重要な課題の解決につながる研究を展開しています。本ゼミナールでは、大気海洋研究所で行っている海底から大気に至る幅広い研究の中から興味深いトピックスを集めました。地球と人類の未来を左右する気候や海洋、そして海の生き物や生態系などについての理解を深めることにより、地球環境と我々の将来について考えるきっかけを提供します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31527	S	読み破る政治学 －多読・乱読・精読ゼミ－	牧原 出	先端研	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミは対面で行います。説明会もまた第一週に対面で開催します。もっとも体調など個々の学生の状況に応じて、オンラインでの参加を認めてハイブリッドで開催することもあります。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した上で、対面のゼミに参加して下さい。
牧原研の YouTube チャンネルに、ゼミの概要を配信していますので、そちらをご覧ください。
URL は https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など、過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。
また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。
今年で１１年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。
こうした読書とそれについての思索・議論は、海外の大学の授業では基本的な開講形態です。また文理の学問分野の違いから言えば、このゼミでの読書とそれについての議論とは、理系にとっての実験がそうであるように、文系にとっての「実技」です。読書自体は特別なことではないのですが、毎回気心の知れた多くのメンバーと読書して語り合う経験は、皆さんにとって特別貴重な経験となるでしょう。
ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。ゼミ生同士で読書会をしたい人たちは、先端研の牧原研の自習室を自由に利用することができます。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後恒例のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えています。すでの多くの修了生がいますが、これらは修了生も一部参加することがあり、読書を重ねた先輩からいろいろな話を聞いたり、議論したりすることができるでしょう。また、夏休みには「合宿」（宿泊が難しい場合は、一日講義室でゼミを行う形をとります）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。
※受講人数：あらかじめ制限はしない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31539	S	週刊・福島復興知学講義	秋光 信佳	アイソトープ総合センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質による環境汚染はもとより、それに付随した超学際的な諸問題が発生した。この間、東京大学を含めた全国の大学関係者が福島を中心とした被災地に赴き、多様な復旧・復興活動を行った。その過程で多くの智恵と知識（これらを「復興知」と定義する）が蓄積された。本講義では、被災地で活動してきた各分野の専門家が、①放射線に関する基礎的知識、②社会科学的視座からの諸課題の分析、③実践的アプローチ（復興農学、廃炉研究、まちづくり、放射線利用研究、ドローンなどの新産業創出の取り組み、など）を通じた次世代型復興学、について体系的に講義する。この講義を通じて、専門課程に進学する前の学生に、社会科学、災害研究、リスク・コミュニケーション研究、政策研究、農学、工学、理学、医学、放射線影響学、など多様な分野を融合した「復興知学」を身につけてもらい、災害の多い日本の未来を総合的に設計できる人材育成を目指す。そして、日本ならではの新しい学問領域を世界に発信できる人材の育成を目指す。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31510	S	ソーシャルビジネスをデザインする～課題発見と解決のアイディア創出へ	高橋 史子	教養教育高度化機構	木 6	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

＜概要＞
社会課題が複雑化し、不確実性が高まるなかで、本質的な課題発見能力、そしてイノベーティブなソリューション提案力が求められています。
本授業では、「クリエイティブな視点でソーシャルなビジネスアイディアを考案する」ということをゴールセットに、社会やビジネスにおける課題把握手法と、クリエイティブなソリューション提案と具体化していくための知識やスキルを学んでいきます。
ESG 投資や企業のサステナビリティに関する活動、ビジネスモデルの基本的な考え方や、社会課題の実態を学習し、アナロジー思考やデザインシンキングの手法を取り入れながら、ソーシャルなビジネスアイディア構築につなげていきます。「問いの立て方と目的の明確化」「状況分析と課題掌握」「プレゼンテーションを含めたアウトプットづくり」など、今後の研究活動の向上やキャリア構築にも活きることとなるはずです。
さらにグループワークを通じて、自身の役割や強みを発見していくことになるため、ネットワークづくりやチームビルディングにも役立つこととなります。

＜目的＞
本授業では、社会人の責務として、利益追求だけではなく、社会の課題解決型でかつ持続可能なビジネスの重要性を認識し、ソーシャルビジネスの企画・提案・設計を目的とします。
そのために知識やスキルを獲得しながら、多様な専門領域の受講生とともにビジネスアイディアを実践的に構築し、これを探究し続ける姿勢を身につけます。

＜目標＞
✓ 社会課題の基礎知識と関心を持ち、SDGs の実現を目指す人材を育成する
✓ 思考のフレームワークを用いながら、実社会で必要となってくる「上位概念からの具体的プランづくり」、「具体事例からの上位概念化」を行き来できる柔軟な思考力をつける
✓ 自身の強みを発見し、チームワークづくりの考え方の基礎をつける
✓ プロジェクトをタスクベースに落とし、実行に移す遂行力をつける
✓ 日本語（英語）のプレゼンテーション能力を身につける
✓ 他大学との交流を通じて、学生同士のネットワークを構築する
✓ 第一線で活躍する社会人のレクチャーやコメントを通じて、キャリアパスについて考え、日頃の活動や今後の展望について整理する

＊本授業はゲスト講師 新納麻理佳さんをお招きます。
＜新納さんからのメッセージ＞
ビジネスとは、世の中の「不」の解決です。
誰かが困っていること、悩んでいることがあれば、
そこにニーズがあり、ビジネスチャンスがあります。
なかでも社会課題解決型のビジネスに求められるのは、
表層的だったり、私たちが固定概念的に捉えているニーズではなく、
より深いニーズの掘り起こしです。
またそのニーズは、ただの思いつきや閃きに基づくアイディアでは満たせません。
イノベーティブなビジネスソリューションも、
実はアイディアの掛け合わせでできています。
既存のアプローチの方程式を丁寧に分析すれば
これまで行われていない解決方法を発見できますし、
他の領域で行われてきた手法を
今の課題解決に導入できないかを考えてみるだけでも
アイディアは無数に生まれます。
ビジネス×社会課題×クリエイティブーー。
一見異なるように見える領域を横断しながら
社会が求めているニーズの深層を掘り起こし、
寄り添いながら、綿密なアイディアを考え出す。
そんなことを本プログラム通じて行う過程で
自身を突き動かすミッションや強み、
向き合いたい課題を見つけてもらえればと思います。
チームで協力しながら新しいソーシャルビジネスの種を
クリエイティブに生み出していきましょう！
※ソーシャルビジネスコンテスト等に出場予定の方は、ノウハウなどもお教えしますので、ぜひご参加ください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31479	S	地球医のすすめ： タネ蒔く農学部有志	高橋 伸一郎、吉岡 拓如、藤本 優、加藤 洋一郎、萬木 孝雄、田中 智、福田 良一、五十嵐 圭日子、吉田 修一郎、関澤 信一、永田 宏次、清水 謙多郎、潮 秀樹、橋本 禅	農学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

皆さん、これから人類はどのように地球上で生きていったら良いと思いますか？本講義は、そんな疑問を持った学生の皆さんと一緒に、農学の観点から地球の未来を考えることを目標としています。
『農学』とは、有限な資源を前提として、人類の安定した生存と心地よい生活に貢献する「実学」です。生物が生息している空間は、すべて農学がカバーすべき学問領域であり、分子、細胞、組織、個体レベルは言うまでもなく生態系、そして地球レベルに至るまでが、研究対象となっています。農学では、自然科学だけではなく、社会・経済学、そして人文学の手法も動員して、総合科学的に問題を捉える必要があります。
人類は誕生以来，微生物，植物や動物，鉱物など，地球上のあらゆる「もの」を利用して生きてきました。この活動は人類の生活を豊かにすると同時に，経済価値を優先した産業開発が，私たちのかけがえのない地球に大きなダメージを与えてきたことは、皆が認めるところだと思います。この危機に行政的には、生物多様性の観点から「愛知目標」や「科学と政策の統合（IPBES)」、人間活動の観点から「持続可能な開発目標（SDGs)」などが設定されました。人類の衣食住を多方面から支えてきた学問領域『農学』においても，持続可能で環境調和型の科学技術の確立が喫緊の課題となっています。そういう意味では、ヒトを含めた生物の共存共生のため、地球上の生物資源を利用することで起こした問題を俯瞰的に洗い出して，総合科学の力で解決していくことが、「農学」の使命といえます。こういう観点から、農学部では、100 年後の地球を考える、One Earth Guardians 育成プログラムを推進しています。
農学部は多くの専修や専攻、附属施設から構成されています。この講義は、農学部の広報室メンバーの教員を中心に、農学部教員の有志が担当します。本講義では、生物の共存共生に今後我々人類が何をしていくべきかを抽出した後、いろいろな専修・専攻・附属施設の教員が、それぞれの課題の解決法につながるような農学領域の情報を提供し、これを基に出席者が農学を通じて地球のために何ができるかを考え、議論、解決法を提案することを最終ゴールとしています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31487	S	地球社会におけるリアリズムの探求	馬路 智仁	教養学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

この授業では、グローバル化した地球社会における今日的問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、
● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起こっているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、
● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、
● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身に着けること、を目標とします。
なお本ゼミは、履修人数を 18 名前後に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31500	S	耳を啓く、音を創る ～感性と知性の協働のための サウンドデザイン入門	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

「耳を啓く、音を創る」は、様々な社会的・文化的な音に囲まれて生きる私たちにとっての「聴くこと」を深く理解する為に、世界に耳を澄ますと共に、自ら世界に音を付けてみるというアプローチを試みる授業です。社会の一線で「音付け」に携わる方々をゲスト講師としてお招きし、ワークショップや創作実践を通して、様々なサウンドデザインの思想と技術を学びます。そこから、自分と自分を取り巻く世界との「音」を介した関わりに、新たな気付きを得ることが本授業の目標となります。
2022 年度 S セメスターは「映像」と「ビデオゲーム」の 2 ジャンルを取り上げます。

●ゲスト講師紹介
西岡龍彦（第 3～5 回）
作曲家、東京藝術大学名誉教授。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科創設に関わり 17 年間勤務。コンサート作品、コンピュータミュージック、環境音楽、イベントや映像のための音楽を作曲。牟岐礼のペンネームで NHK のドキュメント番組、美術番組、ドラマ、放送技術研究所の 22.2 マルチチャンネル音響システムによる音楽を担当。
田中治久（hally）（第 7～9 回）
ゲーム史／ゲーム音楽史研究家。チップチューンと呼ばれる領域を専門に作編曲家やエンジニアとしても活動しており、ビデオゲームへの楽曲提供、ライブ活動、音楽配信プロデュース、サウンドトラック CD 制作協力など多方面に実績がある。主著に『チップチューンのすべて』(誠文堂新光社)、『ゲーム音楽ディスクガイド』（監修,P-VINE）など。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31545	S	現代中東基礎講座 I	鈴木 啓之	教養学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の目的】
この授業では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。
【到達目標】
（1）中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。
（2）中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。
（3）関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。
（4）任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。
（5）自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。
（6）中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31502	S	インターセクショナリティ概論	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

この自由研究ゼミでは、「インターセクショナリティ（Intersectionality）」をテーマに、それに関連する人文・社会科学分野のさまざまな領域の学術論文や単行本、エッセイを輪読してディスカッションする。インターセクショナリティとは、交差する権力関係がひとびとの社会的関係や日常的経験にどのように影響を及ぼすのかを検討する概念である。また、人種、エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティ、階級、障害、年齢といったさまざまなカテゴリーを、相互に関係し、形成し合うものとして捉える分析ツールでもある。
近年、インターセクショナリティは英語圏だけでなく日本でもは関心を集め、学術雑誌や記事の特集、専門書の翻訳などが相次いでいる。しかし英語由来の概念を日本に「応用する」ことへの批判、分析ツールとして「不十分である」とする批判、さらには不理解や誤解に起因する不適切な「利用」も少なくない。
このゼミでは、人種や階級、ジェンダーやセクシュアリティの交差的な相互作用と格闘してきたブラックフェミニズムの運動や思想を手がかりに、インターセクショナリティの来歴を確認するところから始める。次に、インターセクショナリティの学術領域における展開に注目し、資本主義や家父長制や植民地主義といった権力システムの交差性を批判的に探求する論考を読み解く。最後に、インターセクショナリティを取り入れた日本の研究成果を検討する。これらをとおして、単一的で普遍的な「主体」を想定したりシングル・イシューの政治を志向したりするのではなく、さまざまな権力関係がいかに相互に連関し合っているかを認識し、社会正義を実現するためのラディカルな思考力を養う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31234	S	グラフィックデザイン概論	保田 容之介	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	講義の目標：デザインの本来の意味である「設計」という機能的な側面を概論的に解説し、基礎教養とすることで、将来各分野を牽引していく学生がデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 講義の概要：機能性と美しさを両立するという狭義の意味での「デザイン」はますます日常生活と切り離せない身近な存在になりました。例えばそれはみなさんが近い将来に頻繁に使用するプレゼンテーション資料のレイアウトなどでも感じ取ることが出来るでしょう。 本講義では現役のデザイナー / クリエイティブディレクターにより、論理的・学術的な視点で「デザイン」をひもといていきます。 座学としてグラフィックデザインの歴史から始まり、色などの基礎教養、書体解説、写真技法、デジタルツール解説などのデザインの実務で使用する知識や、UI/UX などの基礎知識を学び、積極的に手を動かして考えを発表するワークショップやフィールドワークも行います。 それによって講義の外でもデザインを楽しみ、将来各分野を牽引していくみなさんがデザインの視点から新たな価値を生み出すことを期待しています。 是非本講義を経る前と後の視点の変化を実感してください。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31489	S	情報システム利用入門	松島 慎	情報・図形科学	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	一般的な情報システムの利用方法を初歩から学ぶ。情報システムのモデル、端末の操作方法、応用ソフトウェアの基本的な利用を中心とする。情報に関する深い理解や高度な機構の理解は対象としない。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31503	S	トランスジェンダー・スタディーズ	清水 晶子	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	トランスジェンダー・スタディーズは、フェミニズム／クィア理論、思想哲学、社会学、文学、医学など、学際的な知を取り入れながら、さらにトランス・アクティヴィズムの歴史を背景に発展してきた分野である。この科目では、トランスジェンダー理論やトランスジェンダーの歴史に関する文献講読をメインに授業を進める。担当教員が重要な概念や議論を紹介したうえで、少人数でのディスカッションを行う。近年、トランスジェンダーに対する社会的関心がトランスナショナルに高まりを見せ、その性／生を一元的に捉えたり病理化したりする文化的背景のもとで嫌悪や差別が深刻化しているが、トランスジェンダーの人々が直面する様々な制度的・社会的・文化的な障壁への考察を促しつつ、人間の性を男女のカテゴリーに二元化するイデオロギーや制度に対する批判的思考力を身につけることを目的とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31310	S	タイ医学ゼミナール	宮原 由佳	学生による全学自由研究ゼミナール	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。
【こんな方にオススメの集中講義です】
・タイ古式ケアで、肩こりや疲労を癒したい！
・ヘルスプロモーションに興味がある！
・「ケア」について学びたい！
・UNESCO 認定：無形文化遺産（タイ古式マッサージ）＆世界の記憶（ルーシーダットン（タイ古式ヨガ））のエッセンスを学びたい！
・タイの伝統医学に興味がある！
・タイの医療の現状について知りたい！
・タイ文化について知りたい！
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
【ゼミ目標】
タイでは伝統的な「タイ医学」を統合医療やヘルスプロモーション政策に組み込む等、多岐に渡り活用しています。ゼミでは「タイ医学」を通じて「タイ古式ケア法」を学び、「セルフケア」「他者へのケア」について考察を深めていきます。
【ゼミ概要】
理論編：タイにおけるタイ医学の概要や活用法について多面的に学びます。
実技編：タイ伝統医療の中で行われているタイ古式ケア療法（タイ古式マッサージ・ルーシーダットン（タイ古式ヨガ））を学びます。日常の中で疲れや凝りを癒し自己免疫力を高めてくれる'古の智慧'を、皆で一緒にレッスンをしながら体感とともに学びを深めていきます。「セルフケア法」を主軸に「他者へのケア法」も盛り込みながら行っていく予定です。
※ワットポー タイトラディショナル メディカルスクール（タイ王国第一級王立ワットポー寺院）にて、外国人として初めて伝統に基づいた本格的な修養を積み講師として認定された宮原が、多国籍にわたる方々への施術・指導経験をベースに行う東大生のためのスペシャルゼミです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31431	S	『世界開発報告』を読む 2023S	森川 想	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。
今学期は集中講義として開講しますが、例年通りゼミ生間の交流を積極的に行っていただきたく、ご都合のつく範囲で定期的に集まって予習を行う機会を設けたいと考えています。集中の日程も含めてガイダンス時に相談しましょう。
ガイダンスを【4月10日（月）5限】に Zoom にて実施します。ご関心のある方は必ずご参加ください。
この日時に出席できない方は別途相談もできますのでその場合はメールでご連絡ください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31437	S	電池レス IoT デバイスのためのエネルギーハーベスティング	鈴木 雄二	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

近年、IoT（モノのインターネット）が注目され、ばらまき型の無線センサやウエアラブルデバイスが我々の生活で使われ始めようとしています。これらのデバイスの電源には、ボタン電池などが用いられていますが、頻繁に交換や充電をしなければなりません。ある報告によれば，IoT への応用の 90%が電力供給に課題があるとされており、普及の大きな障害になっています。
本ゼミナールで対象とするエネルギーハーベスティング（Energy Harvesting、環境発電）は、環境の中に薄く広く存在する振動や熱などのエネルギーから微弱な電力を取り出すもので、無線センサやウエアラブルデバイスを電池なしに駆動できる技術として最近多くの取り組みが行われています。
本ゼミナールでは、特に、環境の振動を用いた振動発電、熱・温度差を用いた熱発電をとりあげ、講義と実験を通じて発電原理・しくみの理解と、腕時計型ウエアラブルデバイス、農業用無線センサなど、応用デバイスの社会への展開について学習します。

※このゼミは4月6日（木）6限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31438	S	空飛ぶ車を実現するための機械工学	柳本 潤	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

工学部機械工学科が提供するゼミナールです。柳本研究室（機械材料学）が主導して実施いたします。
空飛ぶ車には、社会インフラ、法制度のみならず、「車」そのものをどのようにして実現し製造するのか？を考え、技術開発を進めねばなりません。
機械である「車」を実現し社会に普及させるためには、空を飛ぶための推進系に加え、軽量な構造体（車体）を、地上を走行する車と同じ程度まで安価に製造せねばなりません。本ゼミナールでは、空飛ぶ車を実現するための、超軽量車体構造材料とその成形について、調査、設計、解析を行います。
1．空飛ぶ小型トラック・自動車に利用される骨格・スキン材料を開発する
空飛ぶ小型の個人用移動体に利用できる骨格・スキン材料を開発します。 軽量、高い強度、安全性、量産性と価格など考慮する必要があります。
現在航空機に広く利用されている、炭素繊維強化プラスチックと薄板金属材料との組み合わせ、あるいは、炭素繊維強化プラスチックのみ、などを利用して新たな薄板素材の提案、設計、製作と評価に取り組みます。
2．Computer Aided Engineering・プレス加工（成形加工）を体験する
自動車の車体構造の設計、成形、評価には、Computer Aided Engineering が広く利用されています。今後の空飛ぶ車のための超軽量車体構造の設計にも、この手法の適用は必須と考えるべきでしょう。
成形加工の解析には、非線形 FEM を利用します。このテーマでは、非線形 FEM を利用した成形加工シミュレーションを、実際に体験してみます。

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31442	S	ロボティック医療システム	原田 香奈子	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールでは，当研究室で開発されている世界最先端の手術ロボットや理化学実験用ロボットシステム，VR 手術シミュレータ等を実際に操作する．また，ものづくり技術・知識，コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識，医学的知識を駆使して実現する手術支援システムはどのようにして構築されるのか，また，医工連携はどのように行われているか，その入門を学ぶ．
※受講人数：10 名に制限する．対面で受講可能な学生に履修者を限定する．

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31445	S 1	ナノマイクロ 3D アートを探求しよう	吉元 俊輔、 高橋 哲	工学部	集中	1	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

1．バイオミメティクスおよびナノマイクロ 3 D 構造創製法の基礎を学ぶ
2．自然界のマイクロ 3 D 構造を、先端顕微観察機器で、高分解能観察し、その芸術性を堪能するとともに、物理的機能を考察する。

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31446	S 1	3次元スキャナ・プリンタを使ったデジタルものづくり体験	吉元 俊輔、大竹 豊	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要	物体の形状をスキャンする装置を用いて、3 次元形状をコンピュータに取り込み、そのデータ処理について実習する。また、処理したデータを 3D プリンタで出力し、オリジナルの物体との比較をし、再現性の確認を行う。 ---------- ※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31447	S 1	ウェアラブル体感型 VR システムを作ってみよう	吉元 俊輔、高松 誠一	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要	布などウェアラブルな基板のうえに電子回路を精密に配線、実装する精密組み立て技術の基礎を学ぶ。さらに、この精密組み立て技術で作ったウェアラブルセンサ、アクチュエータを用いて、振動等をフィードバックする体感型 VR システムの構築を試みる。講義と実習を交えた体験型講義形式で学ぶ。 ---------- ※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31473	S	未来を拓く化学	小澤 岳昌	理学部	集中	1	1年 理科 2年 理科
授業の目標概要	地球レベルから生命現象までの広範な物質世界を、分子レベル、分子集合体レベルで解明し、新しい自然観を探究する現代化学のフロンティアを講ずる。化学の各分野の教員が、最先端の研究について易しく解説し、化学の未来について考える。講義中に研究室見学を行う。 ガイダンスは4月3日6限（１８：４５～）に行う（予定).						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31481	S	伊豆に学ぶプラス S 「感じる・考える・行動する」 サイクルの発動 南伊豆で SDG s を考える	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します。 この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテータとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「できる様に育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。 この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の事前講義と事後講義を企画することである。その背景に、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。 本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31482	S	獣害問題とは何の問題かS （自由自主の企画系ゼミ） ～獣だけの話ではない。 見えにくい防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で初めて獣害を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていただきたい。それが獣害問題とは何の問題かということ。
もちろん、伊豆に学ぶの受講生ばかりではなく、獣害問題について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまうという、普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにするつもりです。
ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を作り、社会に発信することを一つの具体的な目標とします。
本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。
しかし、新型コロナ禍にあって、従前のスタイルで学園祭にて演示することができなくなりました。２０２３年Ｓセメスタでも「新型コロナ時代版」として、学園祭と切り離して獣害問題と向き合う機会を提供します。
講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。
なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。
「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」
という話を耳にすることがあります。
オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？
問題はそれほど単純ではないと思われます。
オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。
ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないことを前提に話を進めることは合理的ではありません。
「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させているというとても重要な気付きを得られたと思います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。
大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。
皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たない可能性もあります。
だからと言って、答えが出せない複雑な問題は、うまく避けて通ればよいのでしょうか。
本ゼミでは大菩薩峠を訪ね、増え続けるシカが森林にどんな影響を及ぼすのか、実態をご覧いただくことから始めます。
大菩薩峠はハイカーに人気ある山域で、多くのハイカーが足を運びます。ハイカーにはシカの影響がどの様に伝わっているのか、日本人の自然観察眼についても実態をご覧いただきたい。
興味がわいたら、森に学ぶ（森林・林業を意識する低山歩きＳ２）にてさらに山の実情を見に行くことをお勧めします。
獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けたいとか、害獣をジビエと捉えて手作りイノシシソーセージを作ってみたいとかのご希望があれば、東京大学体験活動プログラム「伊豆の体験活動 獣害編」への参加をお勧めします。
さて、本ゼミは自由自主の企画系ゼミですので、
「獣害問題とは何の問題か」という論点を社会に発信してもらいます。
問題の本質が何であるのかについて、周りを巻き込んで一緒に考えるきっかけを提供する、そういった体験をしてもらうことがこの企画の狙いです。
何を発信するのか
どう発信するのか
自由と自主で行動するのが大の苦手という方、少しでも克服したいと、初めの一歩を踏み出そうという方を応援する、そのようなゼミにしたいと思っています。
※受講人数：５人程度
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。
※講義：駒場で対面４回のほか、大菩薩峠界隈に「獣害」の実態観察に出向く。
※社会へ発信することを目標とする（形式は問わない）。学園祭企画も一つの発信の形
※ガイダンスはオンライン（zoom）で行います。
・参加希望者は izu.seminar（アットマーク@）gmail.com まで、氏名・学籍番号を知らせてください。
・件名を「自由自主の企画系ゼミ」としてください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31501	S	ブランドデザインスタジオ27 「遊び」をブランドデザインする	真船 文隆、宮澤 正憲、山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

●プログラムについて
『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE （理想の教育棟)」を舞台に、東京大学×博報堂ブランド・イノベーションデザインのコラボレーションにより学んでいただきます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド･コンサルタントがプログラム･デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでテーマに関するリサーチや分析、アイデア発想、プレゼンテーション制作を行ってもらうことを予定しています。
【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/
●テーマについて
みなさんはふだんどんな遊びを楽しんでいるでしょう。誰とどこでどんなふうに遊んでいるでしょうか。あなたのお気に入りの遊びはなんですか。
平安時代末期に編まれた『梁塵秘抄』に「遊びをせんとや生れけむ 戯れせんとや生れけん 遊ぶ子供の声きけば 我が身さえこそ動がるれ」と歌われるように、「遊び」は人間の本質に関わるものとして、古来より様々に語られ、議論が展開されてきたテーマです。
ドイツの詩人・劇作家で歴史家・思想家でもあったフリードリヒ・フォン・シラーは「人間は文字通り人間であるときだけ遊んでいるのであって、遊んでいるところでだけ真の人間なのだ」と書き、オランダの歴史家ヨハン・ホイジンガは「人間の文化は遊びにおいて、遊びとして、成立し、発展した」と述べて、「ホモ・ルーデンス」(遊ぶ人)という言葉で人間を規定しました。近年では、デジタルゲームが社会的に注目を浴び、ゲーム・スタディーズのような新たな研究領域が盛り上がりをみせる中で、古典とされるホイジンガやロジェ・カイヨワの議論が再検討されるだけでなく、ホイジンガ以前および以後の哲学における遊びやゲームへの言及もあらためて注目されるようになってきています。
また、遊びがビジネス・働き方や問題解決などの社会活動に与えるインパクトにも関心が集まり、「ゲーミフィケーション」や「Playbour」といった言葉も生まれています。たとえば、発達心理学者のピーター・グレイは「学び、問題解決、創造性は、遊び心を妨げることによって悪化し、遊び心を促進することによって改善する」として、学びやパフォーマンスに遊びがもたらす影響の研究成果をまとめています。ゲーム・デザイナーのエリック・ジマーマンは、直線的で非インタラクティブな「映像」が圧倒的な文化形態だった 20 世紀に代わって、システム的でユーザーの参加とカスタマイズを可能にする「ゲーム」が今世紀の文化の基軸になると述べて、21 世紀は「ルーディックな世紀(遊びの世紀)」となると宣言するマニフェストを打ち出しています。
私たちにとって非常に身近で、お馴染みのことでありながら、いま、あらためて様々な議論がなされている「遊び」。今回のブランドデザインスタジオは、この「遊び」という概念をテーマとして取り上げます。
参加いただく皆さんには、「遊び」を多面的に捉え直し、「遊び」に関する課題解決や価値創造をもたらすブランド(商品やサービス)を発想し、アイデアをかたちにして世に伝えることに挑戦いただきます。
本授業のアウトプットは、東京大学教養学部教養教育高度化機構と株式会社博報堂が共催し実施している、大学生のためのブランドデザインコンテスト「BranCo!」(https://branco.h-branddesign.com/)にエントリーしていただくことを予定しています。みなさんのアイデアをオープンなコンペティションに応募することで、外部からのフィードバックを得ることを想定します。
授業自体は S セメスターで完了しますが、上記コンテストのエントリーは 11 月が予定されており、みなさんの提案がプレ審査、一次審査を勝ち残った場合、2024 年 2 月に予定されている二次審査・決勝プレゼンでプレゼンテーションを行っていただく可能性があります。そのため、本授業にご参加いただく方は、本授業で結成するチームメンバーと最長で来年の 2 月まで活動を行う可能性があることを想定してご参加ください。
詳しくは 4 月 6 日(木)17:30-20:30 に開催されるガイダンス兼体験ワークショップで説明します。(A セメスター以降に留学を控えている等、個別の相談には応じます。)
「遊び」とは、何か？ 私たちにとって根源的であり、かつ新しい、この問いにじっくりと向き合いたい。チームの仲間と、アイデアをかたちにしたい。そんなあなたの参加をお待ちしています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31533	S	災害現場と情報/Real disaster site and useful information	酒井 慎一	情報学環	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

最近、災害が増えたと聞くことが多い。それは、本当だろうか？ その災害現場に行き、何が起きたのか、どう伝えられているのか、何が被害を拡大させたのか、何が足りなかったのか等を調査し、その結果をまとめる。「将来の社会への提言」を作ってみることが目標である。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31535	S	駒場すずかんゼミナール「学藝饗宴」	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

爛熟期を迎えた19世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を綜合する教養教育を目指すものである。

「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017年度より新たに本題にて開講されている本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記のTwitterページにて確認してほしい。

本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き自らの血肉として結実させようと試みる学生を歓迎する。

※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19～21 時に行われる。集中講義も基本的に同時間帯である。このサブゼミに毎回参加できることが履修に際しての前提条件となる。

※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。

※過去の選考課題、その他の詳細はTwitterページ（https://twitter.com/minervakomaba）を参照すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31548	S	学部学生のための研究入門コース-UROP1 (Undergraduate Research Opportunity Program 1)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、ＩＴ、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。

研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。

このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。

授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ(http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/）を参照のこと。

※履修人数を20名に制限する。

※開講場所：生産技術研究所

※ガイダンスは、4月5日（水）および4月7日（金）の2日間、12時20分よりオンラインにて行う。2回とも同一内容で実施。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31550	S	生命の普遍原理に迫る 研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。
本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。
担当教員と研究テーマ
【駒場キャンパス】
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
市橋 伯一: 無細胞転写翻訳系における遺伝子発現量を機械学習により予測する、もしくは既存の機械学習モデルを解釈して遺伝子発現に影響する要因を発見する
柳澤 実穂: 細胞モデルを用いた生命現象の物理的理解
大泉 匡史: 大規模な神経活動データにおける神経情報表現の構造の解析
晝間 敬: ディープラーニングを用いた植物根系の自動定量技術の開発および活用
小林 徹也: 生体の情報処理と進化における最適性・物理制約を数理と情報から考える(駒場 II キャンパス)
【本郷キャンパス】
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 情報理論やゆらぎの熱力学を用いた生命現象の理論研究
杉村 薫: 多細胞パターン形成を物理と統計の眼で理解する(統計解析もしくは実験研究)
【柏キャンパス】
岩崎 渉: 「生物情報科学」でひもとく生命システム進化・生物多様性
石川 麻乃: 分子と生態を横断し、生物の適応進化を理解する
最新の情報は以下を参照。
https://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education/

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31551	S	最先端の生命科学研究を駒場で体験する/Experiencing cutting-edge life science research at Komaba	大杉 美穂	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。
研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。
統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、２６もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。
生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。
担当教員と研究テーマ（今後増える可能性があります）:
大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学
道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどのように関わるか
晝間 敬 植物と共生する微生物の未知の機能の探索
吉本 敬太郎 核酸医薬の分子設計と機能評価

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31811	S 1	先端研究入門@先端研	大澤 毅	先端技術研究所	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

本ゼミの内容に最新情報に関しては、先端研トップページ（https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/index.html）に掲載します。随時更新予定ですので、参照してください。
【先端研とは】
学部生のみなさんが主に学ぶ駒場Ⅰキャンパスから歩いてすぐの所、駒場Ⅱリサーチキャンパスにある先端科学技術研究センター（先端研）は、「学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題へ機動的に挑戦し、人間と社会に向かう先端科学技術の新領域を開拓することによって、科学技術の発展に貢献することを目的とする」研究所です。
最大の特色は研究者や研究分野の多様性にあり、
基礎科学（生物学、物理学、情報科学、気象・気候）
応用科学・工学（VR、生命工学、エネルギー、減災・防災、物理工学、通信・交通・物流）
社会科学（国際、政治、法学、知財）
バリアフリー（ダイバーシティー&インクルーシブ、アクセシビリティー、教育、当事者研究、包摂社会）
に渡り、40 にのぼる専門分野の・部門名を冠した研究室が、世界最先端の研究や活動を行っています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40199	S 2	デジファブでアクセサリーを鋳造してみよう	大竹 豊	工学部	集中	1	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

鋳造技術は古来から存在する金属加工法です。その鋳造を最新のデジタルファブリケーション設備でスマートに行うことを体験することを目標にします。

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31546	S 1	プロジェクト志向の翻訳とMT「実用化」時代の翻訳者コンピテンス	影浦 峡	教育学部	火 3, 火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	2016 年に Google が日本語に関わるニューラル MT を公開して以来、MT の実用性に関して（ほとんどの場合特に取るに足らない）議論がなされてきた。一方、翻訳論の領域では、翻訳者に必要なコンピテンスの概念が外在的に定式化される傾向にあり、それと翻訳の品質管理の関係も議論されている。本ゼミナールでは、プロジェクト志向の翻訳（実際のプロによる翻訳の大部分はプロジェクトとしてなされる）に必要な翻訳コンピテンスの概要を理解し、入門的にその一部を体験する。 ※履修人数を 15 名に制限する					

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31492	S	数理物理への誘い －解析力学と相対性理論－	加藤 晃史	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

現代的な物理学は難しいと考えられがちだが、数学的構造と物理的内容を区別してそれぞれをきちんと理解すれば、教養レベルの数学と物理の知識で充分に理解可能である。本ゼミナールは、解析力学と相対性理論を題材として数理物理の広大な世界への入門としたい。

予備知識としては 1 年次に学ぶ力学、線形代数、微積分、微分方程式などの基礎的な知識（特にベクトル空間の基底，テイラー展開や合成関数の微分の連鎖律など）を仮定するが、未修であっても必要に応じて適宜解説する予定である。

わずかな基本原理を仮定し、論理的な考察によって驚くべき結果を次々と見出したアインシュタインら先人達の驚きを追体験しよう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31496	S	多変数関数の微分	小木曽 啓示、 清野 和彦	数理科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の 1 年生が S セメスターに学ぶ熱力学では、物理的な状態を表す関数が多変数関数であるため、状態の変化は多変数関数の微分によって表されます。しかし、大学に入学したばかりの 1 年生のほとんどは多変数関数の微分どころか多変数関数にさえ触れたことがありません。一方、多変数関数の微分が数学の講義で扱われるのは S2 タームの後半から A セメスターにかけてです。そこで、このゼミナールでは多変数関数の微分についてゆっくりと学びます。必要なことは熱力学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって熱力学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号が出てきただけでめまいがして熱力学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。
なお、熱力学の物理学としての内容には一切触れませんし、熱力学で使う数学のすべてを網羅するものでもありません。逆に、熱力学には直接出てこない内容も扱います。あくまでも数学の授業ですので、誤解のないようにお願いします。また、1 変数関数の微分をよく理解していることを前提にしませんので、多変数関数の微分とはどんなものかということに興味のある文系の学生も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31514	S	図書館・文書館・博物館の裏側に迫る：制度・経営・資料管理の実際	石原 俊時、 森脇 優紀、 矢野 正隆、 小島 浩之	経済学部	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

図書館・文書館・博物館は大学での学習や研究になくてはならない施設であるとともに、過去から受け継いだ人類の知的営為により生まれた資料類を未来へと繋ぐ架け橋としての社会的使命をもった施設でもある。この授業では図書館・文書館・博物館の裏側を実体験することで、これらを下支えする制度・経営のしくみや、現場での資料管理（調査・整理・保存・公開など）の実態を知り、デジタル全盛の時代に現物資料を保存する意味や重要性を理解し、これらの施設を大学生活や社会の中でどのように利活用すべきかを学ぶ。
この目標を実現するために、この授業では（1）講義、（2）学内外の図書館・文書館・博物館のバックヤード等の見学、（3）体験実習を組み合わせて行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31544	S	ピアサポートマインド入門	高野 明	相談支援研究開発センター	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ピアサポートとは、仲間（同じ立場にある者）同士による相互援助のことです。大学の学生支援活動としてピアサポート活動が広く活用されるようになっており、各大学で様々な取り組みが行われています。
本ゼミナールでは、同じピア（仲間）という立場、お互いを尊重する関係性を構築すると共に、学生の自己成長や対人支援教育に寄与するピアサポート活動を軸として、相互支援の基礎を含む実践的な学習・体験を行います。実践の基となるコミュニケーション学習と、社会的支援について実習として体験し、自分・相手・仲間を尊重し行動できるピアサポートマインドの獲得を目的とします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31547	S	工学研究の最前線を支える 実験装置を体感・体験する	本間 健太郎	生産技術研究所	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

大学における基礎的学習やこれをベースに展開する研究が、その後どのように社会に還元され実装されるかを実感する機会はこれまであまり無かったであろう。本体験ゼミナールでは、工学研究を対象に、これが実社会とどのように結びついているか、その社会実装に向けてどのような工夫がなされているかについて、工学研究の実験的・実証的研究のために本学で活躍している試験装置や、普段は見かけることのあまり無い実験機器、可視化装置を実際に間近に見て体験することにより、工学研究の最前線・最先端の現場をより身近に臨場感を持って知り、理解を深めることを目的とする。本体験ゼミナールでは、これらの装置やそこから生み出される研究成果の理論的内容や背景を理解するというより、むしろこのような装置から社会に直接的・間接的に役立つアウトプットが生み出されている実態を「知ってもらう」ことに主眼を置いており、したがって文系、理系を問わず、実物を間近に見て体験することに興味を持つ学生諸君の参加を期待している。

※ガイダンスは 4 月 11 日（火）の 5 限（17:05-18:35）にオンラインで実施することを予定している。
※体験型講義であるため、現地実習に参加可能な学生のみに履修を制限する。また希望者多数の場合はくじ引き等で受講生を選抜することがある。
※新型コロナウイルス感染拡大等の状況に応じて、実習スケジュールの変更や演習自体の取り止めの可能性があるので、ガイダンスでの情報提供や UTAS、ITC-LMS からの情報等に注意されたい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31444	S	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31448	S	ゲームデザイン論 ～先端技術が生み出す新しいあそび～	苗村 健	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

先端技術を駆使した新しい「あそび」として，さまざまな「ゲーム」が，産業的にも文化的にも大きな功績を残してきました。この全学体験ゼミナールでは，人類にとっての「あそび」とは何なのかを考え，その中で未来の「ゲーム」はどうあるべきかを発想するための基礎を体験的に学びます。

ゲーム制作においては，あそびとしてルールを作る・相互の関係性を結ぶ・ストーリーを空想する・身体を使うなどの要素を考慮するだけでなく，エンジニアリングやマーケティングの側面も重要になります。これらを総じて「ゲームデザイン論」と称し，総合的な学びの機会とします。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31463	S	「ディープテック起業家への招待」	坂田 一郎	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

目標：

i.新たな技術や発想のもとで、新規事業などを通じた社会的価値の持続的創出に挑戦する姿勢（アントレプレナーシップ）が醸成されること

ii.講座を通じた対話と自己の内省を通じ、「将来何を実現したいか、誰のどのような課題をどのような技術を用いて解決するか」を深化・進化させること

iii.講座修了後に自ら飛躍できるアクションを行えること。そのために必要な知識や経験を得るのみならず、必要な学内外の人や機会との繋がりも獲得すること

概要：

i.将来何を実現したいか、誰のどのような課題をどのような技術を用いて解決するかを、視座を同じくする学生間チームで練り上げていく。多様な学生、本学第一線の教授陣、企業との密な関わりを通じ、学術の卓越性を基に将来地球規模の課題解決を行える人材輩出を目指す。

ii.履修は東京大学学部 1-2 年生（文理、全科類）とする。マインドとしては、将来世界最先端の研究に取り組みたい、グローバルな社会課題を解決する新規ビジネスを考えてみたい、技術の事業化に関心がある、起業に関心があるという学生を歓迎する。

iii.授業は、各回の事前課題、講義、講演、FW（フィールドワーク）、発表で構成する。全体を通じて、一般的なインプットベースではなく、学生のアウトプットに重きを置く。後半の発表は 1~4 名程度のチームでの発表を想定しており、チーミングについては起業の”リアル”に沿う形で、学生同士の発表から各自で仲間を集める形式とする。FW については、授業外の時間に、学内の研究室や企業へのヒアリング、現場リサーチ（工場見学等）を行ってもらう可能性がある。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40203	S 2	徹底検証・スギ＆ヒノキ ～もっと知ろう木材のこと～	石橋 整司、齋藤 暖生、 當山 啓介、安村 直樹、 藤原 章雄	農学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

日本には「森林の文化」、「木の文化」があるといわれる。たしかに日本の国土は森林が成長するのに適した温暖多雨な気候であるため、高山などの一部の地域を除いて森林に覆われており、自然が少なくなったといわれている現在でも国土の約 7 割を森林が占めている。古来日本人はその生活の中で森林と密接な結びつきをもち、衣食住に関わるさまざまな資源を得る場として、また生活空間の一部として利用してきた。

こうした日本の「森林の文化」、「木の文化」を支えてきた代表的な樹種である「スギ」や「ヒノキ」は今でも国土の森林の多くの面積を占めており、日常的に森林や木材に関わることの少ない人々の間でもよく知られた樹種である。しかし、「スギ」や「ヒノキ」が日本で育くまれてきた「木の文化」にどのように貢献してきたのか、日本人は「スギ」や「ヒノキ」の何に価値を見出して利用してきたのか、そもそも「スギ」や「ヒノキ」とはどのような特性を持つ樹なのか、という一歩踏み込んだ知識を持っている人は意外に少ない。

全学体験ゼミナール「徹底検証・スギ＆ヒノキ～もっと知ろう木材のこと～」では、「スギ」や「ヒノキ」という樹種の特性や日本人との関わりの歴史、実態について広く学ぶことを通して、日本の「森林の文化」、「木の文化」そして日本人と森林との関係を学ぶものである。

本ゼミナールはガイダンスを含む駒場での 5 回の講義（木曜日 5 限）と千葉演習林と都内における 2 回の日帰り現地講義で構成されている。講義の日程（予定）は以下の通りであるが、各回の講義内容や講義の順番は変更となる可能性があるのでガイダンスで確認してほしい。

6 月 8 日（木） ガイダンス
6 月 15 日（木） 第 1 回講義「日本人とスギ＆ヒノキ」
6 月 22 日（木） 第 2 回講義「スギとヒノキの林業経営」
6 月 24 日（土） 千葉演習林での現地講義「スギとヒノキを育てる現場」
6 月 29 日（木） 第 3 回講義「木工素材としてのスギとヒノキ」
7 月 1 日（土） 都内での現地講義「林業、スギとヒノキの使い方」
7 月 6 日（木） 第 4 回講義「スギ花粉症と外部費用」
7 月 13 日（木） 第 5 回講義「スギとヒノキを活かす」

現地講義の際の交通費や施設見学料は自己負担となる。詳細な講義日程等についてはガイダンスの際に説明する。
履修者数は最大 15 名とする。希望者多数の場合は選抜を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31484	S	体験して考える森林ガイドボランティアの現在と未来	石橋 整司、竹本 周平	農学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

●授業の目標
東京大学大学院農学生命科学研究科の附属施設である田無演習林においては、地域貢献の一環として、身近な樹木に親しみその特徴を知る「子ども樹木博士養成講座」（以下、「樹木博士」と略す）を春と秋の年 2 回実施しています。このような森林ガイドイベントはあちこちで催されており、その実施には多くの場合ボランティアが重要な役割を果たしています。しかし、現状としてイベント主催者側とボランティア側の希望がマッチングされる機会は十分でなく、前者には人手不足、後者には出番の不足の問題があるように見受けられます。本講義では、「樹木博士」に参加し実際に森林ガイドを担当することをつうじて、森林ガイドイベントの運営側やボランティア側の立場について考えを深め、最終的にはボランティアがいっそう活躍する未来についての具体的な議論につなげます。本講義で得られる体験や視座は、みなさんの今後のボランティア体験をより深いものにするだけでなく、将来みなさんがボランティア組織の運営側に立った際にも大いに活きてくるでしょう。

●授業の概要
講義は駒場キャンパスでの座学と西東京市の田無演習林（一部は駒場）での実地実習で構成されています。座学では、総論として森林インストラクター制度の概要と森林ガイドボランティアの現状、また「ボランティア」概念の概要や変遷、具体論として「樹木博士」などイベント等の運営事例について、とくにボランティアの関わり方に重点をおいて学びます。実地実習では、「樹木博士」での森林ガイドボランティアの実践に備えるため、教員が実際のイベントを模してみなさんを指導します。基本的な樹木識別法だけでなく、樹木の特徴をわかりやすく伝えるためのポイントや、イベント参加者の自然体験をより深めることに役立つ「気づき」の「わかちあい」を促す方法、またイベント実施時の安全衛生リスク管理などを身につけて頂きます。また、上記のボランティア体験と学びを相対化することを目的として、森林あるいは科学館でガイド等のボランティア活動をしている一般市民、またはそうしたボランティア組織の管理者を対象に聞き取りをおこなう予定です。総まとめとして、田無演習林を具体例として、ボランティアがよりいっそう活躍できるための課題とその解決策について議論します。

●「樹木博士」の概要とボランティアに求める役割
田無演習林での「樹木博士」は、子供を対象とした 10〜30 種類の樹木についての体験学習イベントです。ここ最近は、地域の小学生を中心に例年 30 人前後の参加があります。難易度別にいくつかのグループに分かれた参加者は、午前中にガイドの解説を聴きながら見学路を一周りして樹木の特徴と名前を学習し、午後には学習した樹木の枝を見て名前を当てるテストに取り組みます。テストの後、自然に親しむネイチャーゲームなどのアクティビティを楽しみます。学生のみなさんには、ボランティアとして森林ガイド（樹木解説の講師役）および、アクティビティ実施のリーダーを務めていただきます。テストの正答率にこだわる必要はありませんが、参加者が森林や樹木に興味をもち、それを持続させられるような働きかけをしてください。また、参加者が楽しく安全に過ごせるよう努めることも大切な役割のひとつです。実践に先立って座学や実習をつうじてじっくりとみなさんを指導しますので、現時点で知識や経験がなくても大丈夫です

●講義予定
①4 月 14 日(金)2 限：オンラインガイダンスおよび森林ガイドボランティア総論
②4 月 21 日(金)2 限駒場：対面ガイダンスおよび森林ガイドボランティア総論（内容は 4 月 14 日と同様です）
③4 月 28 日(金) 2 限駒場：樹木観察のポイント／駒場の樹木を知る
④5 月 14 日(日)田無演習林：「樹木博士」やネイチャーゲームの体験
⑤5 月 19 日(金)2 限駒場：イベント等の運営、とくにボランティアの関与についての具体論／ネイチャーゲーム実施方法についての打合せと議論
⑥5 月 21 日(日) 田無演習林：樹木解説やネイチャーゲーム実施の予行演習
⑦5 月 26 日(金)2 限駒場：導入を考える／樹木解説の練習
⑧6 月 4 日(日)田無演習林：「樹木博士」の実践
⑨6 月 9 日(金)2 限駒場：聞き取り調査（下記）の準備
⑩6 月 11 日(日)ボランティア活動に携わる市民あるいはボランティア組織管理者への聞き取り／ボランティアの未来についての議論

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31495	S	じっくり学ぶ数学 I	小木曽 啓示、牛腸 徹	数理科学研究科	金 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。
一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。

※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31512	S	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。

第 1 回にオンラインでガイダンスを行い，履修希望調査（ITC-LMS で提出）をふまえ受講者「40 名」を決定する．

※受講可能人数は 40 名
※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る
※ガイダンスはオンラインで，セレクション後の講義は対面で行う．オンラインでの参加はできない．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31528	S	極限的プラズマの世界 —核融合から宇宙まで—	吉岡 和夫	新領域創成科学研究科	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

宇宙空間の物質のほとんどはイオンと電子に分離した「プラズマ」状態にあり，惑星磁気圏や恒星表面，さらにはブラックホールなどの環境下においてプラズマの振る舞いが重要な役割を果たしている．また，半導体プロセスや医療分野，さらには電気推進ロケットや核融合発電などの幅広い分野でプラズマが応用されている．本ゼミナールでは，入門的なプラズマの講義を行った後に，日常では見られない極限的なプラズマとして核融合実験装置での実験および地球上層大気での流星プラズマの観測を中心とした体験学習を実施する．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31432	S	ロボット競技を体験しよう A	國吉 康夫	工学部	金 6	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．

専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．

発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．

講義はオンライン実施予定である．対面講義の実施が可能な状況の場合，機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．

※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31433	S	ロボット競技を体験しよう C	國吉 康夫	工学部	金 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．

専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．

発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．

講義はオンライン実施予定である．対面講義の実施が可能な状況の場合，機械加工に関する安全講習および実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．

※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31430	S	医学に接する	石川 俊平	医学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

参加する学生を 4 ～ 6 人のグループに分け、医学部の研究室や病院の医局における、現在の医学を実際に体験してもらう授業です。
平日の夕方に実施する定期コースと、夏休みを利用して実施する集中コースの 2 つがあります。

「授業計画」を確認し、履修希望者は 4 月 6 日（木）のガイダンスに必ず出席すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31434	S	フォーミュラレーシングカーを作る A	中尾 政之	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。
自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場(あるいはオンライン)で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める）
授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。

※4 月 19 日(水)6 限に安全教育を実施します（対面で実施予定ですが、コロナ感染状況によってはオンラインに変更することもあります)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。
※開講場所；講義；駒場あるいはオンライン、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」他

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31435	S	フォーミュラレーシングカーを作る C	中尾 政之	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。
自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場(あるいはオンライン)で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。（詳細日程はゼミ参加者で相談して決める）
授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。

※4 月 19 日(水)6 限に安全教育を実施します（対面で実施予定ですが、コロナ感染状況によってはオンラインに変更することもあります)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。
※開講場所；講義；駒場あるいはオンライン、実習；本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」他

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31436	S	小学生にものづくり教育を行う「ものラボ」キャンプ I	杉田 直彦	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の 2 名の教員が担当します。
杉田直彦 教授
吉﨑れいな 助教

本プロジェクトでは，小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します．学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し，ワークショップの企画・運営を行います．これにより，ものづくりにおける難しさ，楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え，学生がものづくりの魅力を再発見し，課題解決に取り組みます．このワークショップに参加する子供が，ものづくりの楽しさを体感し，エンジニアを志すきっかけを作ります．

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31449	S	アイデアを形にするモノづくり体験 ～ロボットから家電まで～	川原 圭博	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

人工知能や、バーチャルリアリティ、自動運転や3Dプリンタによるものづくり革命など、情報技術が今の時代の社会変革を牽引していると言っても過言では無い。今の時代、社会に出た後、どのような夢を実現するにおいても、情報技術を活用しない訳にはいかない。世界中でソフトウェアエンジニアが枯渇しており、腕利きのソフトウェアエンジニアは高待遇で迎え入れられている。とはいえ、ものづくりやプログラミングで必要となる知識は多岐にわたり、未だ初学者にはハードルが高い存在であることは確かである。

本ゼミは、ものづくりやプログラミングに興味はあるけれど、どこから手をつけていいか分からない、もしくは、初学者から中級者へのステップアップを目指したいと思っている人に、コンセプト立案から、ものづくり、そしてプレゼンテーションまでを一気に体験することができる機会を提供することを目的としている。
作るモノは、参加者一人一人が決める。例えば、日常の不便を解消するIoTデバイスやロボットなどなんでも構わない。ものづくりと、プログラミングの基礎を学ぶために、BBC Micro:bit のような初学者でも取りつきやすいシングルボードコンピュータを活用し、ものづくりのノウハウを体得し、流れを習得することに主眼を置く。

※このゼミは4月5日（水）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31453	S	超高分解能電子顕微鏡で観る 物質中の原子のならび	伊藤 剛仁	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

原子ってどんな姿をしていると思いますか？
本体験ゼミでは、世界最高性能の電子顕微鏡を用いて物質中の原子像の観察に挑戦します。そして、その原理や仕組みを学びます。物質中の原子１つ１つを並べて、物質の機能や性質を自在にデザインできたら・・・というナノテクノロジーの夢に、少しずつ近づいている最先端技術の一端を実感してほしいと思います。

本ゼミの個別ガイダンス(マテリアル合同)を別途行います。参加希望者は出席して下さい。

※このゼミは4月5日（水）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31454	S	感動体験！ 鉄の世界から未来を眺める	松浦 宏行	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。

※※※注意事項※※※
1) COVID-19 の影響による講義形式・内容が変更になる可能性があります。
2) 製鉄所の受入人数制限によって、履修者を抽選で決定する可能性があります。

皆さんは「鉄鋼」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。「鉄は国家なり」、「鉄は産業の米」などと言われるように遥か以前より国家・産業・社会の基盤となる重要なキーワードとして捉えられています。鉄鋼材料は過去から現在に渡って社会の基盤材料として活躍し、今後もその位置は変わることはありません。
本講義では鉄鋼材料の製造プロセスを学び、さらにその理解を深めるために、生産現場、つまり「製鉄所」を見学します。日本の製鉄所は 100 年以上の歴史と技術と先人の努力を蓄積し、世界随一の製造技術と効率を発揮しています。高さ 100 m にも及ぶ「高炉」や 1600 ℃以上の溶鋼が作り出される「転炉」、総延長 1 km 以上の「熱間圧延工程」など、いずれもテレビで見かけたことがあると思いますが、実際にそこでどのようなものがどのようにして作られ、そして最先端の製造技術が具体的にどうやって活かされているのか現場を通して学びます。
また、SDGs やカーボンニュートラルなど、鉄鋼材料製造技術の更なる発展に不可欠な観点で今後を概観します。
日本の製造業の根幹である鉄鋼材料を生み出す現場とその技術、そしてそこで働く方々の想いを一緒に学びましょう。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

※このゼミの詳細は 4 月 7 日（金）6 限に Zoom で開催予定のマテリアル工学科 3 ゼミ合同説明会にて説明致します。
履修希望者は★必ず★出席してください。どうしても難しい方は事前にメールにてご相談ください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31455	S	バイオマテリアル作り体験	吉田 亮	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

人工臓器に代表される医療機器の材料をバイオマテリアルと呼ぶ。バイオマテリアルの中には、骨などを代替するセラミックス、金属材料、さらには血管などに使われる高分子材料がある。本講義では、高分子で機能性バイオマテリアルをつくる体験をする。また生体と材料が接した際に起こる反応を細胞実験を通して学ぶ。
（内容は年によって若干変わります）。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31456	S	応用化学の最先端研究を体験してみよう	鈴木 康介	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本授業では工学部応用化学科の研究室で表記題目に関する化学実験を実施して、研究室の研究活動を体験することで化学に対する理解を深めることを目的とする。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31457	S	化学システム工学が拓く環境を体験しよう！	脇原 徹、北田 敦	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「化学システム工学のアプローチを用いた環境分野の研究の最前線を体験する」

具体的には、ナノ空間材料”ゼオライト”を取り上げ、現在の環境問題にどのように貢献しているのか、また、今後どのような貢献が期待されるかを学びます。

“ゼオライト”は、シリコン・アルミニウム・酸素から構成され、その構造の中に分子サイズの空間を持っている結晶材料です。その空間を制御することで、触媒・吸着・イオン交換などの様々な機能を持たせることができ、人類が直面する様々な環境問題への応用が期待されています。

本ゼミは、本郷キャンパスにある大久保・脇原・伊與木研究室、駒場 II キャンパスにある小倉研究室の 2 か所で行います。状況が許せば講義は駒場 II キャンパス、対面演習・研究室見学は本郷キャンパスで実施したいと考えており、4 月の段階で詳細を決定する予定です。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31458	S	全学体験ゼミナール (化学システム工学が拓くエネルギーを体験しよう！)/"Experience energy research frontier opened up by Chemical System Engineering."	TUNG CHUN CHIH、北田 敦	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「化学システム工学のアプローチを用いたエネルギー分野の研究の最前線を体験する」
具体的には、“リチウムイオン電池”と“水の電気分解”を取り上げ、それぞれどのようなデバイス・技術なのか、エネルギー問題の解決にどのように貢献するのか、について学びます。
リチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコンなどに使われている繰り返し充電可能な電池です。最近は、電気自動車や電力貯蔵用途としての採用も進んでおり、エネルギー密度の更なる増加が求められています。本ゼミでは、まだ実用化されていない新材料を含むさまざまな電極を用いてリチウムイオン電池を作製し、その充放電特性の違いを評価します。それにより、リチウムイオン電池の構造と反応メカニズム、更なる高性能化に向けた課題について学びます。
一方で、電気エネルギーを化学エネルギーに直接変換するプロセスとして電極触媒反応があります。電極触媒を用いることで、例えば再生可能エネルギー由来の電力を駆動力とし、水から水素を製造することができます。本ゼミでは、この水電解プロセスのカソード反応である水素発生反応に焦点をあて、種々の電極触媒を実際に調製し、かつその電極としての性能を評価します。その体験を通じて、電極反応やその反応機構についての理解を深め、本プロセスの課題について学びます。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

"Experience the research frontier in the field of energy using a chemical system engineering approach."
Specifically, we will focus on "lithium-ion batteries (LIB)" and "water electrolysis," and learn what kind of devices and technologies they are, and how they contribute to solving energy problems.

Lithium-ion batteries (LIB) are rechargeable batteries used in smartphones and laptop PCs. Recently, they have been increasingly adopted for electric vehicles and power storage applications, and there is a demand to further increase the energy density. In this seminar, we will fabricate LIBs using various electrodes, including new materials that have not yet been put to practical use, and evaluate differences in their charge-discharge properties. By doing so, students will learn about the structure and reaction mechanism of LIBs and the issues that need to be addressed to further improve their performance.

On the other hand, electrocatalytic reaction is a process that directly converts electrical energy into chemical energy. Using electrocatalysts, hydrogen can be produced from water, for example, using electricity derived from renewable energy as the driving force. In this seminar, we will focus on the hydrogen production reaction, which is an cathodic reaction in the water electrolysis process, by actually preparing various electrocatalysts and evaluating their performance as electrodes. Through this experience, students will deepen their understanding of the electrode reaction and its reaction mechanism, and learn about the issues involved in this process.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31459	S	化学システム工学が拓く 医療・バイオを体験しよう！	伊藤 大知、 北田 敦	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

化学システム工学のアプローチを用いた様々な医療・バイオ研究の最前線を体験する。
以下の 4 つの研究テーマを全 4 回で体験してもらう予定です。
1）医用材料：幹細胞封入インジェクタブルハイドロゲルを体験する。
2）ナノ医療診断：発光するナノ粒子を用いたがん診断を体験する。
3）生体分子解析：色の変化で毒を検出することができるバイオセンサを作成する。
4）再生医療：幹細胞を高効率に大量培養する方法を体験する。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31460	S	化学システムとしての製薬工場	杉山 弘和、 北田 敦	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最新鋭の医薬品工場を見学し、「化学システム」としての理解を目指します。実施は 4 月下旬～6 月の土曜日 1 日で調整中です（1 月下旬時点）。日程は 3 月中に確定し、UTAS 上で周知します。まず午前中に中外製薬浮間工場（JR 埼京線北赤羽駅徒歩約 15 分）を訪問し、最新・大規模製造ラインを見学します。見学する工場では、バイオ医薬品（具体的にはモノクローナル抗体と呼ばれるタンパク質からなる薬で、抗がん剤などに使われる）が製造されています。見学後、本郷キャンパスに移動し、見学内容をさらに理解するための講義とディスカッションを実施します。製薬工場のみならず、様々なプロセスを「化学システム」としてとらえるための視点を学びます。

※受け入れ人数に制限があるため、事前登録制とします。申し込みのメールは東大 ECCS アカウントから送信し、下記事項を含めてください。人数が多い場合には、申込内容をもとに選抜を実施します。受講可能者にはこちらから通知します。
1）名前・学籍番号
2）連絡先メールアドレス
3）志望動機（製薬に対する興味、化学システム工学に対する興味を、それぞれ含めてください）

締め切り：4 月 12 日（水）
連絡先：化学システム工学専攻 滋山 旭昇
a-shigeyama@pse.t.u-tokyo.ac.jp

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31461	S	Informatics, Chemistry, and Engineering	杉山 弘和、SARA SAMIR REYAD BADR、北田 敦	工学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

Data science has become a vital tool in today's world. This course explores some of its applications in the chemical and pharmaceutical industries. Together we learn how data science can help design new processes and products to advance society and protect the environment. The course will involve a brief introduction to programming tools available, in addition to the mathematical and statistical background required for data analysis.

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31464	S	鉱物資源はどこでできるのか？～フィールド調査と鉱物採集の旅：陸上資源編～	中村 謙太郎	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

私達の文明の発展は、様々な鉱物資源によって支えられています。また、今後人類社会の持続可能な発展を実現するためにも、鉱物資源が必要不可欠です。このような「鉱物資源」は、どこで、そしてどのようにして出来るのでしょうか？東京周辺でも、1970 年代までは様々な鉱山が稼行し、鉱物資源が採掘されていました．また実は、美しい鉱物が採れる場所というのも、東京近郊に多数存在しています。そこでこの授業では，東京周辺で野外巡検 (日帰り) を行い、こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます。そして、それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに、私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31466	S	海で学ぶ －臨海実験所における海洋体験実習－	早稲田 卓爾、山本 光夫、吉田 学、山口 飛鳥、巻 俊宏	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】対面授業（実習）に参加可能な学生のみに履修を制限する
【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意して下さい。

海洋という幅広い分野を総合して考えることの出来る人材の育成および、海洋関連研究者・大学院生の活動を支援することが、機構「海洋アライアンス」の目的である。本講義は、海洋アライアンスに関連する教員が、東京大学三崎臨海実験所において行う学部 1 ・ 2 年生を対象とした体験ゼミナールである。臨海実験場は 1886 年にわが国最初の、世界でも最も古い臨海実験所の一つとして設立された。本講義では、海洋生物学だけでなく、広く理学・工学・農学における海洋分野の研究に関連する実習演習を、短期集中講義（宿泊施設を利用した合宿）として実施する。実験所内の最新設備を利用した実習、近隣の海浜における自然観察、定員 25 名の実習船臨海丸 （17 トン）における航海実習などを行う。また、専門教員が関連するレクチャーを行う。http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/

以下は平常時に行われている実習内容です。
新型コロナ感染防止のため、オンラインによる講義、学生プロジェクトの実施と、臨海実験所での体験実習のハイブリッドで実施予定。ただし、状況により対面実習が難しい場合は、中止とする。

・臨海丸による乗船実習(プランクトンネット、ROV 観察)
・臨海丸レーダー・ソナー見学
・和船の操船実習
・ROV 操作実習（桟橋にて）
・桟橋での灯火採集
・採集生物の分類
・顕微鏡による生物観察
・海岸での地質見学
・海水分析
・Short Lecture Series

※受講人数：20 名以下に制限する。
※ガイダンス：4 月初め（工学系ガイダンスで紹介）

※開講期間：8 月 x 日―8 月 x 日の間の 3 日間
※開講場所：東京大学三崎臨海実験所

※このゼミは 4 月 6 日（木）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31467	S	東京大学アントレプレナーシップ・サマー・ブートキャンプ（UTokyo Entrepreneurship Summer Bootcamp)	各務 茂夫	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される
見込みが高いので留意すること。

世界が直面する様々な問題の課題解決に主体的に貢献できるベンチャーマインドに溢れた東大生を育成するために、学部 1・2 年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の短期集中プログラム（ブートキャンプ）を実施する。

※このゼミは 2023 年 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31468	S	医工学ってなんだろう？！	太田 誠一	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

予防・診断・治療が一体化した未来型医療システムの創成に貢献する学問分野として「医工学(バイオメディカルエンジニアリング)」があります。医工学は物理・電気・機械・化学・材料・生命科学の学問分野を有機的につなぎ、革新的な医用技術を通じ、人類の健康と福祉の増進に貢献することを目指す分野です。本講義では、本学工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻の教員が中心となり「研究室での実習体験」という形式で実施します。

※このゼミは 4 月 5 日（水）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31475	S	化学の最前線を体験する	一杉 太郎	理学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

数人のグループを単位として理学部化学科の研究室に加わり、教員の指導の下、最先端の化学に関する実験を経験する。通常の学生実験とは異なり、各研究室において、現在研究が繰り広げれている、まさに「生きた」化学を体験する。本ゼミにより、化学研究のフロンティアに触れるとともに、基本的な研究の進め方や考え方、最新の実験設備の使用法や付随する技術を学ぶ。実験終了後には、成果発表会を開き、グループごとに研究の意義、実験の結果などについて報告する。同報告会を通し、研究成果のアピールの仕方やプレゼンテーションに関するスキルについても会得する。

※受講人数：20 名程度
※ガイダンス：4 月 10 日（月）6 限（18:45～）にオンラインで行う。方法の詳細は ITC-LMS で告知する。
※開講場所：理学部化学本館、西館、東館
※開講期間：8 月 7 日（月）8 日（火）9 日（水）の 3 日間を予定している。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31483	S 1	危険生物の知識（春編）	石橋 整司、齋藤 暖生、井上 広喜、久本 洋子、前原 忠	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。

※受講可能人数：最大 20 名まで。
※ガイダンス：4/13（木） 5 限の第 1 回事前講義時にオンラインで行う。
※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所および千葉演習林。
※駒場キャンパス（オンラインを含む）での 2 回の事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における 2 回の現地講義、駒場での 1 回の事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。

第 1 回事前講義（ガイダンスを含む）【オンライン】
4 月 13 日（木） 5 時限

第 2 回事前講義【駒場キャンパス】
4 月 20 日（木） 5 時限

第 1 回現地講義【富士癒しの森研究所管内】
5 月 13 日（土）～14 日（日）（1 泊 2 日）

第 2 回現地講義【千葉演習林管内】
5 月 20 日（土） 日帰り

事後講義【駒場キャンパス】
5 月 25 日（木） 5 時限

各演習林への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担。負担額等の概要については第 1 回事前講義時に説明する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31485	S	春の奥秩父を巡る	山田 利博、坂上 大翼、平尾 聡秀	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系や人と森林の関わりについて見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撹乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、かつて薪炭林だった二次林や生産林としての人工林など、過去から現在までの森林利用を学ぶとともに、山村での郷土食作りを体験します。最終的には、手つかずの老齢林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。

※受講人数を 7 名以下に制限します。
※受講希望者は 4 月 6 日（木）のガイダンスに参加して下さい。
※担当教員：山田利博・平尾聡秀・坂上大翼
※このゼミは○月○日（○）○時○分～○時○分に○○にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。
あるいは、
※農学部ウェブサイトの全学自由研究ゼミナール・全学体験ゼミナールのオンライン合同説明会に資料を掲載しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31486	S 1	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き S 1	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。
日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？
山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従して、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思っているのですか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。
日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、それは資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものです。現状を放置すると、獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考える方が不自然ででしょう。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（拒むものではありませんが）。誰でも、歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。
このゼミは東京近郊の身近な山を、ときどき森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。
本ゼミは、北海道演習林で林業と向き合うゼミを新型コロナウイルスの影響で実施できなかった折り、東京近郊の低山を歩くゼミとして始めたものです。それが、少しだけ林業を意識しながら低山を歩いてみると、これがなかなかに味わい深いゼミであることを見出すことになりました。今年も S 1 タームに 3 山、S2 タームに 3 山、低山歩きのゼミを提供します。

森林・林業を意識する？
山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。
無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少しだけ持って歩くことを提案します。時々意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。
このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。(すみません、たまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。)

資本主義経済が支配する社会では
資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。
よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。
新型コロナウイルスは未だ収まりませんが、今年度は姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も実施する計画を立てています。こちらも是非どうぞ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31517	S	オホーツクの自然と文化遺産に学ぶ	森先 一貴	文学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

南北に長く連なる日本列島では、地域ごとの気候環境に応じた生活様式が生まれ、また隣接大陸の諸文化との影響関係もあいまって、各地域社会は多様な歴史を歩んできました。北海道のオホーツク海沿岸地域はそうした特徴が顕著な地域の一つです。一年を通じて乾燥傾向にあり、冬季は寒さの厳しい地域です。北東からの強い季節風は沿岸にそって砂丘を発達させ、真冬には流氷を吹き寄せることでも有名です。ただし、冬には氷に閉ざされるこの土地も、アザラシやトドといった海獣類にとっては豊かな恵みの海でもあり、人々にこの地方特有の生活の糧をもたらしてきました。
こうした独特の環境を背景に、オホーツク海沿岸地域では古くから独自性の高い物質文化・精神文化が発達してきました。本ゼミでは、オホーツク海沿岸地域の歴史を長く研究してきた人文社会系研究科附属北海文化研究常呂実習施設を拠点に、オホーツクの自然とそれが育んできた文化、それらの相互関係を、文化遺産を通じて学びます。具体的には、座学とエクスカーションを通じてオホーツク地域の地形景観、植物相、動物相を理解してもらいます。そのうえで、こうした自然を舞台として育まれた人類文化を、生業や居住のあり方、社会や精神文化のあり方に着目しながら、実際の出土遺物や遺跡現地の見学を通じて探究します。これらの理解を通じて、人と自然の歴史的関係を体験的に学び、日本列島の多様な地域文化とそれが育まれるメカニズムについて、オホーツク地域をフィールドに自らの体験を通じて考えてもらうことを目指します。
このオホーツク地域を代表する遺跡に、史跡・常呂遺跡があります。常呂実習施設が中心となって調査を進めてきた遺跡で、縄文文化から擦文文化・オホーツク文化にかけての 2,000 を超える竪穴住居跡が砂丘上の林の中にいまも窪みとして残る姿は壮観です。国の史跡として現在整備が進む史跡・常呂遺跡をケーススタディとして、文化遺産の保護についても学びます。
文化遺産は化石化した歴史ではありません。文化遺産を通じて人と自然の相互作用を読み解くことができ、そこから現在や未来を照らす多くの示唆を得ることができます。オホーツク地域を舞台に、文化遺産の今日的解読に取り組んでみましょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31529	S	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科学研究科	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

メディカル情報生命専攻に所属する教員･若手研究者が、それぞれのキャンパスで実施する体験的プログラムに参加し、現代生物学・基礎医科学研究の最先端の現場を体験することができます。
合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところで、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。

★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。

『S セメスター開催予定プログラム』
（1）谷川 千津 先生『個別化医療体験～世界最大級のバイオバンク見学つき～』

※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ
【URL】： http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp
に掲示するので随時確認してください。

※ 各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31538	S	空間デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

空間デザインを通して「アイディアをカタチにする」体験をするのがこの授業の目標である。概念と形象をつなぐことは、アートやデザインなど多くの創造的活動の根幹をなす作業である。この授業では、受講者自身が空間デザインのアイディアを立案し、具体的なカタチをつくりあげるまでを実習する。概念構築と形態創造における独創的かつ意欲的な取り組みに期待する。空間設計の知識や模型制作の経験は必要としない。文系/理系に関わらず、デザイン・造形・建築などに関心があれば、ぜひ履修してほしい。

・2023年4月14日(金)5時限(17:05～)に授業ガイダンスを実施する。
・当授業の履修希望者は、ITC-LMSに登録された小課題を4月15日(土)22:00までに提出すること(必須)。
履修希望者が予定数を上回るときは、この小課題によって選抜を行う。
※履修人数：20名に制限する。
※開講期間：2023年6月10日(土)、6月17日(土)、6月24日(土)
※開講場所：駒場12号館1212教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
31549	S	工学体験ゼミー科学技術を伝えるSTEAMなツールを考える	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

工学や科学技術は、私たちのくらしに深く関わる分野であり、実社会と密接に結びついている。一方で、これまでに学習してきた基礎的内容や、基礎がベースとなっている研究が、その後どのように社会に実装されているのかといった、科学技術と社会とのつながりを実感する機会は少ない。
本授業では、工学や科学技術を通して、基礎学習が研究や社会にどのようにつながっているのかを実感することを目的とする。自ら手を動かして簡単な実験等を体験し、ディスカッションを通して、工学や科学技術の社会的意義や役割を理解していく。また、STEAM（Science, Technology, Engineering, Arts, and Mathematics）的な領域を横断した学際的な視点から、科学技術を一般社会に伝えるツールを考え、デザインしていく。

※履修人数を15名に制限する
※開講場所：生産技術研究所（駒場IIリサーチキャンパス）
※ガイダンスは、4月6日（木）および4月10日（月）の2日間、12時20分より
オンラインにて行う。2回とも同一内容で実施。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40198	S 2	エネルギー資源の「開発」を学ぶ	小林 肇	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

現代社会の基盤を支える一次エネルギー源の約6割は石油・天然ガスに依存している。これら石油、天然ガスを含む地下資源の鉱床の探査、掘削、生産の一連の工程を「開発」と呼ぶ。石油産業は世界で最も巨大な産業の一つであり、石油企業大手（石油メジャー）の純利益は一社で4兆円を超えるが、その7-8割は「開発」部門での収益である。
一方、エネルギー資源の約96%を海外から輸入している日本では、この「開発」を身近に感じる機会は少ない。しかし、先進国の中で石油産業が基幹産業となっていないのは日本だけであり、世界的には石油メジャーは収益力の強い超優良企業の代表と見なされている。また、近年のシェールガス革命でも明らかなように、資源開発は新技術が世界情勢を直接変革する技術革新の現場でもある。
本体験ゼミナールでは、エネルギー資源の乏しい日本において貴重な資源開発の現場である国内のガス田を見学し、エネルギー資源の開発と、資源開発に関わる技術システムを実フィールドで学習する。また、海外の開発現場におけるエネルギー資源開発の最先端の紹介及びその開発・生産された化石燃料 を環境負荷を最小限に抑えて有効に活用する水素利用等の取り組みの紹介を通して、エネルギー資源の開発から生産・利用のそのライフサイクルの中での環境負荷低減・地球温暖化防止に向けての取り組みへの理解を深める。学生は，資源開発の実際とそのエンジニアリングセンスをこの体験を通して習得する。

※このゼミは4月5日（水）6限（18：45～）Zoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoomの URL は後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40202	S 2	房総の常緑樹林で森林動態を学ぶ	楠本 大、久本 洋子、當山 啓介、鎌田 直人	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

一見、変化の無いように見える森林であるが、長期の視点ではダイナミックな変化が起きている。たとえば、草原から森林への遷移初期は強い光を好み成長の早い先駆樹種（陽樹）が優占するが、その後、暗い場所でも生育できる遷移後期樹種（陰樹）が成長し、先駆樹種と置き換わる。一方、森林の樹冠を構成する樹木が老衰で枯死したり強風等で倒れたりすると、林冠ギャップが形成され、林床では実生が発芽したり稚樹が成長する。このようなギャップは森林内でパッチ状に発生し、また遷移段階や構成種の違いから、森林の構造は空間的・時間的にモザイク状を呈している。
…などと高校の生物では習ったかもしれないが、その教科書的知識は果たしてフィールドの現場で通用するだろうか？本ゼミナールでは、千葉演習林が位置する房総丘陵のモミ・ツガの針葉樹が混交する常緑広葉樹林を対象として、森林生態学の基本的な調査方法を自ら実施して得られたデータと実際の森林の観察を通じて、リアルな森林動態を学ぶことを目的とする。

※最大履修受入人数を 12 名とします。希望者多数の場合は抽選を行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40204	S 2	東大の別荘「癒しの森」で心も体もリフレッシュ A gateway to self-care in a stressful society: on the campuses and a university forest (iyashinomori)	齋藤 暖生、近藤 伸介、三浦 直子、藤原 章雄、後藤 晋、浅野 友子、福井 大	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

現代社会において、職場等におけるストレス対策は極めて重大な課題となっている。厚生労働省によれば、強いストレスを感じている労働者は 6 割にのぼる。メンタルヘルスに不調をきたし休職や離職を余儀なくされる例、新卒就業者が早期に離職する例が多く報告されている。このようなストレス問題は労働者に限ったものではなく、キャンパス内においても無視はできない。東京大学においても、多くの学生が日常的に不安や悩みを抱えており、メンタルヘルスに問題を抱える学生が少なくないことが報告されている。

このような問題を克服するには、ストレスを生みにくい社会づくりを目指すと同時に、個人のストレス対処能力を高めることも重要である。個人がストレスに対処する上で必要とされる能力として、自らの異変に早く気付けること、そしてそれへの自分なりの解決方法を実行できること、が指摘されている。このような自己対処をセルフケアというが、これはキャンパスライフをより豊かに送るために、また卒業後の人生においても重要な能力となる。

本講義は、各人のセルフケアの能力向上の支援することを目的に、メンタルヘルスに関わる基礎的知識・応用事例について講義し、体験を通じて身近な環境を活用したセルフケアの可能性を学ぶことを目標とする。

本講義は、大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）が中心となって企画する科目である。富士癒しの森研究所は、2011 年より「癒し」を軸に森林環境を社会に活かす実践的研究として「癒しの森プロジェクト」に取り組んできた。2021 年度からは、「続・癒しの森プロジェクト」として学内での連携強化を掲げており、本講義はその一環として、医学部附属病院および生産技術研究所の教員の協力を得て講義を構成する。

富士癒しの森研究所を拠点とした現地講義は 2 泊 3 日を予定しているが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、1 日のみとする場合もある。研究所内に立地する東京大学山中寮内藤セミナーハウスは、東京大学の構成員は誰もが利用することができる。本講義を通じて、自然環境や東京大学の施設をフルに活用したセルフケアの可能性を体験していただきたい。

※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 40 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。
※ガイダンス：6 月 9 日に行う。
※駒場キャンパスにおける事前講義：9 月 11 日（月）に 2 コマ実施する。具体的な時間、講義室は受講者に直接連絡する。
※現地講義開講期間：9 月 12 日（火）に東京での現地講義を実施したのち、富士癒しの森研究所（山中寮）に移動する。9 月 13 日（水）の終日、富士癒しの森研究所での現地講義を行う。9 月 14 日（木）に東京に移動し、東京での現地講義を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40205	S 2	森に学ぶ（ふらの） 北海道の大地に学ぶ	鴨田 重裕、尾張 敏章、 田中 延亮、平尾 聡秀、 鈴木 智之	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
※成績公開が所定日後となる場合がある

【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味あるけど、サークルに属するほどではないかも知れない人に、安全に山を楽しんでもらう機会と、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらう機会を作るために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。
伊豆ゼミでは伝えきれない自然を感じる部分を本ゼミにてお届けしたいと思っています。伊豆ゼミとセットでの履修をお奨めします。

北海道・富良野と聞いて何を思い浮かべるだろうか。東大演習林！と答える君はもしかして演習林通？もちろんそういう答えを期待している訳ではない。でも、この体験ゼミ受講後、それはきっと強く印象に残るのではなかろうか（と書くのは簡単だ）。でもこのゼミではその北海道演習林にすぐには行かない。演習林にほど近い山を歩いてみる。十勝山系富良野岳。（ずっと演習林を見たいという向きは、もうひとつの体験ゼミを履修されるとよい。冬の北海道演習林を満喫できるゼミが用意されている。）富良野岳（ふらのだけ）は、北海道中央部にある山である。標高 1,912m、大雪山の南西部から連なる十勝岳連峰の最南端に位置する。火山ではあるが、山麓の安政火口を除き、古い時代に活動を終えたと考えられる。そのため、安政火口近辺を除いて全山高山植物が豊富で、特に山頂部は夏の時期は広大なお花畑が広がる。隣接する十勝岳が有史以来の激しい噴火のため、山頂部に植物に乏しいのと対照的である。出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』
本ゼミ主宰者が学生時分に何度も訪れた山。これまでに登った数ある北海道の山の中でもお気に入りの山の一つだ。自然、自然と言うけれど、手つかずの自然など日本のどこにもほとんど残っていない。北海道の山上といえども完全なる自然とは言えないかも知れないが、大自然を感じるにはうってつけの場所だ。いつ行ってもその大きさに圧倒される。大自然のただ中に身を置いて、人間の小ささを感じてみよう。そして、自分が押しつぶされそうな日頃の重大問題のことを思ってみよう。何かしら道が開けることがあるかも知れない。このゼミでは、少なからぬ百名山登山家に見受けられるような、ただ頂上に立つことを主目的とするようなせわしない登り方はしない。ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩くので、とくに健脚でなくても大丈夫。大自然を十分に満喫したそのあとに、今度は人が向きあう森に向きあってもらう。そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち林業という一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか？本当にそうなのだろうか？自然の中にどっぷりと身を置いたことで、内にちょっと変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのだ。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40206	S 2	夏版伊豆に学ぶ１①体験 part 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕、齋藤 暖生	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】時間割コード 40206①体験 part と 40207②総合考察 part はセットで履修いただく必要があります。ご留意ください。
【注意２】シラバスには本ゼミのコンセプト他、申込方法などの重要な伝達事項を記してあります。長文ですが、必ず良くお読みください。
【注意３】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意 s してください。

※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、体験をきっかけに何を考えるかという辺りに重きを置きます。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。

※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40207	S 2	夏版伊豆に学ぶ１②総合考察 part 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】時間割コード 40206①体験 part と 40207②総合考察 part はセットで履修いただく必要があります。ご留意ください。
【注意２】シラバスには本ゼミのコンセプト他、申込方法などの重要な伝達事項を記してあります。長文ですが、必ず良くお読みください。
【注意３】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。

※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、体験をきっかけに何を考えるかという辺りに重きを置きます。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。

※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40208	S 2	夏版伊豆に学ぶ２①体験 part 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕、齋藤 暖生	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】時間割コード 40208①体験 part と 40209②総合考察 part はセットで履修いただく必要があります。ご留意ください。
【注意２】シラバスには本ゼミのコンセプト他、申込方法などの重要な伝達事項を記してあります。長文ですが、必ず良くお読みください。
【注意３】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。

※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、体験をきっかけに何を考えるかという辺りに重きを置きます。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。

※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40209	S 2	夏版伊豆に学ぶ２②総合考察 part 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意１】時間割コード 40208①体験 part と 40209②総合考察 part はセットで履修いただく必要があります。ご留意ください。
【注意２】シラバスには本ゼミのコンセプト他、申込方法などの重要な伝達事項を記してあります。長文ですが、必ず良くお読みください。
【注意３】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。

※基礎知識はあまり必要ない初級者向けの体験ゼミで、１年生に受講いただくことを意識している講義です。大学で学び始める１年時に受講することをお勧めします。このゼミでは、特別な装置や仕掛けに依らずに、ごくごくありふれたモノに気付き・学びを真摯に追求するものです。体験そのものも大事ですが、体験をきっかけに何を考えるかという辺りに重きを置きます。文系・理系に関係なく、真剣に議論できることが受講生に求める条件となります。

※５日間の合宿スタイルのゼミを提供する予定であるが、新型コロナの感染状況によってはやむを得ず合宿スタイルを取りやめて、２回伊豆での日帰り＋２回東京（弥生キャンパスないし駒場キャンパス）でのオンサイトでの実施に切り替えることがある。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われただろうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が 開講する一連の体験ゼミ(通称：伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違うとどういう違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。
伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッ シュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまた良し。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。
「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢なのだろうか、はたまた幻なのだろうか。是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40210	S 2	森に学ぶ 森林・林業を意識する 低山歩き S2 【注意】対面授業 （野外実習≒山歩き）に参加可能な 学生のみに履修を制限します。	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、「異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。
日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？
山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従して、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思っているのですか？
いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。
日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、それは資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものです。現状を放置すると、獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考える方が不自然ででしょう。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（拒むものではありませんが）。誰でも、歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。
このゼミは東京近郊の身近な山を、ときどき森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。
本ゼミは、北海道演習林で林業と向き合うゼミを新型コロナウイルスの影響で実施できなかった折り、東京近郊の低山を歩くゼミとして始めたものです。それが、少しだけ林業を意識しながら低山を歩いてみると、これがなかなかに味わい深いゼミであることを見出すことになりました。今年も S 1 タームに 3 山、S2 タームに 3 山、低山歩きのゼミを提供します。
森林・林業を意識する？
山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それもまたよし。
無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少しだけ持って歩くことを提案します。時々意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。
このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。（すみません、たまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。）
資本主義経済が支配する社会では
資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題とは限りません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。
よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。
新型コロナウイルスは未だ収まりませんが、今年度は姉妹ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」も実施する計画を立てています。こちらも是非どうぞ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40211	S 2	乳牛、馬、豚,山羊等の動物と触れ合い、動物種による習性の違いを体験して学びましょう。	李 俊佑	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 東大牧場では馬、牛、ヤギそして豚を飼育しているし、牧草生産と動物の排泄物の堆肥化も行っている。要は循環型畜産を営んでいる。一つの牧場でこのように多種の家畜を飼育し、またそれを学生達が自由に接する事ができるのは世界中にここだけかも知れません。多種の家畜を同じ牧場で飼育する牧場は少ないし、防疫上で殆どの牧場では動物と直接に触れ合う事が禁止されています。だから、今はチャンスです。実際の家畜飼育現場での体験活動を通じて、動物の種による習性の違い、飼育方法の違い、多種の畜産品の生産コストの違いを体験活動通して勉強し理解を深めましょう。トラクターとパワーショベル運転も体験できる。そして、牧草生産（時期による）と堆肥の発酵処理等も学びましょう。 ※このゼミは農学部合同説明会への参加を予定しています。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40212	S 2	海の生命科学入門	菊池 潔、細谷 将、 高橋 一生、 平瀬 祥太朗	農学部	集中	2	1 年 理科 2 年 理科
授業の目標概要		■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 日本は海に囲まれた島国ですが、学生たちが海の科学を体験的に学ぶ機会は多くありません。本ゼミナールでは浜名湖という現場を通して、水圏生物を対象とした研究の一面を学ぶことをめざします。 浜名湖は狭い水路で太平洋とつながった海水・汽水湖です。入り口が浅く、奥が深い浜名湖の物理化学的な構造はどうなっているのでしょうか。そこではどのような生物が、どのように生息しているでしょうか。それらはどのように生まれ発達していくのでしょうか。そして人々は水の中の生物生産をどのように利用して来たのでしょうか。これらを考えることで、海の科学の入り口に立ちます。 ※受講人数：6-12 名程度に制限する。 ※開講場所：附属水産実験所 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 ※体験実習期間：未定。 ※このゼミは 4 月に駒場キャンパスにて行われる農学部全学体験ゼミナール合同説明会への参加を予定しています。 なお、covid19 の感染状況によって、授業中止の可能性があります。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
40214	S 2	身近な生命科学実習／Molecular Biology in our daily lives	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

＊対面授業に参加可能な学生のみに履修を制限
＊実験三昧・研究室体験
＊少人数制
＊生命科学分子生物学実験入門編
＊体験を通じた“考えるトレーニング”

この授業では、分子生物学の入門編に相当する実験体験を、実質 6 日間の集中講義で開講します。特色は、文理の垣根を越えた少人数制、可能な限り個別最適なプログラムになるような授業デザインになっています。実習は、大きく分けて２つのパートに分けることができます。前半の A パートは、共通課題としてマグロ属魚類の魚種類判別実験を通じて、基礎的なスキルと、考え方を身に着けます。後半の B パートでは、前半で学習した内容を活用し、自由課題に取り組みます。日程の最終日は、各自の取り組んだ内容をラボミーティング形式で発表を行います。

A パート
基礎的な実験スキルと考え方の習得

マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？
本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を学習することを目的とする。

【実習の流れ】
① 本実習内容の説明
② マグロから DNA 抽出
③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断
④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出
⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別
⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別
⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション

B パート
自由課題を通じた“考えるトレーニング”

上記の既定の作業に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索、過去のプリント集、AI チャットボットを利用しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの “考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。

【ガイダンス】
下記日程のお昼休みに実施する。
＊ガイダンスは、オンラインのみ。
＊昼食をとりながら参加可能。
＊実験室を見学したい場合は、相談に応じる。
＊別日程希望の場合は、個別にメールで対応する。
Zoom URL：https://bit.ly/3QD2jIp
2023 年 4 月 5 日（水）12:15～12:45
2023 年 4 月 7 日（金）12:15～12:45
2023 年 4 月 10 日（月）12:15～12:45
2023 年 4 月 17 日（月）12:15～12:45
2023 年 4 月 19 日（水）12:15～12:45
2023 年 4 月 24 日（月）12:15～12:45

【実習実施日】
2023 年 8 月 7 日（月）13:00～18:00
2023 年 8 月 8 日（火）13:00～18:00
2023 年 8 月 9 日（水）13:00～18:00
2023 年 8 月 14 日（月）13:00～18:00
2023 年 8 月 15 日（火）13:00～18:00
◎2023 年 8 月 18 日（金）13:00～18:00

予備日
2023 年 8 月 1 日（火）13:00～18:00
2023 年 8 月 2 日（水）13:00～18:00
2023 年 8 月 3 日（木）13:00～18:00
2023 年 8 月 4 日（金）13:00～18:00

2023 年 8 月 16 日（水）13:00〜18:00
2023 年 8 月 17 日（木）13:00〜18:00

上記の実習実施日のスケジュールで原則開講。◎は発表会、必ず出席する必要がある。定期試験や個別の事情により、実習実施日に参加できない学生は、*必ず*事前にその旨を連絡すること。相談の上、予備日から振替をすることが可能な場合がある。ただし、予備日は優先言語が英語となる可能性が高い。

【問い合わせ先】
✉ practical-bio@adves.c.u-tokyo.ac.jp
＝＝＝En＝＝＝
* Restricted only students who can participate in face-to-face classes
* Introduction to Molecular Biology Experiments
* Experiments a lot & "thinking training"

This course is essentially a six-day intensive course that provides the experimental experience equivalent to an introduction to molecular biology. The course is characterized by small class sizes that transcend the boundaries between the humanities and sciences, and by a class design that is as individualized as possible to create the best possible program. The practical training is divided into two main parts. In the first half, Part A, participants will learn basic techniques and concepts through experiments to identify fish species of the genus Tuna as a common subject. In the second half, Part B, participants will work on free assignments, building on what they learned in the first half. On the last day of the course, participants will make a presentation in the lab meeting style.
💡#DIYbiology #MakerMovement

Guidance

Participation in English will be handled on an individual basis. This is in order to propose the best-individualized schedule and program. For inquiries, please send an e-mail to the address below.
✉ practical-bio@adves.c.u-tokyo.ac.jp

Schedule of the practical course

The lab will be open from Monday, August 7, 2023, through Friday, August 18, 2023. During this period, actual attendance for 6 days is required for credit; a lab meeting-style presentation will be held on August 18 for all participants.

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
31427	S	The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	徳永 朋祥	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

【注意】開講日程の都合上、この授業を履修する場合は、S セメスター/ S2 ターム開講の他授業を履修することができないので、注意してください（開講日程の異なる集中講義等を除く）。

Students attending this course cannot take credits for other courses in S semester or S2 term, except for intensive courses whose schedule does not overlap with this course.

UTSIP Kashiwa is an international internship program provided by the Graduate School of Frontier Sciences （GSFS:新領域創成科学研究科）where Junior Division students can study together with undergraduate students from abroad in laboratories as well as in lectures. The program will be conducted in English.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40191	S 2	TLP フランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

【注意 1】本国際研修（TLP フランス語夏季研修）は 8 月あるいは 9 月にかけてアンジェ市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第で A セメスターに延期、あるいはオンライン交流、あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとする。6 月に実施有無を決定予定だが、場合によっては決定が 7 月上旬になることもある。

【注意 2】この授業は選抜試験を 6 月、夏季研修を 8 ～ 9 月頃に実施予定。S2 タームの履修確認訂正期間（2020 年度は 6/13-18）までに選抜が終わらない可能性もあるため、その場合は、選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。

成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。

新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講となる可能性が十分にある。

アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカーションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイ（予定）を通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40192	S 2	ソウル大学校韓国語研修 サマープログラム	三ツ井 崇	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

TLP 韓国朝鮮語を履修している 2 年生および共通韓国朝鮮語（前期課程において総合科目 L 系列の韓国朝鮮語）の中級以上の授業を履修している（履修したことがある）者を主たる対象として、ソウル大学校での語学研修を行う。会話を中心とした実践的な韓国朝鮮語力を身に付けることを目的とする。また、また、アクティブ・ラーニングや文化体験などを通じて韓国の社会や文化について学ぶ。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40193	S 2	中国語サマースクール	伊藤 徳也、白 春花	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
【注意】現時点では渡航する「対面型」プログラムの予定だが、感染症の流行等南京現地の社会状況次第で、渡航しない「対面・オンライン併用型 B」に切り替える可能性がある。最終的な決定は、以下の「関連ホームページ」でできるだけ早期に発表するが、決定時期は最悪 5 月にずれこむ可能性もある。
夏休みを利用した中国語集中特訓講座。
オール中国語の授業を 3 週間開講するが、なんとかなるので恐れずに積極的に参加してほしい。
実施期間：8 月 6 日（日）～8 月 27 日（日）（オンラインになった場合は 7 日（月）～25 日（金））
応募要領：「関連ホームページ」参照
応募締切、選抜試験日時、説明会、事前研修会、事後反省会、レポート締切等未定
※以上 2023/1/17 内容更新

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40194	S 2	スペイン語 TLP 研修 （サマープログラム）	受田 宏之	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。

本研修は、スペイン語 TLP の 2 年生の希望者を対象とするサマープログラムで、9 月前半に 2 週間ほどメキシコに滞在する。
定員を 20 名前後としており、それを超える申請のある場合は選抜を行う。
大学で習得したスペイン語を積極的に使うこと、さらにはそれを通じて協定校の学生ら現地の人たちと交流することを目標としている。
具体的な訪問地として、首都のメキシコシティとグアナファト州を考えている。
メキシコシティでは、2 つの協定校（EL COLEGIO DE MEXICO と UNAM）を訪問し、UNAM 付属の語学学校にてインテンシブなコースをスペイン語でのプレゼンやミニ講義の受講等の様々な活動に励むほか、博物館や史跡の見学も行う。
グアナファト州では、世界遺産であるグアナファト市内やサンミゲルアジェンデを訪れるほか、歴史的な価値のある町や村を訪問する。
コロナ禍が再び深刻化した場合は、2020、21 年度に行ったのと同様、オンラインで実施する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40195	S 2	ミュンヒェン大学ドイツ語 サマースクール	川喜田 敦子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
【注意 2】新型コロナウィルスの感染状況によっては、実施形態の変更や研修自体の取り止めもありうることをあらかじめ了解のこと。
「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。
ミュンヒェン大学 Ludwig-Maximilians-Universität München で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40196	S 2	Global Praxis: Planetary Health (Japan/Thailand) プラネタリーヘルス　日本・タイ研修	佐藤 みどり	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。
【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。

The rapid growth of the global population, in tandem with a significant increase in per capita consumption, has had a detrimental impact on the Earth's ecosystems, resulting in various anthropogenic environmental changes. These changes include shifts in biodiversity, altered biogeochemical flows, changes in land use and land cover, global pollution, climate change, and depletion of natural resources. Unfortunately, these environmental changes have severe consequences on human health, jeopardizing decades of public health progress. These consequences include a reduction in global food production, heightened exposure to emerging infectious diseases, and increased risk from natural hazards.
To address these complex issues, the field of “Planetary Health (formally called One Health)” has emerged as a relatively new interdisciplinary practice. The aim of planetary health is to understand the impacts of human-environment interactions and the implications of environmental changes for human health and nutrition.
This course is designed to build on previous courses on global health, including Introduction to Global Health (Japan), Global Health Dialogue Seminar Series, Global Health Introductory Fieldwork (USA), and Global Health, Peace, Equity, and Social Justice (Nagasaki), offered throughout the 2022 academic year. It is an experiential and comparative global praxis program opening for both undergraduate and graduate students are concerned about the issues mentioned above and intend to take actions to change the situation. Students will learn about global health issues with a planetary health mindset and engage in dialogue with local community members, policy and programme level practitioners, and field experts in Thailand and Japan. The program is an international experiential training program that will provide students with invaluable hands-on experience in the field.

Course Objectives are:
1) To provide an understanding of how human activities, such as deforestation, land-use conversion, urbanization, human migration, international commerce, and climate change, have resulted in changes in the structure and function of natural systems that cause environmental changes. Additionally, the course will examine how these changes have impacted various dimensions of human health outcomes.

2)To describe, critically analyze, and compare evidence-based, targeted, and sustainable adaptation and mitigation strategies, as well as policy-based solutions, that have been adopted in Japan and Thailand to address health disparities related to environmental changes and climate change and social vulnerability. This analysis will focus on issues of inequity and social injustice.

このコースは、急激な人口増加と一人当たりの消費量の増加は、地球のエコシステム、気候、土地、海洋、生物地球化学的循環、生物多様性、水系に悪影響を及ぼし、これらの変化は、すでに世界の食糧生産、新興感染症や自然災害などによりさまざまな悪影響を引き起こしている。プラネタリーヘルス（旧称：ワンヘルス）とは、人間と環境の相互関係や環境や生態の変化が人の健康や栄養に及ぼす影響を理解し、持続可能で健康な地球と人のあり方を考える比較的新しい学際的実践分野である。
この授業では、2022 年度に通年で開講したグローバルヘルス入門・入門演習・中級長崎研修、グローバルヘルスキャリア対話セミナーなどでの学びを土台としつつ、グローバルヘルス実践の本場タイおよび日本の離島とのケーススタディ比較・体験型学習を通じて、プラネタリーヘルスマインド（人と地球の両方に目を向けた持続可能な地球のための課題解決のためのものも味方：レンズ）を持って地球規模課題に取り組んでいくために、現場で実践を続ける実務者、現地に暮らす人々との対話や視察、ケーススタディにより学び考える総合的な体験型国際研修である。

コース目標：
1）環境変化を引き起こす自然システムの構造と機能の変化（環境変化（森林破壊や土地利用の転換、都市化、人間の移動、国際商業、気候変動など））が、どのようにして起こり、また反対に人間の健康にどのような負の影響を与えているのかを理解する。

2）気候変動と社会的脆弱性に関連する健康格差（不公平と社会的不公正）に対処するために、日本／タイで採用されているエビデンスに基づき、持続可能な適応戦略と政府の保健・環境政策レベルの解決策を説明することができこれらの効果について批判的に分析・比較検討することができる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
40197	S 2	イタリアで考古学を体験する	村松 真理子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。
【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。
【注意】この授業は、開講日程がまだ流動的なので、留意してください。

ナポリ近郊、ソンマ・ヴェスヴィアーナ市にある本学の研究施設で考古学発掘を体験する。ローマ時代のヴィラ建築で、発掘の現場がどのようなものか見学するだけでなく、専門家と現地学生といっしょにその作業を体験する。国際的チームの発掘現場の作業やネットワークにふれると同時に、ナポリ近辺の他の発掘調査や研究機関・ 考古学博物館等を訪ね、現地の文化遺産と記憶の継承の問題についても考える。

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30770	S	エネルギー工学の基礎 (PEAK)	河野 龍興	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Renewable and Hydrogen energy contributing to carbon neutrality In order to achieve a significant reduction in CO2 emissions and to be carbon neutral by 2050, there is an urgent need to use renewable energy and hydrogen energy. This course introduces national and international examples of these energies and enables students to learn how to become carbon neutral for the future.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30938	S	ことばと文学(PEAK)	逆井 聡人	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Japanese Literature after 1945 After the collapse of the Japanese Empire in 1945, the empire's former domains came under occupation by Allied Forces. Several reformations took place to transform the region from an empire to a nation-state. However, the legacies of Japanese imperialism remained throughout "Japan's long post-war." In this course, we will read works of the postwar Japanese literature as windows to survey significant and controversial issues in Japan such as gender equality, nuclear disaster, economic disparity, and minority problems. We will also examine texts in detail to consider how each text critically approaches social issues.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30892	S	スポーツ・身体運動実習 I (PEAK)	竹下 大介、宮田 紘平、結城 笙子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Recreational activities for the promotion of fitness and wellness Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30219	S	国際・地域II(PEAK)	曽根 康雄	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		China's political economy and its role in the world This course focuses on China's political economy and its future role in the world. In this course, students will study the economic development of China, its political and economic system, and its position in the global order. The course will also cover some current issues. Students will build a foundation which is required to understand the second largest economy in the world. The course will be conducted in English. The course will cover the following topics: a) China's political economy, b) reasons of successful economic development, c) features of policy-making, d) impact of China's rise for the rest of the world, e) China's role in the global order, and f) current issues (political events, US-China relationship, currency policy etc).				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30025	S	思想・芸術II(PEAK)	オデイ ジョン	PEAK 前期	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Social, Political and Moral Philosophy This is a survey course in which we will read and discuss a range of important texts relating to how we should think and act towards others. The topics to be dealt with include: freedom of expression and action, language and politics, cultural relativism, nationalism and morality.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31231	S	社会・社会思想 (PEAK)	滝田 祥子	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Japanese Social Theory Using the textbook specifically aiming at bridging a longstanding gap between Eastern and Western social theory, this course will offer an opportunity for students to explore the rich diversity of social-theoretical critique in contemporary Japanese social theory.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30552	S	社会・制度II(PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Law, Science, Technology and Society (LSTS)| This course is an introduction to Law, Science, Technology and Society (LSTS) as an emergent field of study. It explores the multifaceted interplay existing between law (with a focus on the subfields of constitutional law, human rights law, environmental law, criminal law, property law, international trade law) and technological developments in both life sciences and information sciences. Through interactive lectures, case studies, and the preparation of a final mini-project, students reflect in particular on how to address the growing gap between the pace of such developments and the lagging responsiveness of legal and ethical oversight society relies on to govern emerging technologies.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30520	S	社会・制度III(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Economic Policy| This course is designed to supplement a standard introductory course of economics and will discuss some of the fundamental concepts of economics, with a focus on examination of economic policies. Drawing on the basics of microeconomics with references to some more contemporary frameworks (asymmetric information, game theory, behavioral economics, etc.), the course will provide conceptual foundations for evaluating various types of economic policy, including trade policy, antitrust policy, policy on income inequality, and macroeconomic policies. While the knowledge of advanced mathematics is not required for course participation, the students should note that the lectures will include discussions of some mathematical economic models. Meanwhile, although the course mainly targets students who have already studied introductory economics, it sets no prerequisites for registration and is open to all students.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31094	S	心理(PEAK)	渡辺 安里依	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to Psychology This is an introductory course that will provide an overview of psychology. The course introduces basic concepts of psychology, including biological, developmental, and social explanations of human and animal behaviour, and how they apply to our everyday settings. Through discussions on various scientific approaches used in the field of psychology, the course provides opportunities for students to broaden their perspective, to pursue their interest, and to think critically.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30260	S	身体運動科学(PEAK)	竹下 大介、宮田 紘平、結城 笙子	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Exercise and health science: Application of physiological concepts for the promotion of fitness and wellness					
授業の目標概要	The course is designed to provide a theoretical basis for understanding the physiological responses to exercise and the adaptations that occur during exercise. The lecture/discussion areas include the wellness concept, nutrition and support system of the body (cardiovascular, respiratory, metabolic, musculoskeletal and nervous) function. Upon successful completion of the course, students will understand the physiological adaptations that occur following exercise training, the benefits of exercise and the health risks associated with inactivity.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30222	S	生態学の基礎(PEAK)	リチャード シェファーソン	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Fundamentals of Ecology (Basic Ecology)					
授業の目標概要	To provide students with a foundational understanding of ecology and evolution					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30827	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Decision Analysis Practice)	前田 章	PEAK 前期	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Decision Analysis practice					
授業の目標概要	This course serves as a practice session of the Decision Sciences course that has been offered in the autumn semester. It is designed to provide students who have taken that course with an opportunity to deepen their understanding of the theory and practice in Decision Analysis. Each student in this course will work on a group or individual project. The goal of the project is to identify, formulate, and solve a real world decision problem. First four weeks are review sessions. On the fifth week, students will start their project work, aiming at final presentations on the last two weeks.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30801	S	全学自由研究ゼミナール（PEAK）（Introduction to Classical Mechanics）	ﾄﾞﾛﾈｰ ｼﾞｬﾝ ｼﾞｬｯｸ	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to Classical Mechanics					
授業の目標概要	This calculus-based Classical Mechanics course provides the foundation for further study of physics and engineering.					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30587	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to Qualitative Research)	高橋 史子	PEAK 前期	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to Qualitative Research Method <Overview>||This course is designed to familiarize students with qualitative research method used in sociology, anthropology, educational studies, and other fields in social sciences. |From Week 1 to 4, students will learn what qualitative research is, how qualitative research methods are used and designed in social science research through reading assignments and lectures and discuss its significance and limitations.|From Week 5o to 9 (no class in Week8), students will learn how to conduct research using interviews, how it is practiced in social science research, as well as will actually conduct interviews and analyze data.|From Week 10 to 13, plus a supplementary class, students will learn how to conduct research using observation, how it is practiced, and then will actually conduct fieldwork and analyze the data.||<Objectives>||Students will be able to - understand the basic theories involved in what qualitative methods are and how they are practiced|- critically discuss the significance and limitations of qualitative methods, and - conduct interviews and observations with attention to research ethics.||				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31201	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors?)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Introduction to regionalism: how do states cope with neighbors? Regions have been increasingly important to analyze international cooperation, partly because each region has distinctive features affecting nature of cooperation. This course aims to understand how states cope with their neighbors. Beginning with introduction of theoretical perspectives on regionalism, this course invites a wide range of issues on regionalism; from security to economic, and other issue areas. It also gives opportunities to share phenomenon of regionalism in various regions; Europe, Americas, Africa, Middle East, Asia.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30101	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Introductory Chemistry) (An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	PEAK 前期	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	An introduction to the key physical principles underpinning the whole of modern chemistry, focusing on key ideas from quantum mechanics, molecular statistics and thermodynamics.| This course aims to provide a comprehensive introduction to the key ideas in Physical Chemistry with a focus on Quantum Mechanics and Thermodynamics.||By the end of the course, students should be able to||1) Understand the failure of classical mechanics.|2) Explain the key principles of quantum mechanics.|3) Rationalize the structure of atoms based on quantum mechanics.|4) Explain why the periodic table has the form that it has.|5) Describe the models of chemical bonding and use these models to predict the shapes and stabilities of molecules.|6) Understand the structure of gases including the effects of intermolecular forces.|7) Make calculations based on the kinetic theory of gases|8) Understand the relationship between the properties of individual molecules and of bulk samples.|9) Appreciate the significance of the Boltzmann distribution 10) Understanding key ideas in thermodynamic including work, heat, enthalpy, entropy and Gibbs energy.|11) Applying the basic concepts of thermodynamics to chemical equilibria|				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31007	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(Tokugawa Cities)(A History of Tokyo)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		A History of Tokyo This course looks at the history of Tokyo to examine issues related to the production and organization of space in the context of the city. Although the overall framework is historical, the course will cover topics relating to the creation of public and private spaces; space and identity through the everyday; political economy and the built environment; and representations of space in literature, maps and films. The class content will briefly cover the Edo period before examining various moments of Tokyo's history up until the 1970s.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30737	S	全学自由研究ゼミナール（PEAK）(数学II②)(Mathematics II②)(Introductory course in linear algebra, continued)	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introductory course in linear algebra, continued Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications.||Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics.||Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30940	S	全学自由研究ゼミナール(PEAK)(数学 I②)(MathematicsI②)(Multi-variable calculus)	鮑 園園	PEAK 前期	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Multi-variable calculus Last semester, we learned calculus for single-variable functions. This semester, we continue to study calculus for multivariable functions. In particular, we will extend many of the basic concepts we learned so far to functions of two or more variables. Although many of the ideas that we developed for single variable functions will carry over naturally, there exist intrinsic differences between single and multivariable functions. So sometimes we need new tools and new ideas. In this course we introduce partial derivatives, multiple integrals, and their applications. If time permits, we will also introduce some concepts in vector calculus.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
31200	S	統計学(PEAK)	リチャード シェファーソン	PEAK 前期	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Fundamentals of Statistics To provide students with a basic knowledge of probability and statistics, and to introduce students to scientific programming using R, the statistical programming language.				

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
30769	S	歴史(PEAK)	バクスター，ジョシュア	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	History of Modern Japan					
授業の目標概要	This course is designed to introduce students to the history of Japan from the Tokugawa period until the end of the twentieth century. As a survey course, the content will focus on major historical events such as the Meiji Restoration, the colonization of Korea, the rise of fascism, the fifteen-year war, the postwar economic recovery, and the bursting of the bubble in the 1990s. The use of translated primary sources and films will be used to supplement the readings. |The objective is to offer students a traditional historiography of Japan and to introduce them to prominent historical figures through readings of primary sources. Thus the structure of the course will follow the familiar narrative of western modernization, militarization and the postwar economic miracle so that students will have a strong foundation on which to later form a critique of this history in their senior courses.					